HITACHI
Inspire the Next

JP1 Version 8

JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 リファレンス

文法・操作書

3020-3-L55-20

マニュアルの購入方法

このマニュアル，および関連するマニュアルをご購入の際は，巻末の「ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内」をご参照ください。

■対象製品

●**適用** OS：Windows XP Home Edition，Windows XP Professional，Windows 2000 Professional，Windows 2000 Server，Windows 2000 Advanced Server，Windows Server 2003 Standard Edition，Windows Server 2003 Enterprise Edition，Windows Server 2003 R2 Standard Edition，Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition，Windows Vista Business，Windows Vista Enterprise，Windows Vista Ultimate，Windows Server 2008 Standard，Windows Server 2008 Enterprise，Windows Server 2008 Standard without Hyper-V，Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V

P-2418-6281 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 08-65

●**適用** OS：Windows XP Home Edition，Windows XP Professional，Windows 2000 Professional，Windows 2000 Server，Windows 2000 Advanced Server，Windows Server 2003 Standard Edition，Windows Server 2003 Enterprise Edition，Windows Server 2003 R2 Standard Edition，Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition，Windows Vista Business，Windows Vista Enterprise，Windows Vista Ultimate

P-2418-6381 JP1/ServerConductor/Server Manager 08-21

●**適用** OS：Windows 2000 Server，Windows 2000 Advanced Server，Windows Server 2003 Standard Edition，Windows Server 2003 Enterprise Edition，Windows Server 2003 R2 Standard Edition，Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition，Windows Server 2008 Standard，Windows Server 2008 Enterprise，Windows Server 2008 Standard without Hyper-V，Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V

P-2418-6581 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager Plus 08-21

●**適用** OS：Windows 2000 Server，Windows 2000 Advanced Server，Windows Server 2003 Standard Edition，Windows Server 2003 Enterprise Edition，Windows Server 2003 R2 Standard Edition，Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition，Windows Server 2003 Standard x64 Edition，Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition，Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition，Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Edition，Windows Server 2008 Standard，Windows Server 2008 Enterprise

P-2418-6A81 JP1/ServerConductor/Agent 08-60

P-2418-6B81 JP1/ServerConductor/Advanced Agent 08-60

●**適用** OS：Windows Server 2003 Enterprise Edition for Itanium-based Systems **日本語版**，Windows Server 2008 for Itanium-based Systems **日本語版**

P-2818-6A81 JP1/ServerConductor/Agent 08-50

P-2818-6B81 JP1/ServerConductor/Advanced Agent 08-50

●**適用** OS：Red Hat Enterprise Linux ES 3，Red Hat Enterprise Linux AS 3，Red Hat Enterprise Linux AS 3（AMD64 & Intel EM64T），Red Hat Enterprise Linux ES 4，Red Hat Enterprise Linux AS 4，Red Hat Enterprise Linux AS 4（AMD64 & Intel EM64T），Red Hat Enterprise Linux 5（AMD/Intel 64），Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform（AMD/Intel 64），Red Hat Enterprise Linux 5（x86），Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform（x86）

P-9S18-6A81 JP1/ServerConductor/Agent 08-60

P-9S18-6B81 JP1/ServerConductor/Advanced Agent 08-60

●**適用** OS：Red Hat Enterprise Linux AS 3（IPF），Red Hat Enterprise Linux AS 4（IPF），Red Hat Enterprise Linux 5（IPF），Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform（IPF）

P-9V18-6A81 JP1/ServerConductor/Agent 08-51

P-9V18-6B81 JP1/ServerConductor/Advanced Agent 08-51

●**適用** OS：HP-UX11i Version 2.0（IPF），HP-UX11i Version 3.0（IPF）

P-1J18-6A81 JP1/ServerConductor/Agent 08-11

P-1J18-6B81 JP1/ServerConductor/Advanced Agent 08-10

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上，必要な手続きをお取りください。
なお，ご不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標類

AMD は，Advanced Micro Devices,Inc. の商標です。
HP-UX は，米国 Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。
Internet Explorer は，米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
Itanium は，アメリカ合衆国および他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の登録商標です。
LANDesk は，米国およびその他の国における LANDesk Group, Ltd とその子会社の商標または登録商標です。
Linux は，Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft は，米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
Microsoft, Hyper-V は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Red Hat は，米国およびその他の国で Red Hat,Inc. の登録商標若しくは商標です。
UNIX は，X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
VMware, Virtual SMP, VMotion は，VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。
Windows は，米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
Windows Server は，米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
Windows Vista は，米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
JP1/ServerConductor は LANDesk(R) Server Manager software の技術を利用しています。

■発行

2008 年 4 月（第 1 版）3020-3-L55
2009 年 5 月（第 3 版）3020-3-L55-20

■著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2008, 2009, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-L55-20)　JP1/ServerConductor/Blade Server Manager　08-65

追加・変更内容	変更個所
管理対象として仮想化プラットフォームのサーバをサポート（VMWare や Hyper-V など）しました。それに伴い［ホスト管理］ウィンドウの画面と説明を次のとおり変更しました。 • ［ホスト管理］ウィンドウの画面を差し替えました。 • ［ホスト管理］ウィンドウの階層表示に「ツリー構成表示」を追加しました。 • ［ホスト管理］ウィンドウで表示されるアイコンの一覧に「VM ホスト」および「VM ゲスト」を追加しました。 • ［ホスト管理］ウィンドウのメニュー「設定」にメニューコマンド「VM ホスト設定変更」を追加し，あわせてウィンドウの遷移を変更しました。 • ［ホスト管理］ウィンドウのメニュー「表示」にメニューコマンド「ツリー構成表示」,「VM ホストの更新」および「すべての VM ホストの更新」を追加し，あわせてウィンドウの遷移を変更しました。	1.3，1.3.1，1.3.2，1.3.3，1.3.4，1.3.5
［ホスト登録］ダイアログボックスに新規項目［VM ホストログイン時の設定］および［サーバタイプ］を追加し，画面と説明を変更しました。	1.3.21
VM ホストへログインするときの設定を変更する［ログイン情報の変更］ダイアログボックスの説明と図を追加しました。	1.3.51
SVP ボードの IP アドレスを変更または削除する［SVP ボードの IP アドレス変更］ダイアログボックスの説明と図を追加しました。	1.3.52

追加・変更内容	変更個所
管理対象として仮想化プラットフォームのサーバをサポート（VMWare や Hyper-V など）したのに伴い，説明を次のとおり変更しました。 • ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウで N+1 グループノードを選択したときに，右ペインの「現用系の登録状態」の「現用系ホスト一覧」で表示される内容を変更しました。 • ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーのホストノードおよび右ペインのシャーシ ID に表示されるアイコンの一覧に「VM ホスト」を追加しました。 • ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウでホストノードを選択したときに，右ペインの表示項目「OS 名」の表示内容を変更しました。 • ［手動切り替え実行］ダイアログボックスの設定項目「N+1 グループとホストの選択」の「ホスト一覧」の設定内容を変更しました。 • ［復帰・解除実行］ダイアログボックスの項目「予備系起動ホスト一覧」の内容を変更しました。 • ［SVP ログ］ウィンドウの注意を変更しました。 • ［SMP 設定］ウィンドウ（パーティション選択時）の表示項目「コンピュータ名」,「ホスト名」および「OS 名」の表示内容を変更しました。 • ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ポップアップ通知］タブ））の項目「ダイアログ種別」で,「ホストの起動 / 停止通知」および「ホストの追加 / 削除通知」のチェックボックスを ON にしている場合のポップアップ通知についての注意を追加しました。	1.7，1.13.2，1.13.3，1.13.10，1.13.11，1.16.2，1.24.7

JP1/ServerConductor/Blade Server Manager　08-60

追加・変更内容	変更個所
［スケジュール管理］ダイアログボックスの表示項目［ハードウェアの現在時刻］に表示される内容を変更しました。	1.3.10，1.3.11
検索項目［コントローラファームウェアリビジョン］の検索条件の条件入力方式を変更しました。	1.3.13
［リモートコンソール］ダイアログボックスに新規項目［リモートコンソールの選択］を追加し，起動するリモートコンソールを選択できるようにしました。それに伴い画面を変更し，説明を追加しました。	1.3.17
BS2000 の場合の［ランプ制御］ダイアログボックスの説明と図を追加しました。	1.3.18
［ホスト登録］ダイアログボックスの設定項目［種別］の設定内容を変更しました。また，図を差し替えました。	1.3.21
インベントリ情報の表示に関する注意を追加しました。	1.5
インベントリ情報の表示・非表示を示す表に BS2000 の場合の表示・非表示を追加しました。	1.5.1
［ホスト登録・変更］ダイアログボックスに，BS2000 の制限事項を追加しました。	1.13.8

追加・変更内容	変更個所
ラックマネージャで表示されるアイコンの表示項目［ブレードサーバ部］の「モデル」に BS2000 を追加しました。	1.15.1
［機器の変更］および［機器の追加］ダイアログボックスに新規項目［拡張モジュール］を追加し，スイッチモジュールを設定できるようにしました。それに伴い画面を変更し，説明を追加しました。	1.15.5，1.15.7
［SMP 設定］ウィンドウでシャーシノード選択時に表示される項目「モジュールタイプ」の説明を変更しました。	1.16.1
［SMP 設定］ウィンドウでパーティション選択時に表示される項目「スロット X」の説明を変更しました。	1.16.2
［HVM 構成管理］ウィンドウでシャーシノード選択時に表示される項目「モジュールタイプ」の説明を変更しました。	1.19
HVM のシステム構成情報として追加された拡張カードスロットの情報を追加しました。	1.19.1，1.19.5，1.19.10，1.19.11，1.19.12，1.19.18，1.19.19，1.19.20
［HVM 構成管理］ウィンドウでシャーシノード選択時に表示される項目「サーバモジュールタイプ」の説明を変更しました。	1.19.1
［HVM 構成のバックアップ・リストア］ダイアログボックスで表示される項目「サーバモジュールタイプ」の説明を変更しました。	1.19.21
［サイト情報］ダイアログボックスの項目に入力制限事項を追加しました。	1.24.21
ウォッチドッグタイマの監視は，［BMC 環境設定ユティリティ］画面の設定項目［監視周期］で設定した値の 1/3 の間隔で実行される旨の説明に変更しました。	1.25
SVP PCI ボードを搭載していない Linux サーバの説明を追加しました。	smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ）

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

変更内容 (3020-3-L55-10)　JP1/ServerConductor/Blade Server Manager　08-55

追加・変更内容
クライアント PC 管理機能の提供を終了したため，クライアント PC に関する記述を削除しました。
共通ボタンの説明に，環境設定ユティリティの場合の記載を追加しました。
製品名称の変更のため，「JP1/HiCommand Device Manager」を「Hitachi Device Manager Software」に，「JP1/HDvM」を「HDvM」に変更しました。
サーバの電源スケジュールを設定する場合の［時刻］のデフォルト値を変更しました。
クラスタの電源スケジュールを設定する場合の［時刻］の内容欄を変更しました。
接続するサービスを登録する場合に入力できる文字の制限を追加しました。
未受信アラートの受信に関する注意を追加しました。
自動レポート通知機能の宛先に指定できるバイト数の範囲を変更しました。

追加・変更内容
N+1 グループ作成時の注意事項を追加しました。
SAN の接続インタフェースに SAS，および iSCSI を追加しました。
現用系の N+1 グループに割り当てる予備プールを登録する場合の注意事項を追加しました。
予備系サーバモジュールを登録する場合のツールチップに Pre-configure およびパーティションに関するメッセージを追加しました。
管理対象として BladeSymphony SP をサポートしました。
環境設定ユティリティで各サービスの詳細タブの画面から［適用］ボタンを削除しました。
環境設定ユティリティでネットワークの共通情報を設定する場合，ほかのサービスと共通の設定のため，最後に設定した値が有効になる旨の説明を追加しました。
環境設定ユティリティでエージェントサービスの資産情報を設定する場合に入力できる文字の制限を追加しました。
環境設定ユティリティで，JP1/AppManager から JP1/ServerConductor の管理対象サーバを管理する場合の注意を追加しました。
smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ）で設定できる項目を変更しました。

はじめに

このマニュアルは，次に示すプログラムプロダクトの画面およびコマンドについて説明したものです。
JP1/ServerConductor/Blade Server Manager
JP1/ServerConductor/Blade Server Manager Plus
JP1/ServerConductor/Server Manager
JP1/ServerConductor/Agent
JP1/ServerConductor/Advanced Agent
なお，このマニュアルではこれらの製品を区別する必要がない場合，JP1/ServerConductor と総称しています。

■対象読者

このマニュアルは，JP1/ServerConductor を使ってホストの運用・管理をするシステム管理者を対象としています。なお，Windows，Linux(R)，HP-UX および Web について基本的な知識があることを前提としています。

■マニュアルの構成

このマニュアルは，次に示す章から構成されています。

第 1 章　画面

JP1/ServerConductor の画面について説明しています。

第 2 章　コマンド

JP1/ServerConductor で使用するコマンドについて説明しています。

■関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

JP1/ServerConductor 関連

- JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド（3020-3-L52）
- JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 メッセージ （3020-3-L54）

JP1 関連

- JP1/HiCommand Device Manager システム構成ガイド（サーバ編）（3020-3-J73）
- Hitachi Device Manager and Provisioning Manager Software システム構成ガイド（3020-3-P13）
- JP1 Version 8 JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング（3020-3-L16）
- JP1 Version 7i JP1/Cm2/Network Element Configuration （3020-3-G17）

その他

- BladeSymphony ユーザーズガイド
- BladeSymphony BS1000 用リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド

■このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用する主な英略語を次に示します。

略語	正式名称
API	Application Programming Interface
BIOS	Basic Input Output System
BMC	Baseboard Management Controller
CSV	Comma Separated Value
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DLL	Dynamic Linking Library
DMA	Direct Memory Access
DNS	Domain Name System
EFI	Extensible Firmware Interface
EISA	Extended Industry Standard Architecture
EMS	Event Monitoring Service
FC	Fibre Channel
GMT	Greenwich Mean Time
HA	High Availability
HBA	Host Bus Adapter
HVM	Hitachi Virtualization Manager
IA32	Intel Architecture 32
iSCSI	Internet Small Computer System Interface
IPF	Itanium(R) Processor Family
LAN	Local Area Network
LDEV	Logical DEVice
LPAR	Logical Partition
LU	Logical Unit
LUN	Logical Unit Number
MAC	Media Access Control
MIB	Management Information Base
MIF	Management Information Format
NIC	Network Interface Card
NMI	Non-Maskable Interrupt

略語	正式名称
OS	Operating System
PB	Processor Board
PCI	Peripheral Component Interconnect
PDC	Processor Dependent Code
RAID	Redundant Arrays of Inexpensive Disk
RAS	Reliability, Availability and Serviceability
SAS	Serial Attached SCSI
SCSI	Small Computer System Interface
SEL	System Event Log
SMP	Symmetric Multiple Processor
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNMP v1	Simple Network Management Protocol version 1
SNMP v2c	Community-Based Simple Network Management Protocol version 2
SSL	Secure Socket Layer
SVP	Service Processor
SVP/BMC	Service Processor/Baseboard Management：Controller
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
UPS	Uninterruptible Power Supply
URL	Uniform Resource Locator
VLAN	Virtual Local Area Network
VM	Virtual Machine
WOL	Wake On LAN
WWN	World Wide Name
WWW	World Wide Web

■このマニュアルでの表記

このマニュアルでは，Microsoft(R) および Intel の各製品またはコンポーネントを次のように表記しています。

名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft(R) Internet Explorer(R)	Microsoft Internet Explorer	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business	Windows Vista Business	Windows Vista
Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise	Windows Vista Enterprise	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	Windows Vista Ultimate	

名称	このマニュアルでの表記			
Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition Operating System	Windows XP Home Edition			Windows XP
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	Windows XP Professional			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 日本語版	Windows Server 2008 Standard			Windows Server 2008 ※
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM) 日本語版	Windows Server 2008 Standard without Hyper-V			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 日本語版	Windows Server 2008 Enterprise			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM) 日本語版	Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard (x86) 日本語版	Windows Server 2008 Standard (x86)		32bit Windows Server 2008	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise (x86) 日本語版	Windows Server 2008 Enterprise (x86)			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard (x64) 日本語版	Windows Server 2008 Standard (x64)		64bit Windows Server 2008	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise (x64) 日本語版	Windows Server 2008 Enterprise (x64)			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 for Itanium-based Systems 日本語版	Windows Server 2008（IPF）または Windows Server 2008 for Itanium-based Systems 日本語版			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition 日本語版	—	Windows Server 2003 Standard Edition	32bit Windows Server 2003	Windows Server 2003
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition 日本語版	Windows Server 2003 R2 Standard Edition			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition 日本語版	—	Windows Server 2003 Enterprise Edition		

名称	このマニュアルでの表記			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版	Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition 日本語版	Windows Server 2003 Standard x64 Edition	64bit Windows Server 2003 Standard Edition	64bit Windows Server 2003	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition 日本語版	Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition 日本語版	Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition	64bit Windows Server 2003 Enterprise Edition		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition 日本語版	Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Edition			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems 日本語版	Windows Server 2003（IPF）または Windows Server 2003 Enterprise Edition for Itanium-based Systems 日本語版			
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System	Windows 2000 Professional			Windows 2000
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System	Windows 2000 Server			
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System	Windows 2000 Advanced Server			
Microsoft(R) Cluster Server	MSCS			
Microsoft(R) Cluster Service				

注※

JP1/ServerConductor/Blade Server Manager および JP1/ServerConductor/Blade Server Manager Plus の場合, Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 for Itanium-based Systems 日本語版は含まれません。

- Windows Server 2008 Standard (x86) および Windows Server 2008 Standard (x64) を区別する必要がない場合，Windows Server 2008 Standard と総称しています。
- Windows Server 2008 Enterprise (x86) および Windows Server 2008 Enterprise (x64) を区別する必要がない場合，Windows Server 2008 Enterprise と総称しています。

- Windows Vista，Windows XP，Windows Server 2008，Windows Server 2003，Windows 2000 を区別する必要がない場合，Windows と総称しています。

このマニュアルでは，Linux の各製品を次のように表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
Linux(R)	—	Linux
Red Hat Linux	—	
Red Hat Enterprise Linux ES 3	Linux ES 3	
Red Hat Enterprise Linux AS 3	Linux AS 3	
Red Hat Enterprise Linux ES 4	Linux ES 4	
Red Hat Enterprise Linux AS 4	Linux AS 4	
Red Hat Enterprise Linux 5	Linux 5	
Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform		

このマニュアルでは，日立の各製品を次のように表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
Hitachi Workgroup Modular Storage	Hitachi WMS	Hitachi WMS/AMS
Hitachi Adaptable Modular Storage	Hitachi AMS	
Hitachi Device Manager Software	Device Manager	
Hitachi Simple Modular Storage 100	Hitachi SMS100	
Hitachi Universal Storage Platform	Hitachi USP	
JP1/AppManager スターターキット JP1/AppManager Operator Console JP1/AppManager Developer Console JP1/AppManager Web Access Console の管理コンソール製品群	JP1/AppManager	
JP1/Cm2/Network Element Configuration	JP1/Cm2/NC	
JP1/Integrated Manager	JP1/IM	
JP1/ServerConductor/Server Manager	Server Manager	
JP1/ServerConductor/Blade Server Manager	BSM	
JP1/ServerConductor/Blade Server Manager Plus	BSM Plus	
JP1/ServerConductor/Deployment Manager	DPM または JP1/SC/DPM	
JP1/ServerConductor/Agent	Agent	
JP1/ServerConductor/Advanced Agent	Advanced Agent	

■このマニュアルで使用している用語

用語	意味
HVM	日立サーバ仮想化機構「Virtage」のことを示します。

用語	意味
SANRISE	日立ディスクアレイサブシステムのことを示します。

■「JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」と「JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 リファレンス」でのマニュアルの使い分けについて

機能，操作方法および注意事項については，マニュアル「JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」で説明しています。画面やコマンドについては，マニュアル「JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 リファレンス」で説明しています。

■各画面に表示される項目と設定できる項目について

このマニュアルで表示される各画面は，対象製品のバージョンによっては項目が表示されない場合があります。また，対象製品のバージョンによっては，項目が表示されても設定できない場合があります。すべての設定を有効にするためには，それぞれのバージョンを最新にしてください。

■「保守員」の表記について

メッセージの対処などにある「保守員」は，「保守員または問い合わせ窓口」に読み替えてください。

■常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは，常用漢字を使用することを基本としていますが，次に示す用語については，常用漢字以外の漢字を使用しています。

宛先（あてさき） 個所（かしょ） 筐体（きょうたい） 全て（すべて） 貼り付け（はりつけ） 汎用（はんよう） 必須（ひっす） 閉塞（へいそく）

■ KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト，$1{,}024^2$ バイト，$1{,}024^3$ バイト，$1{,}024^4$ バイトです。

目次

1 画面 1

1.1 画面概要 3

1.1.1 画面一覧 3

1.1.2 共通ボタン 6

1.2 [ServerConductor コンソールサービス - ログイン] 画面 8

1.3 [ホスト管理] ウィンドウ 11

1.3.1 [ホスト管理] ウィンドウの階層表示 11

1.3.2 [ホスト管理] ウィンドウの表示アイコン 13

1.3.3 [ホスト管理] ウィンドウの表示項目 15

1.3.4 [ホスト管理] ウィンドウのメニューコマンド一覧 17

1.3.5 [ホスト管理] ウィンドウの遷移 22

1.3.6 [インベントリ CSV ファイル出力] ダイアログボックス 31

1.3.7 [インベントリ CSV ファイル出力オプション] ダイアログボックス 32

1.3.8 [JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート] ダイアログボックス 33

1.3.9 [JP1/SC/DPM エクスポート情報変更] ダイアログボックス 35

1.3.10 [スケジュール管理] ダイアログボックス ([電源制御] タブ) 36

1.3.11 [スケジュール管理] ダイアログボックス ([クラスタ制御] タブ) 38

1.3.12 [サーバアラートログ] ダイアログボックス 41

1.3.13 [ホスト検索] ダイアログボックス 42

1.3.14 [レポートスケジュール設定] ダイアログボックス 51

1.3.15 [レポート時間設定] ダイアログボックス 53

1.3.16 [レポート条件設定] ダイアログボックス 56

1.3.17 [リモートコンソール] ダイアログボックス 58

1.3.18 [ランプ制御] ダイアログボックス 60

1.3.19 [情報取得] ダイアログボックス 64

1.3.20 [情報取得 - 完了通知] ダイアログボックス 69

1.3.21 [ホスト登録] ダイアログボックス 70

1.3.22 [接続先マネージャサービスの確認] ダイアログボックス 73

1.3.23 [パスワード変更] ダイアログボックス 74

1.3.24 [コンソールサービス設定] ダイアログボックス ([ネットワーク] タブ) 75

1.3.25 [接続先マネージャサービス登録／削除] ダイアログボックス 77

1.3.26 [コンソールサービス設定] ダイアログボックス ([情報取得] タブ) 79

1.3.27 [コンソールサービス設定] ダイアログボックス ([起動 URL 設定] タブ) 80

1.3.28 [コンソールサービス設定] ダイアログボックス ([アラート] タブ) 81

1.3.29 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ） 82
1.3.30 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ） 84
1.3.31 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［各アラートの属性］タブ） 86
1.3.32 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［使用率超過通知］タブ） 89
1.3.33 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ） 91
1.3.34 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ） 93
1.3.35 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［e-mail 設定］タブ） 95
1.3.36 ［アラート設定］ダイアログボックス 100
1.3.37 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［JP1/IM 連携機能］タブ） 101
1.3.38 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［レポート機能］タブ） 103
1.3.39 ［データベースの選択］ダイアログボックス 105
1.3.40 ［データベース更新スケジュール設定］ダイアログボックス 106
1.3.41 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［N+1 設定］タブ） 109
1.3.42 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［ストレージ設定］タブ） 111
1.3.43 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワークスイッチ連携機能］タブ） 114
1.3.44 ［外付スイッチ名称登録］ダイアログボックス 116
1.3.45 ［スイッチ情報登録］ダイアログボックス 117
1.3.46 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［保存設定］タブ） 121
1.3.47 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［サーバ起動監視］タブ） 122
1.3.48 ［監視設定］ダイアログボックス 124
1.3.49 ［外部プログラム起動］ダイアログボックス 125
1.3.50 ［アラート通知］ダイアログボックス 127
1.3.51 ［ログイン情報の変更］ダイアログボックス 128
1.3.52 ［SVP ボードの IP アドレス変更］ダイアログボックス 130
1.4 ［インベントリ］ウィンドウ 131
1.4.1 Windows サーバのインベントリ情報 132
1.4.2 Linux サーバのインベントリ情報 144
1.4.3 HP-UX サーバのインベントリ情報 152
1.4.4 ［インベントリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 157
1.5 ［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウ 158
1.5.1 サーバシャーシのインベントリ情報 159
1.5.2 ［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 175
1.6 ［BIOS ポストログ］ウィンドウ 176
1.6.1 ［BIOS ポストログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 177
1.7 ［SVP ログ］ウィンドウ 178
1.7.1 ［SVP ログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 179

1.8 ［MIF 情報］ウィンドウ 180
1.8.1 ［MIF 情報］ウィンドウ（サーバ選択時） 181
1.8.2 ［MIF 情報］ウィンドウ（コンポーネント選択時） 182
1.8.3 ［MIF 情報］ウィンドウ（グループ選択時） 183
1.8.4 ［MIF 情報］ウィンドウ（Row 選択時） 184
1.8.5 ［MIF 情報］ウィンドウ（Template 選択時） 186
1.8.6 ［MIF 情報］ウィンドウのメニューコマンド一覧 187
1.8.7 ［MIF 情報］ウィンドウの遷移 188
1.8.8 ［コンポーネントプロパティ］ダイアログボックス（［一般］タブ） 189
1.8.9 ［コンポーネントプロパティ］ダイアログボックス（［Description］タブ） 190
1.8.10 ［グループプロパティ］ダイアログボックス（［一般］タブ） 191
1.8.11 ［グループプロパティ］ダイアログボックス（［Description］タブ） 192
1.8.12 ［グループプロパティ］ダイアログボックス（［Key］タブ） 193
1.8.13 ［テーブル列プロパティ］ダイアログボックス（［一般］タブ） 194
1.8.14 ［アトリビュートプロパティ］ダイアログボックス（［一般］タブ） 195
1.8.15 ［アトリビュートプロパティ］ダイアログボックス（［Description］タブ） 196
1.8.16 ［アトリビュートプロパティ］ダイアログボックス（［Enum］タブ） 197
1.9 ［クラスタ管理］ウィンドウ 198
1.9.1 ［クラスタ管理］ウィンドウの表示項目 199
1.9.2 ［クラスタ管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧 203
1.10 ［サーバアラートログ］ウィンドウ 205
1.10.1 ［サーバアラートログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 206
1.10.2 ［サーバアラートログ］ウィンドウの遷移 207
1.10.3 ［サーバアラートログ］ダイアログボックス 207
1.10.4 ［サーバアラートログ削除］ダイアログボックス 208
1.11 ［図面表示］ウィンドウ 209
1.12 ［ホスト検索結果］ウィンドウ 211
1.12.1 ［ホスト検索結果］ウィンドウのメニューコマンド一覧 212
1.12.2 ［ホスト検索結果］ウィンドウの遷移 214
1.12.3 ［ホスト検索］ダイアログボックス 214
1.12.4 ［レポートスケジュール設定］ダイアログボックス 215
1.13 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ 216
1.13.1 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［N+1 コールドスタンバイ］ノード選択時） 218
1.13.2 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（N+1 グループノード選択時） 219
1.13.3 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（ホストノード選択時） 223

1.13.4 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［予備プール］ノード選択時） 226
1.13.5 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧 228
1.13.6 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの遷移 231
1.13.7 ［グループ作成］ダイアログボックス 232
1.13.8 ［ホスト登録・変更］ダイアログボックス 233
1.13.9 ［予備登録・変更］ダイアログボックス 235
1.13.10 ［手動切り替え実行］ダイアログボックス 239
1.13.11 ［復帰・解除実行］ダイアログボックス 241
1.13.12 ［予備系の診断 - スケジュール設定］ダイアログボックス 243
1.14 ［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウ 245
1.14.1 ［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 246
1.15 ［ラックマネージャ］ウィンドウ 248
1.15.1 ［ラックマネージャ］ウィンドウの表示項目 249
1.15.2 ［ラックマネージャ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 263
1.15.3 ［ラックマネージャ］ウィンドウの遷移 265
1.15.4 ［ラックの追加］ダイアログボックス 266
1.15.5 ［機器の変更］ダイアログボックス 269
1.15.6 ［SNMP Trap の追加］ダイアログボックス 273
1.15.7 ［機器の追加］ダイアログボックス 275
1.15.8 ［ラックの構成変更］ダイアログボックス 279
1.16 ［SMP 設定］ウィンドウ 282
1.16.1 ［SMP 設定］ウィンドウ（シャーシノード選択時） 283
1.16.2 ［SMP 設定］ウィンドウ（パーティション選択時） 284
1.16.3 ［SMP 設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧 286
1.17 ［通知アラート］ウィンドウ 288
1.17.1 ［通知アラート］ウィンドウのメニューコマンド一覧 289
1.18 ［マネージャアラートログ］ウィンドウ 291
1.18.1 ［マネージャアラートログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧 292
1.19 ［HVM 構成管理］ウィンドウ 293
1.19.1 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目 294
1.19.2 ［HVM 構成管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧 310
1.19.3 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移 312
1.19.4 ［HVM 設定］ダイアログボックス 315
1.19.5 ［PCI Device Scheduling Mode 設定］ダイアログボックス 318
1.19.6 ［LPAR 作成ウィザード］（開始画面） 321
1.19.7 ［LPAR 作成ウィザード］（操作対象画面） 322

1.19.8 ［LPAR 作成ウィザード］（Logical Partition Configuration 画面） 324
1.19.9 ［LPAR 作成ウィザード］（Processor Configuration 画面） 326
1.19.10 ［LPAR 作成ウィザード］（PCI Device Assignment 画面） 330
1.19.11 ［LPAR 作成ウィザード］（Shared FC Assignment 画面） 333
1.19.12 ［LPAR 作成ウィザード］（VNIC Assignment 画面） 336
1.19.13 ［LPAR 作成ウィザード］（最終確認画面） 340
1.19.14 ［クローニング］ダイアログボックス 343
1.19.15 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［操作対象］タブ） 345
1.19.16 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［Logical Partition Configuration］タブ） 347
1.19.17 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［Processor Configuration］タブ） 349
1.19.18 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［PCI Device Assignment］タブ） 353
1.19.19 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［Shared FC Assignment］タブ） 356
1.19.20 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［VNIC Assignment］タブ） 359
1.19.21 ［HVM 構成のバックアップ・リストア］ダイアログボックス 363
1.19.22 ［USB 割り当て設定］ダイアログボックス 366
1.20 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウ 368
1.20.1 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウのメニューコマンド一覧 369
1.20.2 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの遷移 370
1.20.3 ［SVP のプロパティ］ダイアログボックス 371
1.20.4 ［スケジュール管理］ダイアログボックス（［電源制御］タブ） 371
1.21 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウ 372
1.21.1 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧 373
1.21.2 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの遷移 374
1.21.3 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ） 374
1.21.4 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ） 374
1.21.5 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［各アラートの属性］タブ） 375
1.21.6 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［使用率超過通知］タブ） 375
1.21.7 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ） 375
1.22 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウ 376
1.22.1 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウのメニューコマンド一覧 377
1.23 ［ユーザ定義］ウィンドウ 378
1.23.1 ［ユーザ定義］ウィンドウのメニューコマンド一覧 379
1.23.2 ［ユーザ定義］ウィンドウの遷移 380
1.23.3 ［（グループ名）のプロパティ］ダイアログボックス 381
1.24 ［環境設定ユティリティ］画面 382

1.24.1 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移 383
1.24.2 ［環境設定ユティリティ］（［コンソールサービス］タブ） 388
1.24.3 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス 390
1.24.4 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ネットワーク（共通）］タブ）） 392
1.24.5 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ）） 393
1.24.6 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［表示］タブ）） 395
1.24.7 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ポップアップ通知］タブ）） 396
1.24.8 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［アラート］タブ）） 398
1.24.9 ［環境設定ユティリティ］（［マネージャサービス］タブ） 399
1.24.10 ［パスワード設定］ダイアログボックス 401
1.24.11 ［パスワード変更］ダイアログボックス 402
1.24.12 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［ネットワーク（共通）］タブ）） 403
1.24.13 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ）） 404
1.24.14 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［JP1/IM 連携機能］タブ）） 405
1.24.15 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［アラートアクションサービス］タブ）） 407
1.24.16 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス 408
1.24.17 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［保存設定］タブ）） 410
1.24.18 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［クラスタ設定］タブ）） 411
1.24.19 ［環境設定ユティリティ］（［エージェントサービス］タブ） 412
1.24.20 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス 414
1.24.21 ［サイト情報］ダイアログボックス 415
1.24.22 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［管理 / 運用］タブ）） 416
1.24.23 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［連絡先 / 設置］タブ）） 418
1.24.24 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［その他］タブ）） 419
1.24.25 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［ネットワーク（共通）］タブ）） 420
1.24.26 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ）） 421
1.24.27 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［システム設定］タブ）） 423
1.24.28 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［アラート］タブ）） 424
1.24.29 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［JP1/AppManager 連携］タブ）） 426
1.24.30 ［環境設定ユティリティ］（［ローカルコンソール］タブ） 427
1.24.31 ［パスワード設定］ダイアログボックス 429

1.24.32 ［パスワード変更］ダイアログボックス 430
1.24.33 ［環境設定ユティリティ］（ローカルコンソール（［表示］タブ）） 431
1.24.34 ［環境設定ユティリティ］（ローカルコンソール（［JP1/IM 連携機能］タブ）） 432
1.24.35 ［環境設定ユティリティ］（ローカルコンソール（［アラートアクションサービス］タブ）） 434
1.24.36 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス 435
1.24.37 ［環境設定ユティリティ］（［Web コンソールサービス］タブ） 436
1.24.38 ［パスワード設定］ダイアログボックス 438
1.24.39 ［パスワード変更］ダイアログボックス 439
1.24.40 ［パスワード設定］ダイアログボックス 440
1.24.41 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ネットワーク（共通）］タブ）） 441
1.24.42 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ）） 442
1.24.43 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ログイン］タブ）） 444
1.24.44 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［機能別画面指定］タブ）） 445
1.24.45 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［表示］タブ）） 447
1.24.46 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ファイル］タブ）） 448
1.24.47 ［環境設定ユティリティ］（［アラートアクションサービス］タブ） 449
1.25 ［BMC 環境設定ユティリティ］画面 451
1.26 ［SVP セットアップ］画面 455
1.26.1 ［SVP セットアップ］画面の遷移 457
1.26.2 ［障害監視 詳細設定］ダイアログボックス 458

2 コマンド 465
コマンドの記述形式 466
コマンド一覧 467
環境設定メニュー入力時の注意事項 468
hsysmgr - エージェントサービスの起動／停止（Linux サーバ） 470
smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ） 472
smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（HP-UX サーバ） 487
smhautoboot - エージェントサービスの起動／停止（HP-UX サーバ） 490
smhedit - エージェントサービス環境設定コマンド（Linux サーバ） 492
smhedit - エージェントサービス環境設定コマンド（HP-UX サーバ） 500

索引 509

図目次

図 1-1　画面の遷移（その 1）　3
図 1-2　画面の遷移（その 2）　4
図 1-3　画面の遷移（その 3）　5
図 1-4　［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面　9
図 1-5　［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面　10
図 1-6　［ホスト管理］ウィンドウ　11
図 1-7　［ホスト管理］ウィンドウ（サイト表示）　12
図 1-8　［ホスト管理］ウィンドウ（ドメイン表示）　12
図 1-9　［ホスト管理］ウィンドウ（サービス構成表示）　12
図 1-10　［ホスト管理］ウィンドウ（サーバシャーシ構成表示）　13
図 1-11　［ホスト管理］ウィンドウ（ツリー構成表示）　13
図 1-12　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（ファイルメニュー）　22
図 1-13　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（ホスト管理メニュー）　23
図 1-14　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（BSM Plus 管理メニュー）　24
図 1-15　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（アラート管理メニュー）　24
図 1-16　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（HVM 管理メニュー）　24
図 1-17　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（ホスト操作メニュー）　25
図 1-18　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（グループメニュー）　25
図 1-19　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（接続管理メニュー）　26
図 1-20　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 1）　27
図 1-21　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 2）　28
図 1-22　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 3）　29
図 1-23　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（外部プログラムメニュー）　29
図 1-24　［ホスト管理］ウィンドウの遷移（表示メニュー）　30
図 1-25　［インベントリ］ウィンドウ　131
図 1-26　［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウ　158
図 1-27　［BIOS ポストログ］ウィンドウ　176
図 1-28　［SVP ログ］ウィンドウ　178
図 1-29　［MIF 情報］ウィンドウ　180
図 1-30　［MIF 情報］ウィンドウ（サーバ選択時）　181
図 1-31　［MIF 情報］ウィンドウ（コンポーネント選択時）　182
図 1-32　［MIF 情報］ウィンドウ（グループ選択時）　183
図 1-33　［MIF 情報］ウィンドウ（Row 選択時）　184

図 1-34 ［MIF 情報］ウィンドウ（Template 選択時） 186
図 1-35 ［MIF 情報］ウィンドウの遷移 188
図 1-36 ［クラスタ管理］ウィンドウ 198
図 1-37 ［サーバアラートログ］ウィンドウ 205
図 1-38 ［サーバアラートログ］ウィンドウの遷移 207
図 1-39 ［図面表示］ウィンドウ 209
図 1-40 ［ホスト検索結果］ウィンドウ 211
図 1-41 ［ホスト検索結果］ウィンドウの遷移 214
図 1-42 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ 216
図 1-43 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［N+1 コールドスタンバイ］ノード選択時） 218
図 1-44 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（N+1 グループノード選択時） 219
図 1-45 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（ホストノード選択時） 223
図 1-46 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［予備プール］ノード選択時） 226
図 1-47 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの遷移 231
図 1-48 ［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウ 245
図 1-49 ［ラックマネージャ］ウィンドウ 248
図 1-50 ［ラックマネージャ］ウィンドウの遷移 265
図 1-51 ［SMP 設定］ウィンドウ 282
図 1-52 ［SMP 設定］ウィンドウ（シャーシノード選択時） 283
図 1-53 ［SMP 設定］ウィンドウ（パーティション選択時） 284
図 1-54 ［通知アラート］ウィンドウ 288
図 1-55 ［マネージャアラートログ］ウィンドウ 291
図 1-56 ［HVM 構成管理］ウィンドウ 293
図 1-57 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（シャーシノード選択時） 295
図 1-58 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：LPAR 構成情報） 298
図 1-59 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：Processor 情報） 300
図 1-60 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：PCI Device 情報） 301
図 1-61 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：FC 情報） 303
図 1-62 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：仮想 NIC 情報） 305
図 1-63 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（LPAR ノード選択時） 307
図 1-64 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移（表示メニュー） 312
図 1-65 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 1） 313
図 1-66 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 2） 314
図 1-67 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウ 368
図 1-68 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの遷移 370

図 1-69 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウ 372
図 1-70 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの遷移 374
図 1-71 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウ 376
図 1-72 ［ユーザ定義］ウィンドウ 378
図 1-73 ［ユーザ定義］ウィンドウの遷移 380
図 1-74 ［環境設定ユティリティ］画面 382
図 1-75 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［コンソールサービス］タブ） 383
図 1-76 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［マネージャサービス］タブ） 384
図 1-77 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［エージェントサービス］タブ） 385
図 1-78 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［ローカルコンソール］タブ） 386
図 1-79 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［Web コンソールサービス］タブ） 387
図 1-80 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（アラートアクションサービス） 387
図 1-81 ［BMC 環境設定ユティリティ］画面 451
図 1-82 ［SVP セットアップ］画面 455
図 1-83 ［SVP セットアップ］画面の遷移 457

表目次

表 1-1　JP1/ServerConductor で表示される画面一覧　5
表 1-2　検索条件（Windows 項目の場合）　44
表 1-3　検索条件（Linux 項目の場合）　46
表 1-4　検索条件（HP-UX 項目の場合）　48
表 1-5　ツールチップに表示されるメッセージと対処方法（[リモートコンソール] ダイアログボックス）　59
表 1-6　ツールチップに表示されるメッセージと対処方法（[ランプ制御] ダイアログボックス）　61
表 1-7　「制御不可理由」欄に表示されるメッセージと対処方法　63
表 1-8　HP-UX サーバが取得できる保守情報　67
表 1-9　ネットワークスイッチ連携機能で出力されるメッセージ　119
表 1-10　ツールチップに表示されるメッセージと対処方法（[予備登録・変更] ダイアログボックス）　236
表 1-11　ラックマネージャで表示されるアイコン　249
表 1-12　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ブレードサーバ部：サーバシャーシ）　252
表 1-13　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ブレードサーバ部：サーバモジュール）　254
表 1-14　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ストレージ部）　256
表 1-15　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ネットワーク部）　257
表 1-16　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（サーバ部）　258
表 1-17　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ファイバチャネルスイッチ部）　258
表 1-18　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ロードバランシングサーバ部）　258
表 1-19　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（無停電電源装置部）　259
表 1-20　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（周辺機器部）　259
表 1-21　シャーシノード選択時の表示項目　283
表 1-22　パーティション選択時の表示項目　284
表 1-23　パーティション情報ステータスの表示内容と対応する状態　285
表 1-24　[HVM 構成管理] ウィンドウの表示項目（シャーシノード選択時）　295
表 1-25　[HVM 構成管理] ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：LPAR 構成情報）　298
表 1-26　[HVM 構成管理] ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：Processor 情報）　300
表 1-27　[HVM 構成管理] ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：PCI Device 情報）　302
表 1-28　[HVM 構成管理] ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：FC 情報）　303
表 1-29　[HVM 構成管理] ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：仮想 NIC 情報）　305

表 1-30 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（LPAR ノード選択時） 307
表 2-1 コマンドの書式で使用する記号 466
表 2-2 JP1/ServerConductor で使用できるコマンドの一覧 467
表 2-3 環境設定メニューの入力規則 468
表 2-4 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：メインメニューの選択項目（BladeSymphony の場合） 474
表 2-5 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：メインメニューの選択項目（HA8000 の場合） 475
表 2-6 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：Advanced Agent 設定メニューの選択項目 476
表 2-7 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：障害監視設定メニューの選択項目 476
表 2-8 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：SVP マイクロプログラム設定メニューの選択項目 480
表 2-9 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：SVP 設定メニューの選択項目 481
表 2-10 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：Error Watching Detail Setting サブメニューの選択項目 483
表 2-11 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：SNMP 設定メニューの選択項目 485
表 2-12 Advanced Agent 環境設定（HP-UX サーバ）：メインメニューの選択項目 488
表 2-13 Advanced Agent 環境設定（HP-UX サーバ）：Advanced Agent 設定メニューの選択項目 489
表 2-14 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：メインメニューの選択項目 493
表 2-15 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント設定メニューの選択項目 494
表 2-16 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント設定メニューの設定項目 494
表 2-17 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント環境設定メニューの選択項目 496
表 2-18 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント環境設定メニューの設定項目 497
表 2-19 コマンドライン文字列に使用できるマクロ 498
表 2-20 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：メインメニューの選択項目 501
表 2-21 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント設定メニューの選択項目 502
表 2-22 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント設定メニューの設定項目 503
表 2-23 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント環境設定メニューの選択項目 505
表 2-24 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント環境設定メニューの設定項目 505

1 画面

この章では，JP1/ServerConductor の各画面とその表示項目について説明します。

1.1 **画面概要**

1.2 **［**ServerConductor **コンソールサービス - ログイン］画面**

1.3 **［ホスト管理］ウィンドウ**

1.4 **［インベントリ］ウィンドウ**

1.5 **［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウ**

1.6 **［**BIOS **ポストログ］ウィンドウ**

1.7 **［**SVP **ログ］ウィンドウ**

1.8 **［**MIF **情報］ウィンドウ**

1.9 **［クラスタ管理］ウィンドウ**

1.10 **［サーバアラートログ］ウィンドウ**

1.11 **［図面表示］ウィンドウ**

1.12 **［ホスト検索結果］ウィンドウ**

1.13 **［**N+1 **コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ**

1.14 **［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウ**

1.15 **［ラックマネージャ］ウィンドウ**

1.16 **［**SMP **設定］ウィンドウ**

1.17 **［通知アラート］ウィンドウ**

1.18 ［マネージャアラートログ］ウィンドウ
1.19 ［HVM 構成管理］ウィンドウ
1.20 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウ
1.21 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウ
1.22 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウ
1.23 ［ユーザ定義］ウィンドウ
1.24 ［環境設定ユティリティ］画面
1.25 ［BMC 環境設定ユティリティ］画面
1.26 ［SVP セットアップ］画面

1.1 画面概要

ここでは，JP1/ServerConductor の画面の一覧と，設定画面で表示される各画面共通のボタンについて説明します。

1.1.1 画面一覧

JP1/ServerConductor で表示される画面の遷移を次の図に示します。

図 1-1 画面の遷移（その 1）

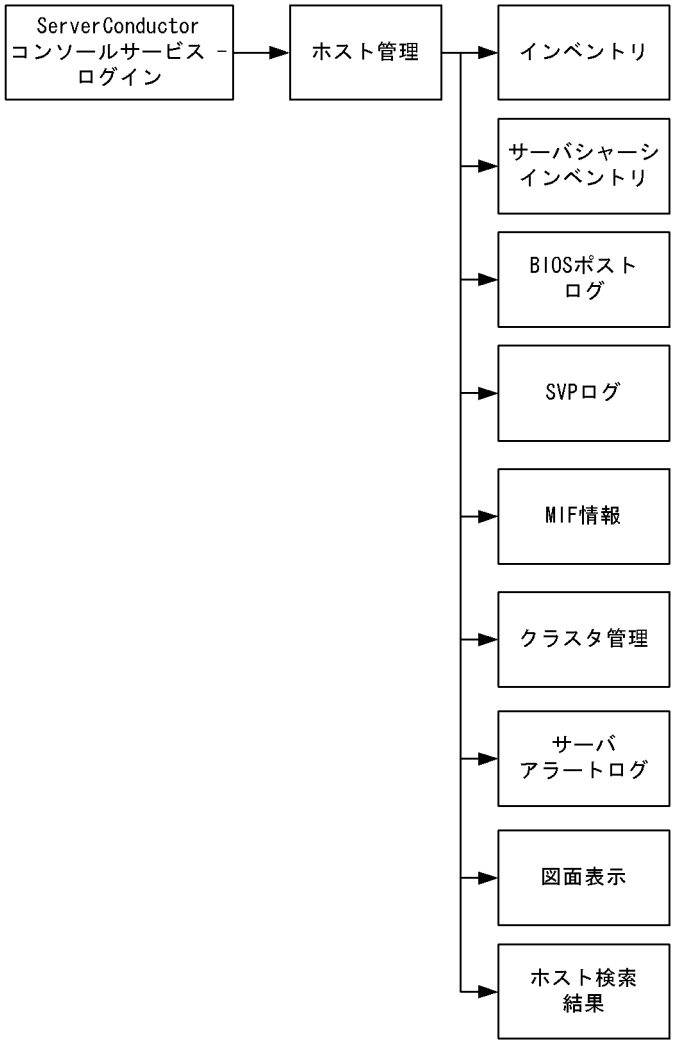
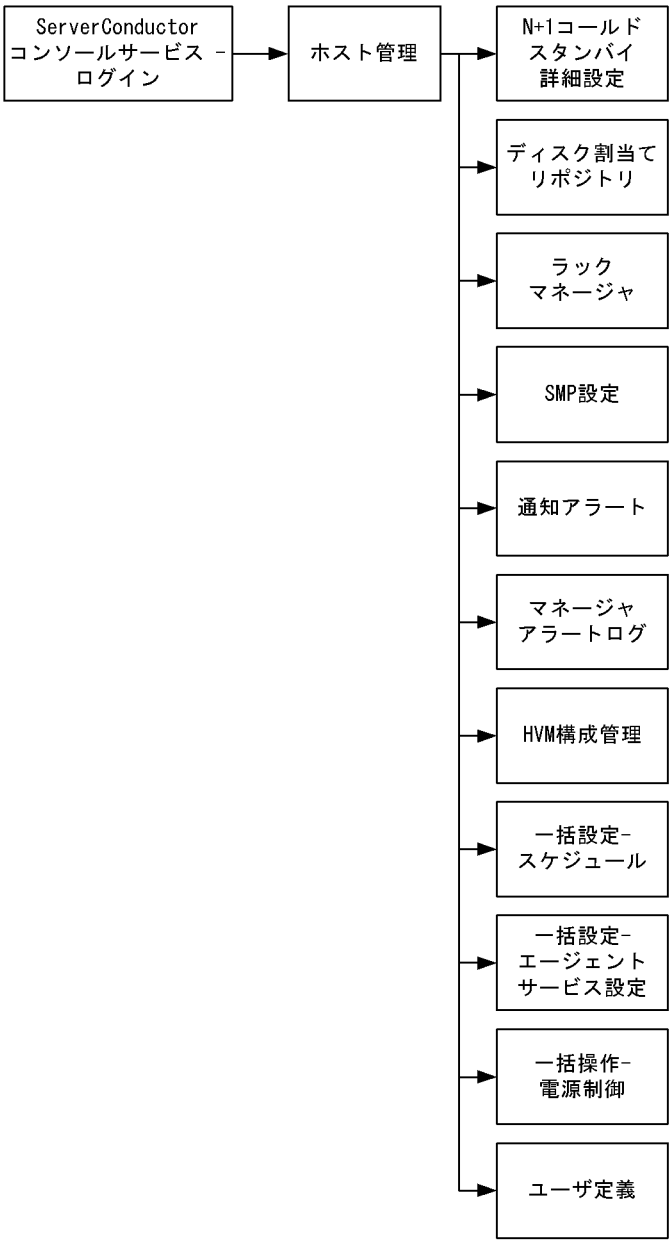


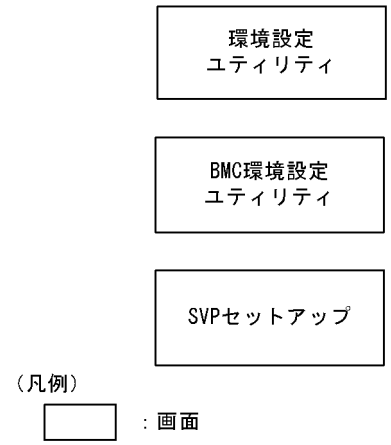
図 1-2　画面の遷移（その 2）



（凡例）

：画面

図 1-3 画面の遷移（その 3）



JP1/ServerConductor で表示される画面の一覧を次の表に示します。

表 1-1 JP1/ServerConductor で表示される画面一覧

画面名	説明
［ServerConductor コンソールサービス - ログイン］画面	JP1/ServerConductor のマネージャサービスにログインする画面です。
［ホスト管理］ウィンドウ	管理対象ホストまたはサーバシャーシを一覧で表示する JP1/ServerConductor のメインウィンドウです。
［インベントリ］ウィンドウ	管理対象ホストの資産情報を表示するウィンドウです。
［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウ	サーバシャーシの資産情報を表示するウィンドウです。
［BIOS ポストログ］ウィンドウ	システム起動時に BIOS が検出したエラーを表示するウィンドウです。
［SVP ログ］ウィンドウ	電源制御で使用する SVP 機能が管理している SVP ログを表示するウィンドウです。
［MIF 情報］ウィンドウ	サーバが持っている MIF 情報を表示するウィンドウです。
［クラスタ管理］ウィンドウ	管理対象サーバのクラスタ情報を表示するウィンドウです。
［サーバアラートログ］ウィンドウ	管理対象サーバで発生したすべてのアラートのログ（サーバアラートログ）を表示するウィンドウです。
［図面表示］ウィンドウ	管理対象ホストのハードウェア構成図を表示するウィンドウです。
［ホスト検索結果］ウィンドウ	管理対象ホストのインベントリ情報を収集したデータベースから，条件に合うホストを検索した結果を表示するウィンドウです。
［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ	N+1 コールドスタンバイ機能を設定または変更するウィンドウです。
［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウ	BSM Plus が管理する WWN の情報およびサーバモジュールに割り当てたディスクの情報を表示するウィンドウです。

画面名	説明
［ラックマネージャ］ウィンドウ	ラックおよびラックを構成する各機器を管理するウィンドウです。
［SMP 設定］ウィンドウ	SMP 構成管理機能を使用して SMP サーバを管理するウィンドウです。
［通知アラート］ウィンドウ	管理対象のホストやサーバシャーシからの通知アラートを表示するウィンドウです。
［マネージャアラートログ］ウィンドウ	管理サーバで発生したすべてのアラートのログ（マネージャアラートログ）を表示するウィンドウです。
［HVM 構成管理］ウィンドウ	HVM 構成管理機能を使用して HVM および LPAR を管理するウィンドウです。
［一括設定 - スケジュール］ウィンドウ	グループ内のサーバに対して，電源制御スケジュールを一括で設定するウィンドウです。
［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウ	グループ内のサーバに対して，エージェントサービスの設定項目を一括で設定するウィンドウです。
［一括操作 - 電源制御］ウィンドウ	グループ内のホストおよびサーバシャーシに対して，電源 ON・OFF などを一括で操作するウィンドウです。
［ユーザ定義］ウィンドウ	ユーザ定義情報を設定するウィンドウです。
［環境設定ユティリティ］画面	Windows 上で稼働する JP1/ServerConductor の各サービスの環境を設定または変更する画面です。
［BMC 環境設定ユティリティ］画面	管理対象が BladeSymphony の場合の BMC 機能を設定または変更する画面です。
［SVP セットアップ］画面	管理対象が HA8000 シリーズの場合の SVP を設定する画面です。

1.1.2 共通ボタン

JP1/ServerConductor の各設定画面で表示される共通のボタンを次に示します。

［OK］ボタン

設定を有効にする場合に選択します。

［キャンセル］ボタン

設定を無効にして画面を閉じる場合に選択します。

［適用］ボタン

設定を有効にする場合に選択します。［適用］ボタンは，次の場合に活性化されます。

- 画面に活性の条件が書いてある場合，その条件を満たしたとき
- ［環境設定ユティリティ］画面の場合，設定が変更されたとき

なお，［環境設定ユティリティ］画面で［適用］ボタンをクリックすると，サービスが再起動します。

［ヘルプ］ボタン
　画面の設定方法が表示されます。

［閉じる］ボタン
　画面を閉じる場合に選択します。

1.2 ［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面

［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面は，JP1/ServerConductor のマネージャサービスにログインする画面です。コンソールサービスを起動し，管理コンソールからマネージャサービスにログインするときに，最初に表示されます。

［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面を表示する手順を次に示します。

操作手順

BSM **のコンソールサービスの場合**

1. **［スタート］メニューから［プログラム］－［**ServerConductor**］－［**Blade Server Manager**］－［コンソールサービス］を選択する**

Server Manager **のコンソールサービスの場合**

1. **［スタート］メニューから［プログラム］－［**ServerConductor**］－［**Server Manager**］－［コンソールサービス］を選択する**

ローカルコンソールサービスの場合

1. **［スタート］メニューから［プログラム］－［**ServerConductor**］－［**Server Manager**］－［ローカルコンソールサービス］を選択する**

［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面を次の図に示します。

BSM または Server Manager のコンソールサービスの場合

図 1-4 ［ServerConductor コンソールサービス - ログイン］画面



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
接続先マネージャサービス	ログイン先のマネージャサービスを選択します。複数のマネージャサービスを選択することもできます。
ユーザ種別	ログインするユーザの種別を選択します。 アドミニストレータ 　アドミニストレータでログインする場合，このラジオボタンを ON にします。 サブアドミニストレータ 　サブアドミニストレータでログインする場合，このラジオボタンを ON にします。
パスワード	選択したユーザ種別に対応するパスワードを入力します。

ローカルコンソールサービスの場合

図 1-5 ［ServerConductor コンソールサービス - ログイン］画面



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
ユーザ種別	ログインするユーザの種別を選択します。 アドミニストレータ 　アドミニストレータでログインする場合，このラジオボタンを ON にします。 サブアドミニストレータ 　サブアドミニストレータでログインする場合，このラジオボタンを ON にします。
パスワード	選択したユーザ種別に対応するパスワードを入力します。

1.3 ［ホスト管理］ウィンドウ

［ホスト管理］ウィンドウは，管理対象ホストまたはサーバシャーシを一覧で表示するJP1/ServerConductor のメインウィンドウです。このメインウィンドウから，管理対象ホストの管理に関するさまざまな操作画面に移行します。

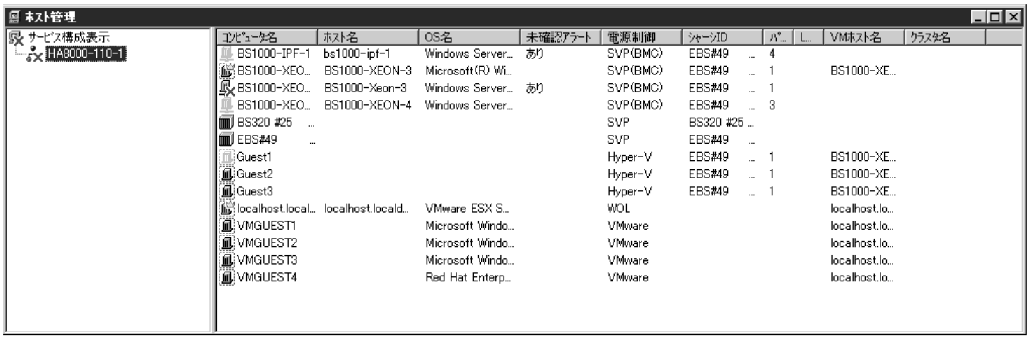
［ホスト管理］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動する**

［ホスト管理］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-6 **［ホスト管理］ウィンドウ**



（左ペイン）　　（右ペイン）

［ホスト管理］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，階層別のツリーが表示されます。［ホスト管理］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択した階層のホスト管理情報が表示されます。表示項目については，「1.3.2 ［ホスト管理］ウィンドウの表示アイコン」および「1.3.3 ［ホスト管理］ウィンドウの表示項目」を参照してください。

1.3.1 ［ホスト管理］ウィンドウの階層表示

［ホスト管理］ウィンドウは，表示方法を 5 種類の中から選択できます。

●サイト別

エージェントサービスの資産情報に設定したサイト情報の階層別にホストが表示されます。

［ホスト管理］ウィンドウ（サイト表示）を次の図に示します。

図 1-7 ［ホスト管理］ウィンドウ（サイト表示）

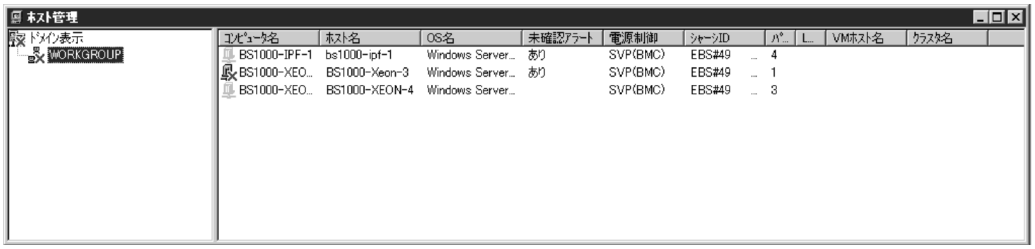


●ドメイン別

Windows のドメイン情報の階層別にホストが表示されます。

［ホスト管理］ウィンドウ（ドメイン表示）を次の図に示します。

図 1-8 ［ホスト管理］ウィンドウ（ドメイン表示）

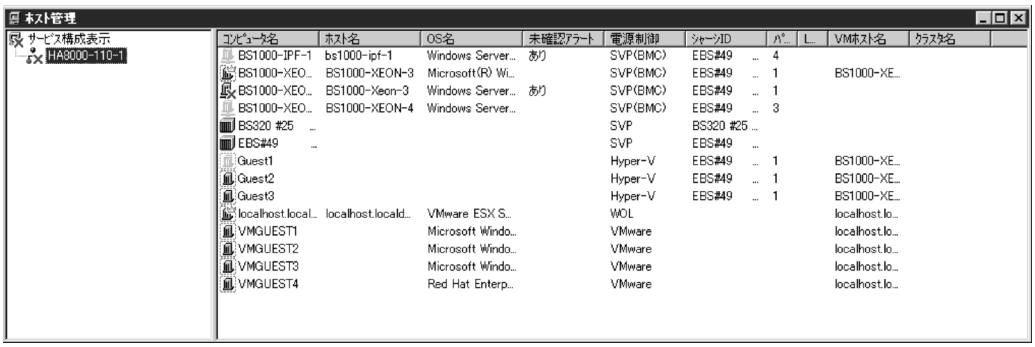


●サービス構成別

マネージャサービスに接続しているホストがマネージャサービス別に表示されます。

［ホスト管理］ウィンドウ（サービス構成表示）を次の図に示します。

図 1-9 ［ホスト管理］ウィンドウ（サービス構成表示）

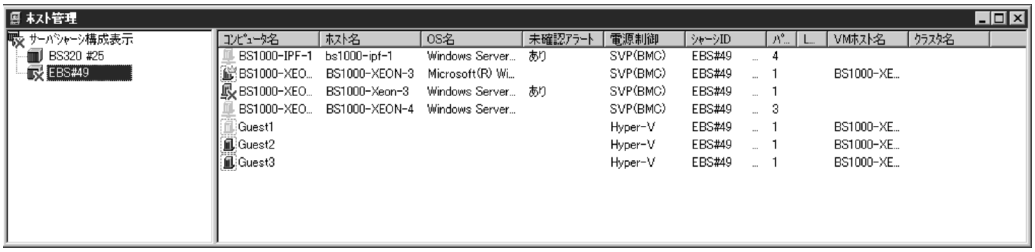


●サーバシャーシ別

マネージャサービスに接続しているホストのうち，BladeSymphony のサーバシャーシに属しているサーバおよび HVM が表示されます。

［ホスト管理］ウィンドウ（サーバシャーシ構成表示）を次の図に示します。

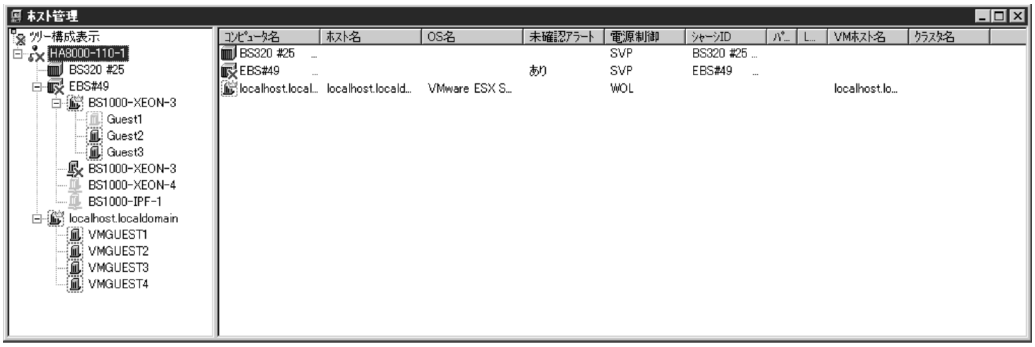
図 1-10 ［ホスト管理］ウィンドウ（サーバシャーシ構成表示）



●ツリー構成

マネージャサービスに接続しているホストがツリー構造で表示されます。
［ホスト管理］ウィンドウ（ツリー構成表示）を次の図に示します。

図 1-11 ［ホスト管理］ウィンドウ（ツリー構成表示）



注意

ツリー構成の表示機能は，BSM だけの機能です。Server Manager では表示できません。

1.3.2 ［ホスト管理］ウィンドウの表示アイコン

［ホスト管理］ウィンドウには，ホストの状態がアイコンで表示されます。アイコンとホストの状態を次の表に示します。

アイコン	ホスト	ホストの状態
	VM ホスト	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
		起動していないことを示します。

アイコン	ホスト	ホストの状態
	VM ゲスト	正常であることを示します。
		起動していないことを示します。
	サーバシャーシ	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
		起動していないことを示します。
	HVM	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
		起動していないことを示します。
	サーバ（LPAR 上で稼働しているサーバを含む）	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
		起動していないことを示します。
	マネージャサービス	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
		起動していないことを示します。
	サイト※	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
	ドメイン※	正常であることを示します。
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。
	ツリー	正常であることを示します。

アイコン	ホスト	ホストの状態
		該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。

注※

サイトおよびドメインが未起動の場合，アイコンは表示されません。

1.3.3 ［ホスト管理］ウィンドウの表示項目

［ホスト管理］ウィンドウには，左ペインで選択したホストの管理情報が表示されます。表示項目を次の表に示します。

表示情報	意味
コンピュータ名	OS で設定したコンピュータ名が表示されます。 Linux サーバ，HP-UX サーバおよび VM ホストの場合，ホスト名が表示されます。 VM ゲストの場合，VM 名が表示されます。
ホスト名	ホスト名が表示されます。 VM ゲストの場合，表示用のツールを使用しているときにホスト名が表示されます。※1 ホスト以外の場合は，何も表示されません。
OS 名	ホストの OS 名が表示されます。 VM ホストの場合，ハイパーバイザー※2 が表示されます。 VM ゲストの場合，表示用のツールを使用しているときに OS 名が表示されます。※1
未確認アラート	未確認アラートがある場合は「あり」が表示されます。 VM ホストの場合，SVP ボードに未確認アラートがあるときだけ「あり」が表示されます。 VM ゲストの場合，何も表示されません。
電源制御	電源を制御する方法が表示されます。 表示される文字列は管理対象ホストまたはサーバシャーシによって異なります。 「SVP」 • BladeSymphony のサーバシャーシ 「SVP（BMC）」 • 次のすべての条件に該当する Windows サーバ，Linux サーバ，および HP-UX サーバ ・BladeSymphony 上で稼働している ・SVP/BMC エージェントサービスがインストールされている ・SVP/BMC エージェントサービスの設定で SVP 機能または BMC 機能が有効になっている※1 • HVM • サーバタイプが BladeSymphony の VM ホスト

表示情報	意味
	「SVP（PCI）」 • 次のすべての条件に該当する Windows サーバおよび Linux サーバ ・SVP 機能を搭載した HA8000 上で稼働している ・SVP/BMC エージェントサービスがインストールされている ・SVP/BMC エージェントサービスの設定で SVP 機能が有効になっている※3 • 次の二つの条件に該当する VM ホスト ・サーバタイプが HA8000 シリーズ ・SVP ボードの IP アドレスが指定されている 「HVM※4」 • 次のすべての条件に該当する LPAR 上で稼働している Windows サーバおよび Linux サーバ ・LPAR を管理している HVM が［ホスト管理］ウィンドウに登録されている ・LPAR を管理している HVM のアイコンが［ホスト管理］ウィンドウに活性状態で表示されている ・SVP/BMC エージェントサービスがインストールされている ・SVP/BMC エージェントサービスの設定で SVP 機能が有効になっている※3 「WOL」 • 次のどちらかの条件に該当しており，電源 ON 機能を備えた LAN アダプタを搭載している Windows サーバおよび Linux サーバ ・SVP/BMC エージェントサービスがインストールされていない ・SVP/BMC エージェントサービスの設定で SVP 機能が無効になっている※3 • 次のどれかの条件に該当する LPAR 上で稼働している Windows サーバおよび Linux サーバ ・LPAR を管理している HVM が［ホスト管理］ウィンドウに登録されていない ・LPAR を管理している HVM のアイコンが［ホスト管理］ウィンドウに非活性状態で表示されている ・SVP/BMC エージェントサービスがインストールされていない ・SVP/BMC エージェントサービスの設定で SVP 機能が無効になっている※3 • 次の二つの条件に該当する VM ホスト ・サーバタイプが HA8000 シリーズ ・SVP ボードの IP アドレスが指定されていない 「VMware」 • VMware の VM ゲスト 「Hyper-V」 • Hyper-V の VM ゲスト 電源制御できない HP-UX サーバの場合は何も表示されません。
シャーシ ID	BladeSymphony のサーバシャーシまたはサーバモジュールの場合， BladeSymphony のシャーシ ID が表示されます。 VM ホストの場合，サーバタイプが BladeSymphony のときにシャーシ ID が表示されます。 VM ゲストの場合，親となる VM ホストのシャーシ ID が表示されます。VM ホストのシャーシ ID がない場合，何も表示されません。

表示情報	意味
パーティション番号	BladeSymphony のサーバモジュールの場合，パーティション番号が表示されます。 VM ホストの場合，サーバタイプが BladeSymphony のときにパーティション番号が表示されます。 VM ゲストの場合，親となる VM ホストのパーティション番号が表示されます。VM ホストのパーティション番号がない場合，何も表示されません。
LPAR 識別子	サーバモジュールを論理パーティションに分割した論理パーティション番号が表示されます。 VM ホストおよび VM ゲストの場合，何も表示されません。
VM ホスト名	VM ホストの場合，ホスト名が表示されます。 VM ゲストの場合，親となる VM ホストのホスト名が表示されます。 VM ホストでも VM ゲストでもない場合は，何も表示されません。
クラスタ名	そのサーバが MSCS またはフェールオーバークラスタのクラスタに属している場合，クラスタ名が表示されます。 VM ホストおよび VM ゲストの場合，何も表示されません。

注※ 1

ホスト名および OS 名を表示するには，次のツールが必要です。

・VMware の場合：VMware Tools

・Hyper-V の場合：Integration Services

なお，VM ゲストに OS がインストールされていない場合は，ツールを使用しても何も表示されません。

注※ 2

物理的なハードウェアと OS の間にある仮想化機構をつかさどるソフトウエア・レイヤのことです。

注※ 3

SVP/BMC エージェントサービスでの SVP 機能または BMC 機能の設定は，Linux サーバおよび HP-UX サーバの場合だけで必要です。Advanced Agent 環境設定コマンドから，Advanced Agent 設定メニューで SVPAgentService または BMCConfiguration を設定します。各コマンドの使用方法については，「2. smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ）」および「2. smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（HP-UX サーバ）」を参照してください。

注※ 4

管理対象サーバに次のバージョンの Agent がインストールされている場合，「MLPF」と表示されます。

・Windows の場合：08-23 より前

・Linux の場合：08-24 以前

1.3.4 ［ホスト管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［ホスト管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
ファイル	再ログイン	－	［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面を表示します。ログインしているすべてのマネージャサービスからログアウトして再度ログインできます。
	追加ログイン	－	［ServerConductor　コンソールサービス - ログイン］画面を表示します。ログインしているマネージャサービスはそのままで，特定のマネージャサービスに追加ログインできます。
	インベントリ CSV 形式ファイル出力	－	インベントリ情報を CSV 形式に出力します。
	JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート	－	［JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート］ダイアログボックスを表示します。サーバシャーシが持つ物理パーティションの情報を CSV 形式のファイルでエクスポートします。
	印刷	－	［ホスト管理］ウィンドウの表示情報を印刷します。
	コンソールサービスの終了	－	コンソールサービスを終了します。
ホスト管理	インベントリ		［インベントリ］ウィンドウを表示します。選択したホストのインベントリ情報が表示されます。
	サーバシャーシインベントリ		［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウを表示します。選択したサーバシャーシのインベントリ情報が表示されます。
	BIOS ポストログ		［BIOS ポストログ］ウィンドウを表示します。選択した管理対象ホストの BIOS ポストログが表示されます。
	スケジュール		［スケジュール管理］ダイアログボックスを表示します。サーバやクラスタの電源スケジュールを設定できます。
	SVP ログ		［SVP ログ］ウィンドウを表示します。選択したサーバ，またはサーバシャーシの SVP ログが表示されます。
	MIF 情報		［MIF 情報］ウィンドウを表示します。選択したホストの MIF 情報が表示されます。
	クラスタ管理		［クラスタ管理］ウィンドウを表示します。選択した管理対象サーバのクラスタ情報が表示されます。
	アラートログ		［サーバアラートログ］ウィンドウを表示します。選択した管理対象サーバで発生したすべてのアラートのログ（サーバアラートログ）が表示されます。
	図面表示	－	［図面表示］ウィンドウを表示します。選択した管理対象ホストのハードウェア構成図が表示されます。
	ホスト検索	－	［ホスト検索］ダイアログボックスを表示します。データベースからホストを検索するインベントリ項目の条件を設定できます。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	レポートスケジュール	－	［レポートスケジュール設定］ダイアログボックスを表示します。選択したホストのレポートスケジュールを設定できます。
	DB を最新の状態に更新	－	データベースを最新の状態に更新します。
BSM Plus 管理	N+1 コールドスタンバイ詳細設定		［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを表示します。N+1 コールドスタンバイ機能を設定または変更できます。
	ディスク割当てリポジトリ		［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウを表示します。BSM Plus が管理する WWN の情報およびサーバモジュールに割り当てたディスクの情報が表示されます。
	ラックマネージャ		［ラックマネージャ］ウィンドウを表示します。ラックおよびラックを構成する各機器を管理できます。
	SMP 設定		［SMP 設定］ウィンドウを表示します。SMP 構成管理機能を使用して SMP サーバを管理できます。
アラート管理	通知アラート表示		［通知アラート］ウィンドウを表示します。管理対象のホストやサーバシャーシからの通知アラートが表示されます。
	マネージャアラートログ		［マネージャアラートログ］ウィンドウを表示します。管理サーバで発生したすべてのアラートのログ（マネージャアラートログ）が表示されます。
HVM 管理	HVM 構成管理		［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。HVM 構成管理機能を使用して HVM および LPAR を管理できます。
ホスト操作	接続		未起動の状態のホストに接続します。
	電源 ON		選択した，ホストやサーバシャーシの電源を ON にします。
	電源 OFF		選択したサーバの電源を OFF にします。
	強制電源 OFF	－	選択した，SVP 機能を搭載した Windows サーバ，Linux サーバ，HP-UX サーバ，およびサーバシャーシの電源を強制的に OFF にします。
	リブート		選択したサーバをリブートします。
	シャットダウン	－	HP-UX サーバの電源を OFF にします。
	リモートコントロール	－	JP1 Version 8 JP1/NETM/Remote Control を起動します。
	ファイル転送	－	［ファイル転送］ウィンドウの起動の方法を案内するメッセージを表示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	リモートコンソール	—	［リモートコンソール］ダイアログボックスを表示します。遠隔地にある管理対象サーバの画面を管理コンソールに表示して，直接操作できます。
	ランプ制御	—	［ランプ制御］ダイアログボックスを表示します。サーバモジュールのランプの点灯状態を管理コンソールに表示して，直接操作できます。
	情報取得	—	［情報取得］ダイアログボックスを表示します。保守情報を取得できます。
グループ	一括設定	—	スケジュール ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウを表示します。選択したホストのグループ内の電源スケジュールを設定できます。 エージェントサービス設定 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウを表示します。選択したホストのグループ内のエージェントサービスの設定項目を設定できます。
	一括操作	—	電源制御 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウを表示します。選択したホストのグループ内の電源制御を操作できます。
	ユーザ定義	—	［ユーザ定義］ウィンドウを表示します。ホストのグループの編集を操作できます。
接続管理	登録	—	［ホスト登録］ダイアログボックスを表示します。管理対象のホスト，または管理対象のサーバシャーシを登録できます。
	削除		マネージャで管理しているホストを管理対象から削除します。
	接続先マネージャサービスの確認	—	［接続先マネージャサービスの確認］ダイアログボックスを表示します。管理対象ホストの接続先マネージャサービスを確認できます。
設定	パスワード設定	—	［パスワード変更］ダイアログボックスを表示します。マネージャサービスにログインするときのパスワードを設定できます。
	コンソールサービス設定	—	コンソールサービス設定の各ダイアログボックスを表示します。コンソールサービスに関する情報を設定または参照できます。
	エージェントサービス設定	—	エージェントサービス設定の各ダイアログボックスを表示します。エージェントサービスに関する情報を設定または参照できます。
	マネージャサービス設定	—	マネージャサービス設定の各ダイアログボックスを表示します。マネージャサービスに関する情報を設定または参照できます。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	VM ホスト設定変更	－	ログイン情報の変更 ［ログイン情報の変更］ダイアログボックスを表示します。VM ホストへログインするときの設定を変更できます。 SVP ボードの IP アドレス変更 ［SVP ボードの IP アドレス変更］ダイアログボックスを表示します。SVP ボードの IP アドレスを変更または削除できます。
編集	コピー	－	ホストの情報をコピーします。
外部プログラム	外部プログラム	－	［外部プログラム起動］ダイアログボックスを表示します。外部プログラムの登録，および登録した外部プログラムを起動できます。
	HDvM		Device Manager を起動します。
	JP1/Cm2/NC		JP1/Cm2/NC を起動します。
	JP1/SC/DPM		DPM を起動します。
表示	サイト表示	－	［ホスト管理］ウィンドウをサイト別に表示します。
	ドメイン表示	－	［ホスト管理］ウィンドウをドメイン別に表示します。
	サービス構成表示	－	［ホスト管理］ウィンドウをサービス構成別に表示します。
	サーバシャーシ構成表示	－	［ホスト管理］ウィンドウをサーバシャーシ構成別に表示します。
	ツリー構成表示	－	［ホスト管理］ウィンドウをツリー構成で表示します。
	ツールバー	－	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	－	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	－	最新の情報に更新します。
	VM ホストの更新	－	［ホスト登録］ダイアログボックスで選択した VM ホストの情報（VM ホストおよび VM ゲスト情報）を更新します。
	すべての VM ホストの更新	－	［ホスト登録］ダイアログボックスに登録されているすべての VM ホストの情報（VM ホストおよび VM ゲスト情報）を更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	－	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	－	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	－	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	－	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	－	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

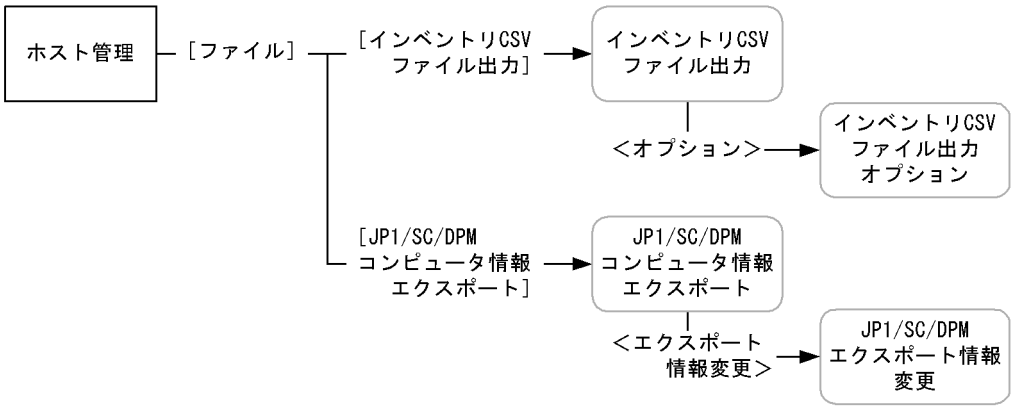
（凡例）

－：該当するボタンはありません。

1.3.5 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移

［ホスト管理］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-12 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（ファイルメニュー）



（凡例）

：ウィンドウ

［　　］：メニュー

：ダイアログボックス

＜　＞：ボタン

図 1-13 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（ホスト管理メニュー）

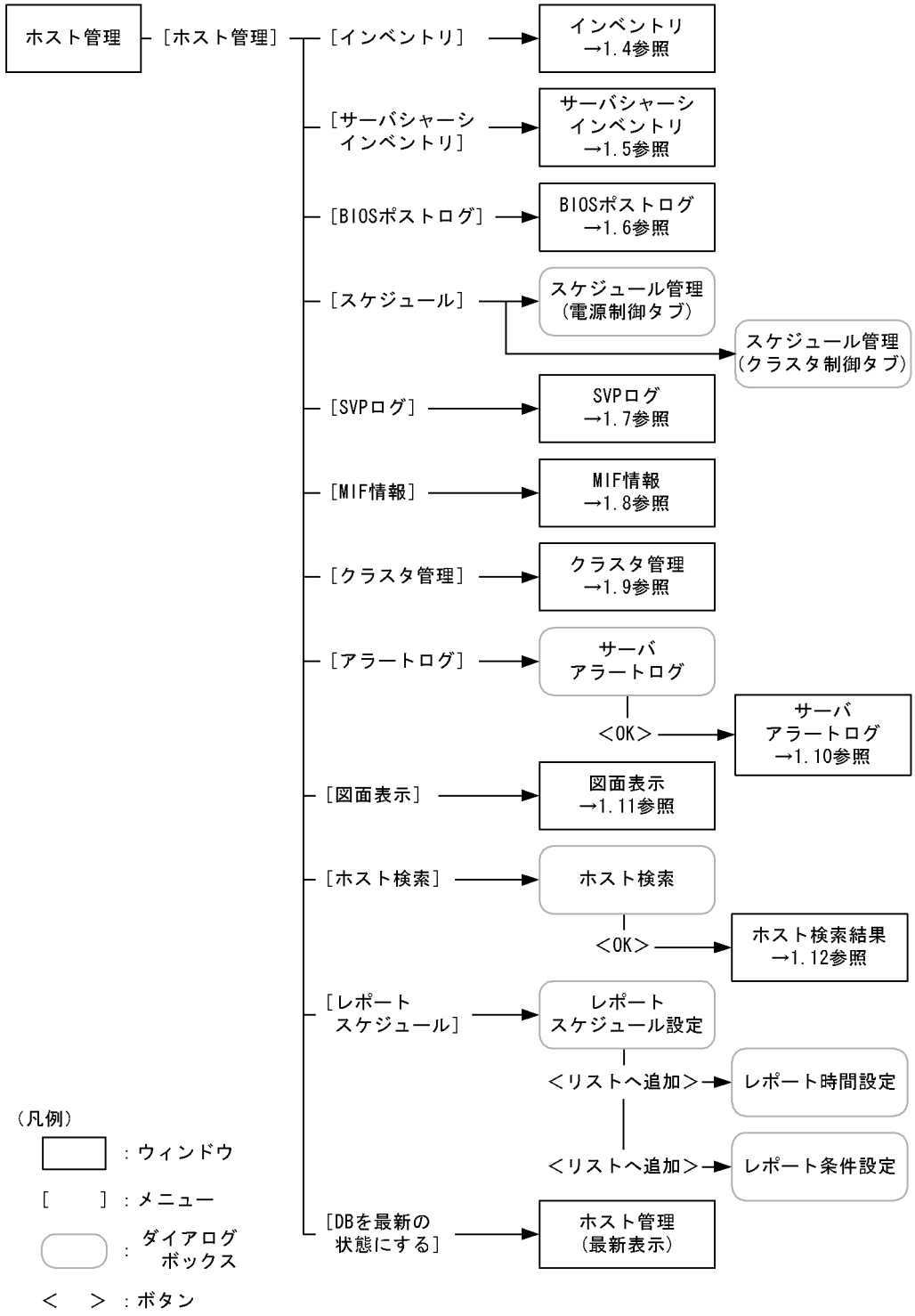


図 1-14 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（BSM Plus 管理メニュー）

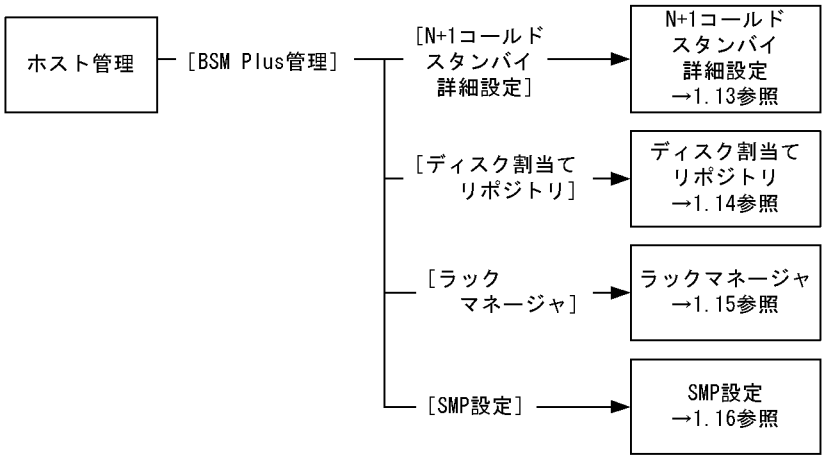


図 1-15 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（アラート管理メニュー）

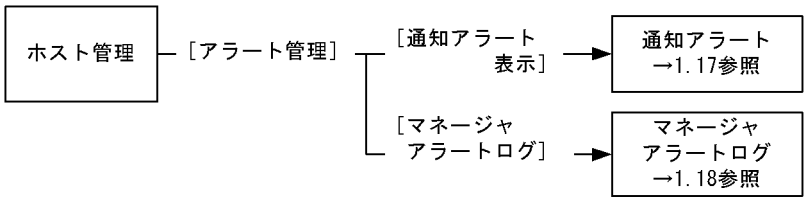


図 1-16 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（HVM 管理メニュー）

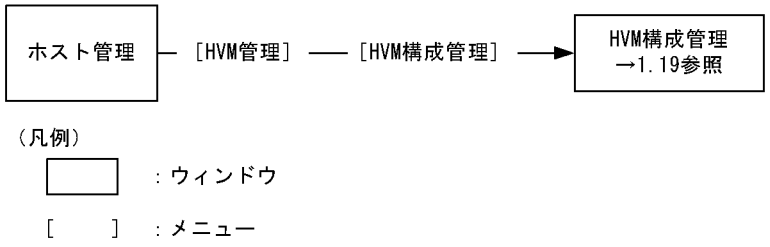
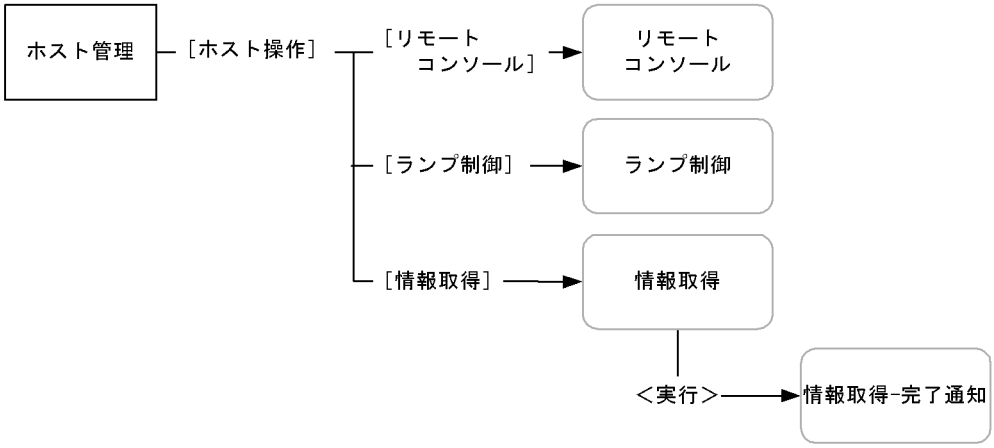


図 1-17 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（ホスト操作メニュー）



（凡例）

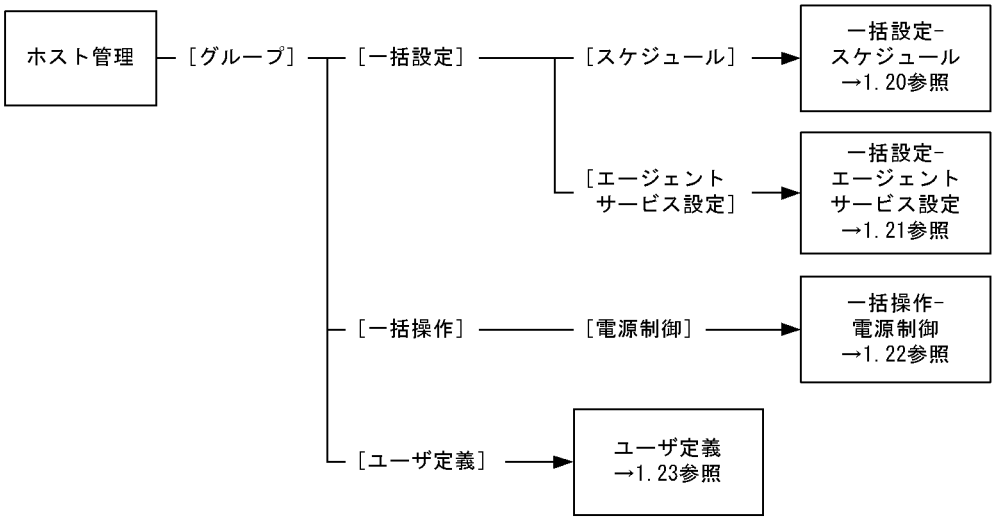
：ウィンドウ

［　　］：メニュー

：ダイアログボックス

＜　＞：ボタン

図 1-18 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（グループメニュー）



（凡例）

：ウィンドウ

［　　］：メニュー

図 1-19 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（接続管理メニュー）

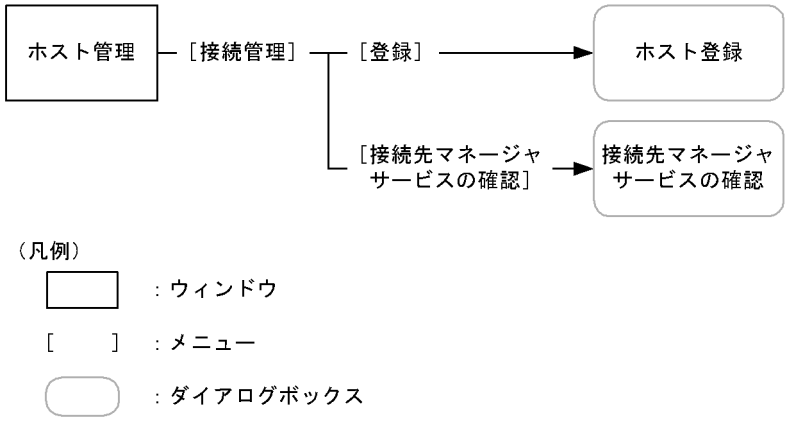


図 1-20 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 1）

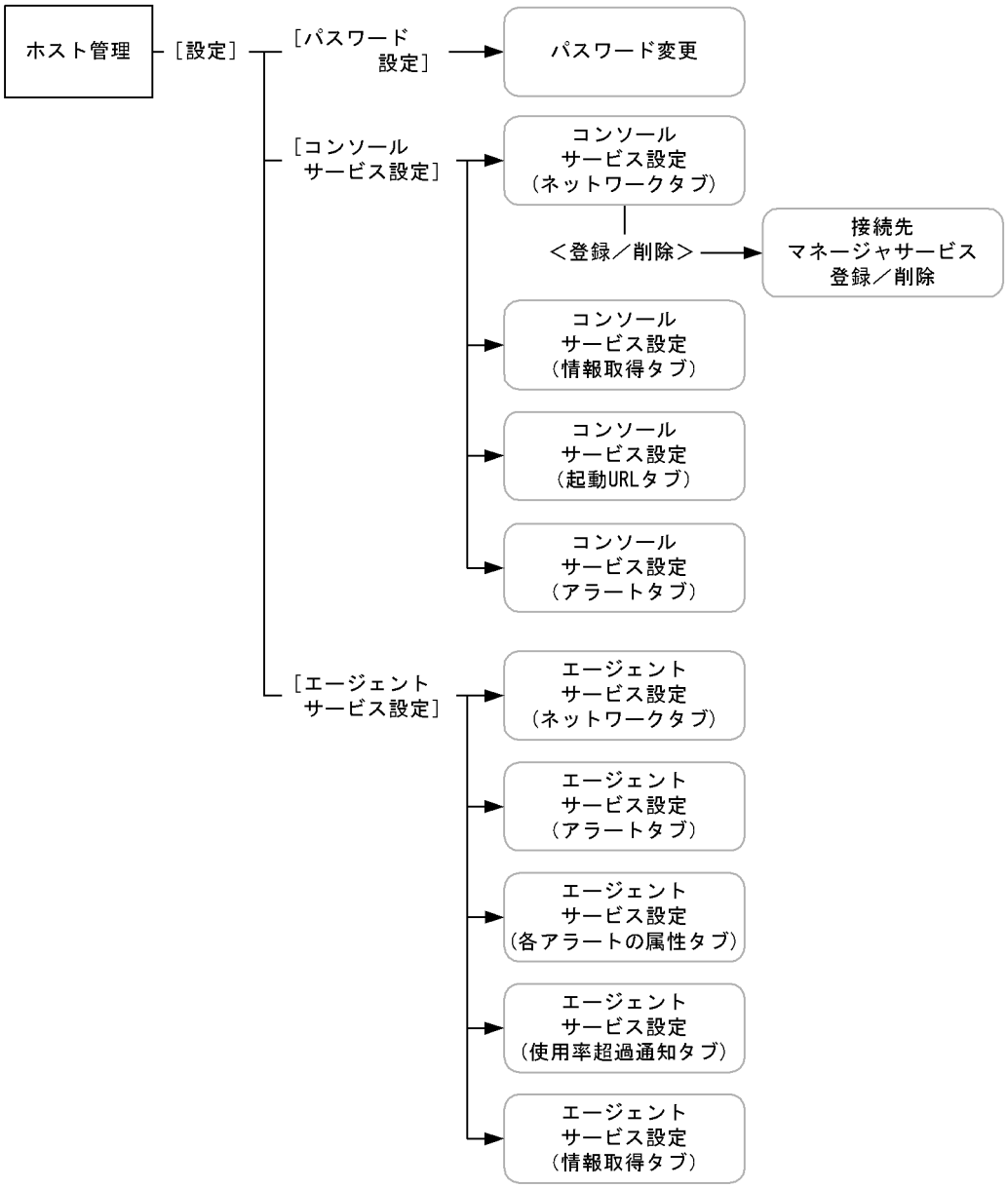


図 1-21 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 2）

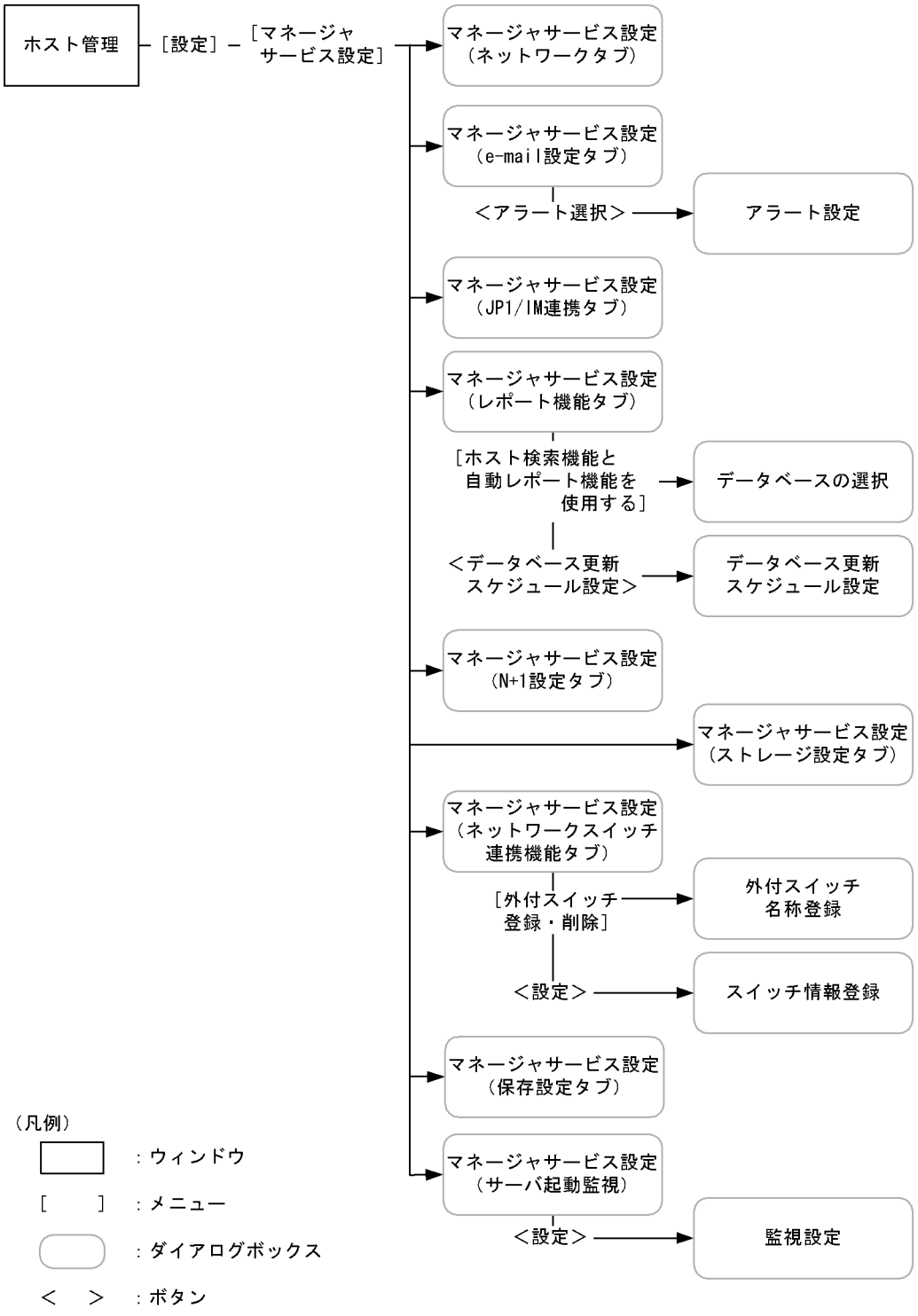


図 1-22 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 3）

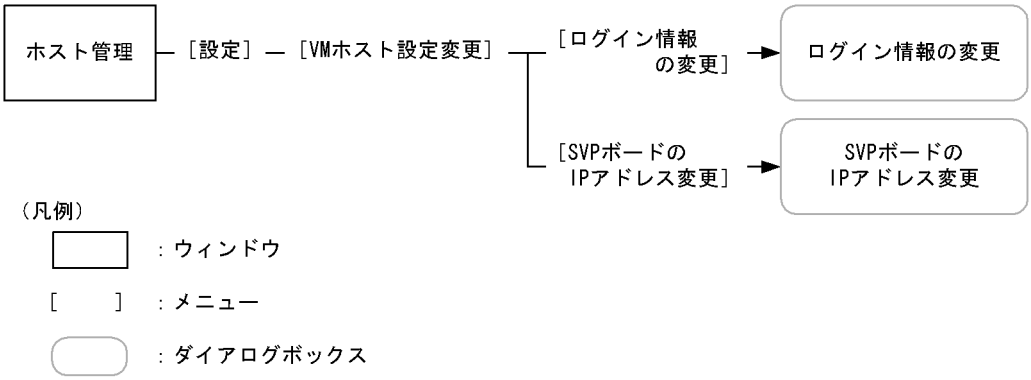


図 1-23 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（外部プログラムメニュー）

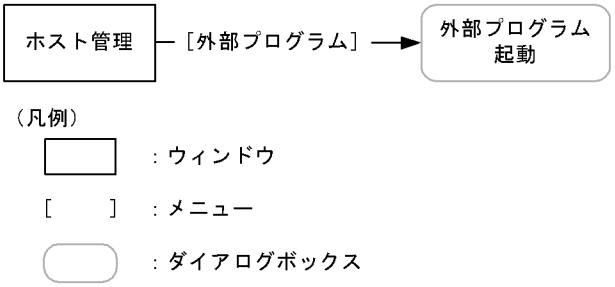
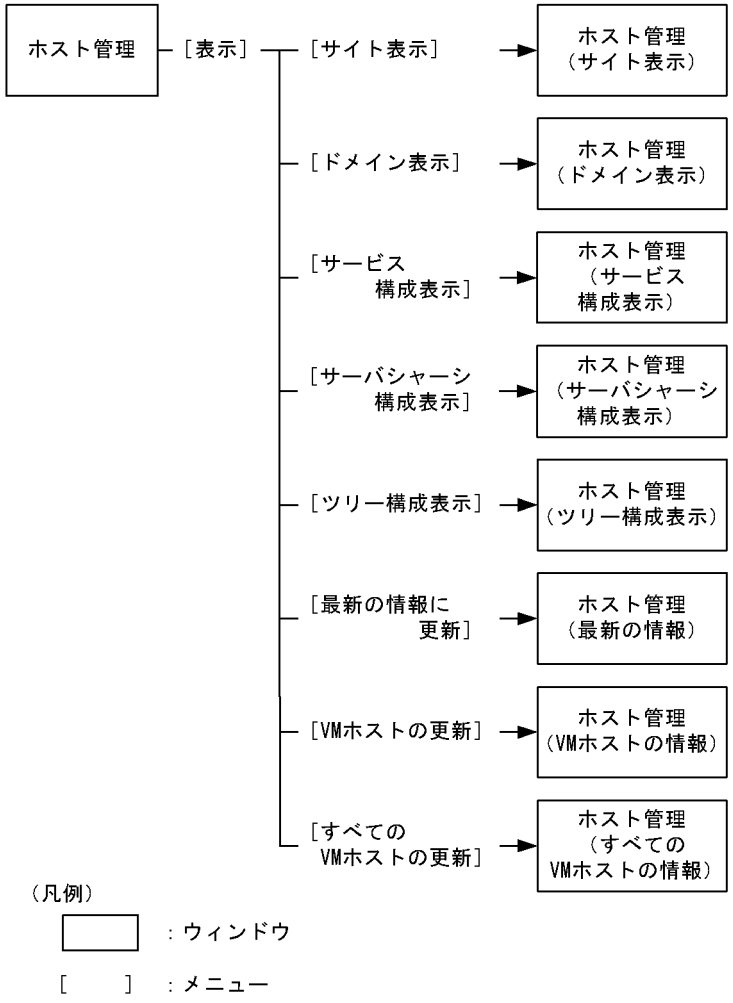
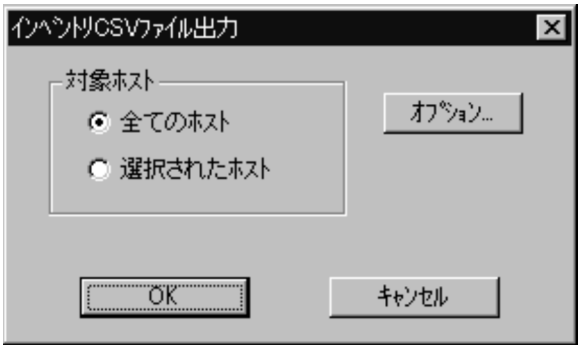


図 1-24 ［ホスト管理］ウィンドウの遷移（表示メニュー）



1.3.6 ［インベントリ CSV ファイル出力］ダイアログボックス

インベントリ情報を CSV 形式で出力する対象のホストを指定します。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
対象ホスト	－	インベントリ情報を CSV 形式で出力する対象のホストを選択します。
	全てのホスト	すべてのホストのインベントリ情報を出力する場合，このラジオボタンを ON にします。
	選択されたホスト	ホスト管理画面で選択したホストのインベントリ情報を出力する場合，このラジオボタンを ON にします。
オプション		ドライブのインベントリ情報について，C ドライブ以外のドライブのインベントリ情報を出力する場合，このボタンをクリックしてドライブを選択します。［インベントリ CSV ファイル出力オプション］ダイアログボックスが表示されます。［インベントリ CSV ファイル出力オプション］ダイアログボックスについては，「1.3.7 ［インベントリ CSV ファイル出力オプション］ダイアログボックス」を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.7 ［インベントリ CSV ファイル出力オプション］ダイアログボックス

ドライブのインベントリ情報について，C ドライブ以外のドライブのインベントリ情報を出力する場合，ドライブを選択します。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
インベントリ情報取得ドライブ	インベントリ情報を出力するかしないかをドライブごとに設定します。 ● 　このドライブのインベントリ情報を出力します。 ○ 　このドライブのインベントリ情報を出力しません。
切替	［インベントリ情報取得ドライブ］で選択したドライブのインベントリ情報を出力するかしないかを切り替える場合，このボタンをクリックします。［○］の場合は［●］に，［●］の場合は［○］に切り替わります。

1.3.8 [JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート] ダイアログボックス

JP1/ServerConductor で管理しているサーバシャーシが持つ物理パーティションの情報を CSV 形式のファイルでエクスポートします。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
シャーシ ID		サーバシャーシのシャーシ ID が表示されます。
DPM グループ名		DPM に登録するグループ名を半角文字で設定します。1 ～ 64 文字の範囲で設定します。使用できる文字列は，半角英数字，半角ハイフン，半角アンダースコア，および半角ピリオドです。デフォルトは「BSM-GROUP」です。
DPM ユニット ID		サーバモジュールが属する収納ユニットのユニット ID を整数で設定します。0 ～ 4294967295 の範囲で設定します。デフォルトは 0 です。4294967295 を超える数値を入力した場合，ユニット ID は 4294967295 として扱われます。 DPM ユニット ID は，DPM に登録するグループ内で一意になるように設定してください。
対象パーティションを選択してください	―	DPM コンピュータ情報のエクスポート対象とするパーティションを選択します。複数選択することもできます。
	パーティション	「パーティション X」（X：パーティション ID）と表示されます。
	DPM コンピュータ名	「PartitionX」（X：パーティション ID）と表示されます。

項目		内容
	MAC アドレス	パーティションが持つサーバモジュールオンボードの NIC の MAC アドレスが表示されます。デフォルトでは，サーバシャーシインベントリの［Gigabit Ether MAC アドレス 1］に表示される MAC アドレスが表示されます。Gigabit Ether MAC アドレス情報については，「1.5.1(2)(b)　Gigabit Ether MAC アドレス情報− Gigabit Ether MAC アドレス <n>」を参照してください。
	DPM スロット ID	パーティション ID に 1 を加えた値が表示されます。
	DPM シナリオ割当て許可	このパーティションに DPM のシナリオの割り当てを許可するかどうかが表示されます。 許可 　　シナリオの割り当てを許可します。 不許可 　　シナリオの割り当てを許可しません。
	DPM スロット幅	パーティションを構成するサーバモジュールの枚数が表示されます。「1」または「2」で表示され，2 枚以上の場合は「2」が表示されます。
エクスポート情報変更		エクスポート情報を変更する場合，このボタンをクリックします。［JP1/SC/DPM エクスポート情報変更］ダイアログボックスが表示されます。［JP1/SC/DPM エクスポート情報変更］ダイアログボックスについては，「1.3.9　［JP1/SC/DPM エクスポート情報変更］ダイアログボックス」を参照してください。
エクスポート		コンピュータ情報としてエクスポートする MAC アドレスまたはシナリオ割り当てを変更したい場合，対象のパーティションを選択してこのボタンをクリックします。

（凡例）

　　−：該当しません。

1.3.9 [JP1/SC/DPM エクスポート情報変更] ダイアログボックス

コンピュータ情報としてエクスポートする MAC アドレスまたはシナリオ割り当てを変更します。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
MAC アドレス	DPM コンピュータ情報としてエクスポートする MAC アドレスを選択します。選択できる MAC アドレスは，[JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート] ダイアログボックスで選択したパーティションが持つ，サーバモジュールオンボードの NIC の MAC アドレスです。[JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート] ダイアログボックスについては，「1.3.8 [JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート] ダイアログボックス」を参照してください。
シナリオ割当て	このパーティションに DPM のシナリオの割り当てを許可するかどうかを次のどちらかから選択します。デフォルトは「許可」です。 許可 　シナリオの割り当てを許可します。 不許可 　シナリオの割り当てを許可しません。

1.3.10 ［スケジュール管理］ダイアログボックス（［電源制御］タブ）

各サーバの電源スケジュールを管理コンソールから設定します。

注意

このダイアログボックスで電源スケジュールを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
曜日設定	－	曜日を設定します。
	日～土	設定したい曜日をクリックします。曜日を選択すると「毎週のその曜日」の設定となります。
特定日設定	－	特定日を設定します。
	年月	特定日の年月を指定します。年に「-1」を入力すると，「毎年」の設定となります。 月リストから［毎］を選択すると，「毎月」の設定となります。デフォルトはこのダイアログボックスを開いたときのコンソールサービスまたはローカルコンソールサービスが稼働しているマシンの年月です。
	1～31	特定日を指定します。設定したい日付をクリックします。

項目		内容
1 日のスケジュール	―	1 日のスケジュールを設定します。6 個まで設定できます。
	時刻	電源制御を実行する時刻を指定します。各スケジュールの間隔は 30 分以上空けてください。デフォルトは「0 時 0 分」です。
	動作	指定した時刻に，電源を ON にする場合は［ON］ラジオボタンを，電源を OFF にする場合は［OFF］ラジオボタンを ON にします。デフォルトは［ON］ラジオボタンが ON になっています。
	↓リストに追加	指定したスケジュールをリストに追加する場合は，このボタンをクリックします。6 個まで追加できます。指定したスケジュールは［1 日のスケジュール］リストに追加されます。
	1 日のスケジュール	指定した 1 日のスケジュールが表示されます。
	電源制御	設定されている電源制御のスケジュールの数が表示されます。
	クラスタ制御	設定されているクラスタ制御のスケジュールの数が表示されます。
	リストから削除	不要なスケジュールを削除する場合は，削除するスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。［1 日のスケジュール］リストから削除されます。
	設定→	スケジュールを設定する場合，［1 日のスケジュール］に設定したスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。クラスタ制御の設定と合わせて，曜日スケジュールは 7 個，特定日スケジュールは 50 個まで設定できます。設定したスケジュールは，［設定済み曜日リスト］または［設定済み特定日リスト］に表示されます。
設定済み曜日リスト	―	設定されている曜日のリストが表示されます。
	リストから削除	設定されている不要な曜日を削除する場合は，削除する曜日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み曜日リスト］から削除されます。
設定済み特定日リスト	―	設定されている特定日のリストが表示されます。
	リストから削除	設定されている不要な特定日を削除する場合は，削除する特定日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み特定日リスト］から削除されます。
ハードウェアの現在時刻		ハードウェアの現在の時刻が表示されます。ハードウェアの時刻は BS1000 および BS320 の場合は SVP のシステム時刻，BS2000 の場合は BMC のシステム時刻が表示されます。
ファイルから読込		ファイルに保存してあるスケジューリング情報を読み出す場合にクリックします。ファイルを指定するダイアログボックスが表示されます。
ファイルへ保存		設定したスケジューリング情報をファイルに保存する場合にクリックします。保存するファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。スケジューリング情報は拡張子 .SCH のファイルに保存されます。

（凡例）

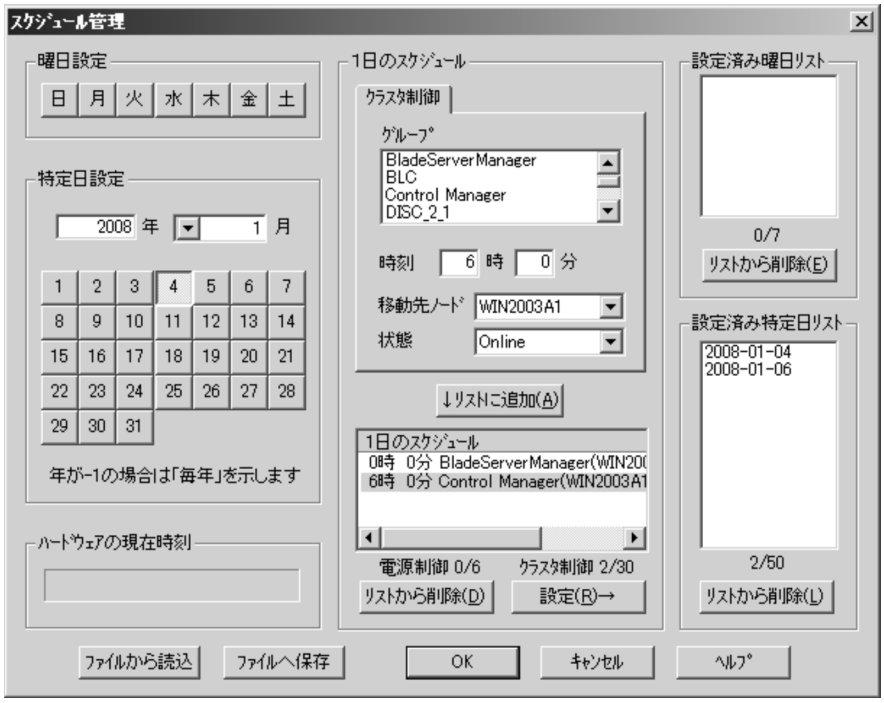
―：該当しません。

1.3.11 ［スケジュール管理］ダイアログボックス（［クラスタ制御］タブ）

各クラスタの電源スケジュールを管理コンソールから設定します。

注意

- このダイアログボックスは，管理対象が MSCS またはフェールオーバークラスタでクラスタ構成を運用しているサーバの場合に表示できます。
- このダイアログボックスで電源スケジュールを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
曜日設定	―	曜日を設定します。
	日～土	設定したい曜日をクリックします。曜日を選択すると「毎週のその曜日」の設定となります。

項目		内容
特定日設定	—	特定日を設定します。
	年月	特定日の年月を指定します。年に「-1」を入力すると，「毎年」の設定となります。 月リストから［毎］を選択すると，「毎月」の設定となります。デフォルトはこのダイアログボックスを開いたときのコンソールサービスまたはローカルコンソールサービスが稼働しているマシンの年月です。
	1 ～ 31	特定日の日付を指定します。設定したい日付をクリックします。
1 日のスケジュール	—	1 日のスケジュールを設定します。30 個まで設定できます。
	グループ	グループのリストが表示されます。他ノードへ移動したいグループを選択してください。
	時刻	クラスタ制御を実行する時刻を指定します。設定するクラスタ制御スケジュールは，電源制御スケジュールと 30 分以上，かつ同じクラスタグループに対するクラスタ制御スケジュールと 5 分以上の間隔を空けて設定してください。デフォルトは「0 時 0 分」です。
	移動先ノード	移動先ノードを選択します。
	状態	移動後のグループの状態を次の中から選択します。 • ［Online］ • ［Offline］ • ［なにもしない］
	↓リストに追加	指定したスケジュールをリストに追加する場合は，このボタンをクリックします。30 個まで追加できます。指定したスケジュールは［1 日のスケジュール］リストに追加されます。
	1 日のスケジュール	指定した 1 日のスケジュールが表示されます。
	電源制御	設定されている電源制御のスケジュールの数が表示されます。
	クラスタ制御	設定されているクラスタ制御のスケジュールの数が表示されます。
	リストから削除	不要なスケジュールを削除する場合は，削除するスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。［1 日のスケジュール］リストから削除されます。
	設定→	スケジュールを設定する場合，［1 日のスケジュール］に設定したスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。電源制御の設定と合わせて，曜日スケジュールは 7 個，特定日スケジュールは 50 個まで設定できます。設定したスケジュールは，［設定済み曜日リスト］または［設定済み特定日リスト］に表示されます。
設定済み曜日リスト	—	設定されている曜日のリストが表示されます。
	リストから削除	不要な曜日を削除する場合は，削除する曜日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み曜日リスト］から削除されます。
設定済み特定日リスト	—	設定されている特定日のリストが表示されます。
	リストから削除	不要な特定日を削除する場合，削除する特定日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み特定日リスト］から削除されます。

項目	内容
ハードウェアの現在時刻	ハードウェアの現在の時刻が表示されます。 管理対象サーバが，SVP 機能を搭載し，SVP/BMC エージェントサービスをインストールしている場合に表示されます。ハードウェアの時刻は BS1000 および BS320 の場合は SVP のシステム時刻，BS2000 の場合は BMC のシステム時刻が表示されます。
ファイルから読込	ファイルに保存してあるスケジューリング情報を読み出す場合にクリックします。ファイルを指定するダイアログボックスが表示されます。
ファイルへ保存	設定したスケジューリング情報をファイルに保存する場合にクリックします。保存するファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。スケジューリング情報は拡張子 .SCH のファイルに保存されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.12 ［サーバアラートログ］ダイアログボックス

管理対象サーバで発生したアラートログを管理コンソールから参照する場合に，表示するサーバアラートログの範囲を指定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アラートログ一覧	－	アラートログの一覧が表示されます。
	日付	アラートログが発生した日付が表示されます。
	サイズ	アラートログのサイズが表示されます。
	ファイル名	アラートログのファイル名が表示されます。
設定 >>		［アラートログ一覧］で選択した開始日を［アラートログ表示］の［開始日］に表示します。
設定 >>		［アラートログ一覧］で選択した終了日を［アラートログ表示］の［終了日］に表示します。
アラートログ表示	－	アラートログ表示の開始日と終了日を設定した場合，設定した日付が表示されます。
	開始日	アラートログを表示する開始日が表示されます。
	終了日	アラートログを表示する終了日が表示されます。
トータルログファイル容量		サーバアラートログの総容量がバイト単位で表示されます。
削除		サーバアラートログを削除する場合，該当するサーバアラートログを選択し，このボタンをクリックします。管理対象サーバ上のアラートログが削除されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.13 ［ホスト検索］ダイアログボックス

データベースからホストを検索する場合，インベントリ項目の条件を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
検索条件	―	ツリービューから検索したい検索項目を選択します。検索項目については，「(1)　検索条件」の各項目を参照してください。 「Windows 項目」，「Linux 項目」，「HP-UX 項目」を選択した場合は，それぞれのサーバで指定できるインベントリ項目がツリーで表示されます。
	条件	選択したインベントリ項目に応じた検索条件が表示されます。検索条件については，「(1)　検索条件」を参照してください。

項目		内容
	ワイルドカード検索を行う	ワイルドカード検索を行う場合，［ワイルドカード検索を行う］チェックボックスを ON にします。使用できるワイルドカードを次に示します。 ?：任意の 1 文字 *：任意の文字列 • ワイルドカード検索を行う場合，指定できる検索条件は一つだけです。また，条件の記号は「等しい」で固定です。例えば，前述の画面で［ワイルドカード検索を行う］チェックボックスを ON にすると，1 番目の検索条件は「Service Pack 4」「等しい」となり，そのほかの検索条件「or」「Service Pack 5」「等しい」は非活性となります。 • 条件に「*」だけを指定すると，全ホストの情報が表示されます。
検索条件リストへ設定		指定した検索条件をリストに追加する場合，このボタンをクリックします。検索条件は 10 個まで設定できます。指定した検索条件は［設定済み検索条件］に表示されます。
設定済み検索条件	－	すでに設定されている検索条件が表示されます。
	項目数	設定されている検索条件の数が表示されます。
	項番	設定されている検索条件の項番が表示されます。
	条件	設定されている検索条件の条件が表示されます。
	リストから削除	不要な検索条件を削除する場合は，削除する検索条件を選択してこのボタンをクリックします。選択した検索条件が［設定済み検索条件］のリストから削除されます。
	項目間の条件式	複数の検索条件を指定した場合，［項目間の条件式］に項目間の条件式を指定します。項目間の条件式は and または or で指定でき，括弧を使用することもできます。例えば，「項番 1」かつ「項番 2 ～ 4 のどれか」に一致する条件を指定したい場合，次のように入力します。 `1 and (2 or 3 or 4)` 括弧の深度は 10 個まで，項目間の条件式の「and」または「or」は 20 個まで指定できます。 Windows 項目，Linux 項目，および HP-UX 項目を「and」で指定することはできません。
	条件ファイル読み込み	検索条件をファイルから読み込む場合にクリックします。ファイルを指定するダイアログボックスが表示されます。
	条件をファイルへ保存	設定した検索条件をファイルに保存する場合にクリックします。保存するファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。検索条件は拡張子 .shq のファイルに保存されます。

（凡例）

－：該当しません。

(1) 検索条件

(a) Windows 項目

表 1-2 検索条件（Windows 項目の場合）

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
基本システム	システム装置	エージェントバージョン	文字	※
		システム BIOS バージョン	文字	等しい，以外
		システム BIOS 作成日	文字	※
	OS& ネットワーク	OS 名	文字	等しい，以外
		OS バージョン	文字	※
		サービスパック	文字	※
	CPU	プロセッサ名	文字	等しい，以外
		最大速度	数値：MHz	※
		プロセッサ数	数値	※
		スロット番号	数値	※
		装着状態	文字	等しい，以外
		システムキャッシュサイズ	数値：キロバイト	※
	メモリ	総メモリサイズ	数値：メガバイト	※
		最大ページングファイルサイズ	数値：キロバイト	※
ドライブ	―	ドライブ名	文字	※
		ドライブ種別	文字	等しい，以外
		トータルドライブ容量	数値：キロバイト	※
		空きドライブ容量	数値：キロバイト	※
拡張スロット	PCI	スロット番号	数値	※
		ボード装着状態	文字	等しい，以外
		ボード名	文字	等しい，以外
		ベンダ名	文字	等しい，以外
	EISA	スロット番号	数値	※
		ボード装着状態	文字	等しい，以外
		ボード名	文字	等しい，以外
		ベンダ名	文字	等しい，以外
ディスクアレイ	CR80 and HA8000 内蔵 RAID	プロダクト名	文字	等しい，以外

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
		コントローラプロダクト名	文字	等しい，以外
		コントローラファームウェアリビジョン	文字	※
		キャッシュメモリサイズ	数値	※
		論理ドライブ番号	数値	※
		論理ドライブ RAID レベル	文字	等しい，以外
		論理ドライブサイズ	数値	※
	DF350/400	プロダクト名	文字	等しい，以外
		ファームウェアリビジョン	文字	※
		ハードウェアパス	文字	※
		RAID 装置情報	文字	等しい，以外
		コントローラ構成	文字	等しい，以外
		コントローラバージョン	文字	※
		メモリサイズ	数値	※
		RAID グループ番号	数値	※
		RAID レベル	文字	等しい，以外
	HA8000/30 内蔵 RAID	論理ドライブ番号	数値	※
		論理ドライブ RAID レベル	文字	等しい，以外
		論理ドライブサイズ	数値	※
SVP	－	SVP マイクロリビジョン	文字	※
		SVP マイクロ作成日	文字	※
資産情報	装置情報	プロダクト名	文字	等しい，以外
		シリアル番号	文字	※
	資産情報	資産名称	文字	※
		資産番号	文字	※
		機器構成	文字	※
		購入年月日	文字	※
		減価償却期間	文字	※
		管理部署名	文字	※
		管理部署番号	文字	※
		管理者名	文字	※
		管理者番号	文字	※
		管理者詳細情報	文字	※
	管理者情報	運用管理者名	文字	※

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
		運用管理者番号	文字	※
		運用管理者詳細情報	文字	※
		連絡先電話番号	文字	※
		連絡先メールアドレス	文字	※
	設置場所 / その他	サイト情報	文字	※
		設置場所詳細情報	文字	※
		備考	文字	※

（凡例）

※：等しい，以外，以上，以下，＜，＞を意味します。

－：該当しません。

(b) Linux 項目

表 1-3 検索条件（Linux 項目の場合）

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
基本システム	システム装置	エージェントバージョン	文字	※
		システム BIOS バージョン	文字	等しい，以外
		システム BIOS 作成日	文字	※
	OS& ネットワーク	OS 名	文字	等しい，以外
		OS バージョン	文字	※
	CPU	プロセッサ名	文字	等しい，以外
		最大速度	数値：MHz	※
		プロセッサ数	数値	※
		スロット番号	数値	※
		装着状態	文字	等しい，以外
		システムキャッシュサイズ	数値：キロバイト	※
	メモリ	総メモリサイズ	数値：メガバイト	※
		最大ページングファイルサイズ	数値：キロバイト	※
ファイルシステム	－	ファイルシステム番号	数値	※
		マウントポイント	文字	等しい，以外
		トータル容量	数値：キロバイト	※

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
		空き容量	数値：キロバイト	※
拡張スロット	PCI	スロット番号	数値	※
		ボード装着状態	文字	等しい，以外
		ボード名	文字	等しい，以外
		ベンダ名	文字	等しい，以外
SVP	－	SVP マイクロリビジョン	文字	※
		SVP マイクロ作成日	文字	※
資産情報	装置情報	プロダクト名	文字	等しい，以外
		シリアル番号	文字	※
	資産情報	資産名称	文字	※
		資産番号	文字	※
		機器構成	文字	※
		購入年月日	文字	※
		減価償却期間	文字	※
		管理部署名	文字	※
		管理部署番号	文字	※
		管理者名	文字	※
		管理者番号	文字	※
		管理者詳細情報	文字	※
	管理者情報	運用管理者名	文字	※
		運用管理者番号	文字	※
		運用管理者詳細情報	文字	※
		連絡先電話番号	文字	※
		連絡先メールアドレス	文字	※
	設置場所 / その他	サイト情報	文字	※
		設置場所詳細情報	文字	※
		備考	文字	※

（凡例）

※：等しい，以外，以上，以下，＜，＞を意味します。

－：該当しません。

(c) HP-UX 項目

表 1-4 検索条件（HP-UX 項目の場合）

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
基本システム	システム装置	シリアル No	数値	※
		CPU アーキテクチャ / バージョン	文字	※
		モデル名	文字	※
		エージェントバージョン	文字	※
		PDC/BMC ファームウェアバージョン	文字	※
	OS& ネットワーク	OS 名	文字	等しい，以外
		OS バージョン	文字	※
	CPU	プロセッサ名	文字	等しい，以外
		命令キャッシュサイズ	数値：バイト	※
		データキャッシュサイズ	数値：バイト	※
		プロセッサ数	数値	※
	メモリ	総メモリサイズ	数値：メガバイト	※
		スワップサイズ	数値：メガバイト	※
ファイルシステム	—	ファイルシステム番号	数値	※
		マウントポイント	文字	等しい，以外
		トータル容量	数値：キロバイト	※
		空き容量	数値：キロバイト	※
ディスク	—	ディスク番号	数値	※
		容量	数値：キロバイト	※
		ハードウェアパス	文字	等しい，以外
ディスクアレイ	ディスクアレイ	装置番号	数値	※
		プロダクト名	文字	等しい，以外
		ファームウェアリビジョン	文字	※
		ハードウェアパス	文字	等しい，以外
		コントローラ構成	文字	等しい，以外

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
		コントローラバージョン	文字	※
		メモリサイズ	数値：メガバイト	※
	A/H-6593 and SANRISE2000	ベンダ名	文字	等しい，以外
		プロダクト名	文字	等しい，以外
		製造番号	数値	※
		マイクロコードバージョン	文字	※
		コマンドデバイスファイル	文字	等しい，以外
		RAID Manager LIB バージョン	文字	※
		共用メモリ A 面	数値：メガバイト	※
		共用メモリ B 面	数値：メガバイト	※
		キャッシュメモリ A 面	数値：メガバイト	※
		キャッシュメモリ B 面	数値：メガバイト	※
		チャネルアダプタタイプ	文字	等しい，以外
回線	―	回線名	文字	等しい，以外
		ハードウェアパス	文字	等しい，以外
		回線アダプタ種別	文字	等しい，以外
		回線種別	文字	等しい，以外
		プロトコル種別	文字	等しい，以外
SVP	装置情報	SVP ファームウェアバージョン	文字	※
		日立オフライン診断プログラムバージョン	文字	※
	自動通報先登録情報	第 1 センタ電話番号	文字	等しい，以外
		第 2 センタ電話番号	文字	等しい，以外
UPS	―	UPS 名称	文字	等しい，以外
資産情報	装置情報	プロダクト名	文字	等しい，以外
		シリアル番号	文字	※
	資産情報	資産名称	文字	※
		資産番号	文字	※
		機器構成	文字	※

カテゴリ 1	カテゴリ 2	検索項目	入力形式	条件入力方式
		購入年月日	文字	※
		減価償却期間	文字	※
		管理部署名	文字	※
		管理部署番号	文字	※
		管理者名	文字	※
		管理者番号	文字	※
		管理者詳細情報	文字	※
	管理者情報	運用管理者名	文字	※
		運用管理者番号	文字	※
		運用管理者詳細情報	文字	※
		連絡先電話番号	文字	※
		連絡先メールアドレス	文字	※
	設置場所 / その他	サイト情報	文字	※
		設置場所詳細情報	文字	※
		備考	文字	※

（凡例）

※：等しい，以外，以上，以下，＜，＞を意味します。

－：該当しません。

1.3.14 ［レポートスケジュール設定］ダイアログボックス

マネージャサービスが管理するインベントリ情報を，自動レポート通知機能を使用して指定した時間にシステム管理者に e-mail で通知する場合の内容を設定します。

注意

このダイアログボックスで自動レポート通知機能を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
自動レポート通知		自動レポート通知を有効にする場合，このチェックボックスを ON にします。 レポート時間，レポート条件，レポート方法の設定ができるようになります。
レポート時間	－	使用するレポート時間を選択します。
	リストへ追加	レポート時間を追加する場合，このボタンをクリックします。［レポート時間設定］ダイアログボックスが表示されます。［レポート時間設定］ダイアログボックスについては，「1.3.15 ［レポート時間設定］ダイアログボックス」を参照してください。
	編集	設定されているレポート時間を編集する場合，編集する設定時間を選択してこのボタンをクリックします。［レポート時間設定］ダイアログボックスが表示されます。［レポート時間設定］ダイアログボックスについては，「1.3.15 ［レポート時間設定］ダイアログボックス」を参照してください。

設定項目		設定内容
	リストから削除	不要なレポート時間を削除する場合は，削除するレポート時間を選択してこのボタンをクリックします。選択したレポート時間が［レポート時間］のリストから削除されます。
レポート条件	―	使用するレポート条件を選択します。
	リストへ追加	レポート条件を追加する場合，このボタンをクリックします。［レポート条件設定］ダイアログボックスが表示されます。［レポート条件設定］ダイアログボックスについては，「1.3.16 ［レポート条件設定］ダイアログボックス」を参照してください。
	編集	設定されているレポート条件を編集する場合，編集する設定条件を選択してこのボタンをクリックします。［レポート条件設定］ダイアログボックスが表示されます。［レポート条件設定］ダイアログボックスについては，「1.3.16 ［レポート条件設定］ダイアログボックス」を参照してください。
	リストから削除	不要なレポート条件を削除する場合は，削除するレポート条件を選択してこのボタンをクリックします。選択したレポート条件が［レポート条件］リストから削除されます。
レポート方法		「E-mail 通知」が表示されます。

（凡例）

―：該当しません。

1.3.15 ［レポート時間設定］ダイアログボックス

自動レポート通知機能の曜日や日時を設定します。

注意

このダイアログボックスで自動レポート通知機能の曜日や日時を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
設定名称		設定するスケジュールの名称を入力します。デフォルトは「レポート時間設定 n」（n はレポート時間設定の個数）です。
曜日設定	－	曜日を設定します。
	日～土	設定したい曜日をクリックします。曜日を選択すると「毎週のその曜日」の設定となります。
特定日設定	－	特定日を設定します。
	年月	特定日の年月を指定します。年に「-1」を入力すると，「毎年」の設定となります。 月リストから［毎］を選択すると，「毎月」の設定となります。デフォルトはこのダイアログボックスを開いたときのコンソールサービスが稼働しているマシンの年月です。
	1 ～ 31	特定日を指定します。設定したい日付をクリックします。
	毎日	その月の毎日の設定をする場合にクリックします。

項目		内容
1日のスケジュール	―	1日のスケジュールを設定します。10個まで設定できます。
	時刻	レポート通知を実行する時刻を指定します。時刻は30分間隔で指定できます。デフォルトは「0時0分」です。
	レポートを通知する	指定した時刻にレポート通知を実行する場合，このラジオボタンをONにします。デフォルトはONです。
	通知を除外する	指定した時刻のレポート通知を実行しない場合，このラジオボタンをONにします。デフォルトはOFFです。
	↓リストに追加	指定したスケジュールをリストに追加する場合は，このボタンをクリックします。10個まで追加できます。指定したスケジュールは［1日のスケジュール］リストに追加されます。
	1日のスケジュール	指定した1日のスケジュールが表示されます。
	リストから削除	不要なスケジュールを削除する場合は，削除するスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。選択したスケジュールが［1日のスケジュール］リストから削除されます。
	設定→	スケジュールを設定する場合，［1日のスケジュール］に設定したスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。曜日スケジュールは7個，特定日スケジュールは10個まで設定できます。設定したスケジュールは，［設定済み曜日リスト］または［設定済み特定日リスト］に表示されます。
設定済み曜日リスト	―	設定されている曜日のリストが表示されます。
	リストから削除	不要な曜日を削除する場合，削除する曜日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み曜日リスト］から削除されます。
設定済み特定日リスト	―	設定されている特定日のリストが表示されます。
	リストから削除	不要な特定日を削除する場合，削除する特定日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済特定日リスト］から削除されます。
マネージャサービスの現在時刻		マネージャサービスの現在の時刻が表示されます。

（凡例）

―：該当しません。

注意

- ［レポートを通知する］ラジオボタンをONにした場合，特定日の設定が優先されます。特定日設定と曜日設定の両方で「レポートを通知する」ラジオボタンをONに設定をした場合，設定時間に関係なく曜日設定は無効となります。
（例）特定日「1999/08/11 9:00（通知）」，曜日「水曜日 12:00（通知）」の場合，水曜 12:00のレポートの通知は無効となります。
- ［通知を除外する］ラジオボタンをONにした場合，特定日と曜日の設定に優先順位はありません。ただし，特定日設定で［レポートを通知する］ラジオボタンをONにし，かつ，曜日設定で［通知を除外する］ラジオボタンをONにしている場合，通知時間と除外時間が同じであれば，除外が優先されます。

（例）特定日「1999/08/11 9:00（通知）」，曜日「水曜日 9:00（除外）」の場合，除外されます。

- レポートスケジュール時間は，「1.3.40 ［データベース更新スケジュール設定］ダイアログボックス」で設定した，データベース更新スケジュール時間よりもあとになるように設定してください。データベース更新後にレポートスケジュールを行うように設定すると，常に最新の情報がレポートされます。この場合，1 時間以上の間隔を空けてください。
- ［レポートを通知する］ラジオボタンを ON にした場合，設定間隔が 30 分よりも小さい場合，あとの設定がエラーになります。
- ［毎月］や［毎日］の設定をした結果，通知時間の間隔が 30 分未満となった場合はあとの設定が無効になります。

1.3.16 ［レポート条件設定］ダイアログボックス

自動レポート通知機能で，通知するレポートに含めるホストのインベントリ情報の条件を設定します。

注意

このダイアログボックスで通知するレポートに含めるホストのインベントリ情報の条件を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
検索条件	－	ツリービューから検索したい検索項目を選択します。検索項目については，「1.3.13(1)　検索条件」の各項目を参照してください。 「Windows 項目」，「Linux 項目」，「HP-UX 項目」を選択した場合は，それぞれのサーバで指定できるインベントリ項目がツリーで表示されます。
	条件	選択したインベントリ項目に応じた検索条件が表示されます。検索条件については，「1.3.13(1)　検索条件」を参照してください。 検索条件を半角文字で 255 文字までで指定して，［検索条件リストへ設定］ボタンをクリックします。検索条件は 10 個まで設定できます。

項目		内容
	ワイルドカード検索を行う	ワイルドカード検索を行う場合，［ワイルドカード検索を行う］チェックボックスを ON にします。使用できるワイルドカードを次に示します。 ?：任意の 1 文字 *：任意の文字列 • ワイルドカード検索を行う場合，指定できる検索条件は一つだけです。また，条件の記号は「等しい」で固定です。例えば，前述の画面で［ワイルドカード検索を行う］チェックボックスを ON にすると，1 番目の検索条件は「08-00-00」「等しい」となり，そのほかの検索条件「or」「08-10-00」「等しい」は非活性となります。 • 条件に「*」だけを指定すると，全ホストの情報が表示されます。
検索条件リストへ設定		指定した検索条件をリストに追加する場合，このボタンをクリックします。検索条件は 10 個まで設定できます。設定した検索条件は［設定済み検索条件］に表示されます。
設定済み検索条件	－	すでに設定されている検索条件が表示されます。
	項目数	設定されている検索条件の数が表示されます。
	項番	設定されている検索条件の項番が表示されます
	条件	設定されている検索条件の条件が表示されます。
	リストから削除	不要な検索条件を削除する場合は，削除する検索条件を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み検索条件］のリストから削除されます。
	項目間の条件式	複数の検索条件を指定した場合，［項目間の条件式］に項目間の条件式を指定します。項目間の条件式は and または or で指定でき，括弧を使用することもできます。例えば，「項番 1」かつ「項番 2 ～ 4 のどれか」に一致する条件を指定したい場合，次のように入力します。 `1 and (2 or 3 or 4)` 括弧の深度は 10 個まで，項目間の条件式の「and」または「or」は 20 個まで指定できます。 Windows 項目，Linux 項目，および HP-UX 項目を「and」で指定することはできません。
	条件ファイル読み込み	検索条件をファイルから読み込む場合にクリックします。ファイルを指定するダイアログボックスが表示されます。
	条件をファイルへ保存	設定した検索条件をファイルに保存する場合にクリックします。保存するファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。検索条件は拡張子 .shq のファイルに保存されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.17 ［リモートコンソール］ダイアログボックス

遠隔地にある管理対象サーバの画面を管理コンソールに表示して，直接操作します。

注意

- このダイアログボックスは，管理対象が BladeSymphony 上で稼働しているサーバの場合に表示できます。
- このダイアログボックスで管理対象サーバの操作をする場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
シャーシ ID	選択したサーバシャーシの ID が表示されます。
リモートコンソールの選択	起動するリモートコンソールを選択します。BS1000 および BS320 の場合，リモートコンソールアプリケーションを選択できます。BS2000 の場合は，リモートコンソールアプリケーション，および BMC の Web コンソールを選択できます。BMC の Web コンソールは，コンソールサービスと同一のマシン内に Microsoft Internet Explorer がインストールされている場合に選択できます。
接続先サーバモジュールの選択※	リモートコンソールアプリケーションで接続するサーバモジュールを選択します。 接続するサーバモジュールのラジオボタンを ON にします。 非活性になっているサーバモジュールにカーソルを移動させると，そのサーバモジュールを選択できない理由がツールチップに表示されます。ツールチップについては，「(1)　ツールチップに表示されるメッセージ」を参照してください。
起動	リモートコンソールアプリケーションで接続するサーバモジュールを起動する場合，接続するサーバモジュールのラジオボタンを ON にしてこのボタンをクリックします。 リモートコンソールを起動する画面が，接続先の IP アドレスが入力された状態で表示されます。

注※

表示される Slot の数は，サーバシャーシのタイプによって異なります。

(1) ツールチップに表示されるメッセージ

［リモートコンソール］ダイアログボックスで，非活性になっているサーバモジュールにカーソルを移動させると，そのサーバモジュールを選択できない理由がツールチップに表示されます。

ツールチップに表示されるメッセージと対処方法を次の表に示します。

表 1-5 ツールチップに表示されるメッセージと対処方法（[リモートコンソール］ダイアログボックス）

優先順位※	メッセージ	対処
1	Slot%d:SVP から情報が取得できません。本機能を利用するには SVP のファームウェアを更新する必要があります。	保守員に連絡してください。
2	Slot%d: パーティションが存在しません。	システム管理者に連絡してください。
3	Slot%d: サーバモジュールが挿入されていないか，BSM からリモートコンソールを起動できません。	サーバモジュールが挿入されていることを確認してください。挿入されている場合は，BSM からのリモートコンソールの起動に対応したサーバモジュールかどうかを確認してください。BSM からのリモートコンソールアプリケーション，および BMC の Web コンソールの起動に対応したサーバモジュールについては，BladeSymphony のリモートコンソールに関するドキュメントを参照してください。

注※

非活性の要因が複数ある場合，この欄で示す優先順位のいちばん高い項目が一つだけ表示されます。

1.3.18 ［ランプ制御］ダイアログボックス

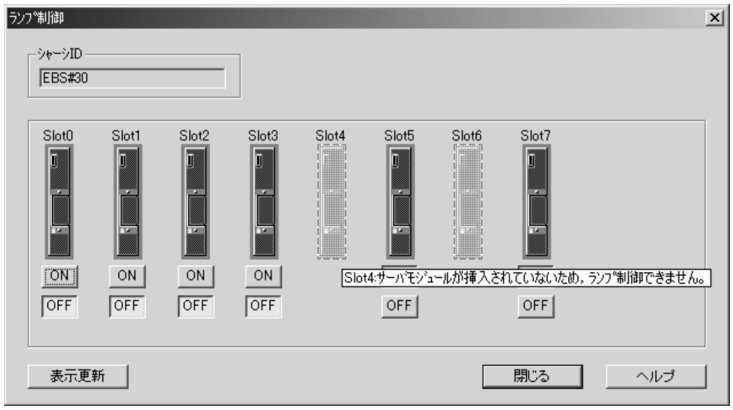
サーバモジュールのランプの点灯状態を管理コンソールに表示して，直接操作します。

注意

- このダイアログボックスは，管理対象が BladeSymphony 上で稼働しているサーバの場合に表示できます。
- このダイアログボックスでサーバモジュールのランプの点灯状態を操作する場合は，アドミニストレータでログインしてください。

（1） BS1000 および BS320 の場合

BS1000 および BS320 の場合の［ランプ制御］ダイアログボックスを次に示します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
シャーシ ID		選択したサーバシャーシの ID が表示されます。
Slot0 ～ Slot7 ※1	－	ランプの状態を変更したいサーバモジュールの Slot 番号の［ON］ボタン，または［OFF］ボタンをクリックします。 非活性になっているサーバモジュールにカーソルを移動させると，そのサーバモジュールを選択できない理由がツールチップに表示されます。ツールチップについては，「ツールチップに表示されるメッセージ」を参照してください。
	ON	サーバ指定状態※2 にする場合にクリックします。
	OFF	サーバ指定状態※2 を解除する場合にクリックします。
表示更新		最新の表示に更新する場合にクリックします。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

表示される Slot の数は，サーバシャーシのタイプによって異なります。

注※ 2

管理コンソールからランプの点灯状態を直接操作している状態を示します。

ツールチップに表示されるメッセージ

［ランプ制御］ダイアログボックスで，非活性になっているサーバモジュールにカーソルを移動させると，そのサーバモジュールを選択できない理由がツールチップに表示されます。

ツールチップに表示されるメッセージと対処方法を次の表に示します。

表 1-6 ツールチップに表示されるメッセージと対処方法（[ランプ制御］ダイアログボックス）

優先順位※	メッセージ	対処
1	Slot%d: 選択したホストではないため，ランプ制御できません。	［ホスト管理］ウィンドウで該当するサーバシャーシ，サーバまたは HVM を選択して［ランプ制御］ダイアログボックスを表示してください。
2	Slot%d: 選択したホストは LPAR 上で稼働しているホストのため，ランプ制御できません。	［ホスト管理］ウィンドウで該当するサーバシャーシ，または HVM を選択して［ランプ制御］ダイアログボックスを表示してください。
3	Slot%d: サーバシャーシがランプ制御機能をサポートしていないため，ランプ制御できません。	保守員に連絡してください。
4	Slot%d: サーバモジュールが挿入されていないため，ランプ制御できません。	サーバモジュールを挿入してください。
5	Slot%d:BMC が初期化中または BMC との通信に失敗したため，ランプ制御できません。	しばらく待ってから［表示更新］ボタンをクリックするか［ランプ制御］ダイアログボックスを表示し直してください。
6	Slot%d: サーバモジュールがランプ制御機能をサポートしていないため，ランプ制御できません。	保守員に連絡してください。

注※

非活性の要因が複数ある場合，この欄で示す優先順位のいちばん高い項目が一つだけ表示されます。

（2）BS2000 の場合

BS2000 の場合の［ランプ制御］ダイアログボックスを次に示します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容	
シャーシ ID		選択したサーバシャーシの ID が表示されます。	
制御対象モジュール		ランプ制御したいモジュールを選択します。	
モジュール表示一覧	障害アラート	「障害アラート」欄は，接続先マネージャに BSM Plus をインストールしている場合に表示されます。 次のアラートが一つ以上あった場合は，「あり」が表示されます。 • SVP（直接通知）のアラート（注意レベル以上）：すべてのモジュールが対象です。 • エージェントサービスの通知アラート（注意レベル以上）：サーバモジュールが対象です。 • SNMP Trap の通知アラート（注意レベル以上）：スイッチモジュールが対象です。 ただし，アラートがあってもユーザがアラートを確認している場合は，「なし」が表示されます。 また，ステータス欄に「制御不可」とあるモジュールに対しては，「障害アラート」欄は空白となります。	
	スロット番号	スロット番号が表示されます。	
	ステータス	ON	対象スロットがマネージャ制御状態の場合に表示されます。
		OFF	対象スロットがマネージャ制御状態ではない場合に表示されます。
		制御不可	ランプ制御できないスロットの場合に表示されます。
	制御不可理由	ステータスが制御不可の場合，理由が表示されます。	
ON		サーバ指定状態※にする場合にクリックします。	

項目	内容
OFF	サーバ指定状態※を解除する場合にクリックします。

注※

管理コンソールからランプの点灯状態を直接操作している状態を示します。

「制御不可理由」欄に表示されるメッセージ

ランプ制御できないモジュール，またはランプ制御をサポートしていないモジュールがある場合は，モジュール表示一覧の「ステータス」欄に「制御不可」と表示され，「制御不可理由」欄にメッセージが表示されます。

「制御不可理由」欄に表示されるメッセージとその対処方法を次の表に示します。

表 1-7 「制御不可理由」欄に表示されるメッセージと対処方法

優先順位※	メッセージ	対処
1	選択したホストは LPAR 上で稼働しているホストのため，ランプ制御できません。	［ホスト管理］ウィンドウで該当するサーバシャーシ，または HVM を選択して［ランプ制御］ダイアログボックスを起動してください。
2	デバイスが挿入されていないか，制御可能なランプが存在しません。	デバイスが挿入されているか確認してください。挿入されていない場合は，挿入してください。挿入してもこのメッセージが表示される場合は，制御可能なランプが存在しないデバイスです。
3	デバイスが初期化中またはデバイスとの通信に失敗したため，ランプ制御できません。	デバイスが初期化処理中のため，しばらく待ってから［ランプ制御］ダイアログボックスを起動し直してください。この手順で解決しない場合は，保守員に連絡してください。

注※

ランプ制御できない要因が複数ある場合，この欄で示す優先順位のいちばん高い項目が一つだけ表示されます。

1.3.19 ［情報取得］ダイアログボックス

保守情報を取得します。

取得できる保守情報は管理対象サーバによって異なります。

（1） Windows サーバ



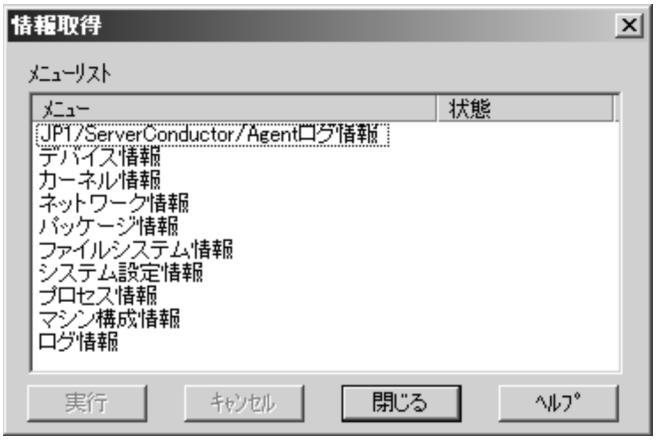
項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
メニューリスト	―	取得したい情報をメニューリストから選択して［実行］ボタンをクリックします。
	メニュー	取得できるメニューが表示されます。デフォルトで表示されるメニューを次に示します。 • JP1/ServerConductor/Agent ログ取得 Agent のログを取得します。 • OS 情報取得 OS 情報を取得します。 • ハードウェア情報取得（本体装置） ハードウェア情報を取得します。 そのほかのメニューについては，「1.3.33 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ）」を参照してください。
	状態	メニューの実行状態が表示されます。［実行］ボタンをクリックしたあとに表示される状態を次に示します。 • 実行待ち 実行待ちの状態の場合に表示されます。 • 実行中 実行中の状態の場合に表示されます。 • 完了 処理が完了した場合に表示されます。 • 失敗 処理が失敗した場合に表示されます。
実行		保守情報を取得する場合，取得したい情報をメニューリストから選択してこのボタンをクリックします。

（凡例）

－：該当しません。

（2）Linux サーバ



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
メニューリスト	－	取得したい情報をメニューリストから選択して［実行］ボタンをクリックします。
	メニュー	取得できるメニューが表示されます。デフォルトで表示されるメニューを次に示します。 • JP1/ServerConductor/Agent ログ取得 Agent のログを取得します。 • デバイス情報 デバイス情報を取得します。 • カーネル情報 カーネル情報を取得します。 • ネットワーク情報 ネットワーク情報を取得します。 • パッケージ情報 パッケージ情報を取得します。 • ファイルシステム情報 ファイルシステム情報を取得します。 • システム設定情報 システム設定情報を取得します。 • プロセス情報 プロセス情報を取得します。 • マシン構成情報 マシン構成情報を取得します。 • ログ情報 ログ情報を取得します。 そのほかのメニューについては，「1.3.33 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ）」を参照してください。

項目		内容
	状態	メニューの実行状態が表示されます。［実行］ボタンをクリックしたあとに表示される状態を次に示します。 • 実行待ち 実行待ちの状態の場合に表示されます。 • 実行中 実行中の状態の場合に表示されます。 • 完了 処理が完了した場合に表示されます。 • 失敗 処理が失敗した場合に表示されます。
実行		保守情報を取得する場合，取得したい情報をメニューリストから選択してこのボタンをクリックします。

（凡例）

－：該当しません。

(3) HP-UX サーバ



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
メニューリスト	－	取得したい情報をメニューリストから選択して［実行］ボタンをクリックします。
	メニュー	取得できるメニューが表示されます。デフォルトで表示されるメニューについては，「表 1-8 HP-UX サーバが取得できる保守情報」を参照してください。 そのほかのメニューについては，「1.3.33 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ）」を参照してください。

項目		内容
	状態	メニューの実行状態が表示されます。［実行］ボタンをクリックしたあとに表示される状態を次に示します。 • 実行待ち 実行待ちの状態の場合に表示されます。 • 実行中 実行中の状態の場合に表示されます。 • 完了 処理が完了した場合に表示されます。 • 失敗 処理が失敗した場合に表示されます。
実行		保守情報を取得する場合，取得したい情報をメニューリストから選択してこのボタンをクリックします。

（凡例）

－：該当しません。

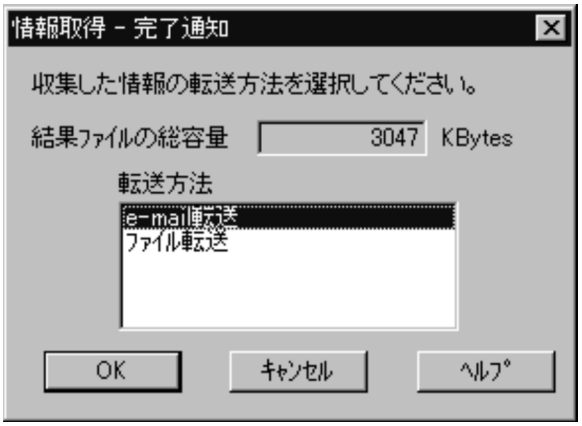
表 1-8　HP-UX サーバが取得できる保守情報

項番	OS 情報	説明
1	HPUX-trb-core	コアファイル（カーネルコア）
2	HPUX-trb-syslog	システムログファイル
3	HPUX-trb-diagmem	OnlineDiag　システム検出メモリエラー情報
4	HPUX-trb-diagio	OnlineDiag　I／O システム検出 I／O エラー情報
5	HPUX-trb-pim	PIM 情報（主にハードウェア要因でのパニックのログ）
6	HPUX-trb-ems	HP-UX EMS ログ情報
7	HPUX-con-dev	デバイス情報（スペシャルファイル名一覧とディレクトリ情報一覧）
8	HPUX-con-disk	ディスク構成情報
9	HPUX-con-ioscan	ioscan 情報（接続・使用デバイス情報）
10	HPUX-con-sysconf	システムコンフィグレーション情報
11	HPUX-con-net	ネットワーク情報
12	HPUX-con-inst	インストールソフトウェア情報
13	HPUX-con-info	システム情報
14	HPUX-con-cron	cron 実行情報
15	HPUX-con-login	login 記録情報
16	HPUX-con-swagd	swagentd デーモン実行記録情報
17	HPUX-con-shutlog	シャットダウン・リブート記録情報
18	HPUX-con-startlog	システムスタート時ログ情報
19	HPUX-trb-errinfo	障害情報取得用。項番 2 ～ 6 のメニューを一括実行します。
20	HPUX-con-control-info	遠隔保守情報取得用。項番 7 ～ 18 のメニューを一括実行します。

項番	OS 情報	説明
21	HPUX-con-sysinfo	システム情報取得用。項番 7 ～ 14 のメニューを一括実行します。
22	HPUX-con-run	実行記録取得用。項番 15 ～ 18 のメニューを一括実行します。
23	HPUX-out-media	媒体出力用。取得した情報（/var/opt/htcsma/collect 下のファイル）をエージェント設定ファイルの ContMediaDev で設定したテープデバイスへ出力します。

1.3.20 ［情報取得 - 完了通知］ダイアログボックス

［情報取得］ダイアログボックスで指定した保守情報を転送します。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
結果ファイルの総容量	収集した情報の結果ファイルの総容量が表示されます。単位はキロバイトです。
転送方法	「e-mail 転送」または「ファイル転送」のどちらの方法で転送するかを選択します。

1.3.21 ［ホスト登録］ダイアログボックス

JP1/ServerConductor に管理対象を登録します。管理対象が VM 環境の場合，VM ホストを登録できます。

注意

このダイアログボックスで管理対象を登録する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
登録するホストの IP アドレス／ホスト名	ホストを登録する場合 　ホストの IP アドレスまたはホスト名を設定します。 サーバシャーシを登録する場合※ 　サーバシャーシの SVP モジュールの IP アドレスを設定します。 HVM を登録する場合※ 　HVM の IP アドレスを設定します。 VM ホストを登録する場合 　VM ホストの IP アドレスを設定します。

設定項目			設定内容
種別			ホストを登録する場合 「エージェントサービス」を選択します。 BS1000/BS320 のサーバシャーシまたは HVM を登録する場合 「サーバシャーシ /HVM(BS1000/BS320)」を選択します。 BS2000 のサーバシャーシまたは HVM を登録する場合 「サーバシャーシ /HVM(BS2000)」を選択します。 VM ホストを登録する場合 「VM ホスト」を選択します。
VM ホストログイン時の設定	―		VM ホストへログインするときのユーザ名，パスワード，通信手段を指定します。
	ユーザ名		VMware ホストの場合 VMware 環境の ServiceConsole にログインするためのユーザ名を 32 バイト以内で指定します。 Hyper-V ホストの場合 Hyper-V 環境の Parent-VM にログインするためのユーザ名を 20 文字以内で指定します。
	パスワード		VMware ホストの場合 VMware 環境の ServiceConsole にログインするためのパスワードを 1 ～ 255 バイトの範囲で指定します。 Hyper-V ホストの場合 Hyper-V 環境の Parent-VM にログインするためのパスワードを 1 ～ 255 バイトの範囲で指定します。
	通信手段	―	マネージャサービスと VM ホスト間の通信手段を選択します。
		https	通信手段を https に変更する場合，このラジオボタンを ON にします。
		http	通信手段を http に変更する場合，このラジオボタンを ON にします。
サーバタイプ	―		サーバタイプを指定します。
	BladeSymphony		サーバタイプを BladeSymphony にする場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。
	HA8000 シリーズ	―	サーバタイプを HA8000 シリーズにする場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
		SVP ボードの IP アドレス	SVP ボードの IP アドレスを変更する場合 IP アドレスを 15 バイト以内で指定します。 SVP ボードの IP アドレスを削除する場合 空欄にします。

（凡例）

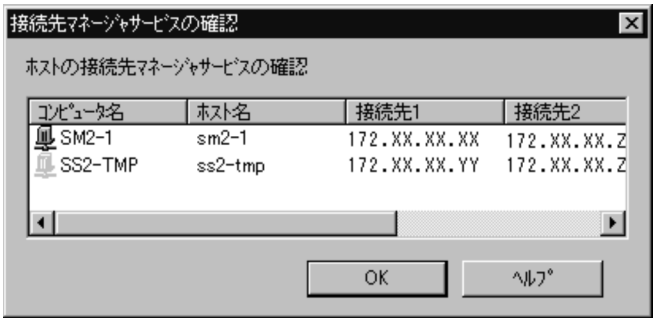
－：該当しません。

注※

管理対象としてサーバシャーシまたは HVM を登録できるのは，BSM を使用している場合だけです。

1.3.22 ［接続先マネージャサービスの確認］ダイアログボックス

管理対象ホストの接続先マネージャサービスを確認します。



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
コンピュータ名	管理対象のコンピュータ名が表示されます。
ホスト名	管理対象のホスト名が表示されます。
接続先 1	1 番目に接続されるマネージャサービスが表示されます。
接続先 2	2 番目に接続されるマネージャサービスが表示されます。
接続先 3	3 番目に接続されるマネージャサービスが表示されます。
接続先 4	4 番目に接続されるマネージャサービスが表示されます。

1.3.23 ［パスワード変更］ダイアログボックス

マネージャサービスにログインするときのパスワードを変更します。

注意

このダイアログボックスでパスワードを変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
ユーザ種別	－	パスワードを変更するユーザ種別を選択します。
	アドミニストレータ	アドミニストレータのパスワードを変更する場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。
	サブアドミニストレータ	サブアドミニストレータのパスワードを変更する場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
現在のパスワード		選択したユーザ種別の現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード		新しいパスワードを入力します。 パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
パスワード確認入力		再度新しいパスワードを入力します。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.24 ［コンソールサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ）

コンソールサービスでマネージャサービスと通信するときのネットワーク情報について設定します。

注意

このダイアログボックスでネットワーク情報について設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
接続先マネージャサービスの指定	―	接続するマネージャサービスを選択します。複数のマネージャサービスを選択できます。
	マネージャサービス	接続先マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	接続先マネージャサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
	登録／削除	接続先マネージャサービスを新規に登録または削除する場合にクリックします。［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックスが表示されます。［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックスについては，「1.3.25 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス」を参照してください。

設定項目		設定内容
コマンドタイムアウト値		マネージャサービスとのコマンド送受信時のコマンドタイムアウト時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 180 秒です。
キープアライブ※	―	マネージャサービスとの送受信時のキープアライブを使用するかどうかを設定します。キープアライブを使用する場合は，チェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。 キープアライブとは，各サービス間で回線が保持されているかどうかを定期的にチェックする機能です。
	秒	［キープアライブ］チェックボックスを ON にした場合，キープアライブの間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。デフォルトは 600 秒です。

（凡例）

―：該当しません。

注※

キープアライブの設定をする場合，次の点に注意してください。

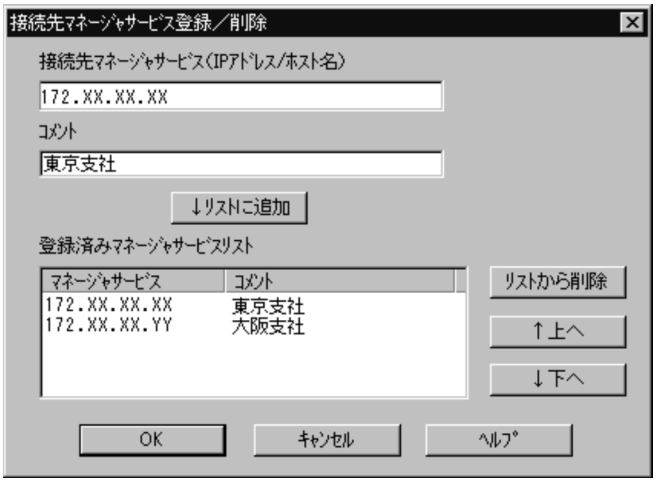
- キープアライブを設定するとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，［キープアライブ］チェックボックスは OFF に設定してください。
- ［キープアライブ］チェックボックスを ON にすると，マネージャサービスが停止するなど，コンソールサービスとマネージャサービスとの間の回線が切断した場合，管理コンソールに次のようなポップアップダイアログが表示されます。
  「ホスト名（マネージャサービス名）への接続が切断されました」
  このメッセージが表示された場合は，管理コンソールからマネージャサービスに再ログインしてください。
- キープアライブ間隔を設定する場合，必ず［コマンドタイムアウト値］の設定値よりも大きい値を設定してください。

1.3.25 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス

コンソールサービスでマネージャサービスと通信するときの接続先マネージャサービスを登録または削除します。

注意

このダイアログボックスで接続先マネージャサービスを登録または削除する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
接続先マネージャサービス（IP アドレス／ホスト名）	接続するマネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名を設定します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。 接続先が外部のネットワークの場合，接続元から見えている IP アドレスまたはホスト名を設定します。128 個まで登録できます。
コメント	接続先マネージャサービスが区別できるようにコメントを任意で入力します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
↓リストに追加	接続先マネージャサービスを登録する場合，接続するマネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名を設定してこのボタンをクリックします。設定したマネージャサービスが［登録済みマネージャサービスリスト］に表示されます。

設定項目		設定内容
登録済みマネージャサービスリスト	―	複数のマネージャサービスに接続する場合，このリストの上から順に接続が試みられます。
	マネージャサービス	登録されているマネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	接続先マネージャサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
リストから削除		不要なマネージャサービスをリストから削除する場合は，削除したいマネージャサービスを選択してこのボタンをクリックします。［登録済みマネージャサービスリスト］から削除されます。
↑上へ		複数のマネージャサービスに接続するときの優先順位（接続順位）を上げる場合，このボタンをクリックします。優先順位（接続順位）が変更されます。
↓下へ		複数のマネージャサービスに接続するときの優先順位（接続順位）を下げる場合，このボタンをクリックします。優先順位（接続順位）が変更されます。

（凡例）

―：該当しません。

1.3.26 ［コンソールサービス設定］ダイアログボックス（[情報取得］タブ）

コンソールサービスで保守情報ファイルを管理コンソールへ転送する場合のファイルの格納先を設定します。

注意

このダイアログボックスでファイルの格納先を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

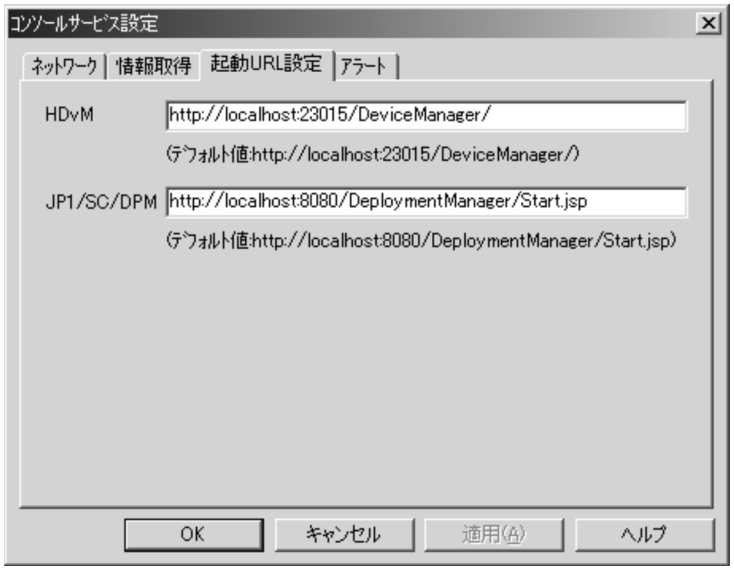
設定項目	設定内容
情報取得ファイル格納先	取得情報ファイルの格納先を設定します。 指定できる格納先は，コンソールサービスをインストールしているホストの OS が認識できるディレクトリです。
ドライブ	取得情報ファイル格納先のドライブを設定します。

1.3.27 ［コンソールサービス設定］ダイアログボックス（［起動 URL 設定］タブ）

コンソールサービスでツールバーのボタンや外部プログラムに関連づけられている起動 URL に関する情報を設定します。

注意

このダイアログボックスで起動 URL に関する情報を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

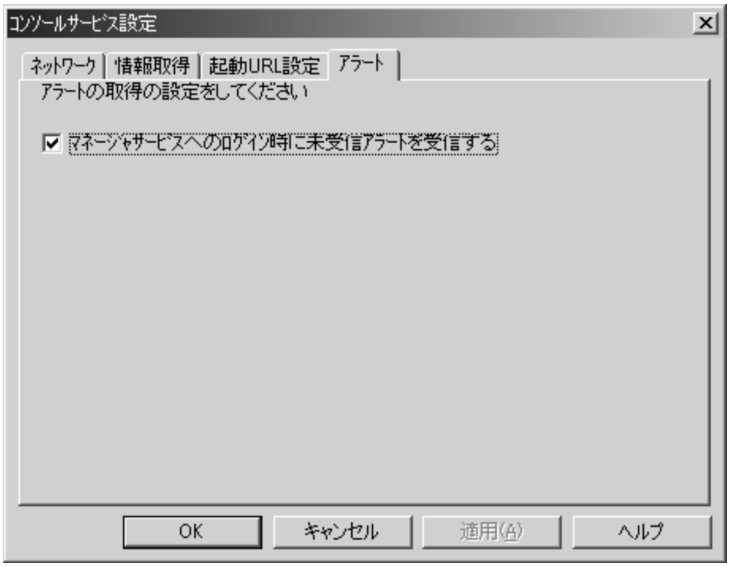
設定項目	設定内容
HDvM	Device Manager の起動 URL（半角 1,023 文字以下）を設定します。デフォルトは http://localhost:23015/DeviceManager/ です。
JP1/SC/DPM	JP1/ServerConductor/Deployment Manager の起動 URL（半角 1,023 文字以下）を設定します。デフォルトは http://localhost:8080/DeploymentManager/Start.jsp です。

1.3.28 ［コンソールサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ）

コンソールサービスでマネージャサービスへのログイン時に未受信アラートを受信するかどうかを設定します。

注意

- マネージャサービスへのログイン時に未受信アラートを受信できるのは，BSM を使用している場合だけです。
- このダイアログボックスでアラートについて設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
マネージャサービスへのログイン時に未受信アラートを受信する	マネージャサービスへのログイン時に，未受信のアラートを自動的に取得する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

1.3.29 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ）

エージェントサービスのネットワークに関する情報を設定します。

注意

このダイアログボックスでネットワークに関する情報を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
コマンドタイムアウト値		管理コンソールとコマンドを送受信するときのコマンドタイムアウト時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 90 秒です。
キープアライブ※	－	マネージャサービスとの送受信時のキープアライブを使用するかどうかを設定します。キープアライブを使用する場合は，チェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。 キープアライブとは，各サービス間で回線が保持されているかどうかを定期的にチェックする機能です。
	秒	［キープアライブ］チェックボックスを ON にした場合，キープアライブの間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。デフォルトは 600 秒です。

（凡例）

－：該当しません。

注※

キープアライブの設定をする場合，次の点に注意してください。

- キープアライブを設定するとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，［キープアライブ］チェックボックスは OFF に設定してください。
- ［キープアライブ］チェックボックスを ON にすると，マネージャサービスが停止するなど，コンソールサービスとマネージャサービスとの間の回線が切断した場合，管理コンソールに次のようなポップアップダイアログが表示されます。
  「ホスト名（マネージャサービス名）への接続が切断されました」
  このメッセージが表示された場合は，管理コンソールからマネージャサービスに再ログインしてください。
- キープアライブ間隔を設定する場合，必ず［コマンドタイムアウト値］の設定値よりも大きい値を設定してください。

1.3.30 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ）

エージェントサービスが検知するアラートに関する情報を設定します。

注意

このダイアログボックスでエージェントサービスが検知するアラートに関する情報を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
通知アラート	―	マネージャサービスへ通知するアラートのレベルを設定します。通知するアラートレベルのチェックボックスを ON にしてください。
	インフォメーション	サーバの状態変化を知らせるアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	注意	エラーが発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	警告	障害が発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	障害	すぐに対処が必要なレベルのアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

設定項目		設定内容
アラートログ	―	アラートログの保存情報を設定します。
	保存日数	アラートのログファイルを保存しておく期間を日単位で設定します。0 ～ 90 の範囲で設定します。デフォルトは 30 日です。この日数を超えた場合は，管理コンソールに通知されます。0 を設定すると，削除しないかぎり保存します。
	使用ディスク容量警告値	アラートログの使用ディスク容量の警告値をキロバイト単位で設定します。0 ～ 1,048,576 の範囲で設定します。デフォルトは 1,024 キロバイトです。0 を設定するとアラートを送信しません。
アプリケーションログ	―	エージェントサービスが通知するアラートをアプリケーションログとして記録するかどうかを設定します。アプリケーションログとして記録した場合，イベントビューアで参照できます。 **注意** Linux サーバおよび HP-UX サーバのアラートはアプリケーションログとして記録できません。
	アプリケーションログとして記録	アプリケーションログとして記録する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

―：該当しません。

1.3.31 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［各アラートの属性］タブ）

エージェントサービスの各アラートの属性情報について設定します。

注意

このダイアログボックスでエージェントサービスの各アラートの属性情報について設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
アラート一覧	－	すべてのアラート情報が表示されます。この中からコンソールサービスに通知する，またはサーバの動作を設定するアラートを選択します。
	イベント ID	アラートのイベント ID が表示されます。
	発生部位	アラートの発生部位が表示されます。
	レベル	アラートのレベルが表示されます。
	内容	アラートの内容が表示されます。

設定項目		設定内容
アラート発生通知	―	アラート一覧で選択したアラートが発生した場合に，管理コンソールに通知するかどうかを設定します。 **注意** ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ）の［通知アラート］で，通知しないアラートに設定したレベルのアラートは，ここで発生回数を設定しても通知されません。設定方法については，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照してください。
	通知する	管理コンソールに通知する場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。
	回	管理コンソールに通知する場合，アラートが何回発生したときに通知するかを設定します。1 ～ 65,534 の範囲で設定します。デフォルトは管理対象サーバの種類によって異なります。
	通知しない	管理コンソールに通知しない場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
イベント発生時のサーバ動作	―	イベントが発生した場合，サーバの電源操作，およびイベントが発生したときに起動していたプロセスを強制終了するかどうかを設定します。 **注意** • イベント発生時のサーバ動作が実行されると設定内容はリセットされ，「何もしない」になります。そのため，動作実施後は再設定する必要があります。 • HP-UX サーバの場合，イベント発生時のサーバ動作は設定できません。
	何もしない	イベントが発生した場合，何もしないときはこのラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。
	電源 OFF	イベントが発生した場合，サーバの電源を OFF にするときはこのラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
	リブート	イベントが発生した場合，サーバをリブートするときはこのラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
	シャットダウン	イベントが発生した場合，サーバをシャットダウンするときはこのラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
	プロセスの強制終了	イベントが発生した場合に起動していたプロセスを強制終了するかどうかを設定します。強制終了する場合，［する］ラジオボタンを ON にします。デフォルトでは［しない］ラジオボタンが ON になっています。
フェイルオーバー	―	フェイルオーバーするかどうかを設定します。 **注意** フェイルオーバーは，MSCS またはフェールオーバークラスタでクラスタを管理している Windows サーバだけに設定できます。
	する	フェイルオーバーする場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
	しない	フェイルオーバーしない場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。

設定項目	設定内容
保存	アラート一覧に表示されているすべてのアラートの属性をアラート属性ファイルに保存します。保存するファイルを指定するダイアログボックスが表示されます。アラート属性は拡張子 .aaf のファイルに保存されます。
読込	アラート属性ファイルを読み込み，各アラートの属性を一括で設定します。ファイルを指定するダイアログボックスが表示されます。

（凡例）

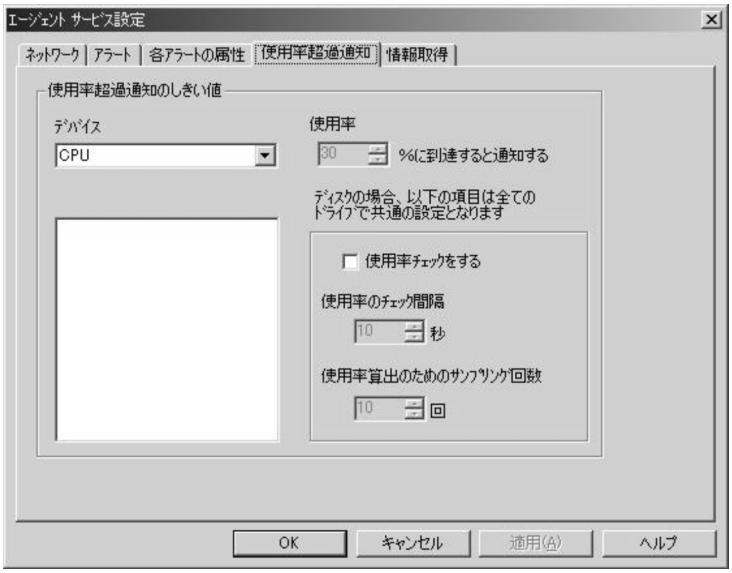
－：該当しません。

1.3.32 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［使用率超過通知］タブ）

エージェントサービスの CPU，メモリ，ドライブ，またはファイルシステムの使用率が何 % に到達したときにマネージャサービスに通知するかを設定します。

注意

このダイアログボックスで使用率超過通知について設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
デバイス	使用率超過通知について設定できるデバイスは，サーバの種類によって異なります。次に，各サーバで設定できるデバイスについて示します。 Windows サーバ 　CPU，メモリ，ドライブ Linux サーバおよび HP-UX サーバ 　CPU，メモリ，ファイルシステム
使用率	CPU，メモリ，ドライブ，またはファイルシステムの使用率が何 % に到達したときに，通知するかを設定します。CPU の場合は 10 ～ 100 の範囲で設定します。デフォルトは 30% です。メモリ，ドライブ，またはファイルシステムの場合は 40 ～ 100 の範囲で設定します。デフォルトは 80% です。

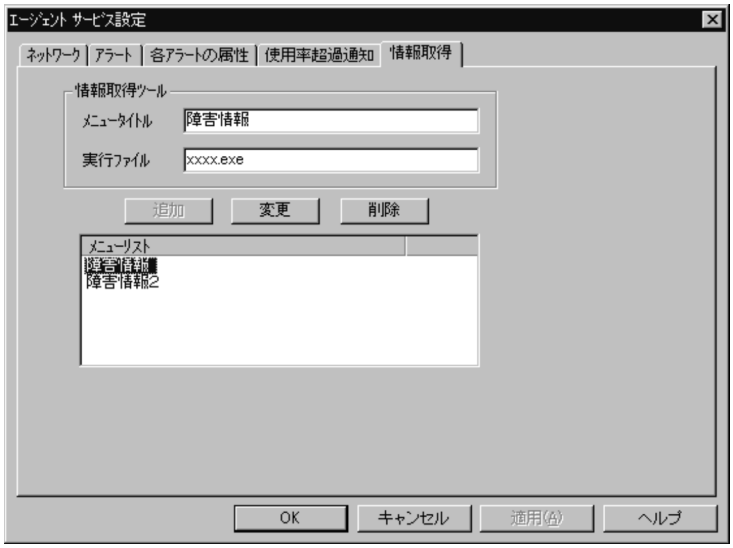
設定項目	設定内容
（ドライブ，またはファイルシステム）	ドライブまたはファイルシステムの一覧と現在設定されている使用率が表示されます。［デバイス］の下のリストボックスに表示されます。このリストで，使用率超過通知を設定するドライブまたはファイルシステムを選択します。 ダブルクリックするとリストの先頭にある○が●に変わり，チェック対象になります。 ● 使用率のチェックをします。 ○ 使用率のチェックをしません。
使用率チェックをする	使用率をチェックするかどうかを設定します。チェックボックスを ON にすると使用率をチェックします。デフォルトは OFF です。使用率超過通知について変更する場合は，このチェックボックスを最初に変更してください。以降の項目が設定できるようになります。
使用率のチェック間隔	CPU，メモリ，ドライブ，またはファイルシステムの使用率を何秒間隔でチェックするかを設定します。1 ～ 86,400 の範囲で設定します。デフォルトは，CPU またはメモリの場合は 10 秒で，ドライブまたはファイルシステムの場合は 60 秒です。なお，このチェック間隔は，すべてのドライブまたはファイルシステムに対して同じ設定値になります。C ドライブが 3 秒，D ドライブが 5 秒という設定はできません。
使用率算出のためのサンプリング回数	この使用率超過通知は，何回かのチェックの平均値が「使用率」で設定した値に到達すると，マネージャサービスに通知するようになっています。この項目では，平均値を求めるチェック回数を設定します。1 ～ 1,000 の範囲で設定します。デフォルトは 10 回です。なお，このサンプリング回数は，すべてのドライブまたはファイルシステムに対して同じ設定値になります。C ドライブが 10 回，D ドライブが 20 回という設定はできません。

1.3.33 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（[情報取得］タブ）

エージェントサービスの情報取得メニューを設定します。

注意

このダイアログボックスで情報取得メニューを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
情報取得ツール	―	メニューを追加する場合，情報取得ツールのメニュータイトルおよび実行ファイルを指定します。メニューは 100 個まで登録できます。 また，すでに登録されているメニューを［メニューリスト］から選択した場合，選択したメニューの内容が表示されます。
	メニュータイトル	メニューを追加する場合，メニューリストに表示するメニュー名称を設定します。

項目		内容
	実行ファイル	メニューを追加する場合，実行するファイル名および実行オプションを設定します。 • Windows サーバの場合 実行ファイルは事前に管理対象サーバの「JP1/ServerConductor インストール先ディレクトリ ¥Tool¥UsrBin」に格納しておいてください。実行ファイルの出力結果は，環境変数 %SmToolOutput% に定義されているディレクトリに出力してください。この環境変数は参照用のため変更しないでください。 • Linux サーバの場合 実行ファイルは管理対象サーバの「/var/opt/hitachi/system_manager/tmp」に格納しておいてください。実行ファイルの出力結果は，実行ファイルの第 1 引数に指定されたディレクトリに出力してください。なお，「/var/opt/hitachi/system_manager/tmp」に格納した実行ファイルは Agent（Linux）のアンインストールのときに削除されます。 • HP-UX サーバの場合 実行ファイルは管理対象サーバの「/var/opt/htcsma/tmp」に格納しておいてください。実行ファイルの出力結果は「/var/opt/htcsma/collect」に出力してください。すでに古い情報が存在する場合は上書きされ，古い情報は削除されます。なお，「/var/opt/htcsma/tmp」に格納した実行ファイルは Agent（HP-UX）のアンインストールのときに削除されます。
追加		メニューを追加する場合，メニュータイトル，実行ファイルを入力して，このボタンをクリックします。 設定したメニューが［メニューリスト］に表示されます。
変更		メニューを変更する場合，［メニューリスト］から対象のメニューを選択して，メニュータイトル，実行ファイルを入力して，このボタンをクリックします。
削除		不要なメニューを削除する場合，対象のメニューを選択してこのボタンをクリックします。［メニューリスト］からメニューが削除されます。
メニューリスト		設定されているメニューが表示されます。 メニューを追加した場合は，追加したメニュータイトルが表示されます。

（凡例）

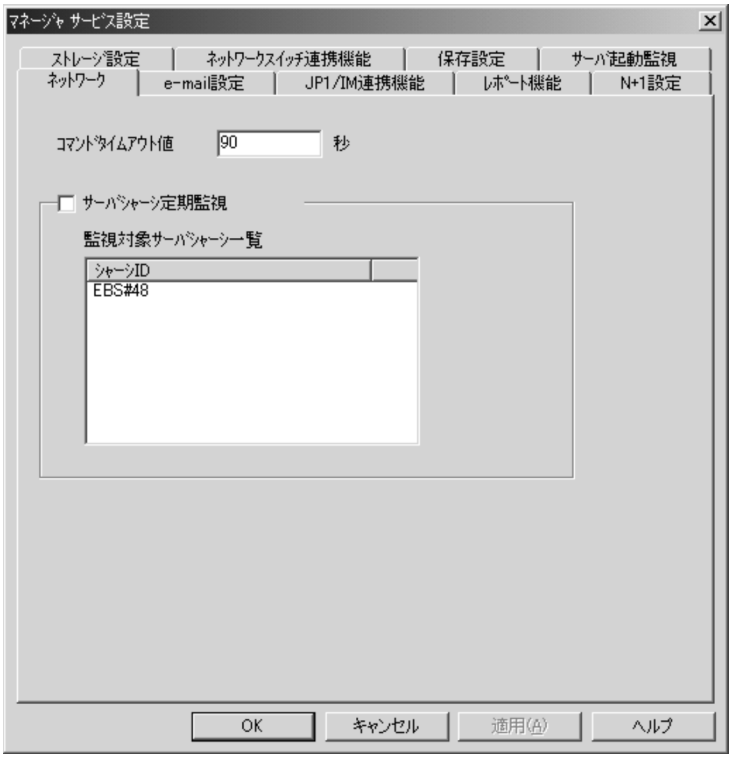
－：該当しません。

1.3.34 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ）

マネージャサービスでコンソールサービスやエージェントサービスと通信するときのネットワーク情報について設定します。また，マネージャサービスとサーバシャーシとの間の通信状態を定期的に監視するかどうかを設定します。

注意

- このダイアログボックスでネットワーク情報について設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- サーバシャーシの通信状態の定期監視は，対象が BladeSymphony のサーバシャーシの場合に設定できます。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
コマンドタイムアウト値	コンソールサービスとのコマンドの送受信時のコマンドタイムアウト時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 90 秒です。

設定項目			設定内容
サーバシャーシ定期監視※	―		サーバシャーシの通信状態を定期的に監視する場合，このチェックボックスを ON にします。通信状態は 8 時間ごとに監視されます。デフォルトは OFF です。
	監視対象サーバシャーシ一覧	―	通信状態監視の対象となるサーバシャーシが一覧で表示されます。
		シャーシ ID	シャーシ ID が表示されます。 マネージャサービスで管理されているシャーシ ID が表示されるため，［ホスト管理］ウィンドウのコンピュータ名の表示内容と異なることがあります。

（凡例）

―：該当しません。

注※

接続先マネージャサービスのバージョンが 08-50 以降の場合に表示されます。

1.3.35 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［e-mail 設定］タブ）

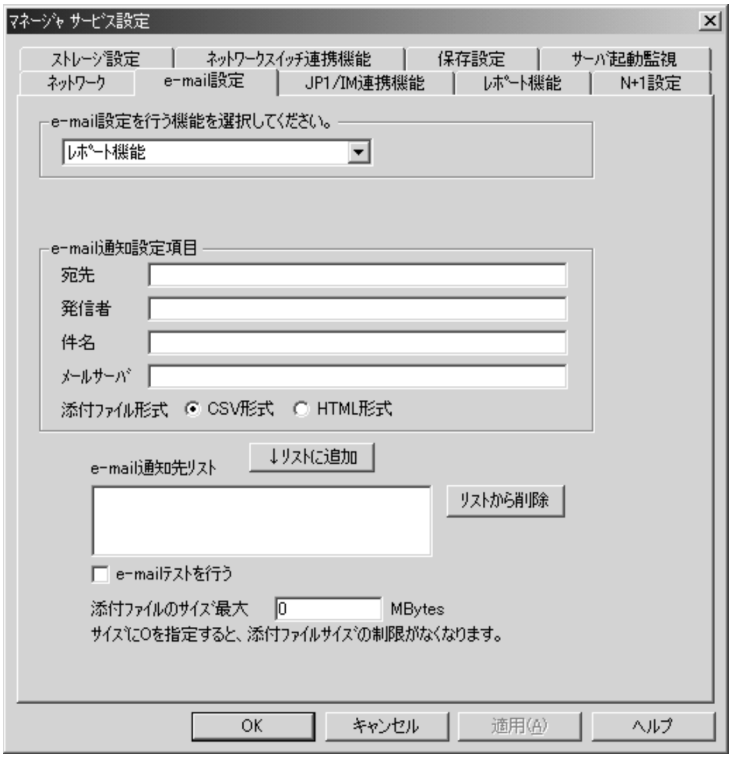
自動レポート通知機能を使用して情報を e-mail で通知する場合の内容を設定します。

設定項目は e-mail 設定する機能によって異なります。

注意

このダイアログボックスで自動レポート通知機能を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。

（1） レポート機能を e-mail で通知する場合



設定項目を次の表に示します。

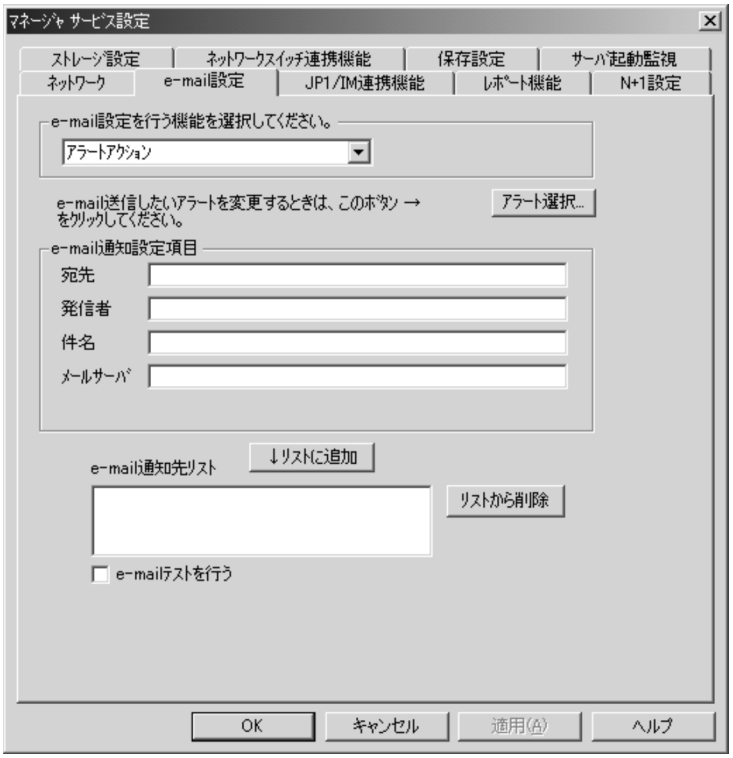
設定項目		設定内容
e-mail 設定を行う機能を選択してください。		［レポート機能］を選択します。
e-mail 通知設定項目	－	e-mail 通知の各項目を設定します。
	宛先	インベントリ情報を送信する e-mail のアドレスを設定します。1 ～ 256 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。

設定項目		設定内容
	発信者	e-mail の発信元となる e-mail のアドレスを設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
	件名	メールの件名となる文字列を設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字種に制限はありません。
	メールサーバ	発信者の e-mail アドレスが所属しているメールサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
	添付ファイル形式	自動レポート機能で送信される添付ファイルの形式を指定します。CSV 形式または HTML 形式のどちらかが選択できます。デフォルトは CSV 形式です。
↓リストに追加		e-mail 通知を設定する場合，［e-mail 通知設定項目］の各項目を設定してこのボタンをクリックします。［宛先］に設定した e-mail アドレスが［e-mail 通知先リスト］に追加されます。e-mail アドレスは四つまで設定できます。
e-mail 通知先リスト		設定した e-mail 通知先が表示されます。
リストから削除		不要な e-mail 通知先を削除する場合は，削除する e-mail 通知先を選択してこのボタンをクリックします。［e-mail 通知先リスト］から削除されます。
e-mail テストを行う		e-mail 通知先リストに表示されているすべての e-mail アドレスにテストメールを送信する場合，このチェックボックスを ON にします。テストメールのタイトルと本文には「Test Mail」が設定され，添付ファイルは無しとなります。 テストメールは，［OK］ボタンをクリックした時点で送信されます。
添付ファイルのサイズ最大		添付ファイルの最大サイズをメガバイト単位で設定します。0 ～ 32 の範囲で設定します。デフォルトは 0 メガバイトです。0 を指定すると，サイズの制限がなくなります（32 メガバイトを超えるサイズを添付できます）。

（凡例）

－：該当しません。

(2) アラートアクションを e-mail で通知する場合



設定項目を次の表に示します。

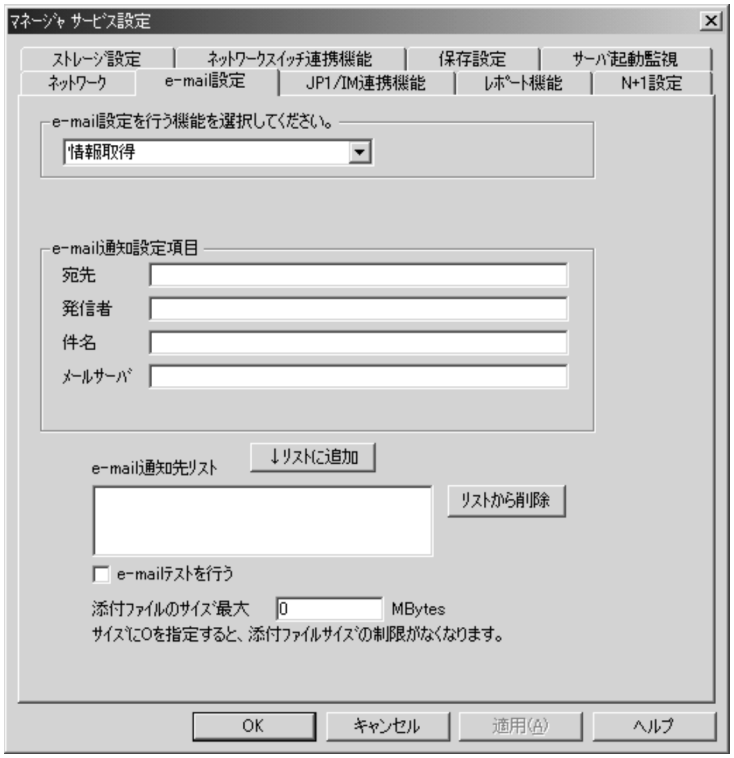
設定項目		設定内容
e-mail 設定を行う機能を選択してください。		［アラートアクション］を選択します。
アラート選択		e-mail 送信したいアラートを変更する場合はこのボタンをクリックします。［アラート設定］ダイアログボックスが表示されます。［アラート設定］ダイアログボックスについては,「1.3.36 ［アラート設定］ダイアログボックス」を参照してください。
e-mail 通知設定項目	－	e-mail 通知の各項目を設定します。
	宛先	アラートを送信する e-mail のアドレスを設定します。1 ～ 256 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
	発信者	e-mail の発信元となる e-mail のアドレスを設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
	件名	メールの件名となる文字列を設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字種に制限はありません。

設定項目		設定内容
	メールサーバ	発信者の e-mail アドレスが所属しているメールサーバのホスト名を設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
↓リストに追加		e-mail 通知を設定する場合，［e-mail 通知設定項目］の各項目を設定してこのボタンをクリックします。［宛先］に設定した e-mail アドレスが［e-mail 通知先リスト］に追加されます。e-mail アドレスは四つまで設定できます。
e-mail 通知先リスト		設定した e-mail 通知先が表示されます。
リストから削除		不要な e-mail 通知先を削除する場合，削除する e-mail 通知先を選択してこのボタンをクリックします。［e-mail 通知先リスト］から削除されます。
e-mail テストを行う		e-mail 通知先リストに表示されているすべての e-mail アドレスにテストメールを送信する場合，このチェックボックスを ON にします。テストメールのタイトルと本文には「Test Mail」が設定され，添付ファイルは無しとなります。 テストメールは，［OK］ボタンをクリックした時点で送信されます。

（凡例）

－：該当しません。

(3) 情報取得を e-mail で通知する場合



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
e-mail 設定を行う機能を選択してください。		［情報取得］を選択します。
e-mail 通知設定項目	―	e-mail 通知の各項目を設定します。
	宛先	保守情報を送信する e-mail のアドレスを設定します。1 ～ 256 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
	発信者	e-mail の発信元となる e-mail のアドレスを設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
	件名	メールの件名となる文字列を設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字種に制限はありません。
	メールサーバ	発信者の e-mail アドレスが所属しているメールサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。1 ～ 63 バイトの範囲で設定します。使用できる文字は半角英数字および半角記号です。
↓リストに追加		e-mail 通知を設定する場合，［e-mail 通知設定項目］の各項目を設定してこのボタンをクリックします。［宛先］に設定した e-mail アドレスが［e-mail 通知先リスト］に追加されます。e-mail アドレスは四つまで設定できます。
e-mail 通知先リスト		設定した e-mail 通知先が表示されます。
リストから削除		不要な e-mail 通知先を削除する場合，削除する e-mail 通知先を選択してこのボタンをクリックします。［e-mail 通知先リスト］から削除されます。
e-mail テストを行う		e-mail 通知先リストに表示されているすべての e-mail アドレスにテストメールを送信する場合，このチェックボックスを ON にします。テストメールのタイトルと本文には「Test Mail」が設定され，添付ファイルは無しとなります。 テストメールは，［OK］ボタンをクリックした時点で送信されます。
添付ファイルのサイズ最大		添付ファイルの最大サイズをメガバイト単位で設定します。0 ～ 32 の範囲で設定します。デフォルトは 0 メガバイトです。0 を指定すると，サイズの制限がなくなります（32 メガバイトを超えるサイズを添付できます）。

（凡例）

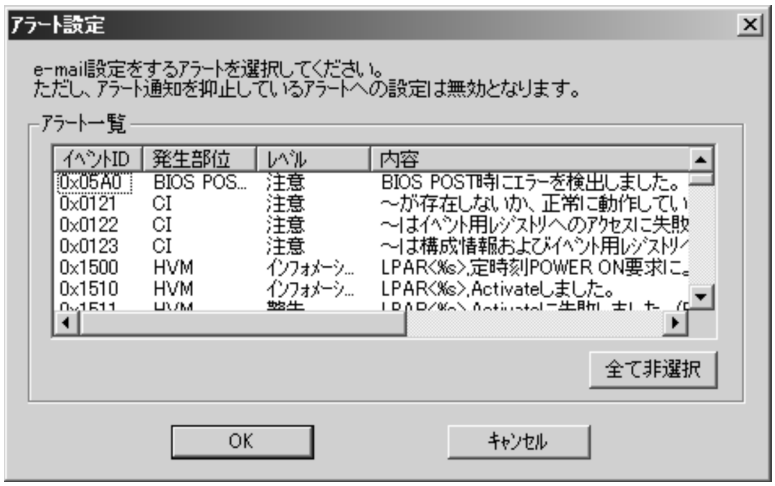
―：該当しません。

1.3.36 ［アラート設定］ダイアログボックス

e-mail で通知するアラートを選択します。

注意

このダイアログボックスで通知するアラートを選択する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アラート一覧	―	e-mail で通知したいアラートを選択します。
	イベント ID	アラートのイベント ID が表示されます。
	発生部位	アラートの発生部位が表示されます。
	レベル	アラートのレベルが表示されます。
	内容	アラートの内容が表示されます。
全て選択 / 全て非選択※		すべてのアラートを通知する場合にクリックします。

（凡例）

―：該当しません。

注※

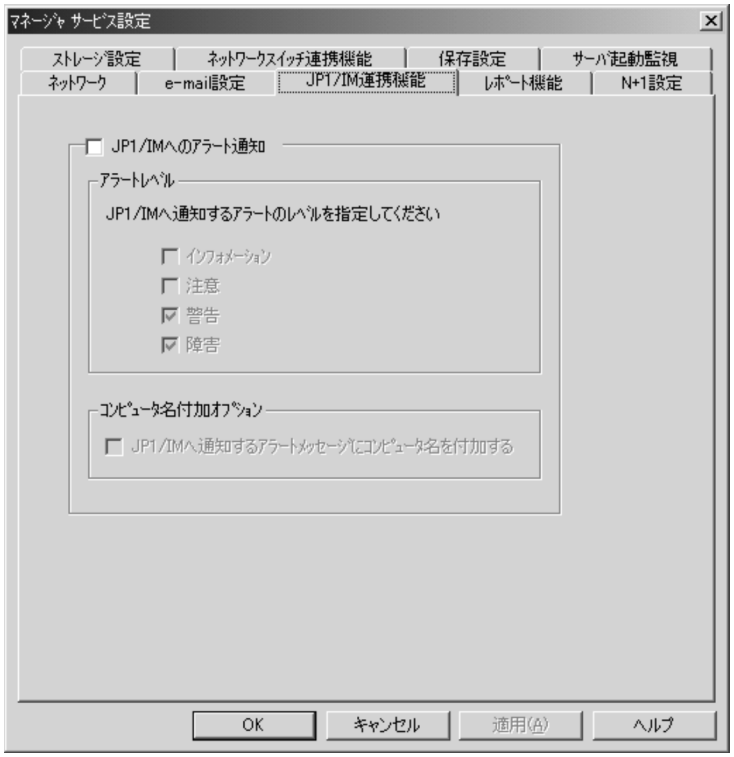
クリックするたびに［全て選択］ボタンと［全て非選択］ボタンが切り替わります。

1.3.37 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［JP1/IM 連携機能］タブ）

マネージャサービスが受け取った JP1/ServerConductor の管理対象からのアラートを，JP1 のイベントサーバにイベントとして通知する内容を設定します。

注意

このダイアログボックスで JP1/IM 連携機能を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目			設定内容
JP1/IM へのアラート通知	―		JP1/IM へのアラート通知を有効にするかどうかを設定します。JP1/IM へのアラート通知を有効にする場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	アラートレベル	―	［JP1/IM へのアラート通知］チェックボックスが ON の場合，JP1/IM へ通知するアラートのレベルを設定します。通知するアラートレベルのチェックボックスを ON にしてください。

設定項目			設定内容
		インフォメーション	サーバの状態変化を知らせるアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
		注意	エラーが発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
		警告	障害が発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
		障害	すぐに対処が必要なレベルのアラートを通知する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	コンピュータ名付加オプション	－	［JP1/IM へのアラート通知］チェックボックスが ON の場合，JP1/IM へ通知するアラートのメッセージにコンピュータ名を付加するかどうかを設定します。
		JP1/IM へ通知するアラートメッセージにコンピュータ名を付加する	JP1/IM へ通知するアラートのメッセージにコンピュータ名を付加する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.38 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［レポート機能］タブ）

設定した条件に合うインベントリ情報を持つホストをデータベースから定期的に検索して，e-mail で検索結果を通知する内容を設定します。

マネージャサービスが管理している次の管理対象ホストに対して使用できます。

- Windows サーバ
- Linux サーバ
- HP-UX サーバ

注意

このダイアログボックスでレポート機能を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
ホスト検索機能と自動レポート機能を使用する	ホスト検索機能と自動レポート機能を使用する場合に ON にします。デフォルトは OFF です。 ［データベースの選択］ダイアログボックスで使用するデータベースを選択します。［データベースの選択］ダイアログボックスについては,「1.3.39 ［データベースの選択］ダイアログボックス」を参照してください。
データベース更新スケジュール設定	データベース更新スケジュールを設定する場合にクリックします。 ［データベース更新スケジュール設定］ダイアログボックスが表示されます。［データベース更新スケジュール設定］ダイアログボックスについては,「1.3.40 ［データベース更新スケジュール設定］ダイアログボックス」を参照してください。

1.3.39 ［データベースの選択］ダイアログボックス

ホスト検索機能と自動レポート機能を使用する場合に，使用するデータベースを選択します。

注意

このダイアログボックスで使用するデータベースを選択する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
ホスト検索機能と自動レポート機能で使用するデータソースを選択して下さい。	－	ホスト検索機能と自動レポート機能で使用するデータソースを選択します。
	データソース名	データベースのデータソース名が表示されます。
	ドライバ名	データベースのドライバ名が表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.40 ［データベース更新スケジュール設定］ダイアログボックス

ホスト検索機能と自動レポート機能を使用する場合に，データベースの内容を更新するスケジュールを設定します。

注意

このダイアログボックスでデータベース更新スケジュールを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
曜日設定	－	曜日を設定します。
	日～土	設定したい曜日をクリックします。曜日を選択すると「毎週のその曜日」の設定となります。

項目		内容
特定日設定	―	特定日を設定します。
	年月	特定日の年月を指定します。年に「-1」を入力すると，「毎年」の設定となります。 月リストから［毎］を選択すると，「毎月」の設定となります。デフォルトはこのダイアログボックスを開いたときのコンソールサービスが稼働しているマシンの年月です。
	1 ～ 31	特定日を指定します。設定したい日付をクリックします。
	毎日	毎日の設定をする場合にクリックします。
1 日のスケジュール	―	1 日のスケジュールを設定します。10 個まで設定できます。
	時刻	データベース更新スケジュールを実行する時刻を指定します。時刻は 30 分間隔で指定できます。
	データベースを更新する	指定した時刻にデータベースを更新する場合に選択します。
	データベースの更新から除外する	指定した時刻のデータベースの更新をしない場合に選択します。
	↓リストに追加	指定したスケジュールをリストに追加する場合はこのボタンをクリックします。10 個まで追加できます。指定したスケジュールは［1 日のスケジュール］リストに追加されます。
	1 日のスケジュール	指定した 1 日のスケジュールが表示されます。
	リストから削除	不要なスケジュールを削除する場合は，削除するスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。［1 日のスケジュール］リストから削除されます。
	設定→	スケジュールを設定する場合，［1 日のスケジュール］に設定したスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。曜日スケジュールは 7 個，特定日スケジュールは 10 個まで設定できます。設定したスケジュールは，［設定済み曜日リスト］または［設定済み特定日リスト］に表示されます。
設定済み曜日リスト	―	設定されている曜日のリストが表示されます。
	リストから削除	不要な曜日を削除する場合は，削除する曜日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み曜日リスト］から削除されます。
設定済み特定日リスト	―	設定されている特定日のリストが表示されます。
	リストから削除	不要な特定日を削除する場合は，削除する特定日を選択してこのボタンをクリックします。［設定済み特定日リスト］から削除されます。
マネージャサービスの現在時刻		マネージャサービスの現在の時刻が表示されます。

（凡例）

―：該当しません。

注意

- 「データベースを更新する」場合，特定日の設定が優先されます。特定日設定と曜

日設定の両方に「データベースを更新する」設定をした場合，設定時間に関係なく曜日設定は無効となります。
（例）特定日「1999/08/11 9:00（更新）」，曜日「水曜日 12:00（更新）」の場合，水曜 12:00 のデータベースの更新は無効となります。

- 「データベースの更新から除外する」場合，特定日と曜日の設定に優先順位はありません。ただし，特定日設定で「データベースを更新する」設定があり，曜日設定で「データベースの更新から除外する」設定がある場合，更新時間と除外時間が同じであれば，除外を優先します。
（例）特定日「1999/08/11 9:00（更新）」，曜日「水曜日 9:00（除外）」の場合，除外されます。
- データベース更新スケジュール時間は，「1.3.14 ［レポートスケジュール設定］ダイアログボックス」のレポートスケジュール時間よりも前になるように設定してください。データベース更新後にレポートスケジュールを行うように設定すると，常に最新の情報がレポートされます。この場合，1 時間以上の間隔を空けてください。
- 「データベースを更新する」場合，更新時間は 1 日以上空けてください。
- 「毎月」や「毎日」の設定をした結果，更新時間の間隔が 30 分未満となった場合は，あとの設定が無効になります。

1.3.41 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［N+1 設定］タブ）

マネージャサービスの N+1 コールドスタンバイ機能を有効または無効にします。

注意

- このダイアログボックスを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。
- このダイアログボックスでマネージャサービスの N+1 コールドスタンバイ機能の有効または無効を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
N+1 コールドスタンバイ	―	障害発生時に N+1 コールドスタンバイ機能を有効にするか無効にするかを設定します。
	有効にする	障害発生時に N+1 コールドスタンバイ機能を有効にする場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

設定項目		設定内容
障害時の自動切り替え実行の適用	－	障害発生時に N+1 コールドスタンバイ機能を自動で実行するかどうかを設定します。［有効にする］チェックボックスが ON の場合に設定できます。
	適用する	N+1 コールドスタンバイ機能を自動で実行します。デフォルトは OFF です。
	適用しない	障害発生時に手動で切り替えを実行します。デフォルトは ON です。
自動切り替えを中止する	－	N+1 コールドスタンバイ機能を自動で実行中に障害を回復できた場合，自動切り替えを中止するかどうかを設定します。［有効にする］チェックボックスが ON の場合に設定できます。
	現用ホストでエージェントサービスが起動	障害発生後，一定時間内に現用系ホストでエージェントサービスが起動したときに自動切り替えを中止する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

－：該当しません。

1.3.42 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［ストレージ設定］タブ）

ストレージ運用支援機能について設定します。

注意

- このダイアログボックスを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。
- このダイアログボックスでストレージ運用支援機能について設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
ストレージ運用支援機能	―	ストレージ運用支援機能を有効にするか無効にするかを設定します。
	有効にする	ストレージ運用支援機能を利用する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。 ストレージ運用支援機能を利用していた環境から利用しない環境に変更する場合は，ホストグループ割り当てを解除してから，このチェックボックスを OFF にします。

設定項目		設定内容
Hitachi Device Manager Software 設定	ホスト登録（IP Address/ ホスト名）	Device Manager のサーバを BSM Plus へ登録する際に必ず設定します。 Device Manager がインストールされている IP アドレスまたはホスト名（半角 1 文字以上）を設定します。登録できるホストは 1 台だけです。
	アクセスオプション	Device Manager に HTTPS で接続する場合に選択します。 ［アクセスオプション］チェックボックスを ON にする場合は，Device Manager のホストに SSL の電子証明書をインストールしてください。ホストに SSL の電子証明書をインストールする方法については，マニュアル「JP1/HiCommand Device Manager システム構成ガイド（サーバ編）」またはマニュアル「Hitachi Device Manager and Provisioning Manager Software システム構成ガイド」を参照してください。
	接続 Port	Device Manager のサーバを BSM Plus へ登録する際に必ず設定します。 Device Manager のホストへ接続するポート番号を半角数字で設定します。1 ～ 65535 の範囲で設定します。デフォルトは 2001 です。
	ストレージ管理者ユーザ ID	Device Manager のサーバを BSM Plus へ登録する際に必ず設定します。 ストレージ管理者（Device Manager のアドミニストレータ権限を持つユーザ）のユーザ ID を設定します。ユーザ ID は，半角 4 文字以上で指定します。使用できる文字列は，半角英数字，半角ハイフン，半角アンダースコア，半角コンマ，および半角アットマークです。
	ストレージ管理者ユーザパスワード	Device Manager のサーバを BSM Plus へ登録する際に必ず設定します。 ストレージ管理者（Device Manager のアドミニストレータ権限を持つユーザ）のユーザパスワードを設定します。半角英数字 4 文字以上で指定します。
	接続確認	ストレージ運用支援機能の詳細を設定した場合，このボタンをクリックして Device Manager への接続状況を確認をします。接続の成功または失敗を知らせるメッセージが表示されます。
ホストグループ自動割り当て設定	―	ホストグループ自動割り当ての情報を設定します。
	ホストグループ割り当て定義ファイルのパス	ホストグループ一覧ファイルのホストグループ割り当て定義ファイルのパスを指定します。
	参照	ホストグループ一覧ファイルの名前を指定する場合，表示されるダイアログボックスからホストグループ一覧ファイルを選択して指定するときにこのボタンをクリックます。
	エクスポート	ホストグループ一覧ファイルを作成する場合にクリックします。ファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。
	インポート	ホストグループ一覧ファイルをインポートする場合にクリックします。ファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。

設定項目		設定内容
	定義内容確認	ホストグループの割り当て結果を確認する場合にクリックします。ホストグループ割り当て定義内容の CSV ファイルを作成するダイアログボックスが表示されます。作成した CSV ファイルでホストグループの割り当て結果を確認します。

（凡例）

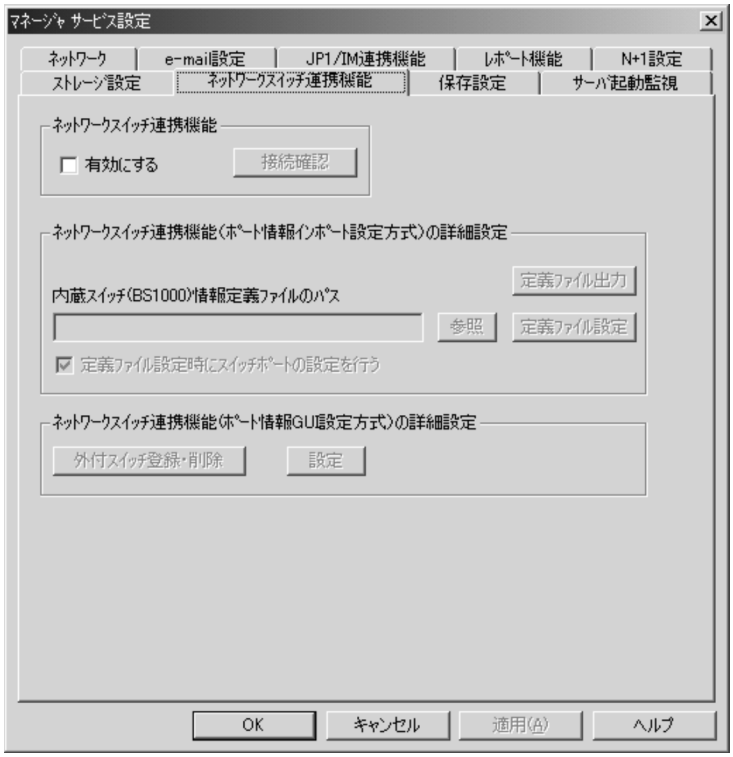
－：該当しません。

1.3.43 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワークスイッチ連携機能］タブ）

マネージャサービスのネットワークスイッチ連携機能の有効・無効の設定，およびネットワークスイッチ連携機能の詳細を設定します。

注意

- このダイアログボックスを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。
- このダイアログボックスでネットワークスイッチ連携機能について設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
ネットワークスイッチ連携機能	―	ネットワークスイッチ連携機能を有効にするかどうかを設定します。
	有効にする	ネットワークスイッチ連携機能を有効にする場合にチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

設定項目		設定内容
	接続確認	ネットワークスイッチ連携機能を有効にした場合，このボタンをクリックして JP1/Cm2/NC への接続状況を確認します。接続の成功または失敗を知らせるメッセージが表示されます。
ネットワークスイッチ連携機能（ポート情報インポート設定方式）の詳細設定	－	ネットワークスイッチ連携機能を有効にした場合，ネットワークスイッチ連携機能の詳細を設定します。 ［ネットワークスイッチ連携機能］の［有効にする］チェックボックスが ON の場合に設定できます。
	内蔵スイッチ (BS1000) 情報定義ファイルのパス	ポート情報インポート設定方式で，ネットワークスイッチ連携機能を利用する場合に設定します。 登録するスイッチ情報定義ファイルを設定します。
	参照	登録するスイッチ情報定義ファイルを指定する場合，表示されるダイアログボックスからスイッチ情報定義ファイルを選択して指定するときにこのボタンをクリックます。
	定義ファイル出力	指定したスイッチ情報定義ファイルを出力します。定義ファイルは拡張子 .csv のファイルに保存されます。
	定義ファイル設定	指定したスイッチ情報定義ファイルをマネージャサービスに登録します。指定したスイッチ情報定義ファイルの内容が 0 バイト，またはコメント行と空白行だけの場合は，マネージャサービスに登録された内容が消去されます。
	定義ファイル設定時にスイッチポートの設定を行う	スイッチ情報定義ファイルを登録するタイミングでスイッチポートを設定する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
ネットワークスイッチ連携機能（ポート情報 GUI 設定方式）の詳細設定	－	ポート情報 GUI 設定方式で，ネットワークスイッチ連携機能を利用する場合に設定します。
	外付スイッチ登録・削除	外付スイッチを登録または削除する場合にクリックします。［外付スイッチ名称登録］ダイアログボックスが表示されます。［外付スイッチ名称登録］ダイアログボックスについては，「1.3.44 ［外付スイッチ名称登録］ダイアログボックス」を参照してください。
	設定	スイッチ情報を設定する場合にクリックします。［スイッチ情報登録］ダイアログボックスが表示されます。［スイッチ情報登録］ダイアログボックスについては，「1.3.45 ［スイッチ情報登録］ダイアログボックス」を参照してください。

（凡例）

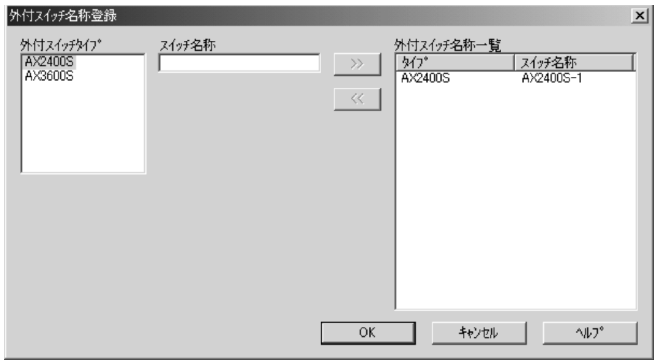
－：該当しません。

1.3.44 ［外付スイッチ名称登録］ダイアログボックス

外付スイッチタイプと外付スイッチ名称を登録します。

注意

- このダイアログボックスを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。
- このダイアログボックスで外付スイッチタイプと外付スイッチ名称を登録する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
外付スイッチタイプ		追加する外付スイッチのタイプを選択します。
スイッチ名称		追加する外付スイッチのスイッチ名を入力します。スイッチ名は，JP1/Cm2/NC で登録した名称を入力してください。
>>		［スイッチ名称］に入力したスイッチ名称を［外付スイッチ名称一覧］に追加します。［スイッチ名称］にスイッチ名が入力されていない場合は，非活性となって選択できません。
<<		［外付スイッチ名称一覧］で選択したスイッチ名称を削除します。［外付スイッチ名称一覧］にある外付スイッチタイプが選択されていないと，非活性となって選択できません。
外付スイッチ名称一覧	―	［>>］ボタンで追加された外付スイッチタイプ，外付スイッチ名称が外付スイッチタイプの昇順で表示されます。
	タイプ	外付スイッチのタイプが表示されます。
	スイッチ名称	外付スイッチの名称が表示されます。

（凡例）

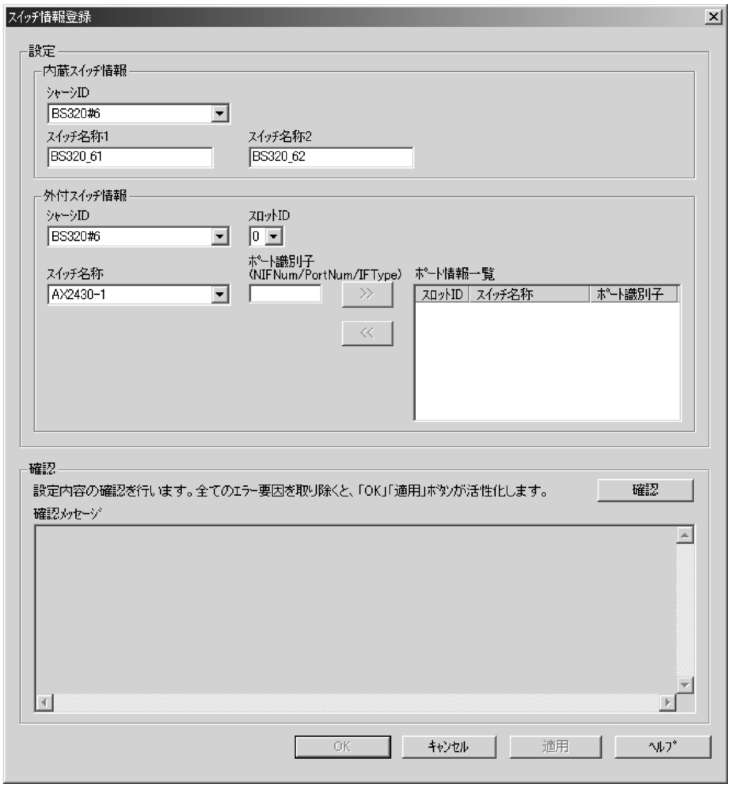
―：該当しません。

1.3.45 ［スイッチ情報登録］ダイアログボックス

シャーシと内蔵スイッチ名称の関連づけ，シャーシの各スロット（サーバモジュール）の PCI スロットが直結された外付スイッチのどのポートに接続されている状態かの関連づけを設定します。

注意

- このダイアログボックスを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。
- このダイアログボックスでスイッチ情報を登録する場合は，アドミニストレータでログインしてください。参照だけをする場合は，サブアドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
内蔵スイッチ情報	—	内蔵のスイッチ情報を設定します。
	シャーシ ID	昇順に並んでいるシャーシ ID から，スイッチ情報を設定するシャーシ ID を選択します。

項目			内容
	スイッチ名称 1 スイッチ名称 2		JP1/Cm2/NC で登録された内蔵スイッチ（BS1000, BS320）のスイッチ名称を二つまで入力できます。
外付スイッチ情報	―		外付のスイッチ情報を設定します。
	シャーシ ID		スイッチ情報を設定するシャーシ ID を選択します。
	スロット ID		外付スイッチ情報を設定するスロット ID を選択します。
	スイッチ名称		［外付スイッチ名称登録］ダイアログボックスで登録された，外付スイッチ名称一覧を表示して，外付スイッチを選択します。
	ポート識別子		［スロット ID］で選択されたスロット ID，［スイッチ名称一覧］で選択されたスイッチに対応するポート識別子のタグの値を入力します。
	>>		［スロット ID］，［スイッチ名称］，［ポート識別子］で入力された情報を［ポート情報一覧］へ追加します。［スイッチ名称］，または［ポート識別子］が未入力の場合は，非活性となって選択できません。
	<<		［ポート情報一覧］で選択したスイッチ名称を削除します。［ポート情報一覧］にある外付スイッチタイプが選択されていないと，非活性となって選択できません。
	ポート情報一覧	―	［>>］ボタンで追加したポート情報が表示されます。表示はスロット ID の昇順で表示され，スロット ID が同じ場合は，スイッチ名称とポート識別子の登録された順番で表示されます。
		スロット ID	スロット ID が表示されます。
		スイッチ名称	スイッチ名称が表示されます。
		ポート識別子	ポート識別子が表示されます。
確認	―		設定内容を確認します。
	確認		N+M 構成との関係の整合性をチェックする場合，このボタンをクリックします。
	確認メッセージ		確認メッセージが表示されます。メッセージの詳細については，「(1)　ネットワークスイッチ連携機能で出力されるメッセージ」を参照してください。不整合の場合も，チェックを中止することなく，すべてのパターンのメッセージが表示されます。

（凡例）

―：該当しません。

注意

設定が終了したら［確認］ボタンで整合性を必ずチェックしてください。不整合を示すエラーメッセージが表示されなければ，［OK］ボタンと［適用］ボタンが活性

になり，スイッチ情報を登録できます。

（1）ネットワークスイッチ連携機能で出力されるメッセージ

［確認メッセージ］ボックスに出力されるメッセージを次に示します。

表 1-9　ネットワークスイッチ連携機能で出力されるメッセージ

エラーレベル	メッセージ文字列	対処
I	スイッチ登録情報を確認しています。	－
I	N+1 グループ（N+1 グループ名）のスイッチ情報の妥当性を確認しています。	－
I	登録されたスイッチ情報は全て正常です。	－
I	登録されたスイッチ情報の確認は完了しました。	－
I	登録されたスイッチ情報にエラーが存在します。全てのエラーを解決してください。	登録されたスイッチ情報にエラーが存在しますので，エラーメッセージに従って，対処してください。
E	スイッチ情報が登録されていません。	スイッチ情報を登録してください。
E	内蔵スイッチ（スイッチ名称）が重複して登録されています。	正しいスイッチ名称を入力してください。
E	外付スイッチ（スイッチ名称）のポート（ポート識別子）が重複して登録されています。	正しいスイッチ名称，ポート識別子を入力してください。
E	現用系（現用系のシャーシ ID）と予備系（予備系のシャーシ ID）の内蔵スイッチの登録数が一致していません。	現用系と予備系の内蔵スイッチ数を同じにしてください。
E	現用系（現用系のシャーシ ID）と予備系（予備系のシャーシ ID）の内蔵スイッチの登録位置が一致していません。	現用系と予備系のスイッチ名の登録位置を同じにしてください。
E	現用系（現用系のシャーシ ID, 現用系のスロット ID）と予備系（予備系のシャーシ ID, 予備系のスロット ID）の外付スイッチの登録ポート数が一致していません。	現用系と予備系の外付スイッチの登録ポート数を同じにしてください。
E	N+1 グループが登録されていません。	N+1 グループを登録してから，スイッチ情報を登録してください。
W	現用系または予備系が登録されていないため，N+1 グループ（N+1 グループ名）のスイッチ情報の妥当性が確認できません。	該当する N+1 グループに現用系，または予備系を登録し直した場合は，確認ボタンで整合性を必ずチェックしてください。
E	引き継ぎ先スイッチは引き継ぎの前提条件を満たしていません。理由 =｛失敗理由｝	失敗理由を取り除き，再度操作をやり直してください。 例：引き継ぎ先に，引き継ぎ元と同じ VLAN を設定する。
E	引き継ぎ先設定情報の初期化に失敗しました。	同時に表示される，ほかのメッセージが示す失敗理由を取り除き，再度設定処理をしてください。

エラーレベル	メッセージ文字列	対処
E	設定情報の引き継ぎに失敗しました。	同時に表示される，ほかのメッセージが示す失敗理由を取り除き，再度設定処理をしてください。
E	引き継ぎ元設定情報の初期化に失敗しました。	同時に表示される，ほかのメッセージが示す失敗理由を取り除いてください。その後，View を使用して，引き継ぎ元設定情報を初期化してください。
E	VLAN（ID=<VLAN ID>）がスイッチに設定されていません。	指定された VLANID を作成してください。
E	引き継ぎ元スイッチと引き継ぎ先スイッチの種別，または設定できるネットワーク構成情報が異なります。	引き継ぎ元スイッチと引き継ぎ先スイッチのモデルは同じにしてください。または，互換ができるソフトウェアバージョンにしてください。
E	同一のポートが指定されました。	入力したポート番号が正しいか確認してください。

（凡例）

E：エラーレベル（Error）のトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

W：注意レベル（Warning）のトラブルが発生したことを通知するメッセージです。

I：システムの動作を通知する（Information）メッセージです。

－：該当しません。

プリフィックスが KDNV のメッセージが出力された場合は，マニュアル「JP1 Version 7i JP1/Cm2/Network Element Configuration」またはマニュアル「JP1 Version 8 JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

エラーレベルが「E」のメッセージが表示されなくなった場合，［OK］ボタンと［適用］ボタンが活性になり，スイッチ情報を登録できます。

1.3.46 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［保存設定］タブ）

マネージャサービスが保存するアラートの制限値を設定します。

注意

このダイアログボックスでアラートの制限値を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
アラート保存設定	アラートの保存日数	マネージャサービスがアラートを保存する期間を日単位で設定します。1 ～ 1,000 の範囲で設定します。デフォルトは 30 日です。
	アラートの保存件数	マネージャサービスがアラートを保存する件数を設定します。1,000 ～ 65,535 の範囲で設定します。デフォルトは 65,535 件です。

1.3.47 ［マネージャサービス設定］ダイアログボックス（［サーバ起動監視］タブ）

エージェントサービスの起動の監視をパーティションごとに設定します。

注意

- エージェントサービスの起動の監視は，JP1/ServerConductor で管理しているサーバシャーシ上で稼働しているサーバおよび HVM に対して設定できます。
- このダイアログボックスで起動監視を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
シャーシ ID	起動監視を設定または解除するサーバが稼働しているサーバシャーシを選択します。 マネージャサービスで管理されているシャーシ ID が表示されるため，［ホスト管理］ウィンドウのコンピュータ名の表示内容と異なることがあります。

項目		内容
監視対象サーバ一覧	―	起動監視を設定または解除するサーバを選択します。サーバは複数選択できます。
	パーティション番号	パーティション番号が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	コンピュータ名	コンピュータ名が表示されます。 同一の物理パーティションに複数のエージェントサービスがインストールされている場合，複数のコンピュータ名が「,」（コンマ）で区切って表示されます。エージェントサービスがインストールされていない場合は空白が表示されます。
	監視時間	起動監視が設定されている場合，監視時間が分単位で表示されます。起動監視が設定されていない場合は，何も表示されません。
設定		起動監視を設定または解除する場合，設定するサーバを選択してこのボタンをクリックします。［監視設定］ダイアログボックスが表示されます。［監視設定］ダイアログボックスについては，「1.3.48 ［監視設定］ダイアログボックス」を参照してください。

（凡例）

―：該当しません。

1.3.48 ［監視設定］ダイアログボックス

エージェントサービスの起動監視の詳細を設定します。

注意

エージェントサービスの起動の監視は，JP1/ServerConductor で管理しているサーバシャーシ上で稼働しているサーバおよび HVM に対して設定できます。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
監視する	サーバの起動監視を設定する場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
分	サーバの起動監視を設定する場合，監視時間を分単位で設定します。5 ～ 120 の範囲で設定します。デフォルトは 60 分です。
監視しない	サーバの起動監視を解除する場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。

1.3.49 ［外部プログラム起動］ダイアログボックス

外部プログラムの登録，および登録した外部プログラムを起動します。

注意

このダイアログボックスで外部プログラムを登録する場合は，アドミニストレータでログインしてください。すでに登録されている外部プログラムの実行だけをする場合は，サブアドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
外部プログラム	―	外部プログラムリストに追加されているプログラム名とファイル名が表示されます。
	プログラム名	登録されている外部プログラムのプログラム名が表示されます。
	ファイル名	［ファイル名を表示する］チェックボックスが ON の場合に登録されている外部プログラムのファイル名が表示されます。
起動		外部プログラムを起動する場合，起動したい外部プログラムを選択してこのボタンをクリックします。選択したプログラムが表示されます。
リストから削除		不要な外部プログラムを削除する場合は，削除する外部プログラムを選択してこのボタンをクリックします。［外部プログラム］リストから削除されます。
ファイル名を表示する		外部プログラムリストにファイル名を表示する場合にチェックボックスを ON にします。

項目		内容
外部プログラム追加	―	外部プログラムをリストに追加する場合，ファイル名，プログラム名を設定します。
	ファイル名	起動したい外部プログラムのファイル名（絶対パス名）を設定します。
	参照	外部プログラムのファイル名を指定する場合，表示されるダイアログボックスから外部プログラムのファイルを選択して指定するときにこのボタンをクリックます。
	プログラム名	設定したファイル名に対するプログラム名を設定します。
	リストに追加	外部プログラムをリストに追加する場合，ファイル名，プログラム名を指定して，このボタンをクリックします。外部プログラムリストに追加したプログラム名が表示されます。

（凡例）

―：該当しません。

1.3.50 ［アラート通知］ダイアログボックス

アラート発生時の情報が表示されます。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
（IPF-WIN-2）	アラート発生元のホスト名が表示されます。
アラート管理	通知されたアラートを確認する場合，このボタンをクリックします。［通知アラート］ウィンドウが表示されます。［通知アラート］ウィンドウについては，「1.17 ［通知アラート］ウィンドウ」を参照してください。

1.3.51 ［ログイン情報の変更］ダイアログボックス

VM ホストへログインするときの設定を変更します。

注意

このダイアログボックスで VM ホストログイン時の設定を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目			設定内容
VM ホストログイン時の設定	―		VM ホストへログインするときのユーザ名，パスワード，通信手段を指定します。
	ユーザ名		VMware ホストの場合 VMware 環境の ServiceConsole にログインするためのユーザ名を 32 バイト以内で指定します。 Hyper-V ホストの場合 Hyper-V 環境の Parent-VM にログインするためのユーザ名を 20 文字以内で指定します。
	パスワード		VMware ホストの場合 VMware 環境の ServiceConsole にログインするためのパスワードを 1 ～ 255 バイトの範囲で指定します。 Hyper-V ホストの場合 Hyper-V 環境の Parent-VM にログインするためのパスワードを 1 ～ 255 バイトの範囲で指定します。
	通信手段	―	マネージャサービスと VM ホスト間の通信手段を選択します。
		https	通信手段を https に変更する場合，このラジオボタンを ON にします。

設定項目			設定内容
		http	通信手段を http に変更する場合，このラジオボタンを ON にします。

（凡例）

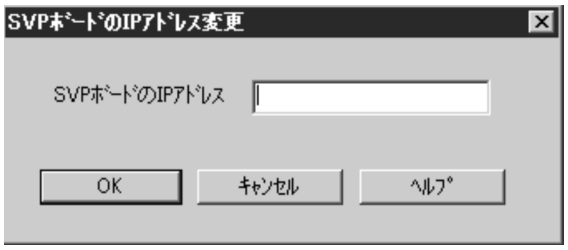
－：該当しません。

1.3.52 ［SVP ボードの IP アドレス変更］ダイアログボックス

SVP ボードの IP アドレスを変更または削除します。

注意

このダイアログボックスで SVP ボードの IP アドレスを変更または削除する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
SVP ボードの IP アドレス	IP アドレスを変更する場合 IP アドレスを 15 バイト以内で指定します。 IP アドレスを削除する場合 空欄にします。

1.4 ［インベントリ］ウィンドウ

［インベントリ］ウィンドウは，管理対象ホストの資産情報を表示するウィンドウです。

［インベントリ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，資産情報を表示したいホストを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［インベントリ］を選択する**

［インベントリ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-25 **［インベントリ］ウィンドウ**



（左ペイン）
インベントリツリー

（右ペイン）
インベントリ領域

［インベントリ］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，インベントリ情報の分類ツリーが表示されます。これをインベントリツリーといいます。

［インベントリ］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，インベントリツリーで選択したインベントリ情報が表示されます。これをインベントリ領域といいます。

表示されるインベントリ項目は管理対象ホストによって異なります。各ホストで表示さ

れるインベントリ項目について次に説明します。

1.4.1 Windows サーバのインベントリ情報

ここでは，Windows サーバのインベントリ情報として表示できる項目について説明します。

(1) 基本システム

インベントリツリーの基本システムを選択すると，次の情報が表示されます。

(a) システム装置

システム装置には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
エージェントバージョン	エージェントのバージョンが表示されます。
RAS ドライババージョン	RAS ドライバのバージョンが表示されます。
キーボードタイプ	キーボードのタイプが表示されます。
拡張スロット数	拡張スロットの数が表示されます。
システム BIOS バージョン	システム BIOS のバージョンが表示されます。
システム BIOS 作成日	システム BIOS の作成日が表示されます。

(b) OS& ネットワーク情報

OS& ネットワーク情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
OS 名	サーバで実行している OS の名称が表示されます。
OS バージョン	OS のバージョンが表示されます。
サービスパック	サーバで実行しているサービスパックのバージョンが表示されます。
ドメイン名	サーバが所属している Windows のドメイン名が表示されます。
コンピュータ名	サーバのコンピュータ名が表示されます。
ホスト名	サーバのホスト名が表示されます。

(c) 筐体情報

筐体情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
温度状態	筐体の温度が表示されます。

表示項目	表示内容
ファン状態	筐体についているファンの数と状況がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）

(d) 電源情報

電源情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
UPS 稼働状態	UPS の稼働状態がアイコンで表示されます。  （稼働中）  （停止中）
バッテリ残量	バッテリの残量がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
バッテリ充電状態	バッテリの充電状態がアイコンで表示されます。  （充電中）  （充電完）
電源ユニット	電源ユニットの数と状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
ファン	電源ユニットのファンの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
電圧	電源の電圧が表示されます。

(e) CPU 情報

CPU 情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プロセッサ数	サーバに搭載されているプロセッサの数が表示されます。
プロセッサ名	サーバに搭載されている CPU の名称が表示されます。
最大速度	搭載されている CPU のクロック数が表示されます。
コプロセッサ名	サーバに搭載されているコプロセッサの名称が表示されます。
装着状態	CPU ソケットに搭載されている CPU の数と状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）  （未装着）

表示項目	表示内容
温度状態	各 CPU の温度がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
ファン状態	各 CPU のファンの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
システムキャッシュサイズ	システムが用意しているキャッシュサイズが表示されます。

(f) メモリ情報

メモリ情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
列 1・列 2	メモリスロットの列 1 と列 2 に搭載されている各メモリのサイズと状態が表示されます。  （未接続）  （接続）  （縮退）  （メモリエラー）  （構成変更（追加））  （構成変更（削除））
総メモリサイズ	現在搭載されているメモリの合計サイズが表示されます。
最大ページングファイルサイズ	物理メモリとスワップファイルを合計したサイズが表示されます。
ECC1 ビット誤り訂正回数	何回，ECC1 ビット誤り訂正が発生したかが表示されます。
最初に発生した訂正可能な ECC エラーアドレス	最初に発生した訂正できる ECC エラーアドレスが表示されます。
最初に発生した訂正できない ECC エラーアドレス	最初に発生した訂正できない ECC エラーアドレスが表示されます。

(2) 論理ドライブ情報

論理ドライブ情報には，次の情報がドライブごとに表示されます。

表示項目	表示内容
ドライブ名	ドライブ名称が表示されます。
ドライブ種別	ドライブの種別（フロッピーディスクやローカルドライブなど）が表示されます。
トータルドライブ容量	ドライブの全容量が表示されます。ただし，選択したドライブが FD，CD-ROM，MO などのリムーバブルディスクの場合は表示されません。
空きドライブ容量	ドライブの空き容量が表示されます。ただし，選択したドライブが FD，CD-ROM，MO などのリムーバブルディスクの場合は表示されません。
パーティションタイプ	ドライブのパーティション（FAT，NTFS など）が表示されます。

（3）SCSI

インベントリツリーから SCSI を選択すると，アダプタごとに次の情報が表示されます。

（a）SCSI ボード情報

SCSI ボードには，SCSI ボードごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ドライバ名	SCSI アダプタのドライバ名が表示されます。
状態	SCSI アダプタの状態が表示されます。

（b）SCSI デバイス情報

SCSI デバイスには，SCSI デバイスごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
SCSI ID	機器の ID が表示されます。
論理ユニット番号	論理ユニット番号が表示されます。
デバイスタイプ	デバイスタイプが表示されます。
ストレージタイプ	ストレージタイプが表示されます。
ベンダ名	ベンダ名が表示されます。
製品名	製品名が表示されます。
リビジョン	リビジョンが表示されます。
総物理容量	ハードディスクなどの場合に全体の容量が表示されます。
状態	状態が有効か，無効かが表示されます。
累計稼働時間	累計稼働時間が表示されます。
リードアクセス回数	SCSI デバイスに対するリードアクセスの回数が表示されます。
ライトアクセス回数	SCSI デバイスに対するライトアクセスの回数が表示されます。

表示項目	表示内容
リードエラー発生回数	リードエラーの回数が表示されます。
ライトエラー発生回数	ライトエラーの回数が表示されます。
修正済みリードエラー発生回数	修正済みリードエラーの回数が表示されます。
修正済みライトエラー発生回数	修正済みライトエラーの回数が表示されます。
交替処理回数	交替処理の回数が表示されます。
バスリセット実行回数	バスリセットの実行回数が表示されます。
バスパリティエラー発生回数	バスパリティエラーの発生回数が表示されます。
バスフェーズ・シーケンスエラー回数	バスフェーズシーケンスエラーの発生回数が表示されます。
バスセレクション・タイムアウト回数	バスセレクションタイムアウトの発生回数が表示されます。
媒体エラー発生回数	媒体エラーの発生回数が表示されます。
装置のハードエラー発生回数	装置のハードエラーの発生回数が表示されます。
装置のリセット回数	装置のリセットの回数が表示されます。

(4) 拡張スロット情報

拡張スロットに搭載されている PCI ボード，または EISA ボードに関する次の情報が表示されます。

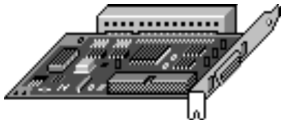
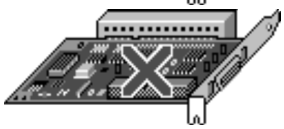
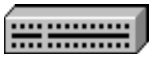
(a) PCI・EISA デバイス情報

インベントリツリーから拡張スロットの PCI，または EISA を選択すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プライマリ PCI・セカンダリ PCI	二つのスロットのうち，片方をプライマリ，もう片方をセカンダリとして情報が表示されます。
デバイス番号	デバイス番号が表示されます。
状態	拡張スロットの状態が表示されます。状態には，正常，パリティエラー，またはシステムエラーが表示されます。

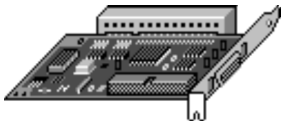
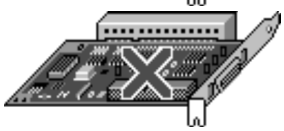
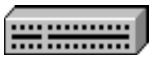
(b) PCI スロット情報

PCI スロットには，スロットごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
スロット *n*	選択したスロットの番号と，ボードが搭載されているかどうか，または搭載されているボードの状態がアイコンで表示されます。  （装着状態）  （装着状態（エラー））  （未装着状態）  （未装着状態（エラー））
デバイス ID	デバイスの ID が表示されます。
ボード名	搭載している PCI ボードの名称が表示されます。
ベンダ名	搭載している PCI ボードのベンダ名が表示されます。
ヒューズ状態	PCI スロットのヒューズ状態が表示されます。状態には，TRUE（正常），または FALSE（切断）が表示されます。

(c) EISA スロット情報

EISA スロットには，スロットごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
スロット *n*	選択したスロットの番号と，ボードが搭載されているかどうか，または搭載されているボードの状態がアイコンで表示されます。  （装着状態）  （装着状態（エラー））  （未装着状態）  （未装着状態（エラー））
ボード名	搭載されている EISA ボードの製品名が表示されます。
ベンダ名	搭載されている EISA ボードのベンダ名が表示されます。

(5) システムリソース

インベントリツリーでシステムリソースを選択すると，次の情報が表示されます。

(a) メモリ情報

メモリには，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
メモリ物理アドレス	メモリの物理アドレスが表示されます。
メモリアドレス長	メモリのアドレス長が表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(b) I/O ポート

I/O ポートには，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ポート物理アドレス	ポートの物理アドレスが表示されます。
ポートアドレス長	ポートのアドレス長が表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(c) DMA

DMA には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
DMA チャネル	DMA チャネルが表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(d) IRQ

IRQ には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
IRQ	IRQ が表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(6) ディスクアレイ

インベントリツリーからディスクアレイを選択すると，ディスクアレイごとに次の情報が表示されます。表示される情報は，使用するディスクアレイ装置によって異なります。

注意

管理対象サーバにデバイス管理エージェントサービスのディスクアレイコンポーネントをインストールすると，インベントリツリーに「ディスクアレイ」が表示され

ます。

(a) ディスクアレイ情報

ディスクアレイ情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ベンダ名	ベンダ名が表示されます。
プロダクト名	製品名が表示されます。
ファームウェアリビジョン	ファームウェアリビジョンが表示されます。
キャッシュメモリサイズ	キャッシュメモリサイズが表示されます。
ハードウェアパス	ハードウェアパスが表示されます。
RAID 装置情報	RAID 装置名が表示されます。
コントローラ構成	コントローラの構成が表示されます。
相手コントローラ状態	デュアルコントローラ構成での相手コントローラの状態が表示されます。 シングルコントローラ構成の場合は，「なし」と表示されます。
コントローラバージョン	コントローラのバージョンが表示されます。
コントローラプロダクト名	コントローラの製品名が表示されます。
コントローラファームウェアリビジョン	コントローラのファームウェアリビジョンが表示されます。

(b) ディスクアレイ状態

ディスクアレイ状態には，ロジカルユニットごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
電源ユニット	電源ユニットの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）  （未実装）  （抜き出し）
AC	AC の状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
FAN	ファンの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常） なし（未装着）
バッテリ	バッテリの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）

表示項目	表示内容
充電回路	充電回路の状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）

(c) キャッシュメモリ状態

キャッシュメモリ状態には，モジュールごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
状態	キャッシュメモリの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）  （未装着）
メモリサイズ	メモリサイズが表示されます。

(d) ディスクアレイ構成

ディスクアレイ構成には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
物理ドライブ情報	RAID 装置の物理的なドライブ情報を表すアイコンと状態が表示されます。  （正常）  （スタンバイ状態）  （スペアディスク）  （閉塞）  （未実装）
論理ドライブ情報	RAID 装置の論理的なドライブ情報を表すアイコンと状態が表示されます。情報には，論理ドライブ番号，RAID レベル，サイズ，パーティションなどがあります。  （正常）  （障害発生）  （クリティカル状態）
構成	ディスクアレイ構成がアイコンで表示されます。  （正常）  （スタンバイ状態）  （スペアディスク）  （閉塞）  （未実装）
RAID グループ	RAID グループの構成が表示されます。
RAID レベル	RAID レベルが表示されます。

(7) SVP 情報

インベントリツリーから SVP を選択すると，次の情報が表示されます。

注意

管理対象サーバに SVP エージェントサービスをインストールすると，インベントリツリーに「SVP」が表示されます。

(a) 装置情報

装置情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
SVP マイクロリビジョン	SVP ボードのマイクロのリビジョンが表示されます。
SVP マイクロ作成日	SVP ボードのマイクロの日付が表示されます。
ダイアル方式	SVP EISA ボードの場合，モデムのダイアル方式がトーン式か，ダイアル式かが表示されます。
初期化コマンド	SVP EISA ボードの場合，設定されているモデム初期化コマンドが表示されます。
モデム機種名	SVP EISA ボードの場合，モデムの機種名が表示されます。
回線切り替え後の動作	回線切り替えの後の動作が表示されます。
サーバ情報	SVP ボードを搭載しているサーバに関する情報が表示されます。

(b) 状態情報

状態情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
サーバ状態	サーバの状態が表示されます。
有効レジスタ数	有効なレジスタ数が表示されます。
RAS レジスタ	サーバ本体の RAS レジスタが表示されます。
電源状態	サーバの電源が ON か OFF かが表示されます。
OS 状態	サーバの OS の状態が表示されます。
筐体温度	サーバの筐体の温度が表示されます。
電圧	サーバの電圧が表示されます。

(c) 自動通報先登録情報

自動通報先登録情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
登録 No.	SVP PCI ボードの登録番号が表示されます。
連絡先マシン名	SVP ボードに登録されている SVP PCI 設定ユティリティで設定した通報先名称が表示されます。SVP ボードがサーバの障害を検知した場合，ここに表示されているマネージャサービスに接続します。
IP アドレス	SVP PCI ボードの場合，接続先マネージャサービスの IP アドレスが表示されます。
アラートポート番号	SVP PCI ボードの場合，アラートをマネージャサービスに送信するときに使用するポートのポート番号が表示されます。
コマンドポート番号	SVP PCI ボードの場合，コマンドをマネージャサービスから受信する時に使用するポートのポート番号が表示されます。

(d) コンフィグレーション情報

コンフィグレーションには，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
致命的障害監視	SVP ボードが致命的障害監視機能を使用しているかどうかが表示されます。
監視周期	致命的障害監視を使用している場合の監視周期が秒数で表示されます。
致命的障害発生時処理	致命的障害監視を使用している場合，致命的な障害が発生したとき，自動的にどのような処理をするかが表示されます。
アラート通知	サーバで発生したイベントの種類のうち，どのようなイベントをアラートとしてマネージャサービスに通知するかが表示されます。
接続リトライ時間（秒）	SVP ボードからマネージャサービスに自動的に接続するときの接続リトライ時間（秒）が表示されます。

(8) 資産情報

インベントリツリーから資産情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) 装置情報

装置情報を設定すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プロダクト名	サーバのプロダクト名が表示されます。プロダクト名とは，サーバ出荷時にハードウェアに設定される名称です。このため，この情報は変更できません。
メーカ名	サーバの製造メーカが表示されます。例えば BladeSymphony の場合，HITACHI と表示されます。この情報もハードウェアに設定されていますので，変更できません。
シリアル番号	メーカが製造したシステムに付けた番号が表示されます。この情報もハードウェアに設定されていますので，変更できません。

(b) 資産情報

資産情報には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境設定ユティリティの［エージェントサービス］ダイアログボックスで設定した情報です。資産情報を設定していない場合は表示されません。

表示項目	表示内容
資産名称	設定した資産名称が表示されます。
資産番号	設定した資産番号が表示されます。
機器構成	設定した機器構成が表示されます。
購入年月日	設定した購入年月日が表示されます。
減価償却期間	設定した減価償却期間が表示されます。
部署名	設定した部署名が表示されます。
部署番号	設定した部署番号が表示されます。
管理者名	設定した管理者名が表示されます。
管理者番号	設定した管理者番号が表示されます。
管理者詳細情報	設定した管理者詳細情報が表示されます。

(c) 管理者情報

管理者情報には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境設定ユティリティの［エージェントサービス］ダイアログボックスで設定した情報です。運用情報を設定していない場合は表示されません。

表示項目	表示内容
運用管理者名	設定した運用管理者名が表示されます。
運用管理者番号	設定した運用管理者番号が表示されます。
運用管理者詳細情報	設定した運用管理者詳細情報が表示されます。
電話番号	設定した電話番号が表示されます。
メールアドレス	設定したメールアドレスが表示されます。

(d) 設置場所 / その他

設置場所 / その他には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境設定ユティリティの［エージェントサービス］ダイアログボックスで設定した情報です。設置場所 / その他情報を設定していない場合は表示されません。

表示項目	表示内容
サイト情報	設定した設置場所が表示されます。
設置場所詳細情報	設定した設置場所詳細情報が表示されます。

表示項目	表示内容
備考	設定した備考が表示されます。

1.4.2 Linux サーバのインベントリ情報

ここでは，Linux サーバのインベントリ情報として表示できる項目について説明します。

(1) 基本システム

インベントリツリーの基本システムを選択すると，次の情報が表示されます。

(a) システム装置

システム装置には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
エージェントバージョン	Agent（Linux）のバージョンが表示されます。
キーボードタイプ	X-Window がインストールされているとき，X-Window のインストール時に指定したキーボードのタイプが表示されます。
拡張スロット数	拡張スロットの数が表示されます。
システム BIOS バージョン	システム BIOS のバージョンが表示されます。
システム BIOS 作成日	システム BIOS の作成日が表示されます。

(b) OS& ネットワーク情報

OS& ネットワーク情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
OS 名	サーバで実行している OS の名称が表示されます。
OS バージョン	OS のバージョンが表示されます。
ホスト名	サーバのホスト名が表示されます。
ブート日時	サーバがブートされた最新日時が表示されます。

(c) 筐体情報

筐体情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
温度状態	筐体の温度がアイコンで表示されます。

表示項目	表示内容
ファン状態	筐体についているファンの数と状況がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）

(d) 電源情報

電源情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
電源ユニット	電源ユニットの数と状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
電圧	電源の電圧が表示されます。

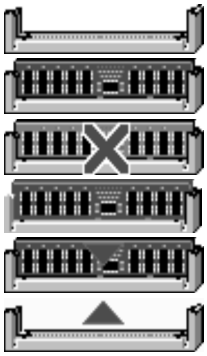
(e) CPU 情報

CPU 情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プロセッサ数	サーバに搭載されているプロセッサの数が表示されます。
プロセッサ名	サーバに搭載されている CPU の名称が表示されます。
最大速度	搭載されている CPU のクロック数が表示されます。
コプロセッサ名	サーバに搭載されているコプロセッサの名称が表示されます。
装着状態	CPU ソケットに搭載されている CPU の数と状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）  （未装着）
温度状態	各 CPU の温度がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
ファン状態	各 CPU のファンの状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
システムキャッシュサイズ	システムが用意しているキャッシュサイズが表示されます。

(f) メモリ情報

メモリ情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
列 1・列 2	メモリスロットの列 1 と列 2 に搭載されている各メモリのサイズと状態が表示されます。  （未接続） （接続） （縮退） （メモリエラー） （構成変更（追加）） （構成変更（削除））
総メモリサイズ	現在搭載されているメモリの合計サイズが表示されます。
最大ページングファイルサイズ	物理メモリとスワップファイルを合計したサイズが表示されます。
ECC1 ビット誤り訂正回数	何回，ECC1 ビット誤り訂正が発生したかが表示されます。

（2） ファイルシステム

インベントリツリーからファイルシステムを選択すると，ファイルシステムごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
マウントポイント	ファイルシステムのマウントポイントが表示されます。
ファイルシステムタイプ	ファイルシステムのタイプ（hfs など）が表示されます。
アクセスタイプ	ファイルシステムのアクセスタイプ（Read Write など）が表示されます。
トータル容量	ファイルシステムのサイズが表示されます。
空き容量	ファイルシステムの空き容量が表示されます。
トータル i ノード数	ファイルシステムに作成できる i ノードの数が表示されます。
フリー i ノード数	空き i ノード数が表示されます。
ディスク	ファイルシステムで使用しているディスクスペシャルファイル名が表示されます。

（3） SCSI

インベントリツリーから SCSI を選択すると，アダプタごとに次の情報が表示されます。

（a） SCSI ボード情報

SCSI ボードには，SCSI ボードごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ドライバ名	SCSI アダプタのドライバ名が表示されます。

(b) SCSI デバイス情報

SCSI デバイスには，SCSI デバイスごとに次の情報が表示されます。

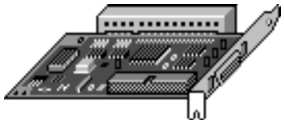
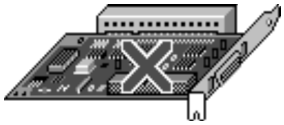
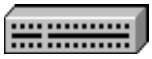
表示項目	表示内容
SCSI ID	SCSI ID が表示されます。
論理ユニット番号	論理ユニット番号が表示されます。
デバイスタイプ	タイプが表示されます。
ストレージタイプ	ストレージタイプが表示されます。
ベンダ名	ベンダ名が表示されます。
製品名	製品名が表示されます。
リビジョン	リビジョンが表示されます。

(4) 拡張スロット情報

拡張スロットに搭載されている PCI ボード，または EISA ボードに関する次の情報が表示されます。

(a) PCI スロット情報

PCI スロットには，スロットごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
スロット *n*	選択したスロットの番号と，ボードが搭載されているかどうか，または搭載されているボードの状態がアイコンで表示されます。  (装着状態)  (装着状態（エラー))  (未装着状態)  (未装着状態（エラー))
デバイス ID	デバイスの ID が表示されます。
ボード名	搭載している PCI ボードの名称が表示されます。
ベンダ名	搭載している PCI ボードのベンダ名が表示されます。

(b) EISA スロット情報

EISA スロット情報には，何も表示されません。

表示項目	表示内容
スロット *n*	何も表示されません。
ボード名	何も表示されません。
ベンダ名	何も表示されません。

(5) システムリソース

インベントリツリーでシステムリソースを選択すると，次の情報が表示されます。

(a) メモリ情報

メモリ情報には，何も表示されません。

表示項目	表示内容
メモリアドレス長	何も表示されません。
使用デバイス	何も表示されません。

(b) I/O ポート

I/O ポートには，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ポート物理アドレス	ポートの物理アドレスが表示されます。
ポートアドレス長	ポートのアドレス長が表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(c) DMA

DMA には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
DMA チャネル	DMA チャネルが表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(d) IRQ

IRQ には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
IRQ	IRQ が表示されます。
使用デバイス	使用デバイスが表示されます。

(6) SVP 情報

インベントリツリーから SVP を選択すると，次の情報が表示されます。

注意

管理対象サーバに SVP エージェントサービスをインストールすると，インベントリツリーに「SVP」が表示されます。

(a) 装置情報

装置情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
SVP マイクロリビジョン	SVP のマイクロのリビジョンが表示されます。
SVP マイクロ作成日	SVP のマイクロの日付が表示されます。
ダイアル方式	SVP EISA ボードの場合，モデムのダイアル方式がトーン式か，ダイアル式かが表示されます。
初期化コマンド	SVP EISA ボードの場合，設定されているモデム初期化コマンドが表示されます。
モデム機種名	SVP EISA ボードの場合，モデムの機種名が表示されます。
回線切り替え後の動作	回線切り替えの後の動作が表示されます。
サーバ情報	SVP 機能を搭載しているサーバに関する情報が表示されます。

(b) 状態情報

状態情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
サーバ状態	サーバの状態が表示されます。
有効レジスタ数	有効なレジスタ数が表示されます。
RAS レジスタ	サーバ本体の RAS レジスタが表示されます。
電源状態	サーバの電源が ON か OFF かが表示されます。
OS 状態	サーバの OS の状態が表示されます。
筐体温度	サーバの筐体の温度が表示されます。
電圧	サーバの電圧が表示されます。

(c) 自動通報先登録情報

自動通報先登録情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
登録 No.	SVP 機能への登録番号が表示されます。
連絡先マシン名	SVP 機能に登録されている SVP 設定ユティリティで設定した通報先名称が表示されます。SVP 機能がサーバの障害を検知した場合，ここに表示されているマネージャサービスに接続します。
IP アドレス	接続先マネージャサービスの IP アドレスが表示されます。
アラートポート番号	アラートをマネージャサービスに送信するときに使用するポートのポート番号が表示されます。
コマンドポート番号	コマンドをマネージャサービスから受信する時に使用するポートのポート番号が表示されます。

(d) コンフィグレーション情報

コンフィグレーションには，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
致命的障害監視	SVP 機能が致命的障害監視機能を使用しているかどうかが表示されます。
監視周期	致命的障害監視を使用している場合の監視周期が秒数で表示されます。
致命的障害発生時処理	致命的障害監視を使用している場合，致命的な障害が発生したとき，自動的にどのような処理をするかが表示されます。
アラート通知	サーバで発生したイベントの種類のうち，どのようなイベントをアラートとしてマネージャサービスに通知するかが表示されます。
接続リトライ時間（秒）	SVP 機能がマネージャサービスへ自動的に接続するときの接続リトライ時間（秒）が表示されます。

(7) 資産情報

インベントリツリーから資産情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) 装置情報

装置情報を設定すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プロダクト名	サーバのプロダクト名が表示されます。プロダクト名とは，サーバ出荷時にハードウェアに設定される名称です。このため，この情報は変更できません。
メーカ名	サーバの製造メーカが表示されます。例えば BladeSymphony の場合，HITACHI と表示されます。この情報もハードウェアに設定されていますので，変更できません。

表示項目	表示内容
シリアル番号	メーカが製造したシステムに付けた番号が表示されます。この情報もハードウェアに設定されていますので，変更できません。

(b) 資産情報

資産情報には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境設定ユティリティの［エージェントサービス］ダイアログボックスで設定した情報です。資産情報を設定していない場合は表示されません。

表示項目	表示内容
資産名称	設定した資産名称が表示されます。
資産番号	設定した資産番号が表示されます。
機器構成	設定した機器構成が表示されます。
購入年月日	設定した購入年月日が表示されます。
減価償却期間	設定した減価償却期間が表示されます。
部署名	設定した部署名が表示されます。
部署番号	設定した部署番号が表示されます。
管理者名	設定した管理者名が表示されます。
管理者番号	設定した管理者番号が表示されます。
管理者詳細情報	設定した管理者詳細情報が表示されます。

(c) 管理者情報

管理者情報には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境設定ユティリティの［エージェントサービス］ダイアログボックスで設定した情報です。運用情報を設定していない場合は表示されません。

表示項目	表示内容
運用管理者名	設定した運用管理者名が表示されます。
運用管理者番号	設定した運用管理者番号が表示されます。
運用管理者詳細情報	設定した運用管理者詳細情報が表示されます。
電話番号	設定した電話番号が表示されます。
メールアドレス	設定したメールアドレスが表示されます。

(d) 設置場所 / その他

設置場所 / その他には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境設定ユティリティの［エージェントサービス］ダイアログボックスで設定した情報です。設置場所 / その他情報を設定していない場合は表示されません。

表示項目	表示内容
設置場所	設定した設置場所が表示されます。
設置場所詳細	設定した設置場所詳細情報が表示されます。
備考	設定した備考が表示されます。

1.4.3 HP-UX サーバのインベントリ情報

ここでは，HP-UX サーバのインベントリ情報として表示できる項目について説明します。

(1) 基本システム

インベントリツリーの基本システムを選択すると，次の情報が表示されます。

(a) システム装置

システム装置には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
シリアル No	システム装置のシリアル番号（uname(1) コマンドに，-i オプションを指定して実行したときに出力されるマシン識別番号）が表示されます。
CPU アーキテクチャ / バージョン	CPU アーキテクチャおよびバージョン番号が表示されます。
モデル名	システム装置のモデル名が表示されます。
エージェントバージョン	エージェントのバージョンが表示されます。
PDC/BMC ファームウェアバージョン	PDC/BMC ファームウェアバージョン（machinfo(1) コマンドを実行したときに出力される BMC version: で示されるバージョン情報）が表示されます。

(b) OS& ネットワーク情報

OS& ネットワーク情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
OS 名	サーバで実行している OS の名称が表示されます。
OS バージョン	OS のバージョンが表示されます。
ホスト名	サーバのホスト名が表示されます。
ブート日時	サーバがブートされた最新日時が表示されます。

(c) 筐体情報

筐体情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
温度状態	筐体の温度と状態がアイコンで表示されます。  （正常）  （異常）
FAN 状態	表示されません。

(d) 電源情報

電源情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
電源ユニット	表示されません。
電圧	電源の電圧が表示されます。

(e) CPU 情報

CPU 情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プロセッサ名	サーバに搭載されている CPU の名称が表示されます。
命令キャッシュサイズ	システムの命令キャッシュサイズが表示されます。
データキャッシュサイズ	システムのデータキャッシュサイズが表示されます。
装着状態	CPU ソケットに搭載されている CPU の数と状態がアイコンで表示されます。  （正常）または「取得不可」が表示されます。
PB-FAN 状態	「取得不可」が表示されます。
温度状態	CPU の温度の状態のアイコンが表示されます。なお，温度は取得しません。常に 0.00 と表示されます。 
電源状態	CPU の電源の状態のアイコンが表示されます。 
電圧	表示されません。

(f) メモリ情報

メモリ情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
状態	「取得不可」が表示されます。
総メモリサイズ	現在搭載されているメモリの合計サイズが表示されます。単位はメガバイトです。
スワップサイズ	メモリのスワップサイズが表示されます。単位はメガバイトです。

(g) バスコンバータ情報

バスコンバータ情報には，次の情報がバススロットごとに表示されます。

表示項目	表示内容
状態	「取得不可」が表示されます。

(2) ファイルシステム

インベントリツリーからファイルシステムを選択すると，ファイルシステムごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
マウントポイント	ファイルシステムのマウントポイントが表示されます。
ファイルシステムタイプ	ファイルシステムのタイプ（vxfs など）が表示されます。
アクセスタイプ	ファイルシステムのアクセスタイプ（Read Write など）が表示されます。
トータル容量	ファイルシステムのサイズが表示されます。単位はキロバイトです。
空き容量	ファイルシステムの空き容量が表示されます。単位はキロバイトです。
トータル i ノード数	ファイルシステムに作成できる i ノードの数が表示されます。
フリー i ノード数	空き i ノード数が表示されます。
ディスク	カテゴリ「ファイルシステム」で使用されているディスクスペシャルファイル名が表示されます。

(3) ディスク

インベントリツリーからディスクを選択すると，ディスクごとに次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
メディアタイプ	メディアのタイプ（HardDisk，CD-ROM など）が表示されます。
リムーバブル	リムーバブルディスクかどうかが表示されます。
説明	ディスクのベンダ情報などが表示されます。
容量	ディスクの容量が表示されます。単位はキロバイトです。

表示項目	表示内容
ハードウェアパス	ハードウェア構成上のアドレスが表示されます。

(4) ディスクアレイ

ディスクアレイの情報は表示されません。

(5) SVP

インベントリツリーから SVP を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) 装置情報

装置情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
SVP ファームウェアバージョン	「取得不可」が表示されます。
日立オフライン診断プログラムバージョン	「取得不可」が表示されます。

(b) 自動通報先登録情報

自動通報先登録情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
遠隔通知許可	「取得不可」が表示されます。
第 1 センタ電話番号	「取得不可」が表示されます。
第 2 センタ電話番号	「取得不可」が表示されます。
装置 ID	「取得不可」が表示されます。
サイトコード	「取得不可」が表示されます。
拠点コード	「取得不可」が表示されます。
システム装置型名	「取得不可」が表示されます。

(6) UPS

UPS 情報は表示されません。

(7) 回線

回線情報は表示されません。

(8) 資産情報

インベントリツリーから資産情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) 装置情報

装置情報を設定すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
プロダクト名	サーバのプロダクト名が表示されます。プロダクト名とは，サーバ出荷時にハードウェアに設定される名称です。このため，この情報は変更できません。
メーカ名	サーバの製造メーカが表示されます。例えば BladeSymphony の場合，HITACHI と表示されます。この情報もハードウェアに設定されていますので，変更できません。
シリアル番号	メーカが製造したシステムに付けた番号（uname(1) コマンドに，-i オプションを指定して実行したときに出力されるマシン識別番号）が表示されます。この情報もハードウェアに設定されていますので，変更できません。

(b) 資産情報

資産情報には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境情報設定ファイルで設定した情報です。

表示項目	表示内容
資産名称	設定した資産名称が表示されます。
資産番号	設定した資産番号が表示されます。
機器構成	設定した機器構成が表示されます。
購入年月日	設定した購入年月日が表示されます。
減価償却期間	設定した減価償却期間が表示されます。
部署名	設定した部署名が表示されます。
部署番号	設定した部署番号が表示されます。
管理者名	設定した管理者名が表示されます。
管理者番号	設定した管理者番号が表示されます。
管理者詳細情報	設定した管理者詳細情報が表示されます。

(c) 管理者情報

管理者情報には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境情報設定ファイルで設定した情報です。

表示項目	表示内容
運用管理者名	設定した運用管理者名が表示されます。
運用管理者番号	設定した運用管理者番号が表示されます。
運用管理者詳細情報	設定した運用管理者詳細情報が表示されます。
電話番号	設定した電話番号が表示されます。
メールアドレス	設定したメールアドレスが表示されます。

(d) 設置場所 / その他

設置場所 / その他には，次の情報が表示されます。なお，ここに表示される情報は，環境情報設定ファイルで設定した情報です。

表示項目	表示内容
サイト情報	設定したサイト情報が表示されます。
設置場所詳細情報	設定した設置場所詳細情報が表示されます。
備考	設定した備考が表示されます。

1.4.4 ［インベントリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［インベントリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	閉じる	［インベントリ］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.5 ［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウ

［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウは，サーバシャーシの資産情報を表示するウィンドウです。

［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，資産情報を表示したいサーバシャーシを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［サーバシャーシインベントリ］を選択する**

［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-26 ［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウ



（左ペイン）
インベントリツリー

（右ペイン）
インベントリ領域

［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，サーバシャーシインベントリ情報の分類ツリーが表示されます。これをインベントリツリーといいます。

［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，インベントリツリーで選択したサーバシャーシインベントリ情報が表示されます。これをインベントリ領域といいます。

表示するデータがない場合は，インベントリツリーには表示されません。

表示できるインベントリ情報は，BS2000 の場合と，BS1000 の場合と，BS320 の場合で異なります。また，インベントリ情報を正しく表示するには，次のバージョンのコンソールサービスが必要です。

● BS2000 の場合：バージョン 08-60 以降

● BS1000 の場合：バージョン 06-00 以降

● BS320 の場合：バージョン 08-10 以降

表示されるサーバシャーシインベントリ項目について説明します。

1.5.1 サーバシャーシのインベントリ情報

(1) 装置情報

インベントリツリーの装置情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) 装置情報

基本情報として，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
シャーシ ID	サーバシャーシの識別名称（ID）が表示されます。	○	○	○
シャーシシリアル番号	サーバシャーシのシリアル番号が表示されます。	○	○	○
シャーシタイプ	サーバシャーシのタイプが表示されます。	－	○	－
シャーシタイプ名称	サーバシャーシのタイプが表示されます。	○	○	○
最大パーティション数	パーティション数の最大値が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(b) スロットグループリスト－スロットグループタイプ <n>

スロットグループタイプ <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロットグループタイプ名称	スロットグループのタイプが表示されます。	○	－	○
最大スロット数	スロット数の最大値が表示されます。	○	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(c) モジュールリスト－モジュールタイプ <n>

モジュールタイプ <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
モジュールタイプ	モジュールのタイプが表示されます。	－	○	－
モジュールタイプ名称	モジュールのタイプが表示されます。	○	－	○
スロットグループタイプ	スロットグループのタイプが表示されます。	－	○	－
スロットグループタイプ名称	スロットグループのタイプが表示されます。	○	－	○
サポート有無	サポート有無が表示されます。	○	○	○
最大スロット数	スロット数の最大値が表示されます。	－	○	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(2) Server Module 情報（Processor Module 情報）

BS2000 または BS1000 の場合は Server Module 情報，BS320 の場合は Processor Module 情報のインベントリツリーを選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	○	○
挿入状態	サーバモジュールの挿入状態が表示されます。	○	○	○
動作状態	サーバモジュールの動作状態が表示されます。	○	○	○
タイプ	サーバモジュールのタイプが表示されます。	○	○	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	○	○
シリアル番号	サーバモジュールのシリアル番号が表示されます。	－	○	○
製品形名	サーバモジュールの製品形名が表示されます。	○	○	○

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
製造情報	サーバモジュールの製造情報が表示されます。	○	○	○
ファームウェアレビジョン	サーバモジュールのファームウェアプログラムのレビジョンが表示されます。	－	○	○
SMP 構成可能な上限モジュール数	サーバモジュールで SMP を構成する場合のモジュール数の上限が表示されます。	○	○	○
プロセッサ周波数	プロセッサ周波数が表示されます。	○	○	○
プロセッサ名	プロセッサ名称が表示されます。	○	○	○
搭載プロセッサ数	搭載しているプロセッサの数が表示されます。	○	○	○
縮退プロセッサ数	縮退中のプロセッサの数が表示されます。	○	○	○
プロセッサコア数	プロセッサコアの数が表示されます。	○	○	○
縮退コア数	縮退しているコアの数が表示されます。	○	○	○
データ有効識別	総メモリ容量の有効識別子が表示されます。	○	○	○
総メモリ容量	総メモリ容量が表示されます。	○	○	○
プロセッサモデル名	プロセッサモデル名称が表示されます。	○	○	○
キャッシュサイズ	キャッシュサイズが表示されます。	○	○	○
チップセットレビジョン	チップセットレビジョンが表示されます。	○	○	○
内蔵 PCI データ有効識別	内蔵 PCI データの有効識別子が表示されます。	○	○	○
HVM ライセンス	HVM ライセンスの種類が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(b) Gigabit Ether MAC アドレス情報－ Gigabit Ether MAC アドレス <n>

Gigabit Ether MAC アドレス <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。	○	○	○
MAC アドレス属性	MAC アドレス属性が表示されます。	○	○	○
WOL 可否状態	WOL 可否状態が表示されます。	○	○	○
PXE 可否状態	PXE 可否状態が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(c) 内蔵 PCI 情報－スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	－	○
挿入状態	内蔵 PCI カードの挿入状態が表示されます。	○	－	○
動作状態	内蔵 PCI カードの動作状態が表示されます。	○	－	○
タイプ	内蔵 PCI カードのタイプが表示されます。	○	－	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	－	○
製品形名	製品の形名が表示されます。	○	－	○
製造情報	内蔵 PCI カードの製造情報が表示されます。	○	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(d) 内蔵 PCI 情報－スロット <n> － PCI 情報－ PCI 情報 <m>

PCI 情報 <m> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ベンダ ID	ベンダ ID が表示されます。	○	－	○
デバイス ID	デバイス ID が表示されます。	○	－	○
レビジョン ID	レビジョン ID が表示されます。	○	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(e) 内蔵 PCI 情報－スロット <n> －ファームウェアレビジョン情報－ファームウェアレビジョン <n>

ファームウェアレビジョン <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ファームウェアレビジョン	ファームウェアレビジョンがリスト形式で表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(f) ファームウェアレビジョン情報－ファームウェアレビジョン <n>

ファームウェアレビジョン <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ファームウェアレビジョン	ファームウェアレビジョンがリスト形式で表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(3) HDD Module 情報

インベントリツリーの HDD Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	○	－
挿入状態	HDD モジュールの挿入状態が表示されます。	－	○	－
動作状態	HDD モジュールの動作状態が表示されます。	－	○	－
タイプ	HDD モジュールのタイプが表示されます。	－	○	－
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	○	－
製品形名	HDD モジュールの製品形名が表示されます。	－	○	－
製造情報	HDD モジュールの製造情報が表示されます。	－	○	－
搭載ディスク数	搭載しているディスクの数が表示されます。	－	○	－
障害ディスク数	障害を起こしているディスクの数が表示されます。	－	○	－
接続インタフェース	接続しているインタフェースの情報が表示されます。	－	○	－

（凡例）
○：表示されます。

－：表示されません。

(4) DVD Module 情報

インベントリツリーの DVD Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	○	－
挿入状態	DVD モジュールの挿入状態が表示されます。	－	○	－
動作状態	DVD モジュールの動作状態が表示されます。	－	○	－
タイプ	DVD モジュールのタイプが表示されます。	－	○	－
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	○	－
製品形名	DVD モジュールの製品形名が表示されます。	－	○	－
製造情報	DVD モジュールの製造情報が表示されます。	－	○	－
接続インタフェース	接続しているインタフェースの情報が表示されます。	－	○	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(5) IO Module 情報

インベントリツリーの IO Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	○	－
挿入状態	IO モジュールの挿入状態が表示されます。	－	○	－
動作状態	IO モジュールの動作状態が表示されます。	－	○	－
タイプ	IO モジュールのタイプが表示されます。	－	○	－

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	○	－
製品形名	IO モジュールの製品形名が表示されます。	－	○	－
製造情報	IO モジュールの製造情報が表示されます。	－	○	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

（6）SW & Management Module 情報（SVP Module 情報，Management Module 情報）

BS1000 の場合は SW & Management Module 情報，BS2000 の場合は Management Module 情報，BS320 の場合は SVP Module 情報のインベントリツリーを選択すると，次の情報が表示されます。

（a）スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	○	○
挿入状態	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module の挿入状態が表示されます。	○	○	○
動作状態	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module の動作状態が表示されます。	○	○	○
タイプ	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module のタイプが表示されます。	○	○	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	○	○
製品形名	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module の製品形名が表示されます。	○	○	○
製造情報	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module の製造情報が表示されます。	○	○	○
ファームウェアレビジョン	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module のファームウェアプログラムのレビジョンが表示されます。	－	○	○

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
SVP IP アドレス	SW & Management モジュール，または SVP モジュール，または Management Module の IP アドレスが表示されます。	○	○	○
Gigabit Ether SW IP アドレス	Gigabit Ether Switch の IP アドレスが表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(b) Management Module 情報－スロット <n> －ファームウェアレビジョン情報－ファームウェアレビジョン <n>

ファームウェアレビジョン <n> は，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ファームウェアレビジョン	ファームウェアレビジョンがリスト形式で表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(7) Power Supply Module 情報

インベントリツリーの Power Supply Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	○	○
挿入状態	電源モジュールの挿入状態が表示されます。	○	○	○
動作状態	電源モジュールの動作状態が表示されます。	○	○	○
タイプ	電源モジュールのタイプが表示されます。	○	○	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	○	○
製造情報	電源モジュールの製造情報が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

（8） Fan Module 情報

インベントリツリーの Fan Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

（a） スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	○	○
挿入状態	サーバシャーシのファンの挿入状態が表示されます。	○	○	○
動作状態	サーバシャーシのファンの動作状態が表示されます。	○	○	○
タイプ	サーバシャーシのファンのタイプが表示されます。	○	○	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

（9） Switch Module 情報

インベントリツリーの Switch Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

（a） Switch Module 情報－スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	－	－
挿入状態	Switch Module の挿入状態が表示されます。	○	－	－
動作状態	Switch Module の動作状態が表示されます。	○	－	－
タイプ	Switch Module のタイプが表示されます。	○	－	－
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	－	－
製品形名	製品形名が表示されます。	○	－	－
製造情報	製造情報が表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。

－：表示されません。

(b) Switch Module 情報－スロット <n> －ファームウェアレビジョン情報－ファームウェアレビジョン <n>

ファームウェアレビジョン <n> は，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ファームウェアレビジョン	ファームウェアレビジョンがリスト形式で表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(10) PCI Card 情報

インベントリツリーの PCI Card 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	○	－
挿入状態	PCI カード挿入状態が表示されます。	－	○	－
動作状態	PCI カード動作状態が表示されます。	－	○	－
タイプ	PCI カードタイプが表示されます。	－	○	－
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	○	－
製造情報	PCI カードの製造情報が表示されます。	－	○	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(b) PCI 情報－ PCI 情報 <n>

PCI 情報 <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ベンダ ID	ベンダ ID が表示されます。	－	○	－
デバイス ID	デバイス ID が表示されます。	－	○	－
レビジョン ID	レビジョン ID が表示されます。	－	○	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

（11）Switch Fan&Serial Module 情報

インベントリツリーの Switch Fan&Serial Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

（a）スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	－	○
挿入状態	スイッチファン & シリアルモジュールの挿入状態が表示されます。	－	－	○
動作状態	スイッチファン & シリアルモジュールの動作状態が表示されます。	－	－	○
タイプ	スイッチファン & シリアルモジュールのタイプが表示されます。	－	－	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

（12）I/O Board Module 情報

I/O Board Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

（a）スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	○	－	－
挿入状態	I/O Board の挿入状態が表示されます。	○	－	－
動作状態	I/O Board の動作状態が表示されます。	○	－	－
タイプ	I/O Board のタイプが表示されます。	○	－	－
サポート状態	サポート状態が表示されます。	○	－	－
製品形名	製品形名が表示されます。	○	－	－
製造情報	製造情報が表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(b) I/O Board Module 情報－スロット <n> － PCI 情報－ PCI 情報 <n>

PCI 情報 <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ベンダ ID	ベンダ ID が表示されます。	○	－	－
デバイス ID	デバイス ID が表示されます。	○	－	－
レビジョン ID	レビジョン ID が表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(c) I/O Board Module 情報－スロット <n> －ファームウェアレビジョン情報－ファームウェアレビジョン <n>

ファームウェアレビジョン <n> は，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
ファームウェアレビジョン	ファームウェアレビジョンがリスト形式で表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(13) Fibre Channel Switch Module 情報

インベントリツリーの Fibre Channel Switch Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	－	○
挿入状態	ファイバチャネルスイッチモジュールの挿入状態が表示されます。	－	－	○
動作状態	ファイバチャネルスイッチモジュールの動作状態が表示されます。	－	－	○

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
タイプ	ファイバチャネルスイッチモジュールのタイプが表示されます。	－	－	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

（14）Path Through Module 情報

インベントリツリーの Path Through Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

（a）スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	－	○
挿入状態	パススルーモジュールの挿入状態が表示されます。	－	－	○
動作状態	パススルーモジュールの動作状態が表示されます。	－	－	○
タイプ	パススルーモジュールのタイプが表示されます。	－	－	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

（15）SAS Switch Module 情報

インベントリツリーの SAS Switch Module 情報を選択すると，次の情報が表示されます。

（a）スロット <n>

スロット <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
スロット番号	スロット番号が表示されます。	－	－	○
挿入状態	SAS スイッチモジュールの挿入状態が表示されます。	－	－	○

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
動作状態	SAS スイッチモジュールの動作状態が表示されます。	－	－	○
タイプ	SAS スイッチモジュールのタイプが表示されます。	－	－	○
サポート状態	サポート状態が表示されます。	－	－	○

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

(16) パーティション情報

インベントリツリーのパーティション情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) パーティション <n>

パーティション <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
パーティション有無	パーティションの有無が表示されます。	○	○	○
パーティション情報ステータス	パーティションの状態が表示されます。	○	○	○
電源状態	電源の投入状態が表示されます。	○	○	○
装置 ON/OFF 連動	パーティションの電源の装置パネルスイッチとの連動有無が表示されます。	○	○	○
OS 種類	実行する OS の種類が表示されます。	○	○	○
BMC 時刻管理情報	BMC の時刻の情報が表示されます。	○	○	○
ハイパースレッディングの無効指定	ハイパースレッディングの有効・無効種別が表示されます。	○	○	○
ローカルディスク有無	サーバモジュール内のローカルディスクの有無が表示されます。	○	○	○
ローカルディスクインタフェース	サーバモジュール内ローカルディスクのインタフェース種別が表示されます。	○	○	○
ローカルディスク容量	サーバモジュール内ローカルディスクの総容量が表示されます。	○	○	○
HDD Module 接続有無	HDD モジュールの接続の有無が表示されます。	○	○	○
HDD Module 接続インタフェース	HDD モジュールとの接続インタフェースが表示されます。	○	○	○
HDD Module 接続ディスク容量	接続されている HDD モジュールのディスク容量が表示されます。	○	○	○
BMC IP アドレス	BMC IP アドレスが表示されます。	○	○	○

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
総メモリ容量	総メモリ容量が表示されます。	○	○	○
Agent Install 設定	Agent インストール状態の設定情報が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(b) 構成モジュール情報－スロットグループ <n> －スロット <m>

各パーティションのスロット情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
モジュールタイプ	接続されているモジュールのタイプが表示されます。	○	○	○
物理スロット番号	モジュールが搭載されているスロットの番号が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(c) Gigabit Ether MAC アドレス情報－ Gigabit Ether MAC アドレス <n>

Gigabit Ether MAC アドレス <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(d) Pre-configure 情報

Pre-configure 情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
診断機能実行ステータス	診断機能実行ステータスが表示されます。	○	○	○
Pre-configure 機能の有効 / 無効	Pre-configure 機能の有効 / 無効が表示されます。	○	○	○
Pre-configure 実行結果	Pre-configure 実行結果が表示されます。	○	○	○
Pre-configure 実行ステータス	Pre-configure 実行ステータスが表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(17) ファームウェア情報

インベントリツリーのファームウェア情報を選択すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
SVP マイクロレビジョン	SVP マイクロレビジョンが表示されます。	○※	○	○
SVP マイクロ作成日	SVP マイクロの作成日が表示されます。	○※	○	○

（凡例）
○：表示されます。

注※
BS2000 の場合，「00-00-00」が固定で表示されます。

(18) 電源状態

インベントリツリーの電源状態を選択すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
電源状態	サーバシャーシの電源 ON/OFF の状態が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(19) 自動通報先登録情報

インベントリツリーの自動通報先登録情報を選択すると，次の情報が表示されます。

(a) 通報先 <n>

通報先 <n> には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
連絡先マシン名	自動通報先のマネージャサービスの名称が表示されます。	○	○	○
IP アドレス	自動通報先のマネージャサービスの IP アドレスが表示されます。	○	○	○
アラートポート番号	自動通報先のマネージャサービスのポート番号が表示されます。	○	○	○
コマンドポート番号	マネージャサービスからの接続ポート番号が表示されます。	○	○	○

（凡例）
○：表示されます。

(20) コンフィギュレーション情報

インベントリツリーのコンフィギュレーション情報を選択すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容	BS2000	BS1000	BS320
アラート通知	障害検出時のアラート通知の有無が表示されます。	○	○	○
接続リトライ時間	アラート通知時の接続リトライ間隔が表示されます。	○	○	○
アラート再送継続時間	アラート通知時のアラート再送継続時間が表示されます。	○	－	－

（凡例）
○：表示されます。
－：表示されません。

1.5.2 ［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	閉じる	［サーバシャーシインベントリ］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.6 ［BIOS ポストログ］ウィンドウ

［BIOS ポストログ］ウィンドウは，システム起動時に BIOS が検出したエラーを表示するウィンドウです。

注意

［BIOS ポストログ］ウィンドウは，管理対象が HA8000 Windows サーバの場合に表示できます。ただし，機種によっては表示できない場合があります。参照できる機種については，コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスのインストール先の help フォルダに格納されている「Invent.xls」を参照してください。

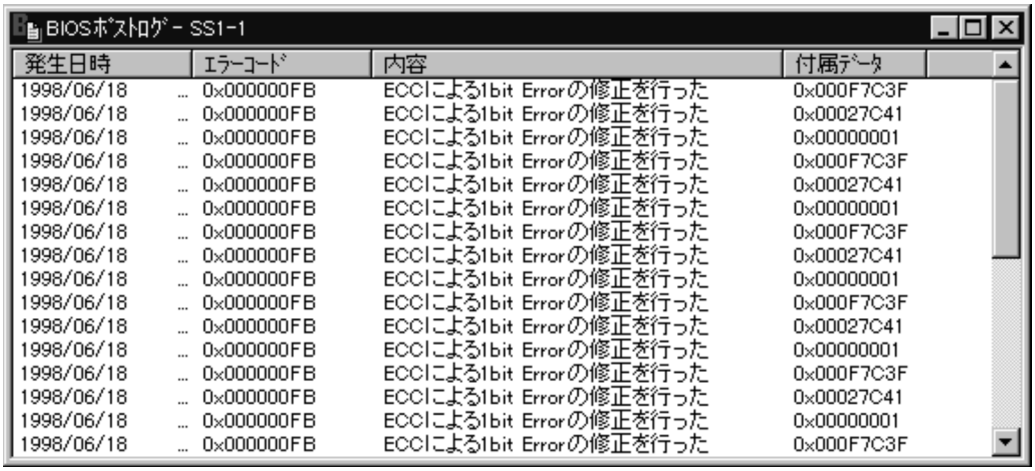
［BIOS ポストログ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，BIOS ポストログを表示したいサーバを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［BIOS ポストログ］を選択する**

［BIOS ポストログ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-27 ［BIOS ポストログ］ウィンドウ



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
発生日時	エラーが発生した日時が表示されます。
エラーコード	発生したエラーのエラーコードが表示されます。
内容	エラーの詳細情報が表示されます。

表示項目	表示内容
付属データ	BIOS ポストログが付属データを持つ場合，その付属データが表示されます。付属データの内容は BIOS ポストログの内容やエラー情報によって異なります。

1.6.1 ［BIOS ポストログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［BIOS ポストログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	読み込み	保存されているファイルから BIOS ポストログを読み込みます。
	保存	表示されている BIOS ポストログを保存します。
	CSV 形式ファイル出力	表示されている BIOS ポストログを CSV 形式のファイルに出力します。
	印刷	表示されている BIOS ポストログを印刷します。
	閉じる	［BIOS ポストログ］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.7 ［SVP ログ］ウィンドウ

［SVP ログ］ウィンドウは，電源制御で使用する SVP 機能が管理している SVP ログを表示するウィンドウです。

SVP ログを表示できる管理対象を次に示します。

- サーバシャーシ
- SVP 機能を搭載した HA8000 に，SVP エージェントサービスをインストールしているサーバ
- SVP 機能を搭載した HA8000 を VM ホストとして管理しているサーバ

注意

検出できるアラート情報は管理対象によって異なります。検出できるアラート情報の詳細については，コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスのインストール先の help フォルダに格納されている「Invent.xls」を参照してください。

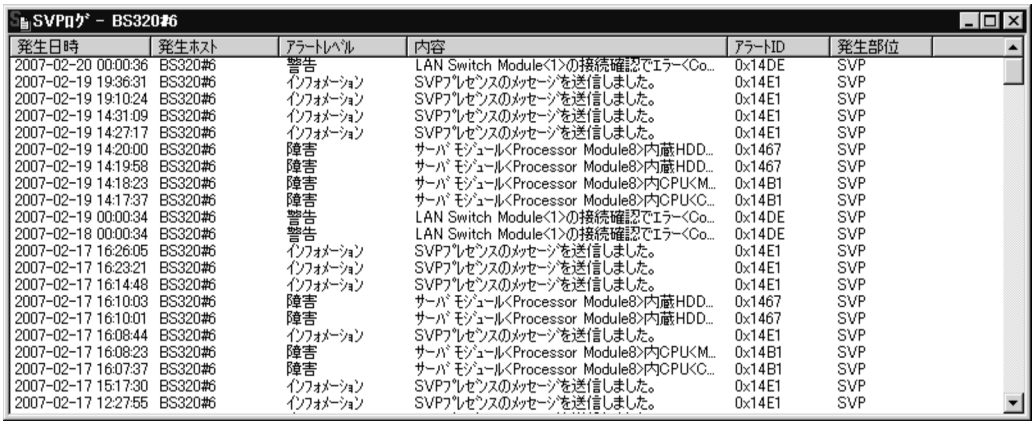
［SVP ログ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，SVP ログを表示できる管理対象を選択する**
   SVP ログを表示できる管理対象は，［ホスト管理］ウィンドウの「電源制御」の欄に SVP の種類が表示されています。
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［SVP ログ］を選択する**

［SVP ログ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-28 ［SVP ログ］ウィンドウ



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
発生日時	アラートが発生した日時が表示されます。
発生ホスト	アラートが発生したホストのコンピュータ名が表示されます。
アラートレベル	発生したアラートのレベルが表示されます。
内容	アラートの内容が表示されます。
アラート ID	アラート ID が表示されます。
発生部位	「SVP」が表示されます。

1.7.1 ［SVP ログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［SVP ログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	CSV 形式ファイル出力	表示されている SVP ログを CSV 形式のファイルに出力します。
	印刷	表示されている SVP ログを印刷します。
	閉じる	［SVP ログ］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.8 ［MIF 情報］ウィンドウ

［MIF 情報］ウィンドウは，サーバが持っている MIF 情報を表示するウィンドウです。

注意

［MIF 情報］ウィンドウは，管理対象が HA8000 Windows サーバの場合に表示できます。

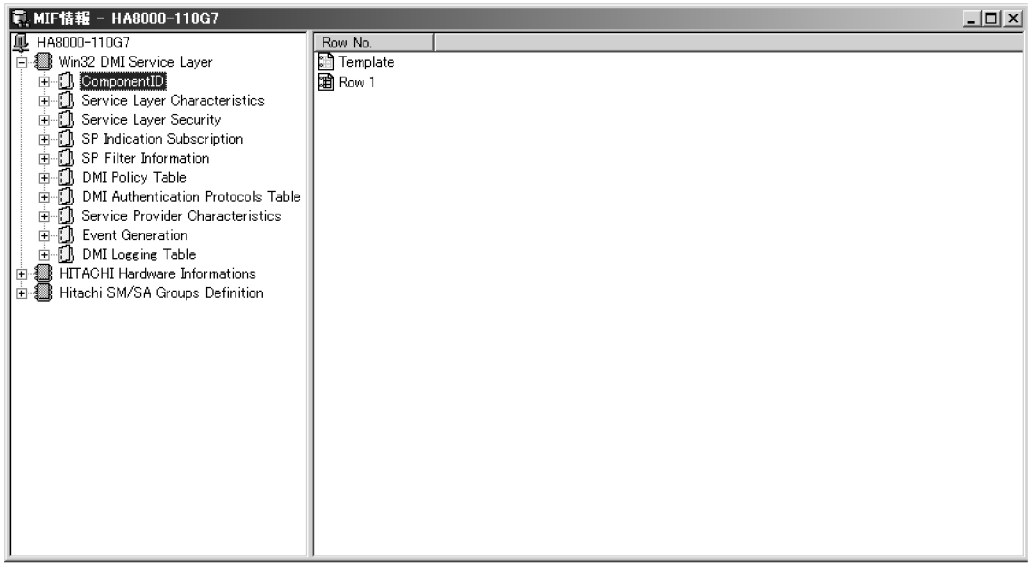
［MIF 情報］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，MIF 情報を表示したいサーバを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［MIF 情報］を選択する**

［MIF 情報］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-29 ［MIF 情報］ウィンドウ

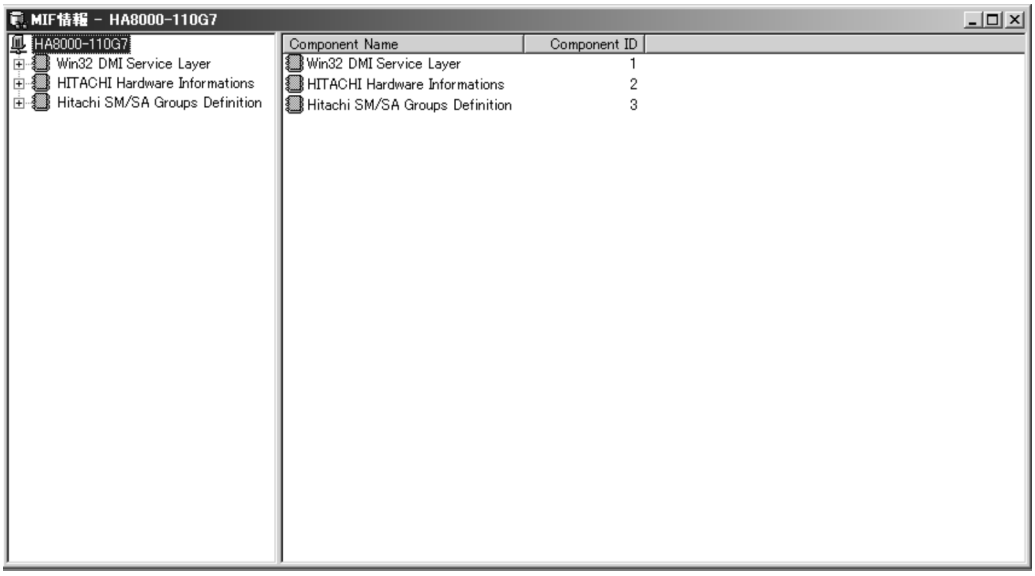


（左ペイン）　　（右ペイン）

［MIF 情報］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，MIF 情報の分類ツリーが表示されます。［MIF 情報］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択した分類の MIF 情報が表示されます。各項目を選択した場合に表示される［MIF 情報］ウィンドウを次に説明します。

1.8.1 ［MIF 情報］ウィンドウ（サーバ選択時）

図 1-30 ［MIF 情報］ウィンドウ（サーバ選択時）

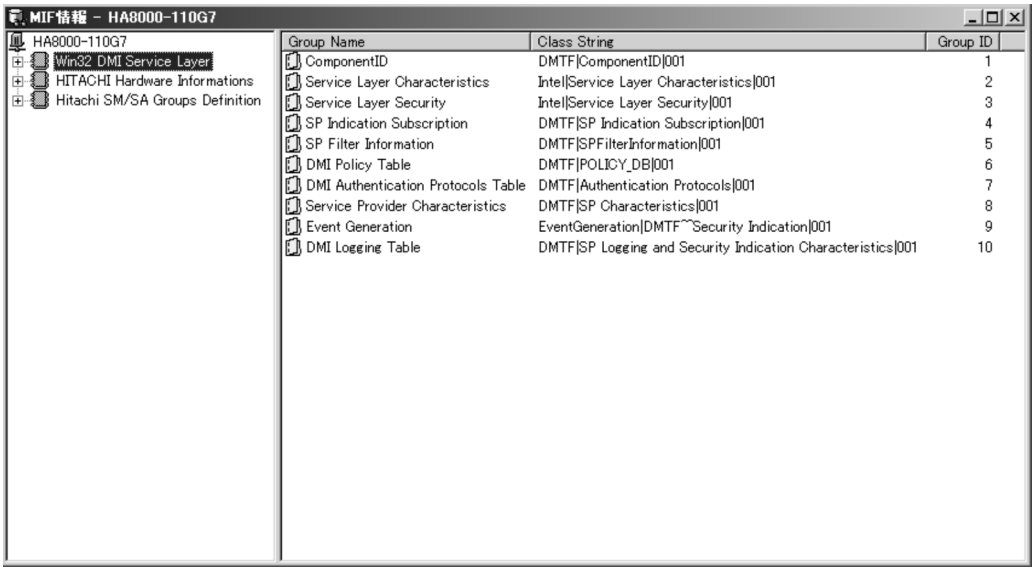


表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
Component Name	コンポーネントの名前が表示されます。
Component ID	コンポーネントの ID が表示されます。

1.8.2 ［MIF 情報］ウィンドウ（コンポーネント選択時）

図 1-31 ［MIF 情報］ウィンドウ（コンポーネント選択時）

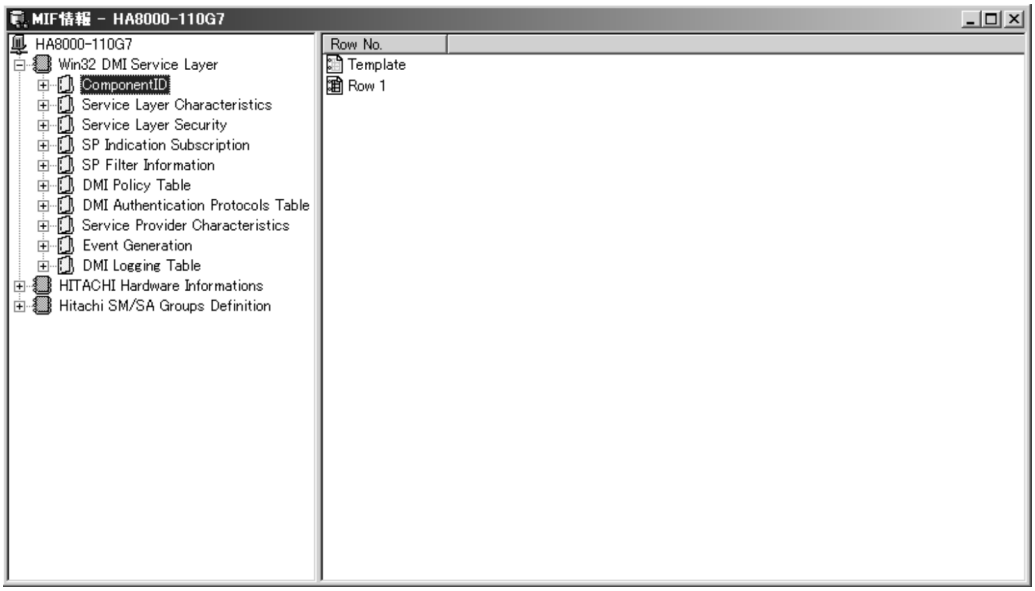


表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
Group Name	グループの名前が表示されます。
Class String	グループを特定する文字列が表示されます。
Group ID	グループの ID が表示されます。

1.8.3 ［MIF 情報］ウィンドウ（グループ選択時）

図 1-32 ［MIF 情報］ウィンドウ（グループ選択時）



表示項目を次の表に示します。

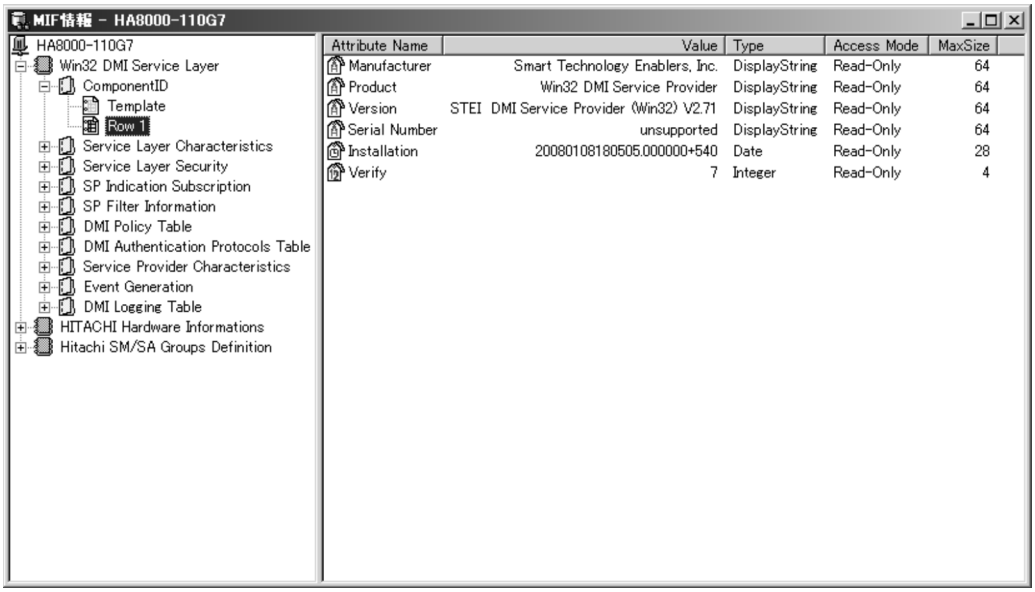
表示項目	表示内容
Row No.	Row No. が表示されます。
Key 1※～ Key 8※	Key1 ～ Key8 の値が表示されます。

注※

グループの定義によって表示されない場合があります。

1.8.4 ［MIF 情報］ウィンドウ（Row 選択時）

図 1-33 ［MIF 情報］ウィンドウ（Row 選択時）



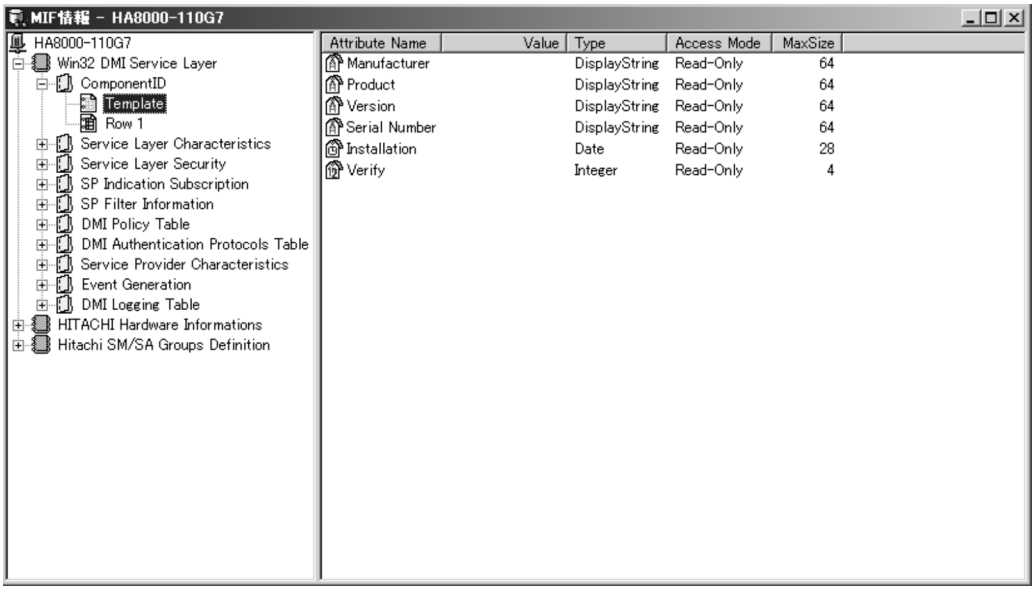
表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
Attribute Name	属性の名前が表示されます。
Value	属性の値が表示されます。
Type	属性の型が表示されます。型の種類は次のとおりです。 • Counter：非減少の整数 • Counter64：非減少の整数 • Gauge：増加または減少する整数 • Integer：整数 • Integer64：整数 • OctetString：表示できない文字を含む文字列 • DisplayString：文字列 • Date：日時
Access Mode	アクセス権限が表示されます。権限の種類は次のとおりです。 • Unknown Access：アクセス権限が不明 • Read-Only：参照だけできる • Read-Write：参照と書き込みができる • Write-Only：書き込みだけできる • Unsupported：未サポート • Unknown：不明

表示項目	表示内容
MaxSize	属性のデータの大きさが表示されます。Type ごとの最大バイト数は次のとおりです。 • Counter：4 • Counter64：8 • Gauge：4 • Integer：4 • Integer64：8 • OctetString：可変 • DisplayString：可変 • Date：28

1.8.5 ［MIF 情報］ウィンドウ（Template 選択時）

図 1-34 ［MIF 情報］ウィンドウ（Template 選択時）



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
Attribute Name	属性の名前が表示されます。
Value	属性の値が表示されます。
Type	属性の型が表示されます。型の種類は次のとおりです。 • Counter：非減少の整数 • Counter64：非減少の整数 • Gauge：増加または減少する整数 • Integer：整数 • Integer64：整数 • OctetString：表示できない文字を含む文字列 • DisplayString：文字列 • Date：日時
Access Mode	アクセス権限が表示されます。権限の種類は次のとおりです。 • Unknown Access：アクセス権限が不明 • Read-Only：参照だけできる • Read-Write：参照と書き込みができる • Write-Only：書き込みだけできる • Unsupported：未サポート • Unknown：不明

表示項目	表示内容
MaxSize	属性のデータの大きさが表示されます。Type ごとの最大バイト数は次のとおりです。 • Counter：4 • Counter64：8 • Gauge：4 • Integer：4 • Integer64：8 • OctetString：可変 • DisplayString：可変 • Date：28

1.8.6 ［MIF 情報］ウィンドウのメニューコマンド一覧

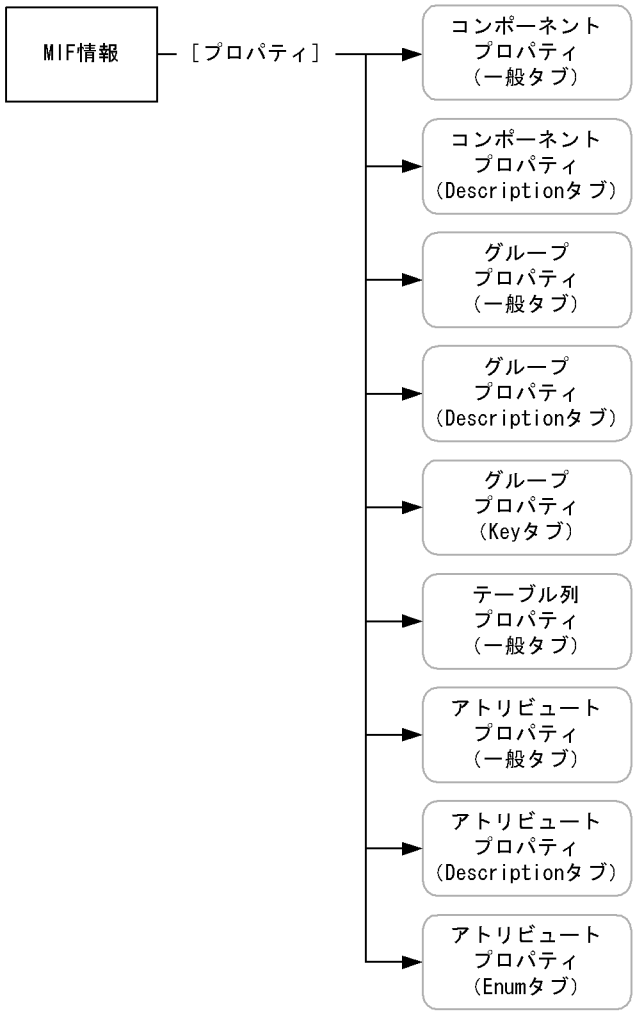
［MIF 情報］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	プロパティ	右ペインで選択した情報のハードウェアの情報や設定状況を表示します。それぞれのダイアログボックスを表示します。
	閉じる	［MIF 情報］ウィンドウを閉じます。
表示	10 進表示	表示されている MIF 情報の数値を 10 進数で表示します。
	16 進表示	表示されている MIF 情報の数値を 16 進数で表示します。
	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.8.7 ［MIF 情報］ウィンドウの遷移

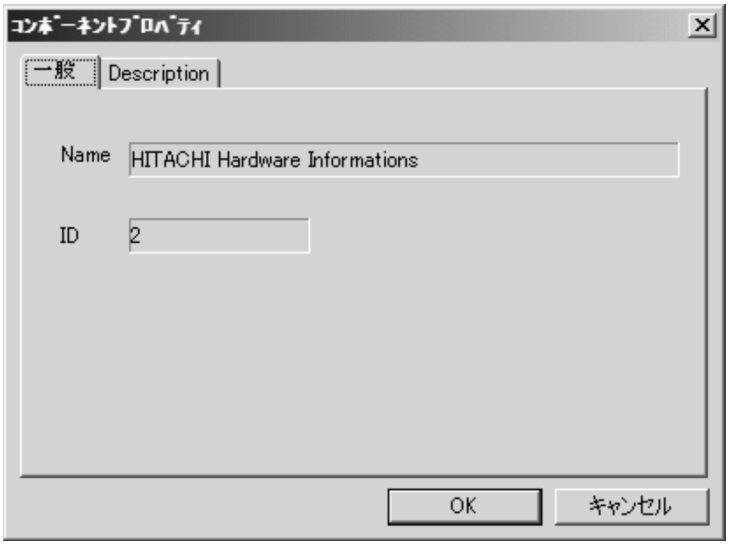
［サーバアラートログ］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-35 ［MIF 情報］ウィンドウの遷移



1.8.8 ［コンポーネントプロパティ］ダイアログボックス（[一般］タブ）

コンポーネントの名前と ID を表示します。

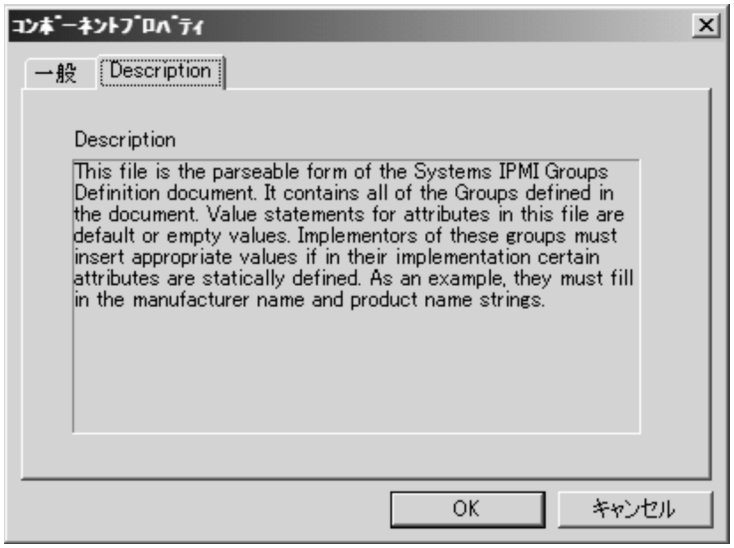


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
Name	コンポーネントの名前が表示されます。
ID	コンポーネントの ID が表示されます。

1.8.9 ［コンポーネントプロパティ］ダイアログボックス（[Description］タブ）

コンポーネントの説明を表示します。

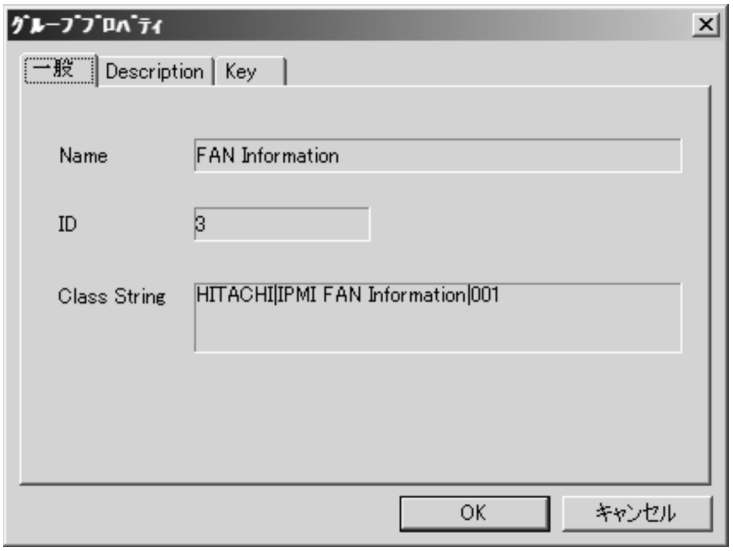


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
Description	コンポーネントの詳しい説明が表示されます。

1.8.10 ［グループプロパティ］ダイアログボックス（[一般]タブ）

グループの名前と ID を表示します。

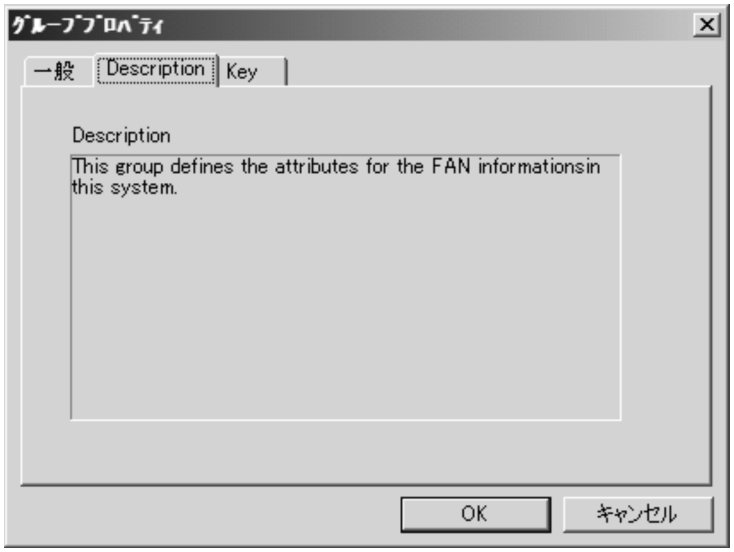


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
Name	グループの名前が表示されます。
ID	グループの ID が表示されます。
Class String	グループを特定するテキスト文字列が表示されます。

1.8.11 ［グループプロパティ］ダイアログボックス（[Description］タブ）

グループの説明を表示します。

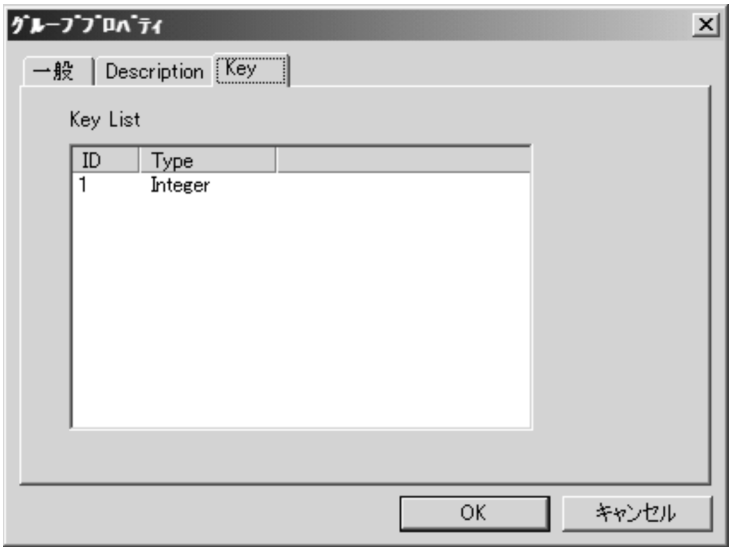


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
Description	グループの詳しい説明が表示されます。

1.8.12 ［グループプロパティ］ダイアログボックス（[Key] タブ）

グループが持つ Key の情報を表示します。



項目の内容を次の表に示します。

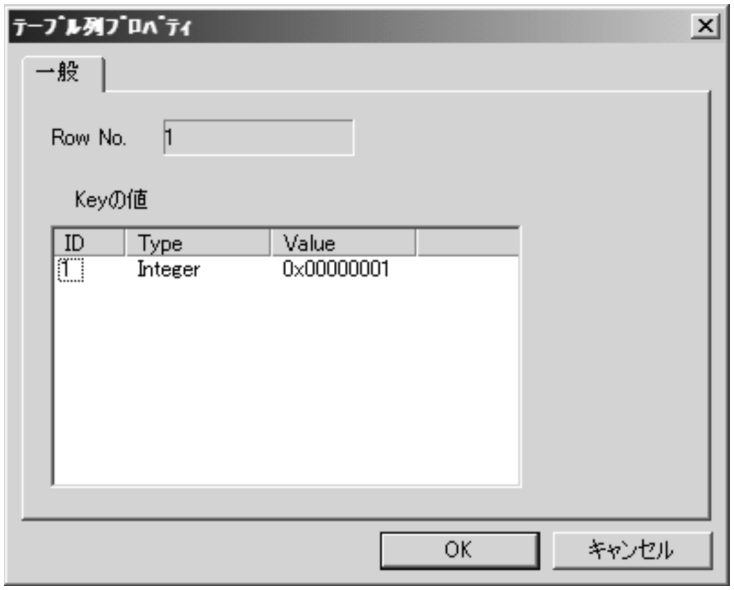
項目		内容
Key List	—	グループが持つ Key の ID や型が表示されます。
	ID	Key の ID が表示されます。
	Type	Key の型が表示されます。

（凡例）

—：該当しません。

1.8.13 ［テーブル列プロパティ］ダイアログボックス（[一般］タブ）

テーブル列の情報を表示します。



項目の内容を次の表に示します。

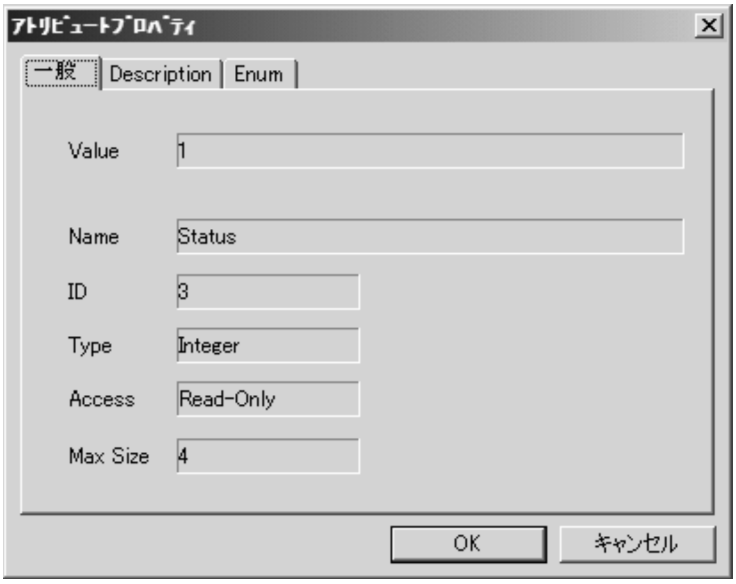
項目		内容
Row No.		テーブル列の名前または番号が表示されます。
Key の値	－	テーブル列が持つ ID，型，および値が表示されます。
	ID	テーブル列が持つ ID が表示されます。
	Type	テーブルの型が表示されます。
	Value	テーブルの値が表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.8.14 ［アトリビュートプロパティ］ダイアログボックス（[一般］タブ）

コンポーネントが持つ個々のデータの内容を表示します。



項目の内容を次の表に示します。

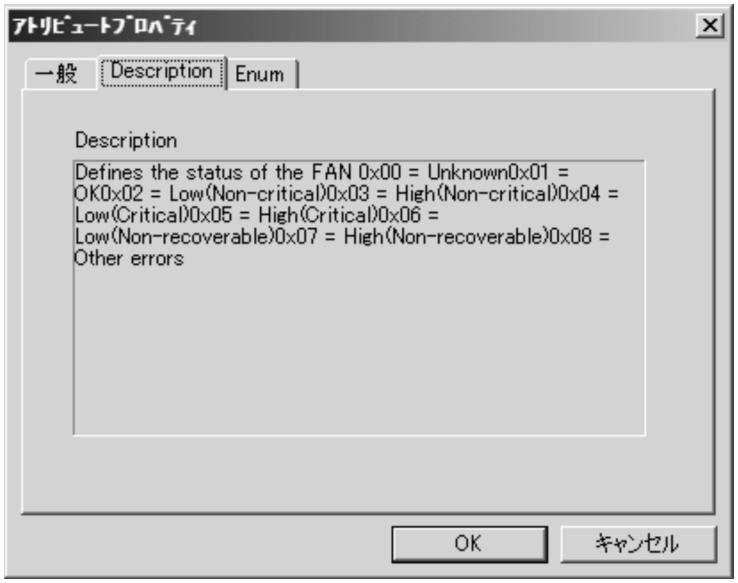
項目		内容
Value		データの持つ値が表示されます。
Name		属性の名前が表示されます。
ID		属性の ID が表示されます。
Type		属性のタイプが表示されます。
Access	－	属性のアクセス権限が表示されます。
	Read-Only	参照だけできる場合に表示されます。
	Read-Write	参照と書き込みができる場合に表示されます。
	Write-Only	書き込みだけできる場合に表示されます。
Max Size		属性の最大値が表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.8.15 ［アトリビュートプロパティ］ダイアログボックス（[Description］タブ）

属性の説明を表示します。

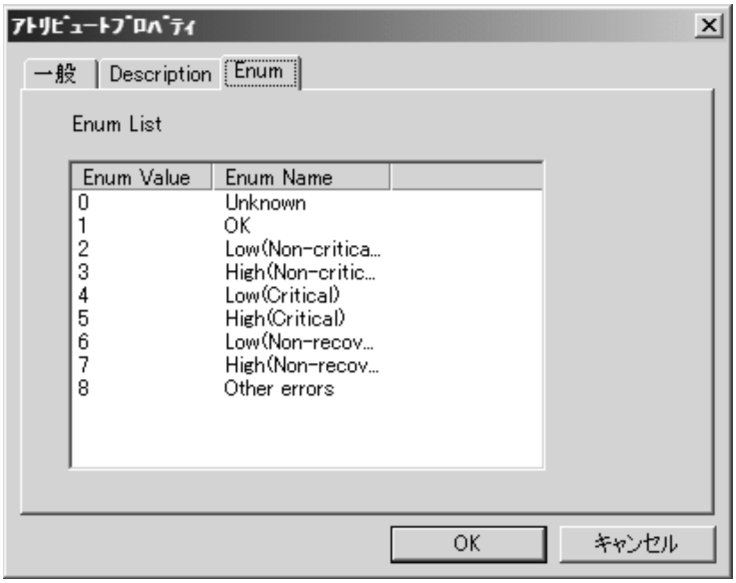


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
Description	属性の詳しい説明が表示されます。

1.8.16 ［アトリビュートプロパティ］ダイアログボックス（[Enum］タブ）

Enum が持つ情報を表示します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
Enum List	－	Enum の値と名前が表示されます。
	Enum Value	Enum の値が表示されます。
	Enum Name	Enum の名前が表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.9 ［クラスタ管理］ウィンドウ

［クラスタ管理］ウィンドウは，管理対象サーバのクラスタ情報を表示するウィンドウです。

注意

［クラスタ管理］ウィンドウは，管理対象が HA8000 サーバ上の MSCS またはフェールオーバークラスタでクラスタ構成を運用している場合に表示できます。

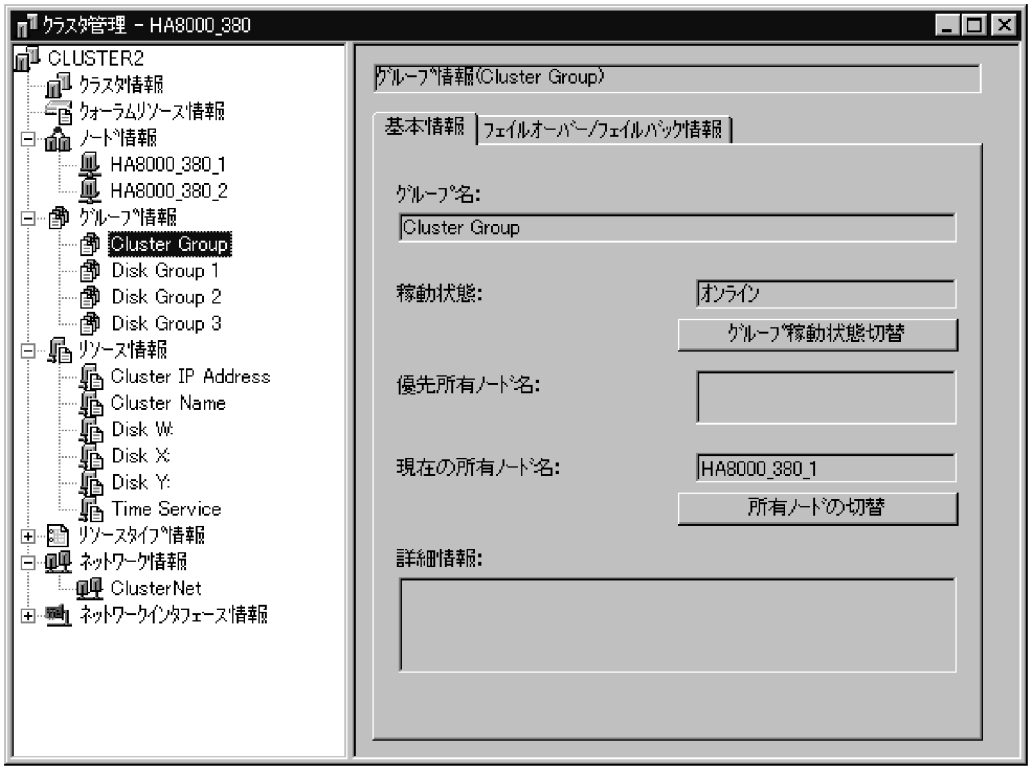
［クラスタ管理］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，クラスタ設定をしているサーバを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［クラスタ管理］を選択する**

［クラスタ管理］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-36 ［クラスタ管理］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［クラスタ管理］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，クラスタ構成のツリーが表示されます。［クラスタ管理］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したクラスタの情報が表示されます。表示項目および設定項目を示します。

1.9.1 ［クラスタ管理］ウィンドウの表示項目

（1）クラスタ情報

クラスタ構成ツリーでクラスタ情報を選択すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
クラスタ名	クラスタ名称が表示されます。
バージョン	クラスタソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
ベンダ名	クラスタソフトウェアのベンダ名称が表示されます。
サービスパック	使用しているサービスパックの名称が表示されます。
詳細情報	クラスタソフトウェアでユーザが設定した情報が表示されます。

（2）クォーラムリソース情報

クラスタ構成ツリーでクォーラムリソース情報を選択すると，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
クォーラムリソース名	クォーラムリソースの名称が表示されます。
ドライブ名	ドライブ名称が表示されます。
最大ログサイズ	作成されるログファイルの最大サイズがキロバイト単位で表示されます。
ログパス名	ログファイルのパス名が表示されます。

（3）ノード情報

クラスタ構成ツリーでノード情報からノード名を選択すると，次の情報が表示されます。ノード情報には，基本情報と付加情報があり，タブで表示を切り替えます。

(a) 基本情報

基本情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ノード（コンピュータ）名	選択したノードのコンピュータ名が表示されます。
稼働状態	ノードの稼働状態が表示されます。
ドメイン名	ノードが接続している Windows のドメイン名が表示されます。
ホスト名	ノードのホスト名が表示されます。

表示項目	表示内容
詳細情報	ノードの詳細情報が表示されます。

(b) 付加情報

付加情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
OS 名	選択したノードの OS の名称が表示されます。
OS バージョン	選択したノードの OS のバージョンが表示されます。
設置場所	選択したノードの設置場所が表示されます。
設置場所詳細	選択したノードの設置場所の詳細情報が表示されます。

(4) グループ情報

クラスタ構成ツリーでノード情報からグループ名を選択すると，次の情報が表示されます。グループ情報には，基本情報とフェイルオーバー / フェイルバック情報があり，タブで表示を切り替えます。

(a) 基本情報

基本情報には，次の情報が表示されます。基本情報では，クラスタのグループ稼働状況や所有ノードを切り替えることができます。項目の内容を次に示します。

項目	内容
グループ名	選択したクラスタグループのグループ名が表示されます。
稼動状態	選択したクラスタグループの稼働状態が表示されます。
グループ稼動状態切替	稼働状態に表示されているクラスタの稼働状態を切り替える場合，このボタンをクリックします。
優先所有ノード名	選択したクラスタグループに設定されている優先オーナーノードのノード名が表示されます。
現在の所有ノード名	選択したクラスタグループの現在のオーナーノードのノード名が表示されます。
所有ノードの切替	現在のオーナーノードに表示されているノードをほかのノードに切り替える場合，このボタンをクリックします。
詳細情報	クラスタグループに設定されている詳細情報が表示されます。

(b) フェイルオーバー / フェイルバック情報

フェイルオーバー / フェイルバック情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
しきい値	フェイルオーバー時のリトライ回数が表示されます。
期間	フェイルオーバー時のリトライ間隔が表示されます。
タイプ	フェイルバックの設定が，禁止または許可のどちらになっているかが表示されます。
開始時間	フェイルバックを許可している場合の開始時間が表示されます。
終了時間	フェイルバックを許可している場合の終了時間が表示されます。

(5) リソース情報

クラスタ構成ツリーでリソース情報から，クラスタリソース名を選択すると次の情報が表示されます。リソース情報には，基本情報，付加情報，および詳細情報があり，タブで表示を切り替えます。

(a) 基本情報

基本情報には，次の情報が表示されます。基本情報では，［リソース稼働状況切替］ボタンをクリックすると，クラスタのリソース稼働状況を切り替えることができます。項目の内容を次に示します。

項目	内容
リソース名	選択したクラスタリソースのリソース名が表示されます。
稼働状況	選択したクラスタリソースの稼働状況が表示されます。
実行可能ノード名	選択したクラスタリソースの実行できるノード名が表示されます。
現在のノード	現在実行しているノード名が表示されます。
リソース稼働状況切替	表示されたクラスタリソース稼働状況を切り替える場合，このボタンをクリックします。
詳細情報	クラスタリソースに設定されている詳細情報が表示されます。

(b) 付加情報

付加情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
リソースタイプ	クラスタリソースのリソースタイプが表示されます。
依存リソース名	クラスタリソースの依存リソースタイプが表示されます。
所属グループ名	クラスタリソースの所属しているグループ名が表示されます。

(c) 詳細情報

詳細情報には，次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
タイプ	クラスタリソースの再起動の有無が表示されます。
しきい値	クラスタリソースの再起動時のリトライ回数が表示されます。
期間	クラスタリソースの再起動時のリトライ期間が秒単位で表示されます。
Looks Alive ポール期間	クラスタリソースの Looks Alive ポール期間がミリ秒単位で表示されます。
Is Alive ポール期間	クラスタリソースの Is Alive ポール期間がミリ秒単位で表示されます。
保留タイムアウト期間	クラスタリソースの保留タイムアウト時間が秒単位で表示されます。
リソース別情報	クラスタリソースのリソース別情報が表示されます。 • 分散トランザクションコーディネータ 「不明」が表示されます。 • IIS 仮想ルート サービス名，ディレクトリ名，エイリアスが表示されます。 • IP アドレス ネットワーク名，アドレス，ネットマスクが表示されます。 • Message Queue Server 「不明」が表示されます。 • タイムサービス なし。 • ネットワーク名 ネットワーク名が表示されます。 • ファイル共有 共有名，パスが表示されます。 • 印刷スプーラ スプールフォルダ名，ジョブ完了タイムアウトが表示されます。 • 汎用アプリケーション コマンドライン，カレントディレクトリが表示されます。 • 汎用サービス サービス名，スタートアップパラメタが表示されます。 • 物理ディスク ドライブレターが表示されます。

(6) リソースタイプ情報

クラスタ構成ツリーのリソースタイプ情報から，リソースタイプを選択すると次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
リソースタイプ	選択したリソースタイプが表示されます。
リソース DLL 名	リソースで使用する DLL 名が表示されます。
Looks Alive ポール期間	Looks Alive ポール期間がミリ秒単位で表示されます。
Is Alive ポール期間	Is Alive ポール期間がミリ秒単位で表示されます。
詳細情報	クラスタリソースタイプに設定されている詳細情報が表示されます。

(7) ネットワーク情報

クラスタ構成ツリーでネットワーク情報から，ネットワーク名を選択すると次の情報が

表示されます。

表示項目	表示内容
ネットワーク名	選択したネットワーク名称が表示されます。
稼働状況	選択したクラスタネットワークの稼働状況が表示されます。
役割	選択したクラスタネットワークの役割が表示されます。
ネットマスク	選択したクラスタネットワークのサブネットマスクが表示されます。
優先度	優先度が表示されます。優先度は 1 が最も高く，数が増えるごとに優先度が低くなります。
詳細情報	クラスタネットワークの詳細情報が表示されます。

(8) ネットワークインタフェース情報

クラスタ構成ツリーでネットワークインタフェースから，ネットワークインタフェース名を選択すると次の情報が表示されます。

表示項目	表示内容
ネットワークインタフェース名	選択したネットワークインタフェースに設定したネットワークインタフェース名が表示されます。
稼働状況	選択したクラスタネットワークインタフェースの稼働状況が表示されます。
アダプタ名	サーバに搭載されているネットワークインタフェース名に関連づけられているアダプタの名称が表示されます。
IP アドレス名	選択したネットワークインタフェースに設定されている IP アドレスが表示されます。
ノード名	選択したネットワークインタフェースが設定されているノード名が表示されます。
ネットワーク名	選択したネットワークインタフェースが接続しているクラスタネットワーク名が表示されます。
詳細情報	選択したネットワークインタフェースの詳細情報が表示されます。

1.9.2 ［クラスタ管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［クラスタ管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	閉じる	［クラスタ管理］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.10 ［サーバアラートログ］ウィンドウ

［サーバアラートログ］ウィンドウは，管理対象サーバで発生したすべてのアラートのログ（サーバアラートログ）を表示するウィンドウです。

注意

管理サーバおよびサーバシャーシのアラートログは表示できません。

［サーバアラートログ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，サーバアラートログを表示したいサーバを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［サーバアラートログ］を選択する**
   ［サーバアラートログ］ダイアログボックスが表示されます。
3. **［サーバアラートログ］ダイアログボックスで表示するログの範囲を指定する**
   ［サーバアラートログ］ダイアログボックスの指定方法については，「1.3.12 ［サーバアラートログ］ダイアログボックス」を参照してください。

［サーバアラートログ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-37 **［サーバアラートログ］ウィンドウ**



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
発生日時	アラートが発生した日時が表示されます。
発生ホスト	アラートが発生したホストが表示されます。
アラートレベル	発生したアラートのレベルが表示されます。
内容	アラートの内容が表示されます。
アラート ID	アラート ID が表示されます。
発生部位	アラートが発生した部位（エージェントなど）が表示されます。

1.10.1 ［サーバアラートログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

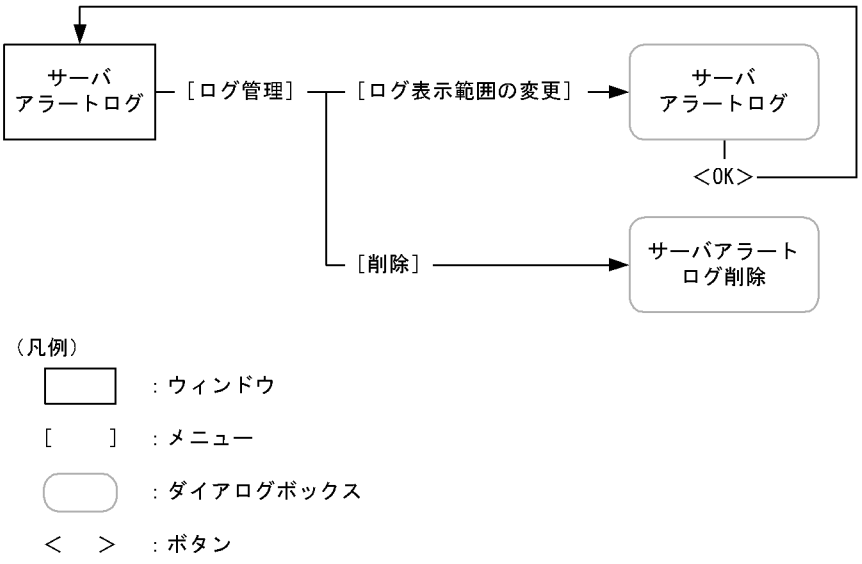
［サーバアラートログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	CSV 形式ファイル出力	表示されているサーバアラートログを CSV 形式のファイルに出力します。
	印刷	表示されているサーバアラートログを印刷します。
	閉じる	［サーバアラートログ］ウィンドウを閉じます。
ログ管理	削除	管理対象サーバアラートログを削除します。
	ログ表示範囲の変更	［サーバアラートログ］ダイアログボックスでログの表示範囲を変更します。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.10.2 ［サーバアラートログ］ウィンドウの遷移

［サーバアラートログ］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-38 ［サーバアラートログ］ウィンドウの遷移

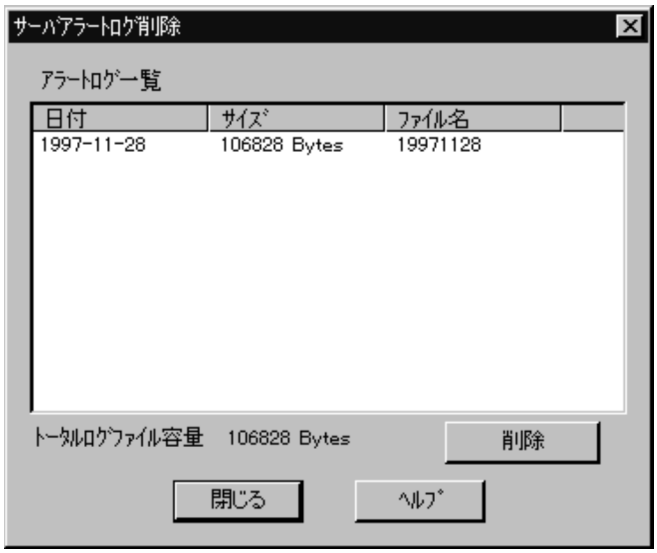


1.10.3 ［サーバアラートログ］ダイアログボックス

［サーバアラートログ］ダイアログボックスについては,「1.3.12 ［サーバアラートログ］ダイアログボックス」を参照してください。

1.10.4 ［サーバアラートログ削除］ダイアログボックス

管理対象サーバ上のアラートログを削除します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アラートログ一覧	－	サーバアラートログの内容が一覧で表示されます。
	日付	サーバアラートログの発生した日付が表示されます。
	サイズ	サーバアラートログのサイズが表示されます。
	ファイル名	サーバアラートログのファイル名が表示されます。
トータルログファイル容量		［アラートログ一覧］に表示されているログファイルの総容量が表示されます。
削除		サーバアラートログを削除する場合，該当するサーバアラートログを選択し，このボタンをクリックします。管理対象サーバ上のアラートログが削除されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.11 ［図面表示］ウィンドウ

［図面表示］ウィンドウは，管理対象ホストのハードウェア構成図を表示するウィンドウです。

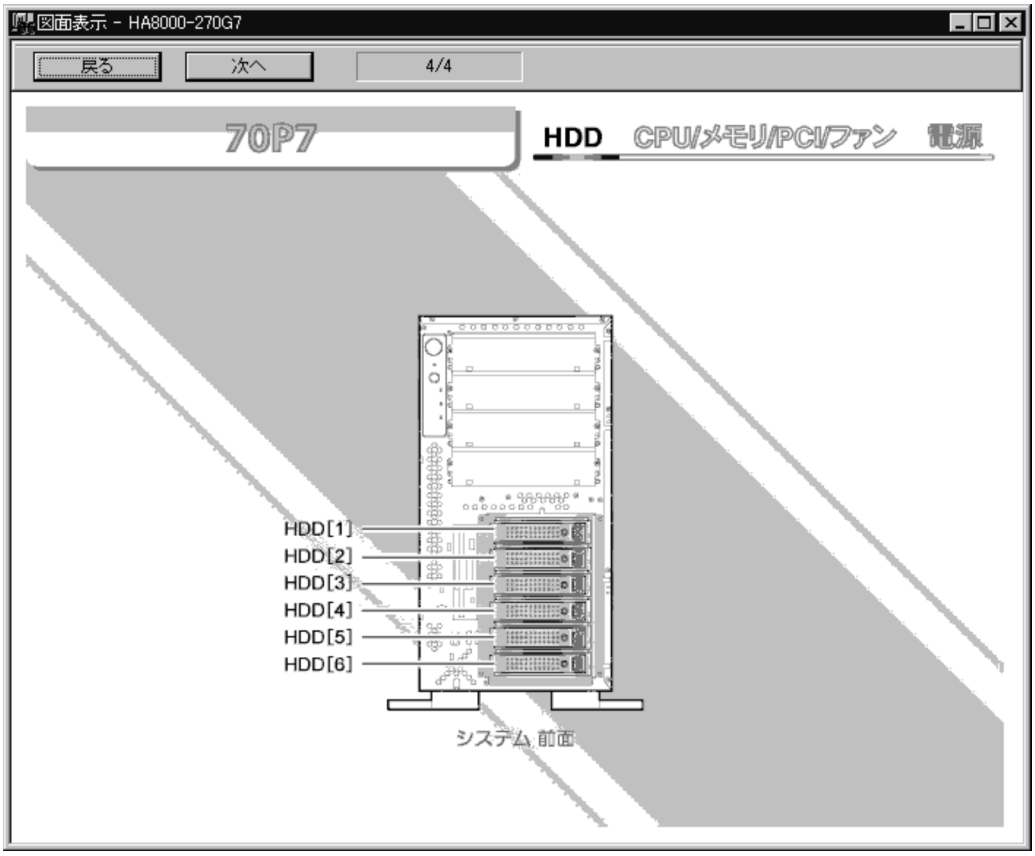
［図面表示］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウで，ハードウェア構成図を表示したいホストを選択する**
2. **［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［図面表示］を選択する**

［図面表示］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-39 **［図面表示］ウィンドウ**



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
枚数表示テキストボックス	ウィンドウに表示している図面が全図面枚数の何枚目であるかが，「現在表示している図面番号※ / 全図面枚数」の形式で表示されます。
戻る	管理対象ホストが複数のハードウェア構成図を持っている場合，前の図面を表示するときにこのボタンをクリックします。先頭の図面を表示しているときは最後の図面が表示されます。
次へ	管理対象ホストが複数のハードウェア構成図を持っている場合，次の図面を表示するときにこのボタンをクリックします。最後の図面を表示しているときは先頭の図面が表示されます。

注※

先頭の図面から 1，2，3，…，n（n は全図面枚数）というように，この機能が各図面に割り振っている番号が表示されます。

1.12 ［ホスト検索結果］ウィンドウ

［ホスト検索結果］ウィンドウは，管理対象ホストのインベントリ情報を収集したデータベースから，条件に合うホストを検索した結果を表示するウィンドウです。

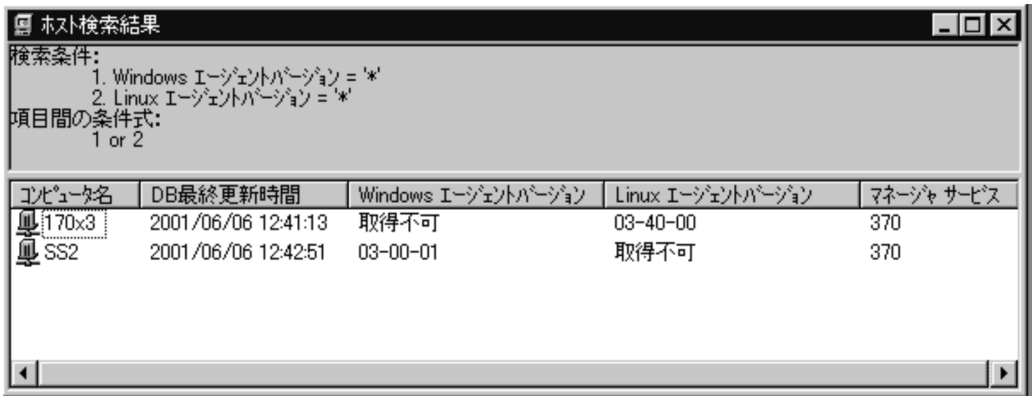
［ホスト検索結果］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［ホスト管理］メニューから［ホスト検索］を選択する**
   ［ホスト検索］ダイアログボックスが表示されます。
2. **［ホスト検索］ダイアログボックスで検索するホストの条件を設定する**
   ［ホスト検索］ダイアログボックスの設定方法については，「1.3.13 ［ホスト検索］ダイアログボックス」を参照してください。

［ホスト検索結果］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-40 **［ホスト検索結果］ウィンドウ**



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
検索条件	検索した条件が表示されます。
項目間の条件式	検索した条件の項目間の条件式が表示されます。
コンピュータ名	条件に合ったホストのコンピュータ名が表示されます。
DB 最終更新時間	条件に合ったホストのデータベースが最後に更新された時間が表示されます。
Windows エージェントバージョン	条件に合ったホストの Windows エージェントバージョンが表示されます。 Windows ではない場合，「取得不可」が表示されます。

表示項目	表示内容
Linux エージェントバージョン	条件に合ったホストの Linux エージェントバージョンが表示されます。Linux ではない場合,「取得不可」が表示されます。
マネージャサービス	マネージャサービスのホスト名が表示されます。

1.12.1 ［ホスト検索結果］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［ホスト検索結果］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
ファイル	ホスト検索結果 CSV 形式ファイル出力	―	ホスト検索結果を CSV 形式のファイルに出力します。
	閉じる	―	［ホスト検索結果］ウィンドウを閉じます。
ホスト管理	インベントリ		［インベントリ］ウィンドウを表示します。選択したホストのインベントリ情報が表示されます。
	MIF 情報		［MIF 情報］ウィンドウを表示します。選択したホストの MIF 情報が表示されます。
	ホスト検索	―	［ホスト検索］ダイアログボックスを表示します。データベースからホストを検索するインベントリ項目の条件を設定できます。
	レポートスケジュール	―	［レポートスケジュール設定］ダイアログボックスを表示します。選択したホストのレポートスケジュールを設定できます。
	DB を最新の状態に更新	―	データベースを最新の状態に更新します。
グループ	一括設定	―	スケジュール ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウを表示します。選択したホストのグループ内の電源スケジュールを設定できます。 エージェントサービス設定 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウを表示します。選択したホストのグループ内のエージェントサービスの設定項目を設定できます。
	一括操作	―	電源制御 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウを表示します。選択したホストのグループ内の電源制御を操作できます。
	ユーザ定義	―	［ユーザ定義］ウィンドウを表示します。ホストのグループの編集を操作できます。
編集	コピー	―	選択しているホストのグルーピング情報をコピーします。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
表示	表示形式	－	詳細表示 一つの検索結果項目を一つの行で表示します。 同一ホストの検索結果項目が複数ある場合は，それぞれの項目を複数行で表示します。 概要表示 同一ホストの検索結果をまとめて，一つの行で表示します。 Windows ドライブ名および Windows トータルドライブ容量もまとめて一つの行で表示します。 Windows ドライブ名の表示順に対応して，Windows トータルドライブ容量が表示されます。
	ツールバー	－	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	－	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	－	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	－	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	－	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	－	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	－	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	－	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

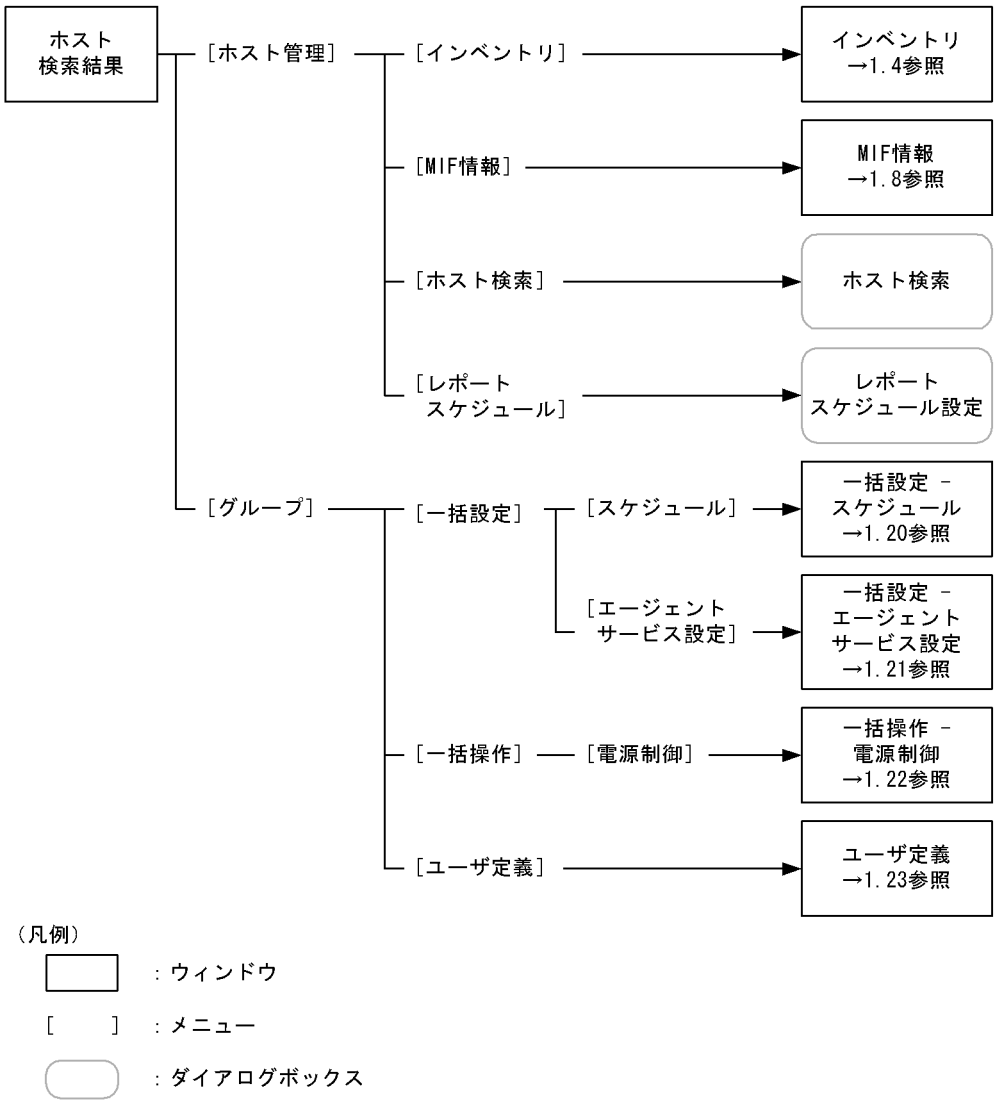
（凡例）

－：該当するボタンはありません。

1.12.2 ［ホスト検索結果］ウィンドウの遷移

［ホスト検索結果］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-41 ［ホスト検索結果］ウィンドウの遷移



1.12.3 ［ホスト検索］ダイアログボックス

［ホスト検索］ダイアログボックスについては，「1.3.13 ［ホスト検索］ダイアログボックス」を参照してください。

1.12.4 ［レポートスケジュール設定］ダイアログボックス

［レポートスケジュール設定］ダイアログボックスについては，「1.3.14 ［レポートスケジュール設定］ダイアログボックス」を参照してください。

1.13 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウは，N+1 コールドスタンバイ機能を設定または変更するウィンドウです。

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウでは，現用系の業務サーバ（ホスト単位）と予備系のサーバ（サーバモジュール単位）をグループ単位で管理し，予備のサーバモジュールを登録できます。

注意

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。

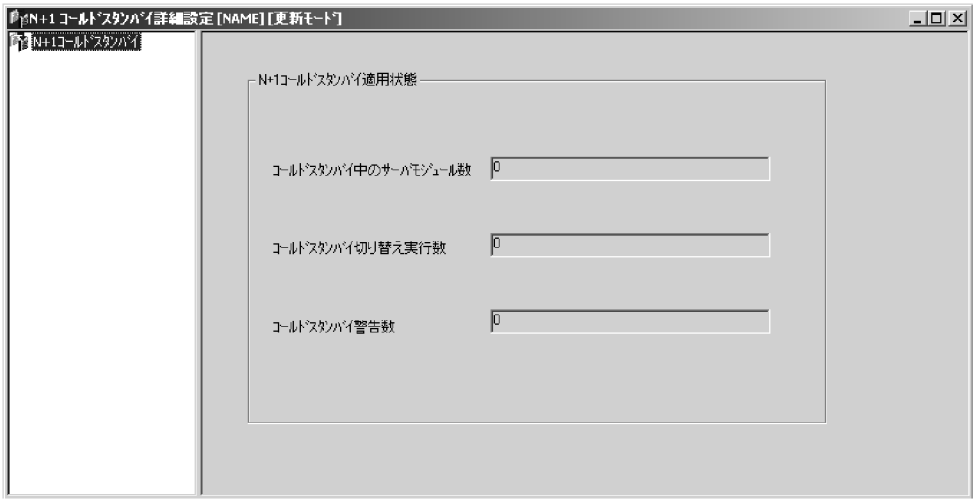
［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［BSM Plus 管理］メニューから［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］を選択する**

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-42 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，N+1 コールドスタンバイをルートノードとして N+1 グループがツリー表示されます。左ペインの N+1 グループの下位に，現用系のホスト名および予備プールが表示されます。さらに予備プールの下位にはシャーシが表示され，シャーシの下位にはサーバモジュールが

表示されます。

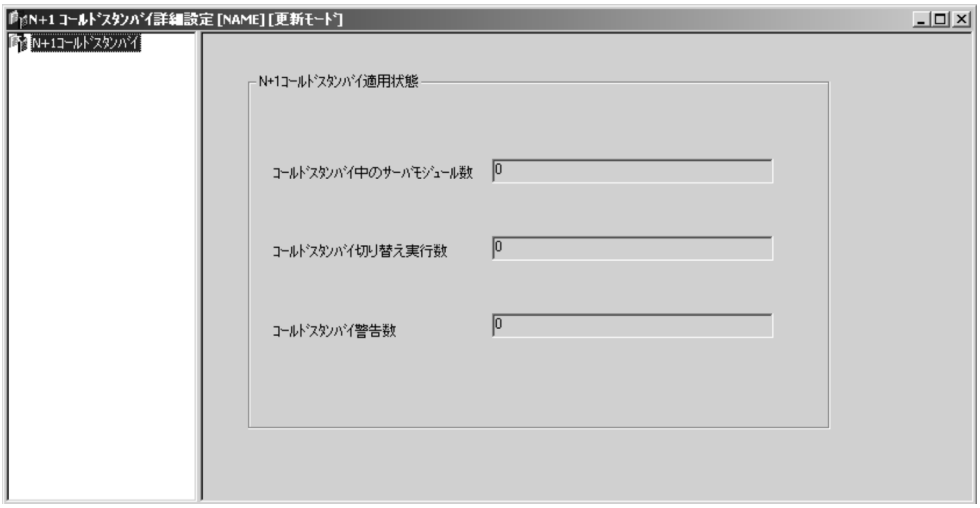
［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したノードについての情報が表示されます。ノードは次の 4 種類から選択できます。

- ［N+1 コールドスタンバイ］ノード
- N+1 グループノード
- ホストノード
- ［予備プール］ノード

各ノードを選択した場合に表示される［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを次に説明します。

1.13.1 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［N+1 コールドスタンバイ］ノード選択時）

図 1-43 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［N+1 コールドスタンバイ］ノード選択時）



［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーで［N+1 コールドスタンバイ］ノードを選択すると，右ペインには次の項目が表示されます。

表示項目		表示内容
N+1 コールドスタンバイ適用状態	―	N+1 コールドスタンバイの適用状態が表示されます。
	コールドスタンバイ中のサーバモジュール数	コールドスタンバイ中のサーバモジュールの合計数が表示されます。SMP 構成の場合も，サーバモジュール数で表示されます。
	コールドスタンバイ切り替え実行数	コールドスタンバイ切り替え（手動および自動）実行されたサーバモジュールの合計数が表示されます。SMP 構成の場合も，サーバモジュール数で表示されます。
	コールドスタンバイ警告数	コールドスタンバイ警告が発生しているサーバモジュールの合計数が表示されます。SMP 構成の場合も，サーバモジュール数で表示されます。

（凡例）

―：該当しません。

1.13.2 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（N+1 グループノード選択時）

図 1-44 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（N+1 グループノード選択時）



注意

コンソールサービスのバージョンが 07-55 以前の場合は，「グループ属性」は表示されません。また，コンソールサービスのバージョンが 08-00 以前の場合は，「シャーシタイプ」は表示されません。

接続先マネージャサービスおよびコンソールサービスのバージョンが 08-50 より前の場合は，「定期診断スケジュール」は表示されません。

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーで N+1 グループノードを選択すると，右ペインには次の項目が表示されます。

項目		説明
現用系の登録状態	－	現用系の登録状態が表示されます。
	N+1 グループ名	N+1 グループ名が表示されます。
	現用系ホスト一覧	現用系 N+1 グループに属するホストが表示されます。Agent がインストールされていないホスト，または VM ホストが登録されていないホストの場合，「シャーシ ID_ パーティション X」（X：パーティション番号）と表示されます。

項目		説明
	グループ属性	N+1 グループ作成時に登録されたグループ属性が表示されます。「N+1 コールドスタンバイ」または「N+M コールドスタンバイ」が表示されます。
予備系の登録状態	―	予備系の登録状態が表示されます。
	シャーシの選択	現用系 N+1 グループに登録されているシャーシが表示されます。複数登録されている場合は，サーバモジュールの状態を表示したいシャーシを選択できます。選択したシャーシ内のサーバモジュールの状態が，予備系サーバモジュールに表示されます。N+1 グループに予備系サーバモジュールが登録されていないと何も表示されません。
	シャーシタイプ	選択されているシャーシのシャーシタイプが表示されます。
	予備系サーバモジュール※	［シャーシの選択］に表示されているシャーシ内のサーバモジュールの状態が表示されます。N+1 グループに予備系サーバモジュールが登録されていない場合は，何も表示されません。ウィンドウ表示中にエラーが発生した場合，取得不可を表示する場合があります。その場合は，エラーメッセージに従って対処してください。
	定期診断スケジュール	設定した予備系サーバモジュールの定期診断スケジュールが表示されます。

（凡例）

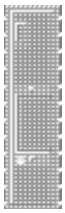
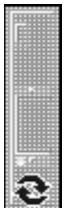
―：該当しません。

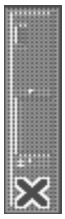
注※

表示される Slot の数は，サーバシャーシのタイプによって異なります。

予備系サーバモジュールに表示されるアイコンの意味を次に示します。

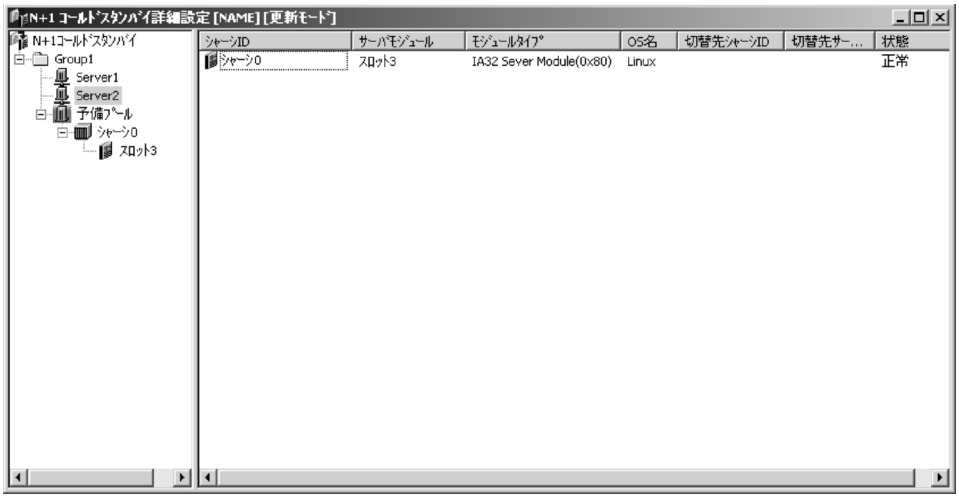
アイコン	状態	意味
	予備登録可能	予備として登録ができることを示します。
	予備登録中	現在，予備として登録されていることを示します。

アイコン	状態	意味
	予備登録不可	予備登録できないサーバモジュールであることを示します。
	コールドスタンバイ切り替え中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
	コールドスタンバイ実行	コールドスタンバイが実行されていることを示します。
	コールドスタンバイ警告	予備プールの電源が手動で ON されたか，またはサーバモジュールがシャーシから外れたことが原因で，コールドスタンバイを行わない状態であることを示します。
	コールドスタンバイ失敗	予備系電源投入の失敗などによって，予備プールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
	サーバモジュール診断中	予備プールのサーバモジュールに異常がないかどうかを診断している状態であることを示します。

アイコン	状態	意味
	サーバモジュール障害	予備プールのサーバモジュールで障害が発生し，予備プールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
	サーバモジュール状態不明	バージョンアップによってステータスが追加され，状態が不明なことを示します。

1.13.3 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（ホストノード選択時）

図 1-45 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（ホストノード選択時）



［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーでホストノードを選択すると，右ペインには次の項目が表示されます。

表示項目	表示内容
シャーシ ID	現用系サーバモジュールのシャーシ ID が表示されます。
サーバモジュール	現用系サーバモジュールのスロット番号が表示されます。
モジュールタイプ	現用系サーバモジュールのモジュールタイプが表示されます。
OS 名	現用系サーバモジュールの OS 名が表示されます。Agent がインストールされていないホスト，または VM ホストが登録されていないホストの場合，空白が表示されます。
切替先シャーシ ID	予備系サーバモジュールのシャーシ ID が表示されます。
切替先サーバモジュール	予備系サーバモジュールのスロット番号が表示されます。
状態	選択したホストノードの状態が表示されます。

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーのホストノードおよび右ペインのシャーシ ID には，その状態を示すアイコンが表示されます。また，状態には次に示すホストの状態が表示されます。

アイコン	ホスト	ホストの状態	意味
	ホスト	正常	正常であることを示します。

アイコン	ホスト	ホストの状態	意味
		障害発生	N+1 対象障害が発生していることを示します。
		切り替え実行中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
		切り替え完了	コールドスタンバイ切り替えが実行されていることを示します。
		エラー検知※	現用系ホストの構成上のエラーが発生したことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，このバージョンでは状態が不明なことを示します。
	シャーシ ID	正常	正常であることを示します。
		障害発生	N+1 対象障害が発生していることを示します。
		切り替え実行中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
		切り替え完了	コールドスタンバイ切り替えが実行されていることを示します。
		エラー検知※	現用系ホストの構成上のエラーが発生したことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，このバージョンでは状態が不明なことを示します。
	HVM	正常	正常であることを示します。
		障害発生	N+1 対象障害が発生していることを示します。
		切り替え実行中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
		切り替え完了	コールドスタンバイ切り替えが実行されていることを示します。
		エラー検知※	現用系ホストの構成上のエラーが発生したことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，このバージョンでは状態が不明なことを示します。
	VM ホスト	正常	正常であることを示します。
		障害発生	N+1 対象障害が発生していることを示します。
		切り替え実行中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。

アイコン	ホスト	ホストの状態	意味
		切り替え完了	コールドスタンバイ切り替えが実行されていることを示します。
		エラー検知※	現用系ホストの構成上のエラーが発生したことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，このバージョンでは状態が不明なことを示します。

注※

N+1 グループに現用系ホストが登録された後で，現用ホストのサーバモジュールがシャーシから抜去，または現用ホストのパーティション構成が変更されたことが原因で，切り替えを実行できない状態を示します。また，切り替えに失敗した場合や復帰に失敗した場合も「エラー検知」の状態になります。

1.13.4 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［予備プール］ノード選択時）

図 1-46 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウ（［予備プール］ノード選択時）



［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーで［予備プール］ノードを選択すると，右ペインには次の項目が表示されます。

［予備プール］ノードの下位のシャーシノード，サーバモジュールノードを選択した場合も同じ項目が表示されます。

表示項目	表示内容
シャーシ ID	予備系サーバモジュールのシャーシ ID が表示されます。
予備サーバモジュール	予備系サーバモジュールのスロット番号が表示されます。
予備モジュールタイプ	予備系サーバモジュールのモジュールタイプが表示されます。
切替元シャーシ ID	現用系サーバモジュールのシャーシ ID が表示されます。
切替元サーバモジュール	現用系サーバモジュールのスロット番号が表示されます。
状態	選択した［予備プール］ノードの状態が表示されます。

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのツリーの［予備プール］ノード，シャーシノード，サーバモジュールノード，および右ペインのシャーシ ID には，その状態を示すアイコンが表示されます。また，状態には，次に示すどれかが表示されます。

アイコン	表示項目	状態	意味
	予備プール	コールドスタンバイ中	現在，予備として登録されていることを示します。
		コールドスタンバイ切り替え中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
		コールドスタンバイ実行	コールドスタンバイが実行されていることを示します。
		コールドスタンバイ警告	予備プールのサーバモジュールの電源が手動で ON されたか，またはサーバモジュールがシャーシから抜去されたことが原因で，コールドスタンバイを行わない状態であることを示します。
		コールドスタンバイ失敗	予備系サーバモジュールの電源操作の失敗などによって，予備プールのサーバモジュールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
		サーバモジュール診断中	予備プールのサーバモジュールに異常がないかどうかを診断している状態であることを示します。
		サーバモジュール障害	予備プールのサーバモジュールで障害が発生し，予備プールのサーバモジュールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，状態が不明なことを示します。
	シャーシ	コールドスタンバイ中	現在，予備として登録されていることを示します。
		コールドスタンバイ切り替え中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
		コールドスタンバイ実行	コールドスタンバイが実行されていることを示します。
		コールドスタンバイ警告	予備プールのサーバモジュールの電源が手動で ON されたか，またはサーバモジュールがシャーシから抜去されたことが原因で，コールドスタンバイを行わない状態であることを示します。
		コールドスタンバイ失敗	予備系サーバモジュールの電源操作の失敗などによって，予備プールのサーバモジュールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
		サーバモジュール診断中	予備プールのサーバモジュールに異常がないかどうかを診断している状態であることを示します。

アイコン	表示項目	状態	意味
		サーバモジュール障害	予備プールのサーバモジュールで障害が発生し，予備プールのサーバモジュールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，状態が不明なことを示します。
	サーバモジュール，シャーシ ID	コールドスタンバイ中	現在，予備として登録されていることを示します。
		コールドスタンバイ切り替え中	予備に切り替えようとしている状態であることを示します。
		コールドスタンバイ実行	コールドスタンバイが実行されていることを示します。
		コールドスタンバイ警告	予備プールのサーバモジュールの電源が手動で ON されたか，またはサーバモジュールがシャーシから抜去されたことが原因で，コールドスタンバイを行わない状態であることを示します。
		コールドスタンバイ失敗	予備系サーバモジュールの電源操作の失敗などによって，予備プールのサーバモジュールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
		サーバモジュール診断中	予備プールのサーバモジュールに異常がないかどうかを診断している状態であることを示します。
		サーバモジュール障害	予備プールのサーバモジュールで障害が発生し，予備プールのサーバモジュールへの切り替えが正常に行えなかったことを示します。
		取得不可	バージョンアップによってステータスが追加され，状態が不明なことを示します。

1.13.5 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
ファイル	閉じる	－	［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	－	ツールバーを表示または非表示にします。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	ステータスバー	－	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	－	最新の情報に更新します。
設定※1	N+1 グループ作成	－	［グループ作成］ダイアログボックスを表示します。選択した［N+1 コールドスタンバイ］ノードに，N+1 グループを作成できます。
	N+1 グループ削除	－	選択した［N+1 コールドスタンバイ］ノードを削除します。※2
	ホスト登録・変更	－	［ホスト登録・変更］ダイアログボックスを表示します。選択した N+1 グループノードに，ホストを登録，削除，N+1 グループ名を変更できます。
	予備登録・変更	－	［予備登録・変更］ダイアログボックスを表示します。現用系の N+1 グループに割り当てる予備プールを登録または削除できます。
	手動切り替え実行※3	－	［手動切り替え実行］ダイアログボックスを表示します。手動で予備系サーバモジュールに切り替えられます。
	復帰・解除実行	－	［復帰・解除実行］ダイアログボックスを表示します。選択した［予備プール］ノードの運用方法を設定できます。
	メンテナンス完了	－	選択した現用系ホストまたは予備系サーバモジュールのメンテナンス完了の操作を実施します。
	自動切り替え中止	－	選択した現用系ホストの自動切り替えを中止します。※4
	予備系の診断※5	－	スケジュール設定 ［予備系の診断 - スケジュール設定］ダイアログボックスを表示します。予備系サーバモジュールを定期的に診断するスケジュールを設定します。 診断の実行 手動で予備系サーバモジュールを診断します。
マネージャサービス選択	（マネージャサービス名）	－	［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウを表示します。選択したマネージャサービスで管理されている情報が表示されます。
モード選択	参照モード		情報を参照するだけのモードで表示します。
	更新モード		情報の設定や変更ができるモードで表示します。
ウィンドウ	重ねて表示	－	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	－	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	－	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	－	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	バージョン情報	－	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

（凡例）

－：該当するボタンはありません。

注※ 1

更新モードで実行してください。

注※ 2

N+1 グループ内で N+1 コールドスタンバイの切り替えが実行されていると N+1 グループを削除することはできません。この場合は，［復帰・解除実行］ダイアログボックスで予備系サーバモジュールの現用復帰または解除を実施してから，N+1 グループの解除をしてください。［復帰・解除実行］ダイアログボックスについては，「1.13.11 ［復帰・解除実行］ダイアログボックス」を参照してください。

注※ 3

予備プールにサーバモジュールが登録されていない場合は，［手動切り替え実行］は非活性状態となっています。

注※ 4

次に示す場合，切り替えを中止できません。

- 手動で切り替えを実行した場合
- 現用系から予備系へ切り替えた後の運用を［復帰・解除実行］ダイアログボックスで変更している場合
- 自動切り替えで，切り替え待ち時間を経過している場合

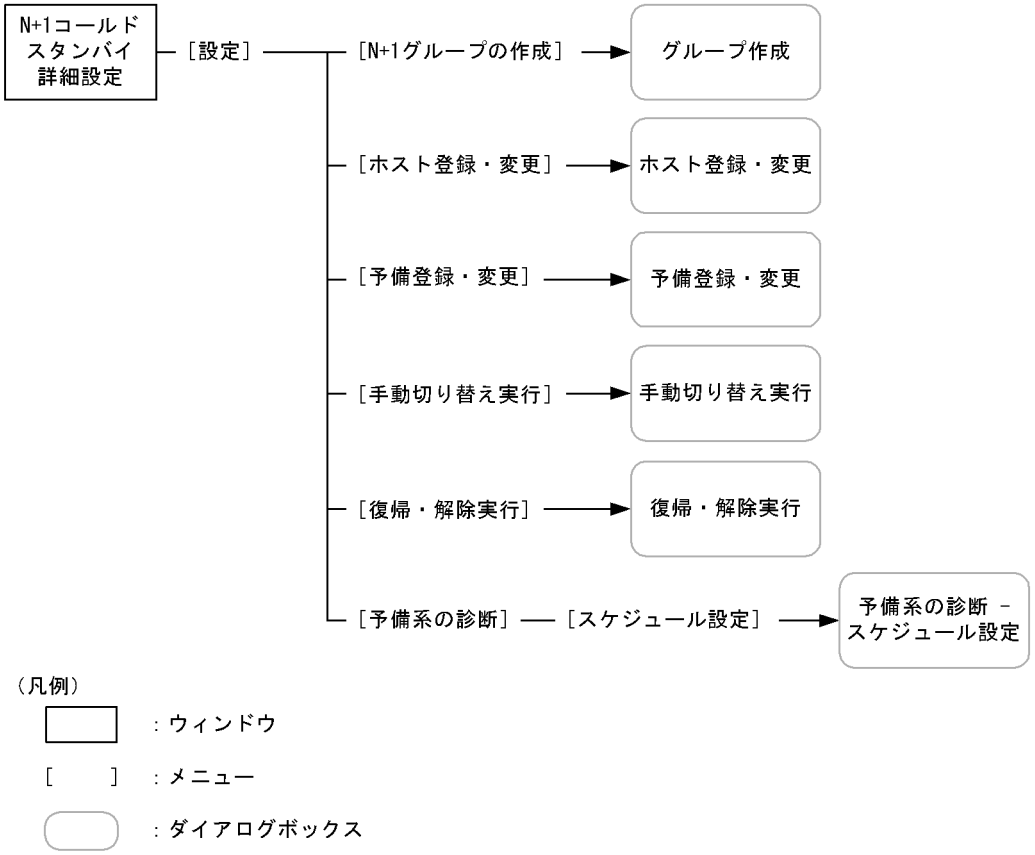
注※ 5

予備系サーバモジュールの診断は Pre-configure 機能が有効の場合に設定できます。

1.13.6 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの遷移

［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-47 ［N+1 コールドスタンバイ詳細設定］ウィンドウの遷移



1.13.7 ［グループ作成］ダイアログボックス

N+1 グループを作成します。N+1 グループは 1,024 グループまで作成できます。

注意

このダイアログボックスで N+1 グループを作成する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
N+1 グループ名	N+1 グループ名を入力します。 空白を含めて 63 文字まで入力できます。入力できる文字種に制限はありません。すでに登録されている N+1 グループ名は入力しないでください。
グループ属性選択※	利用する N+1 コールドスタンバイ機能を選択します。 N+M コールドスタンバイ 現用系サーバモジュールに対して，複数の予備系サーバモジュールを用意する方式を設定する場合，このラジオボタンを ON にします。 N+1 コールドスタンバイ 現用系サーバモジュールに対して，1 台の予備系サーバモジュールを用意する方式を設定する場合，このラジオボタンを ON にします。

注※

コンソールサービスまたはマネージャサービスのバージョンが 07-55 以前の場合は，「グループ属性選択」は表示されません。

1.13.8 ［ホスト登録・変更］ダイアログボックス

N+1 グループのホストを登録または削除します。または，N+1 グループ名を変更します。

注意

このダイアログボックスで N+1 グループのホストを登録または削除，N+1 グループ名を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
N+1 グループ名	N+1 グループの名前が表示されます。 設定されている N+1 グループの名前を変更する場合は，変更する名前を入力してください。
ホスト一覧	N+1 グループに登録できるホストが表示されます。ほかの N+1 グループですでに登録されているホストは，ホスト一覧には表示されません（一つのホストを複数の N+1 グループに登録することはできません）。 現用系ホスト一覧でホストを選択し，［←］ボタンを押した場合，ホスト一覧に表示されます。
→	N+1 グループのホストを登録する場合，［ホスト一覧］から登録したいホストを選択し，このボタンをクリックします。選択したホストが［ホスト一覧］から［現用系ホスト一覧］に移動されます。 ホストは一つの N+1 グループに対して 256 台まで登録できます。ホスト登録には制限があります。ホスト登録の制限については，「(1)　ホスト登録の制限」を参照してください。
←	N+1 グループのホストを削除※する場合，［現用系ホスト一覧］から，N+1 グループから削除したいホストを選択し，このボタンをクリックします。選択したホストが［現用系ホスト一覧］から［ホスト一覧］に移動されます。
現用系ホスト一覧	N+1 グループの登録されているホストが表示されます。 ホスト一覧でホストを選択し，［→］ボタンを押した場合，現用系ホスト一覧に表示されます。

注※

予備系サーバモジュールの登録後に N+1 グループからすべてのホストを削除する場合は，先に［予備登録・変更］ダイアログボックスで，予備系サーバモジュールを削除する必要があります。［予備登録・変更］ダイアログボックスについては，「1.13.9 ［予備登録・変更］ダイアログボックス」を参照してください。

(1) ホスト登録の制限

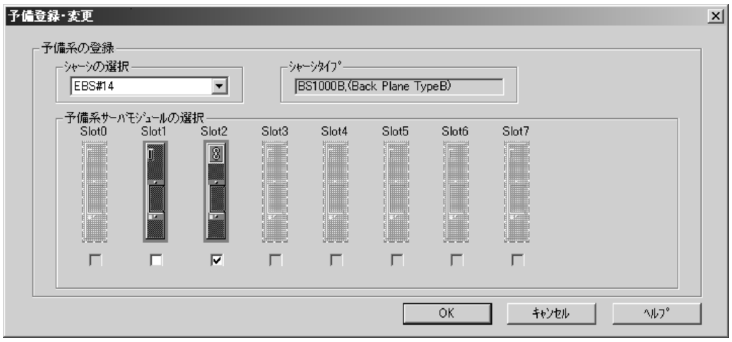
- 一つの N+1 グループに BS2000，BS1000，BS320 のホストはどれか一つの種類だけ登録できます。
- 一つの N+1 グループに HP-UX のホストと，Windows または Linux のホストは混在して登録できません。HP-UX のホストで N+1 グループを構成する場合は，HP-UX ホスト群だけで一つの N+1 グループを構成してください。
- N+1 グループには，論理パーティション上で稼働しているサーバを現用系ホストとして登録できません。そのため，［ホスト登録・変更］ダイアログボックスのホスト一覧には表示されません。
- N+1 グループのグループ属性が N+1 コールドスタンバイの場合，登録できる IPF サーバモジュールのホストは，最大で 7 台です。
- N+1 グループのグループ属性が N+1 コールドスタンバイの場合，BS2000 または BS320 のホストは登録できません。
- N+1 グループのグループ属性が N+1 コールドスタンバイの場合，ストレージ運用支援機能でホストグループ割り当てをしていないホストを現用系ホストとして登録できません。
- N+1 グループのグループ属性が N+1 コールドスタンバイの場合，Agent がインストールされているホストだけが登録できます。
- N+1 グループのグループ属性が N+M コールドスタンバイの場合，HP-UX のホストは登録できません。
- SAS インタフェース，または iSCSI インタフェースでの SAN ブート構成の場合，N+1 グループのグループ属性が N+M コールドスタンバイのとき，現用系ホストと異なるサーバシャーシのホストは登録できません。

1.13.9 ［予備登録・変更］ダイアログボックス

現用系の N+1 グループに割り当てる予備プールを登録します。

注意

このダイアログボックスで現用系の N+1 グループに割り当てる予備プールを登録する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目			内容
予備系の登録	―		現用系の N+1 グループに割り当てる予備プールを登録します。
	シャーシの選択		登録 N+1 グループの予備対象としたいシャーシを選択します※ 1。 削除 N+1 グループの予備対象から削除したいシャーシを選択します。
	シャーシタイプ		選択したシャーシのシャーシタイプが表示されます。
	予備系サーバモジュールの選択	―	［シャーシの選択］でシャーシを選択すると，「予備系サーバモジュールの選択」に表示されているシャーシ内のサーバモジュールのうち，予備プールとして登録してあるサーバモジュールと予備プールとして登録できるサーバモジュールが選択可能状態（活性化状態）となります※ 2。すでにほかの N+1 グループで予備プールに登録されているサーバモジュールおよび管理対象ホストを構成するサーバモジュールは選択可能状態にはなりません。 非活性になっているサーバモジュールにカーソルを移動させると，そのサーバモジュールを選択できない理由がツールチップに表示されます。ツールチップについては，「(1)　ツールチップに表示されるメッセージ」を参照してください。

項目			内容
		Slot0 ～ Slot7 ※3	登録する場合 予備プールとして登録するサーバモジュールのチェックボックスを ON にします。 削除する場合 予備プールから削除するサーバモジュールのチェックボックスを OFF にします。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

- 現用系ホストが SMP 構成の場合は，予備対象とするサーバモジュールも現用系ホストと同じ SMP 構成にする必要があります。
- N+1 コールドスタンバイの場合は［シャーシの選択］でシャーシを変更するとチェックボックスの ON/OFF の状態は保存されません。N+M コールドスタンバイの場合はシャーシの選択でシャーシを変更してもチェックボックスの状態は保存されます。

注※ 2

登録できないサーバモジュールが選択可能状態（活性化状態）になる場合があります。この場合，［OK］ボタンをクリックした時点でエラーになります。登録できないサーバモジュールについては，「(2)　予備系サーバモジュールの制限」を参照してください。

注※ 3

表示される Slot の数は，サーバシャーシのタイプによって異なります。

(1) ツールチップに表示されるメッセージ

［予備登録・変更］ダイアログボックスで，非活性になっているサーバモジュールにカーソルを移動させると，そのサーバモジュールを選択できない理由がツールチップに表示されます。

ツールチップに表示されるメッセージと対処方法を次の表に示します。

表 1-10　ツールチップに表示されるメッセージと対処方法（［予備登録・変更］ダイアログボックス）

優先順位※	メッセージ	対処
1	Slot%d: サーバモジュールが挿入されていません。	サーバモジュールを挿入してください。
2	Slot%d: 他の N+1 グループの予備系サーバモジュールとして登録されています。	ほかの N+1 グループから，該当するサーバモジュールを削除してください。

優先順位※	メッセージ	対処
3	Slot%d: パーティションが削除されています。	SMP 構成管理機能で，該当するサーバモジュールのパーティションを作成してください。
4	Slot%d: ホスト管理画面に登録されているサーバモジュールです。	該当するサーバモジュールを［ホスト管理］ウィンドウから削除してください。
5	Slot%d: 予備系サーバモジュール診断の実行中です。	予備系サーバモジュールの診断が終了するまで待ってください。
6	Slot%d: パーティションが利用できる状態になっていません。(パーティション情報ステータスが「Configuration validate(0x03)」以外になっています。)	SVP へログインし，PCC コマンドで，該当パーティションの Pre-configure を実行してください。 SVP へログインし，PCC コマンド（BS2000 では PR コマンド，または PC コマンド）で，該当パーティションの Pre-configure を実行してください。
7	Slot%d: パーティションの電源が ON になっています。	パーティションの電源を OFF にしてください。
8	Slot%d:Pre-configure が無効またはパーティションの情報が有効ではありません。	サーバモジュールの Pre-configure 情報をサーバシャーシインベントリの［パーティション情報］から確認してください。 Pre-configure 機能が無効になっている場合，SVP へログインして Pre-configure を有効にしてください。Pre-configure 機能が有効になっている場合，保守員に連絡してください。
9	Slot%d: 現用系と異なる種別のサーバシャーシに搭載されたサーバモジュールです。	このサーバモジュールは予備登録できません。現用系と同一の種別のサーバシャーシに搭載されたサーバモジュールを選択してください。
10	Slot%d:Switch Module の種別が異なるサーバモジュールです。	このサーバモジュールは予備登録できません。現用系と同一の種別の Switch Module を使用したサーバモジュールを選択してください。
11	Slot%d: 現用系ホストに HVM が登録されていますが，このサーバモジュールは HVM 非搭載です。	このサーバモジュールは HVM 非搭載のため予備登録できません。HVM が搭載されたサーバモジュールを選択してください。
12	Slot%d:LPAR モードのサーバモジュールです。	このサーバモジュールは N+1 コールドスタンバイグループへは予備登録できません。ほかのサーバモジュールを選択してください。
13	Slot%d: ストレージ運用支援機能でホストグループが割り当てられています。	ストレージ運用支援機能で，該当するサーバモジュールのホストグループの割り当てを解除してください。
14	Slot%d: 現用ホストとして < グループ名 > に登録されています。	［ホスト登録・変更］ダイアログボックスで，現用系ホストとしての登録を解除してください。

注※
非活性の要因が複数ある場合，この欄で示す優先順位のいちばん高い項目が一つだけ表示されます。

(2) 予備系サーバモジュールの制限

グループ属性が N+1 コールドスタンバイの場合は，予備系サーバモジュールを 1 台しか登録できません。グループ属性が N+M コールドスタンバイの場合は，予備系サーバモジュールを 2 台以上登録できます。N+M コールドスタンバイで登録できるサーバモジュールの最大数は，IA32 サーバモジュールの場合は 256 台，IPF サーバモジュールの場合は 1,024 台です。

現用系に登録されているホストと異なる種別のサーバシャーシに搭載されているサーバモジュールを予備登録することはできません。次に例を示します。

＜例＞

- 登録可能
  現用系（BS1000A に搭載されたホスト），予備系（BS1000A に搭載されたサーバモジュール）
- 登録不可
  現用系（BS1000 に搭載されたホスト），予備系（BS320 に搭載されたサーバモジュール）

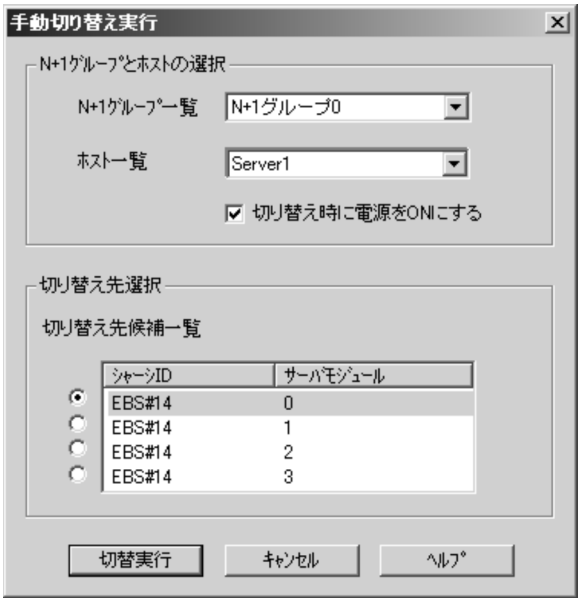
SAS インタフェース，または iSCSI インタフェースでの SAN ブート構成の場合は，同一のサーバシャーシに搭載されているサーバモジュールだけ登録できます。

1.13.10 ［手動切り替え実行］ダイアログボックス

手動で予備系サーバモジュールへ切り替えます。予備プールにサーバモジュールが登録されている場合に実行できます。

注意

このダイアログボックスで手動による予備系サーバモジュールへの切り替えを行う場合は，アドミニストレータでログインしてください。



注意

コンソールサービスまたはマネージャサービスのバージョンが 07-55 以前の場合は，［切り替え先選択］は表示されません。

設定項目を次の表に示します。

設定項目		設定内容
N+1 グループとホストの選択	―	手動切り替えする N+1 グループとホストを選択します。
	N+1 グループ一覧	手動切り替えするグループを選択します。

設定項目		設定内容
	ホスト一覧	手動切り替えするホストを選択します。 ホストノードを右クリックして［手動切り替え実行］ダイアログボックスを表示した場合は，選択したホストが表示されています。Agent がインストールされていないホスト，または VM ホストが登録されていないホストの場合，「シャーシ ID_ パーティション X」（X：パーティション番号）と表示されます。
	切り替え時に電源を ON にする	切り替え実行後に切り替え先のホストの電源を ON にする場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。OFF にした場合，切り替え実行後に，切り替え先のホストの電源を ON にしないで，予備系サーバモジュールへの切り替えだけを実行します。
切り替え先選択	－	切り替え先の予備系サーバモジュールを選択します。
	切り替え先候補一覧	選択する予備系サーバモジュールのラジオボタンを ON にします。 ［切り替え先候補一覧］は，予備系サーバモジュールの優先度の高い順に上から表示されています。なお，切り替えができる予備系サーバモジュールがない場合は，何も表示されません。

（凡例）

－：該当しません。

注意

現用系サーバモジュールおよび予備系サーバモジュールの電源を事前に OFF にしておく必要があります。現用系サーバモジュールおよび予備系サーバモジュールの電源が OFF になっていないと，［切替実行］ボタンをクリックした際にエラーとなります。

1.13.11 ［復帰・解除実行］ダイアログボックス

現用系サーバモジュールへの復帰と予備登録の解除をします。予備プールにサーバモジュールが登録されている場合に実行できます。

注意

このダイアログボックスで現用系サーバモジュールへの復帰と予備登録の解除する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
予備系起動ホスト一覧		予備系起動ホストを選択します。 Agent がインストールされていないホスト，または VM ホストが登録されていないホストの場合，「シャーシ ID_ パーティション X」（X：パーティション番号）と表示されます。
復帰・解除設定	―	現用系に復帰するか，予備系を現用系とするかを設定します。
	現用系に復帰する ※	予備系サーバモジュールから現用系のサーバモジュールのハードウェア構成に戻す場合はこのラジオボタンを ON にします。
	予備系を現用系とする	予備系サーバモジュールを現用系サーバモジュールとして扱う場合に ON にします。現用系サーバモジュールは，N+1 グループから削除されるため，現用系サーバモジュールへの復帰はできなくなります。復帰オプションの設定内容は無効となります。

項目		内容
復帰オプション設定	－	復帰オプションを設定します。
	現用系に復帰する際，電源を ON にする	［現用系に復帰する］ラジオボタンを ON にした場合に活性化されます。活性化された時点でのデフォルトは ON です。 ON 現用系サーバモジュールのハードウェア構成に変更し，OS の起動までを行います。 OFF 現用系サーバモジュールのハードウェア構成に変更し，現用系サーバモジュールおよび予備系サーバモジュールの電源を OFF の状態にします。
予備系構成状況	－	ホストの予備起動中のハードウェア構成が表示されます。
	シャーシ	シャーシ ID が表示されます。
	サーバモジュール	サーバモジュールのスロット番号が表示されます。
現用系復帰構成	－	予備切り替えが実施される前の現用系サーバモジュールのハードウェア構成が表示されます。
	シャーシ	シャーシ ID が表示されます。
	サーバモジュール	サーバモジュールのスロット番号が表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※

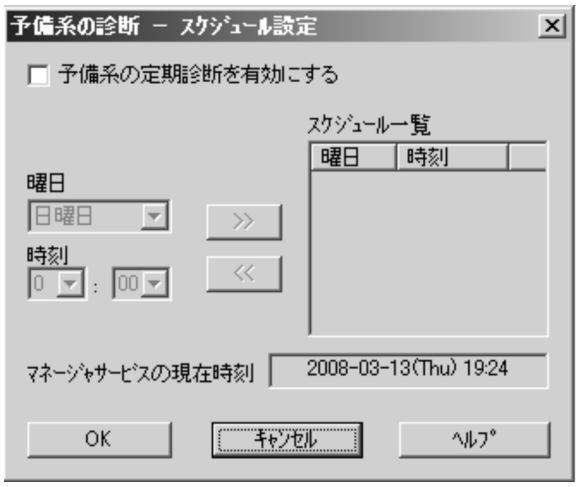
［現用系に復帰する］ラジオボタンを選択した場合，現用系サーバモジュールおよび予備系サーバモジュールの電源を OFF にしてください。現用系サーバモジュールおよび予備系サーバモジュールの電源が OFF になっていないと，［OK］ボタンをクリックしたときにエラーとなります。

1.13.12 ［予備系の診断 - スケジュール設定］ダイアログボックス

予備プールに登録されている予備系サーバモジュールを定期的に診断するスケジュールを設定します。

注意

このダイアログボックスで，予備系サーバモジュールを定期的に診断するスケジュールを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



設定項目を次の表に示します。

設定項目	設定内容
予備系の定期診断を有効にする	予備系サーバモジュールを定期的に診断する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
曜日	定期的に診断する曜日を選択します。デフォルトは「日曜日」です。すでに設定されている曜日は表示されません。［予備系の定期診断を有効にする］チェックボックスが ON の場合に選択できます。
時刻	定期的に診断する時刻を 15 分単位で選択します。［予備系の定期診断を有効にする］チェックボックスが ON の場合に選択できます。デフォルトは「0 時 00 分」です。
>>	指定したスケジュールを設定する場合，このボタンをクリックします。指定したスケジュールはリストボックスに追加されます。
<<	不要なスケジュールを削除する場合，削除するスケジュールを選択してこのボタンをクリックします。リストボックスから削除されます。

設定項目		設定内容
スケジュール一覧	ー	設定されているスケジュールが表示されます。
	曜日	設定されているスケジュールの曜日が表示されます。
	時刻	設定されているスケジュールの時間が表示されます。
マネージャサービスの現在時刻		マネージャサービスの現在の時刻が表示されます。

（凡例）

ー：該当しません。

1.14 ［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウ

［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウは，BSM Plus が管理する WWN の情報およびサーバモジュールに割り当てたディスクの情報を表示するウィンドウです。

注意

［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。

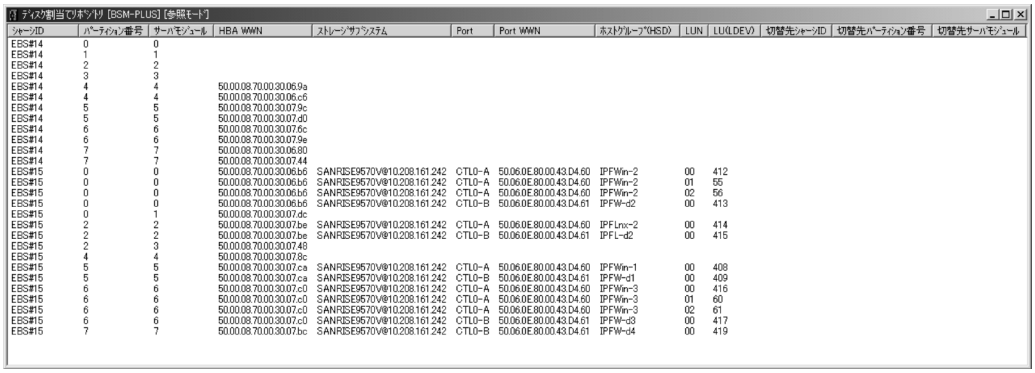
［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［BSM Plus 管理］メニューから［ディスク割当てリポジトリ］を選択する**

［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-48 ［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウ



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
シャーシ ID	サーバシャーシ ID が表示されます。
パーティション番号	パーティション番号が表示されます。
サーバモジュール	サーバモジュール番号が表示されます。
HBA WWN	SVP から取得した，ファイバチャネル HBA の WWN が表示されます。
ストレージサブシステム	ホストグループが割り当てられた場合に，接続先ストレージサブシステム名が表示されます。
Port	ホストグループが割り当てられた場合に，接続先ストレージサブシステムのポート名が表示されます。
Port WWN	ホストグループが割り当てられた場合に，接続先ストレージサブシステムのポートの WWN が表示されます。

表示項目	表示内容
ホストグループ（HSD）	ホストグループが割り当てられた場合に，接続先ストレージサブシステムのホストグループ名が表示されます。
LUN	ホストグループが割り当てられた場合に，サーバモジュールが認識するストレージサブシステムの論理ユニット番号が表示されます。9570V，または 9585V のストレージサブシステムを使用している場合は，「nn」（n は 10 進数）の形式で表示されます。Hitachi AMS 200，Hitachi AMS 500，9900V シリーズ，または Hitachi USP を使用している場合は，「X:XX」（X は 16 進数）の形式で表示されます。
LU(LDEV)	ホストグループが割り当てられた場合に，ストレージサブシステムの物理ユニット番号が表示されます。9570V，または 9585V のストレージサブシステムを使用している場合は，10 進数で表示されます。Hitachi AMS 200，Hitachi AMS 500，9900V シリーズ，または Hitachi USP を使用している場合は，「X:XX」（X は 16 進数）の形式で表示されます。
切替先シャーシ ID	N+1 コールドスタンバイで切り替えが行われた場合に，切り替え先のサーバシャーシ ID が表示されます。
切替先パーティション番号	N+1 コールドスタンバイで切り替えが行われた場合に，切り替え先のパーティション番号が表示されます。
切替先サーバモジュール	N+1 コールドスタンバイで切り替えが行われた場合に，切り替え先のサーバモジュールスロット番号が表示されます。

1.14.1 ［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
ファイル	閉じる	－	［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	－	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	－	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	－	最新の情報に更新します。
マネージャサービス選択	（マネージャサービス名）	－	［ディスク割当てリポジトリ］ウィンドウを表示します。選択したマネージャサービスで管理されている情報が表示されます。
モード選択	参照モード		情報を参照するだけのモードで表示します。
	更新モード		情報の設定や変更ができるモードで表示します。
ウィンドウ	重ねて表示	－	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	並べて表示	－	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	－	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	－	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	－	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

（凡例）

－：該当しません。

1.15 ［ラックマネージャ］ウィンドウ

［ラックマネージャ］ウィンドウは，ラックおよびラックを構成する各機器を管理するウィンドウです。

［ラックマネージャ］ウィンドウでは，ラックに搭載されている機器をラック単位で管理します。また，ラックマネージャでは，ラックおよび機器をそれぞれ 5,000 個まで作成できます。

注意

［ラックマネージャ］ウィンドウを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。

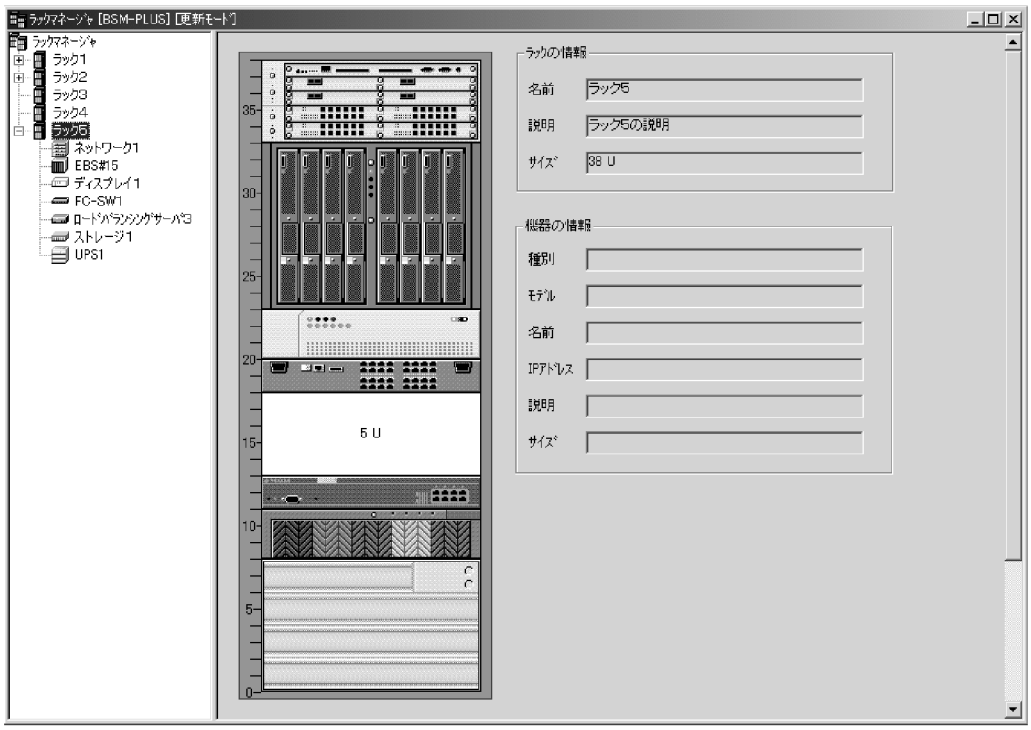
［ラックマネージャ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［BSM Plus 管理］メニューから［ラックマネージャ］を選択する**

［ラックマネージャ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-49 ［ラックマネージャ］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［ラックマネージャ］ウィンドウの左側

［ラックマネージャ］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，ラックマネージャをルートノードとしてラックのツリーが表示されます。ラックの下位に，ラックに搭載されている機器が表示されます。ラックに属する機器に障害がある場合は，ラックも含めて障害を示すアイコンが表示されます。アイコンについては，「1.15.1(1)　アイコン」を参照してください。

［ラックマネージャ］ウィンドウの中央

［ラックマネージャ］ウィンドウの中央には，ラック構成のイメージが機器の種別ごとに表示されます。空いている部分にはサイズが表示されます。ラック構成のイメージについては，「1.15.1(2)　ラック構成のイメージ」を参照してください。

［ラックマネージャ］ウィンドウの右側

［ラックマネージャ］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したノードについての情報が表示されます。各ノードを選択した場合に表示される右ペインの情報については，「1.15.1(3)　管理対象機器の状態」を参照してください。

1.15.1 ［ラックマネージャ］ウィンドウの表示項目

(1) アイコン

ラックマネージャで表示されるアイコンを次に示します。

表 1-11　ラックマネージャで表示されるアイコン

アイコン	表示項目	状態	意味
	ラック	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
	ブレードサーバ部 （モデル：なし）※ （モデル：BS2000，BS1000，BS320）	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
		未起動	起動していないことを示します。

アイコン	表示項目	状態	意味
	ストレージ部 （モデル：なし）※ （モデル：9500V） （モデル：Hitachi WMS/AMS） （モデル：BR50/150） （モデル：BR20） （モデル：Hitachi SMS100）	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
	ネットワーク部 （モデル：なし）※	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
	サーバ （モデル：なし）※	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
		未起動	起動していないことを示します。
	ファイバチャネルスイッチ （モデル：なし）※	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
	ロードバランシングサーバ （モデル：なし）※	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。

アイコン	表示項目	状態	意味
	無停電電源装置 （モデル：なし）※	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。
	周辺機器 （モデル：なし）※	正常	正常であることを示します。
		アラート通知あり	該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態であることを示します。

注※

「(モデル：なし)」とは［機器の追加］ダイアログボックスで［モデル］に何も指定しなかった場合，デフォルトで表示されるイメージであることを示します。

(2) ラック構成のイメージ

画面中央に表示されているラック構成のイメージを機器の種別ごとに次に示します。

注意

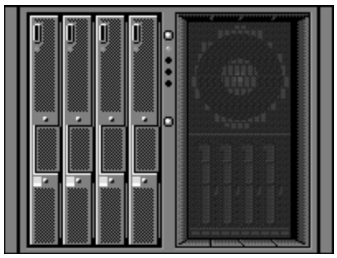
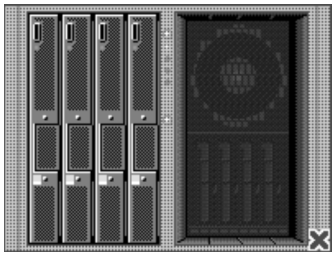
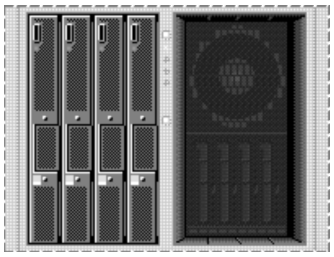
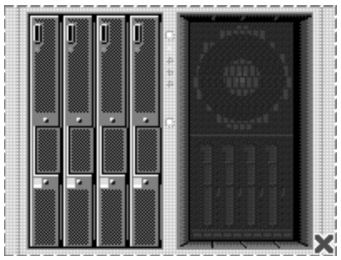
- ラックのサイズは U 単位で構成されます。1U は約 44.5mm です。
- 今後，バージョンアップによって種別やモデルが追加されることがあります。現バージョンのコンソールサービスで新しいバージョンのマネージャサービスに接続した場合，追加された種別やモデルのアイコンおよびイメージがありません。その場合，同じ種別のデフォルトモデルで同じサイズのアイコンおよびイメージが表示されます。そのアイコンおよびイメージもない場合，周辺機器のデフォルトモデルで同じサイズのアイコンおよびイメージが表示されます。それでもイメージがない場合は，「イメージがありません!」と表示されます。
- 08-20 以前のバージョンのマネージャサービスから，08-21 以降のバージョンのマネージャサービスに更新した場合，ストレージ部には 08-21 以降で使用されるモデル名が表示されます。
- 08-22 以前のバージョンのマネージャサービスに接続した場合，ブレードサーバ部のサーバモジュールの状態が表示されません。この場合，すべてのスロットが装着された画像が表示されます。また，サーバシャーシまたはサーバシャーシ内のどれかのスロットがアラート通知ありの状態の場合，ブレードサーバ部全体がアラート通知ありの表示になります。
- ブレードサーバ部が次に示すどれかの状態の場合，ブレードサーバ部のサーバモジュールの状態が表示されません。この場合，すべてのスロットが装着された状態の画像が表示されます。また，サーバシャーシまたはサーバシャーシ内のどれかのス

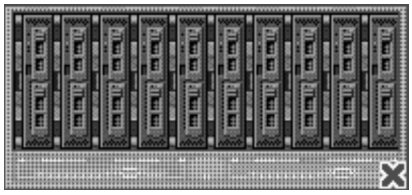
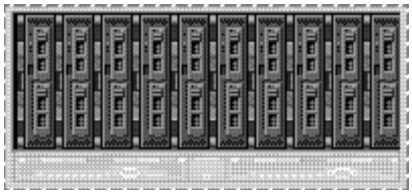
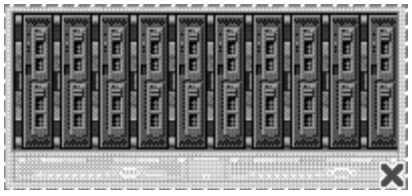
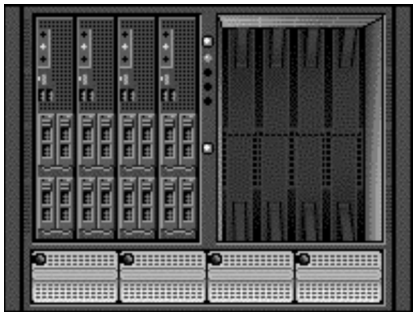
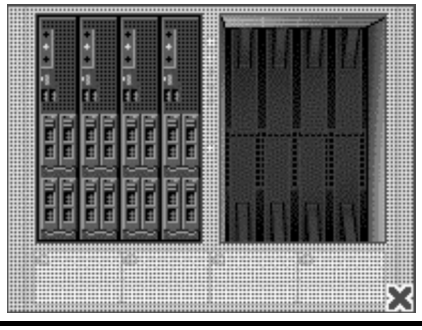
ロットがアラート通知ありの状態の場合，ブレードサーバ部全体がアラート通知ありの表示になります。

- 「モデル」欄の設定内容が実際と異なる（KASM200D5 が表示される）
- 「サイズ」欄の設定内容が実際と異なる（KASM200D5 が表示される）
- モデルを自動判別できない（KASM200D4 が表示される）

アラートについては，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 メッセージ」を参照してください。

表 1-12　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ブレードサーバ部：サーバシャーシ）

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	10U
	障害		
	非活性		
	障害（非活性）		

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	BS320	6U
	障害		
	非活性		
	障害（非活性）		
	正常	BS2000	10U
	障害		

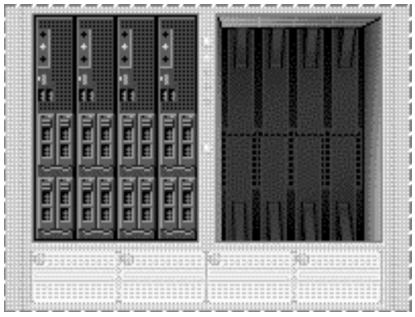
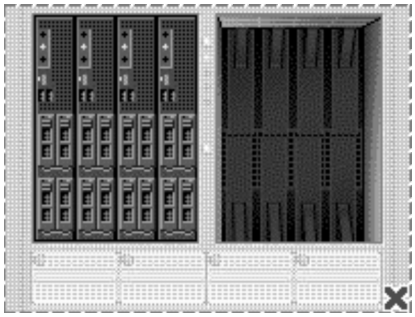
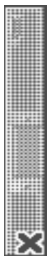
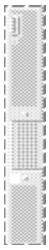
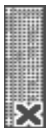
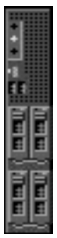
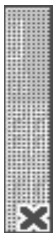
イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	非活性		
	障害（非活性）		

表 1-13　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ブレードサーバ部：サーバモジュール）

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	―
	障害※		

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	非活性		
	障害（非活性） ※		
	正常	BS320	—
	障害		
	非活性		
	障害（非活性）		
	正常	BS2000	—

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	障害		
	非活性		
	障害（非活性）		

（凡例）

－：該当しません。

注

スロットに何も挿入されていない場合，またはサーバモジュール以外のモジュールが装着されている場合は，ラック背景が表示されます。

注※

SMP 構成を組んだサーバモジュールで，一つでも障害状態となった場合は，パーティションを構成するすべてのサーバモジュールで，障害または障害（非活性）の画像が表示されます。

表 1-14　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ストレージ部）

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし，9500V	3U
	アラート通知あり		

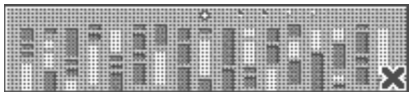
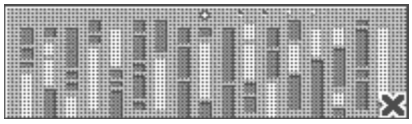
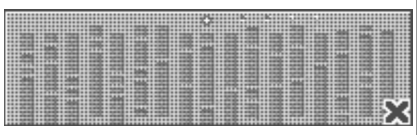
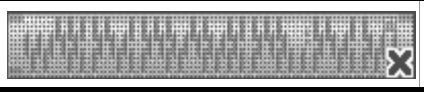
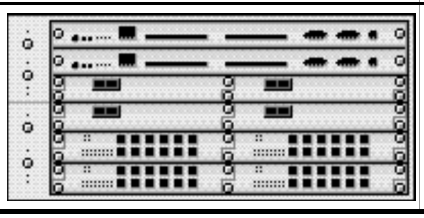
イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	Hitachi WMS/ AMS	3U
	アラート通知あり		
	正常		4U
	アラート通知あり		
	正常	BR50/150	4U
	アラート通知あり		
	正常	BR20	2U
	アラート通知あり		
	正常	Hitachi SMS100	2U
	アラート通知あり		

表 1-15　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ネットワーク部）

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	6U

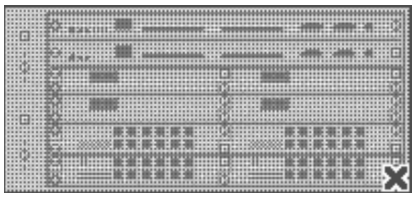
イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	アラート通知あり		

表 1-16　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（サーバ部）

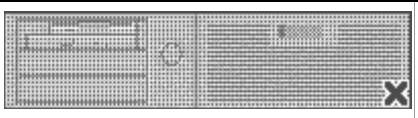
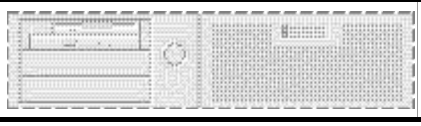
イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	3U
	アラート通知あり		
	未起動		

表 1-17　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ファイバチャネルスイッチ部）

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	1U
	アラート通知あり		

表 1-18　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（ロードバランシングサーバ部）

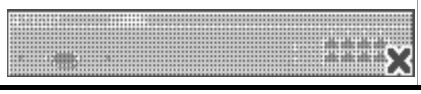
イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	2U
	アラート通知あり		

表 1-19　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（無停電電源装置部）

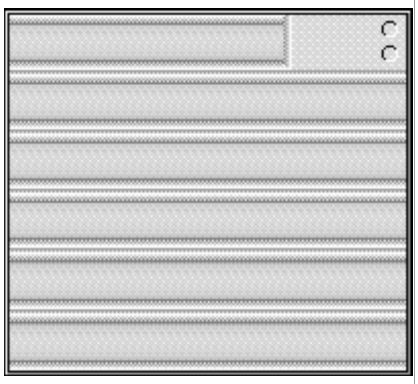
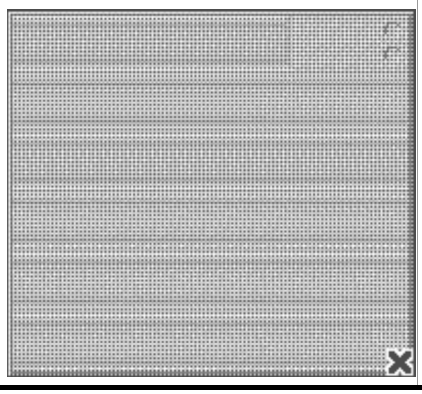
イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	12U
	アラート通知あり		

表 1-20　画面中央に表示されているラック構成のイメージ（周辺機器部）

イメージ	状態	モデル	デフォルトのサイズ
	正常	なし	1U
	アラート通知あり		

「モデル」欄が「なし」の項目は［機器の追加］ダイアログボックスで［モデル］に何も指定しなかった場合，デフォルトで表示されるイメージであることを示します。また，「アラート通知あり」とは，該当機器に対してアラートレベルがインフォメーション以外であり，かつ確認済みでないアラートが一つ以上ある状態のことを示します。

(3) 管理対象機器の状態

登録したラックや機器の状態を表示する方法について説明します。初回起動時は，ラック一覧が表示され，2 回目以降は前回の状態が表示されます。

注意

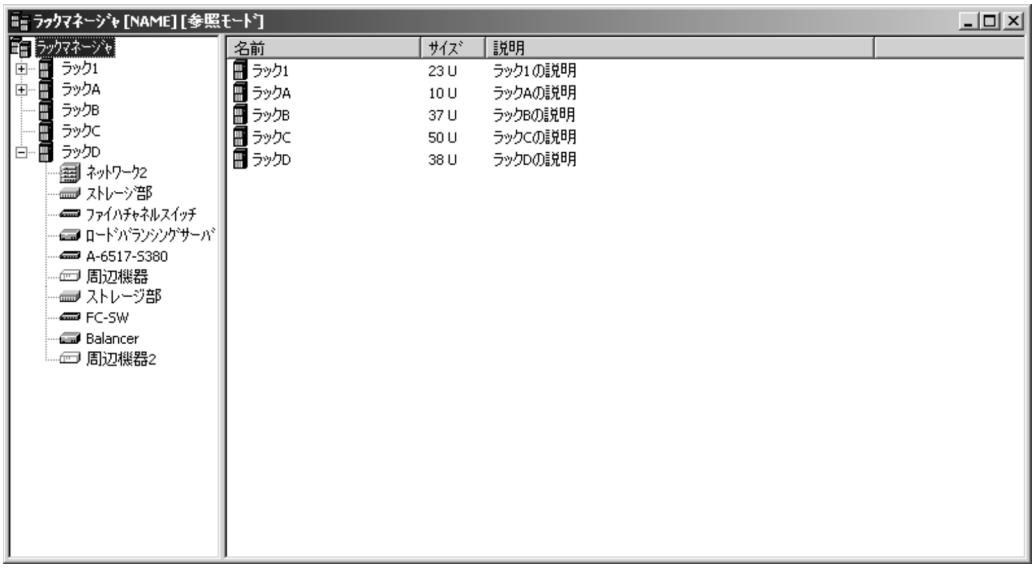
08-20 以前のバージョンのマネージャサービスから，08-21 以降のバージョンのマネージャサービスに更新した場合，ストレージ部には 08-21 以降で使用されるモデル名が表示されます。

(a) ラックの一覧

ラックの一覧を表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **［ラックマネージャ］ウィンドウの右ペインで［ラックマネージャ］ノードをクリックする**
2. **［表示］メニューから［ラック一覧］を選択する**
   ［ラックマネージャ］ウィンドウの右側にラックの一覧が表示されます。



項目の内容を次に示します。

表示項目	表示内容
名前	ラックに属する機器の状態を示すアイコンと，ラックの名前が表示されます。アイコンについては「(1)　アイコン」を参照してください。
サイズ	ラックのサイズが表示されます。
説明	ラックの説明が表示されます。

名前，サイズ，説明のリストヘッダをクリックすることで，昇順にソートできます。

(b) 未配置機器

未配置機器の一覧を表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **［ラックマネージャ］ウィンドウのツリーでラックマネージャノードをクリックする**
2. **［表示］メニューから［未配置機器一覧］を選択する**
   ［ラックマネージャ］ウィンドウの右側に未配置機器の一覧が表示されます。



項目の内容を次に示します。

表示項目	表示内容
名前	未配置機器の状態を示すアイコンと，未配置機器の名前が表示されます。アイコンについては「(1) アイコン」を参照してください。 また，名前をダブルクリックすると，［通知アラート］ウィンドウが表示されます。［通知アラート］ウィンドウについては，「1.17 ［通知アラート］ウィンドウ」を参照してください。
種別	未配置機器の種別が表示されます。
モデル	未配置機器のモデルが表示されます。
IP アドレス	未配置機器の IP アドレスが表示されます。
サイズ	未配置機器のサイズが表示されます。
説明	未配置機器の説明が表示されます。
未確認アラート	未配置機器に未確認アラートがある場合，「あり」が表示されます。未確認アラートがある場合，右クリックメニューで［通知アラート表示］から［通知アラート］ウィンドウを表示し，その機器が通知したアラートを確認できます。［通知アラート］ウィンドウについては，「1.17 ［通知アラート］ウィンドウ」を参照してください。

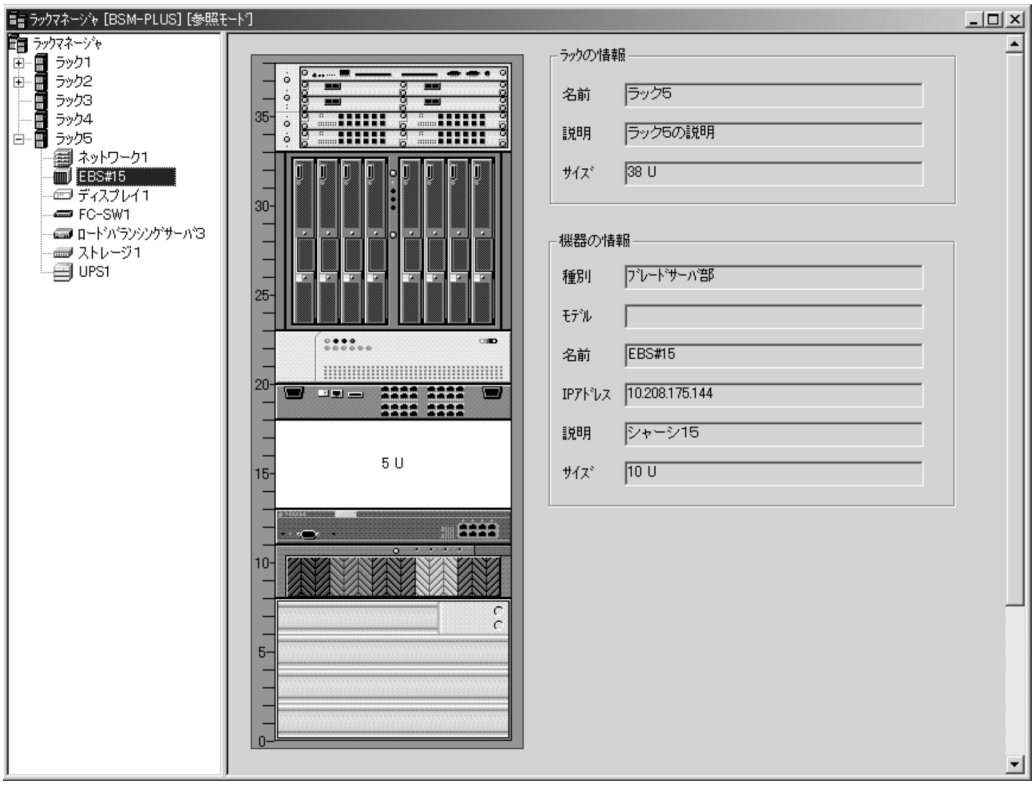
名前，種別，モデル，IP アドレス，サイズ，説明，未確認アラートのリストヘッダをクリックすることで，昇順にソートできます。

(c) ラックイメージ

ラックイメージを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **［ラックマネージャ］ウィンドウのツリーでラックノードまたは機器ノードをクリックする**
   ［ラックマネージャ］ウィンドウの右側にラックイメージおよびラックと機器の情報が表示されます。



ラックノードをクリックした場合は，ラックの情報だけが表示され，機器ノードをクリックした場合は，ラックと機器の情報が表示されます。

項目の内容を次の表に示します。

表示項目		表示内容
ラックの情報	－	ラックの情報が表示されます。
	名前	ラックの名前が表示されます。
	説明	ラックの説明が表示されます。
	サイズ	ラックのサイズが表示されます。

表示項目		表示内容
機器の情報	－	機器の情報が表示されます。
	種別	機器の種別が表示されます。
	モデル	機器のモデルが表示されます。
	名前	機器の名前が表示されます。
	IP アドレス	機器の IP アドレスが表示されます。
	説明	機器の説明が表示されます。
	サイズ	機器のサイズが表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.15.2 ［ラックマネージャ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［ラックマネージャ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
ファイル	閉じる	－	［ラックマネージャ］ウィンドウを閉じます。
アラート管理	通知アラート表示		［通知アラート］ウィンドウを表示します。選択した機器が通知したアラートが表示されます。
表示	ラック一覧	－	左ペインで選択したラックマネージャノードのラックの一覧を表示します。
	未配置機器一覧	－	左ペインで選択したラックマネージャノードの未配置機器の一覧を表示します。
	ツールバー	－	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	－	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	－	最新の情報に更新します。
構成変更※	ラックの追加	－	［ラックの追加］ダイアログボックスを表示します。左ペインで選択したラックマネージャノードにラックを追加できます。
	機器の追加	－	［機器の追加］ダイアログボックスを表示します。左ペインで選択したラックマネージャノードに機器の名前などの情報と，SNMP に関する情報を設定できます。
	変更	－	ラックノードを選択した場合，［ラックの構成変更］ダイアログボックスを表示して，ラックの構成を変更できます。 機器を選択した場合，［機器の変更］ダイアログボックスを表示して，機器の情報を変更できます。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	削除	－	選択したラックを削除します。
	ラックからの削除	－	選択した機器をラックから削除し，未配置機器とします。
マネージャサービス選択	（マネージャサービス名）	－	［ラックマネージャ］ウィンドウを表示します。選択したマネージャサービスで管理されている情報が表示されます。
モード選択	参照モード		情報を参照するだけのモードで表示します。
	更新モード		情報の設定や変更ができるモードで表示します。
ウィンドウ	重ねて表示	－	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	－	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	－	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	－	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	－	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

（凡例）

－：該当するボタンはありません。

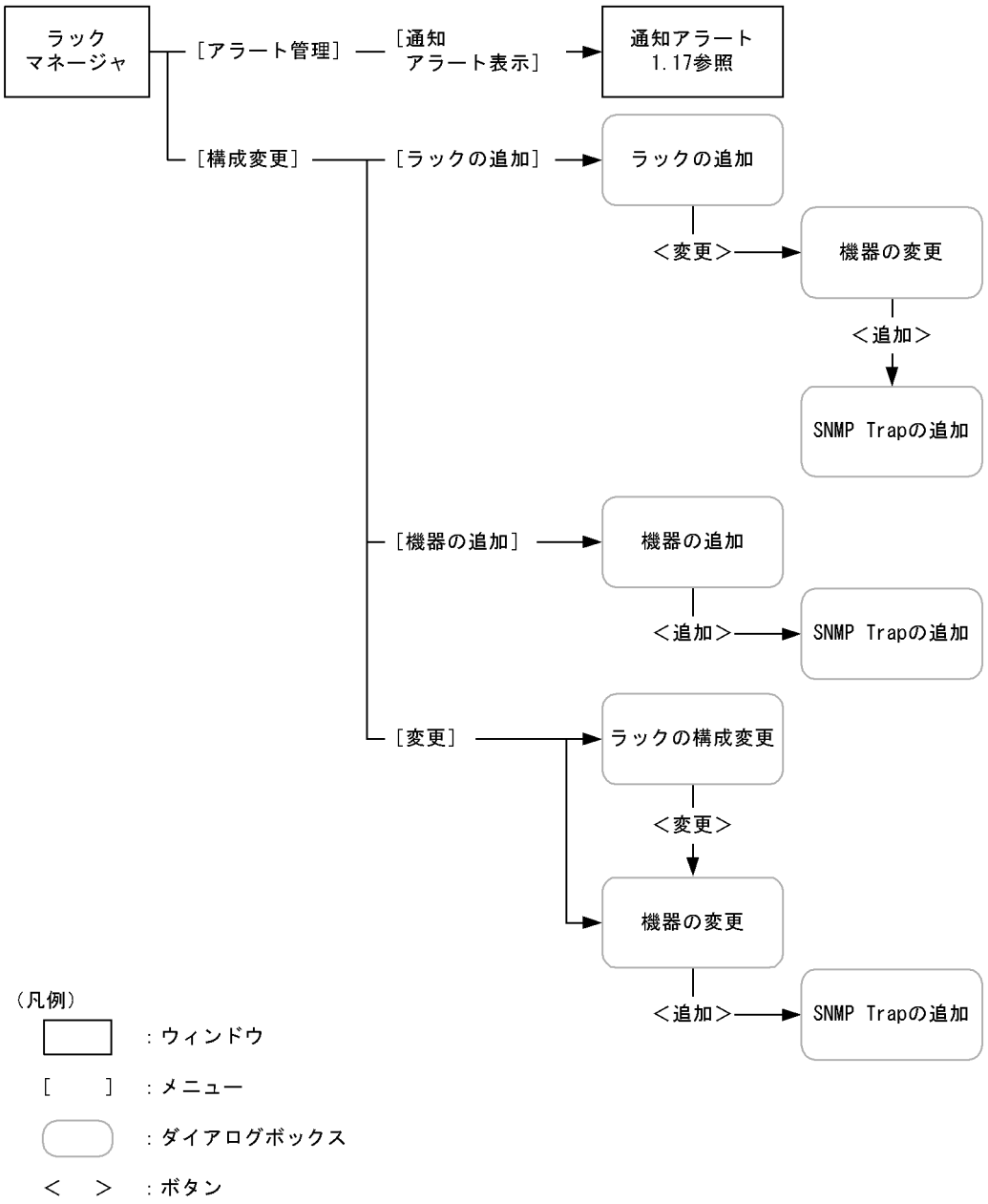
注※

更新モードで実行してください。

1.15.3 ［ラックマネージャ］ウィンドウの遷移

［ラックマネージャ］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-50 ［ラックマネージャ］ウィンドウの遷移



1.15.4 ［ラックの追加］ダイアログボックス

管理対象となるラックを新規に追加します。

注意

このダイアログボックスでラックを新規に追加する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
ラックの構成	―	追加するラックの構成を設定します。
	ラックの名前	ラックの名前を設定します。半角で 127 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。すでに登録されているラック名は入力しないでください。入力できる文字種に制限はありません。
	ラックの説明	ラックの説明を任意で設定します。半角で 255 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。

項目		内容
	ラックのサイズ	ラックのサイズを U 単位で設定します。10 ～ 50 の範囲で設定します。デフォルトは 38U です。 39 以上を指定した場合は画面にスクロールバーが表示されます。
配置済み機器	－	配置済み機器の情報が表示されます。
	変更	ラックに搭載した機器の情報を変更する場合，機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。［機器の変更］ダイアログボックスが表示されます。［機器の変更］ダイアログボックスについては，「1.15.5 ［機器の変更］ダイアログボックス」を参照してください。
	種別	機器のイメージを選択している場合に機器の種別が表示されます。
	モデル	機器のイメージを選択している場合に機器のモデルが表示されます。
	名前	機器のイメージを選択している場合に機器の名前が表示されます。
	IP アドレス	機器のイメージを選択している場合に機器の IP アドレスが表示されます。
	説明	機器のイメージを選択している場合に機器の説明が表示されます。
	サイズ	機器のイメージを選択している場合に機器のサイズが表示されます。
未配置機器	－	未配置機器の情報が表示されます。
	種別	ラックに追加する機器の種別を選択します。ドロップダウンリストで，次の中から選択してください。 • ブレードサーバ部 • ストレージ部 • ネットワーク部 • サーバ • ファイバチャネルスイッチ • ロードバランシングサーバ • 無停電電源装置 • 周辺機器
	機器一覧	未配置機器の一覧が昇順で表示されます。
	変更	ラックに搭載する機器の情報を変更する場合，機器一覧から変更する機器を選択してこのボタンをクリックします。［機器の変更］ダイアログボックスが表示されます。［機器の変更］ダイアログボックスについては，「1.15.5 ［機器の変更］ダイアログボックス」を参照してください。
	モデル	機器一覧で選択した機器のモデルが表示されます。
	IP アドレス	機器一覧で選択した機器の IP アドレスが表示されます。
	説明	機器一覧で選択した機器の説明が表示されます。
	サイズ	機器一覧で選択した機器のサイズが表示されます。
←		機器を画面左側のラック構成に追加する場合，機器一覧から追加する機器を選択してこのボタンをクリックします。機器のイメージがラックに表示されます。ラックには上から詰めて配置されます。 複数の機器を選択することもできます。複数選択した場合，選択された機器が上から順番に配置され，入る空きがなくなった時点で追加処理が中断されます。それ以降の機器が入る空きがある場合は，機器を選択し直してから追加してください。

項目	内容
↑	機器を上に移動する場合，移動する機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。イメージをクリックすると緑色の枠で囲まれます。 連続する機器（空きを挟んでもよい）も同時に移動できます。機器のイメージは 1 目盛りずつ移動します。移動先に機器がある場合は，その先に空きがあれば，その機器を飛び越えて移動します。
↓	機器を下に移動する場合，移動する機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。イメージをクリックすると緑色の枠で囲まれます。 連続する機器（空きを挟んでもよい）も同時に移動できます。機器のイメージは 1 目盛りずつ移動します。移動先に機器がある場合は，その先に空きがあれば，その機器を飛び越えて移動します。
→	配置した機器を未配置機器に移動する場合，移動する機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。選択した機器が［未配置機器一覧］に表示されます。イメージをクリックすると緑色の枠で囲まれます。

（凡例）

－：該当しません。

注意

ラックイメージは，サイズに 10U ～ 50U を入力した場合に変更されます。51U 以上を入力すると入力範囲外エラーメッセージを表示し，サイズを 50U に修正します。また，最上部の機器から最下部の機器までのサイズ以下を入力すると，取り得る最小値に修正されます。サイズが 10U ～ 50U 以外で［↑］，［↓］，［←］，［→］ボタンをクリックすると，入力範囲外エラーメッセージが表示され，何も変更されません。ラックの最下部に機器が配置されている状態で，ラックのサイズを小さくすることはできません。また，ラックに配置されている機器はラックのサイズ変更に合わせて移動しません。

1.15.5 ［機器の変更］ダイアログボックス

機器の名前などの情報と，SNMP に関する情報を変更します。

注意

このダイアログボックスで機器の名前などの情報と，SNMP に関する情報を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
種別※	機器の種別は変更できません。
モデル※	機器のモデルは変更できません。

項目			内容
拡張モジュール			スイッチモジュールを設定します。 種別がブレードサーバ部でモデルが BS2000 の場合は，［拡張モジュール］から拡張モジュールを選択して，拡張モジュールに対して SNMP 管理ができます。 拡張モジュールの選択は任意です。
名前			変更する機器の名前を設定します。半角で 255 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。 同一種別内で同じ名前は入力しないでください。入力できる文字種に制限はありません。 種別で，ブレードサーバ部またはサーバを選択した場合，［ホスト管理］ウィンドウに表示されているシャーシ ID またはホストがドロップダウンリストで表示されるので，その一覧から選択してください。
サイズ※			機器のサイズは変更できません。
説明			変更する機器の説明を任意で設定します。半角で 255 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
SNMP 管理	―		変更する機器で，SNMP 管理をする場合，このチェックボックスを ON にします。
	IP アドレス		変更する機器の IP アドレスを設定します。 複数の IP アドレスを持っていて，それぞれの IP アドレスから別々の SNMP Trap を送信する機器では入力した IP アドレスからの SNMP Trap だけ受信できます。
	コミュニティ		変更する機器のコミュニティを設定します。デフォルトは「public」です。ドロップダウンリストには，今まで登録した機器で入力されたコミュニティが表示されるので，その中から選択するか，または入力します。 入力する場合は，半角で 63 文字まで入力できます。
	SNMP Trap	―	変更する機器に SNMP Trap を設定する場合，SNMP Trap の情報を設定します。
		Trap 一覧	設定されている SNMP Trap が一覧で表示されます。
		ファイルから追加	MIB ファイルを読み込んで SNMP Trap を追加する場合，このボタンをクリックして，該当する MIB ファイルを選択します。
		追加	SNMP Trap を一つ一つ設定する場合，このボタンをクリックします。［SNMP Trap の追加］ダイアログボックスが表示されます。［SNMP Trap の追加］ダイアログボックスについては，「1.15.6 ［SNMP Trap の追加］ダイアログボックス」を参照してください。
		すべて削除	SNMP Trap をすべて削除する場合，このボタンをクリックします。すべての SNMP Trap が［Trap 一覧］から削除されます。

項目			内容
		削除	SNMP Trap を削除する場合，削除する SNMP Trap を選択してこのボタンをクリックします。選択した SNMP Trap が［Trap 一覧］から削除されます。
	SNMPv1	－	［Trap 一覧］で選択している SNMP Trap の SNMPv1 の情報が表示されます。
		エンタープライズ	SNMPv1 のエンタープライズの情報が表示されます。
		一般トラップ	SNMPv1 の一般トラップの情報が表示されます。
		固有トラップ番号	SNMPv1 の固有トラップ番号が表示されます。
	SNMPv2c	－	［Trap 一覧］で選択している SNMP Trap の SNMPv2c の情報が表示されます。
		snmpTrapOID	SNMPv2c の snmpTrapOID が表示されます。
	説明		［Trap 一覧］で選択している SNMP Trap の説明が表示されます。
	通知 / 非通知	－	SNMP Trap をアラートとして通知するかどうかを設定します。
		通知	SNMP Trap をアラートとして通知する場合，このラジオボタンを ON にします。
		非通知	SNMP Trap をアラートとして通知しない場合，このラジオボタンを ON にします。
	アラート	－	SNMP Trap をアラートとして通知する場合，通知するアラートの内容を設定します。
		アラート ID	アラート ID を設定します。0x4080 ～ 0x4089 から選択します。
		発生部位	発生部位を設定します。次の中から選択してください。 • 筐体 • 電源 • ファン • ネットワーク • ディスク •（今まで登録された発生部位） 入力する場合は，半角で 31 文字まで入力できます。
		アラートレベル	アラートレベルを設定します。次の中から選択してください。 • インフォメーション • 注意 • 警告 • 障害
		内容	アラート通知の内容を任意で設定します。半角で 255 文字まで入力できます。入力できる文字種に制限はありません。

（凡例）

－：該当しません。

注※

種別，モデルおよびサイズを変更する場合は，機器をラックマネージャから削除してから該当する機器を追加してください。

1.15.6 ［SNMP Trap の追加］ダイアログボックス

通知する SNMP Trap を追加します。

注意

このダイアログボックスで SNMP Trap を追加する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
名前		SNMP Trap の名前を設定します。半角で 127 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。すでに登録されている名前と同じ名前は登録できません。入力できる文字種に制限はありません。
SNMPv1 ※	―	SNMP v1 の SNMP Trap を追加する場合，このラジオボタンを ON にします。
	エンタープライズ	SNMP Trap のエンタープライズを半角数字または .（ピリオド）で入力します。.（ピリオド）は，先頭と終端，および連続して指定することはできません。半角で 127 文字まで入力できます。

項目		内容
	一般トラップ	一般トラップを選択します。デフォルトは「enterpriseSpecific」です。デフォルトの「enterpriseSpecific」以外の SNMP Trap は，同じ一般トラップを登録できません。
	固有トラップ番号	固有トラップ番号を設定します。0 ～ 2,147,483,647 の範囲で設定します。デフォルトは 0 です。
SNMPv2c	－	SNMPv2c の SNMP Trap を追加する場合，このラジオボタンを ON にします。
	snmpTrapOID	トラップ識別子を半角数字および .（ピリオド）で入力します。.（ピリオド）は，先頭と終端，および連続して指定することはできません。半角で 128 文字まで入力できます。すでに登録されているトラップ識別子と同じ識別子は登録できません。また，SNMP v1 として登録されている SNMP Trap は登録できません。SNMP v1 と SNMP v2c の対応については，RFC3584 を参照してください。
説明		SNMP Trap の説明を任意で入力します。半角で 511 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。

（凡例）

－：該当しません。

注※

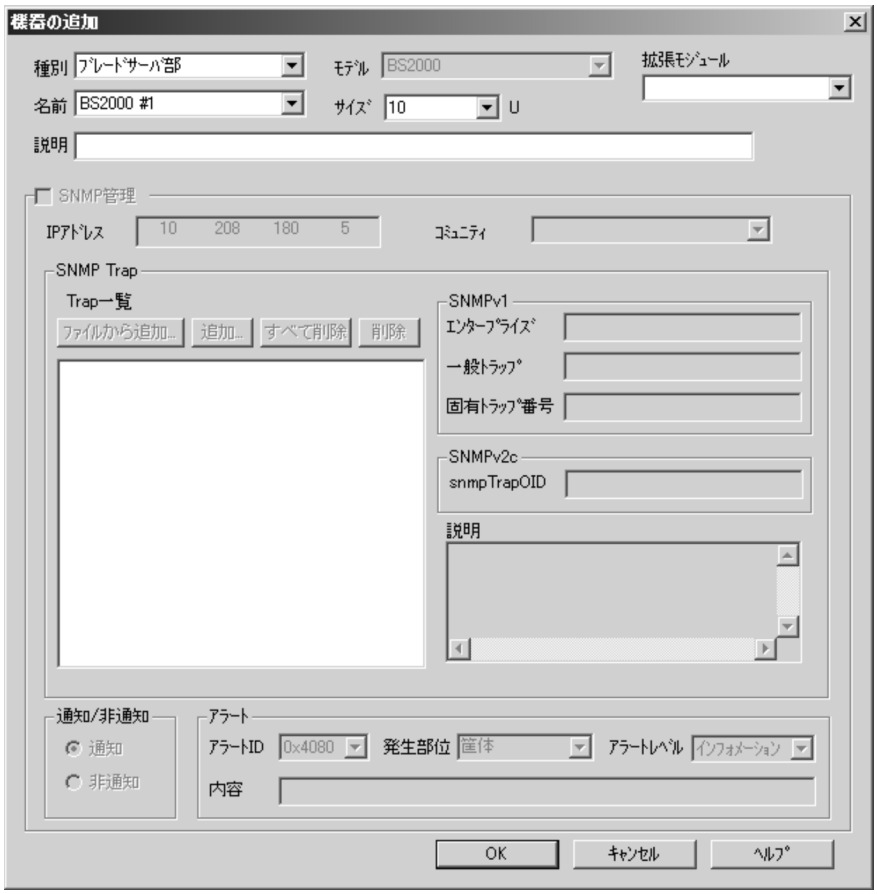
SNMP Trap の名前に対して，エンタープライズ，一般トラップ，固有トラップ番号の組み合わせが同じにならないように設定してください。また，すでに SNMP v2c として登録されている SNMP Trap は登録できません。SNMP v1 と SNMP v2c の対応については，RFC3584 を参照してください。設定する内容は，追加する機器のマニュアルを参照してください。

1.15.7 ［機器の追加］ダイアログボックス

機器の名前などの情報と，SNMP に関する情報を設定します。

注意

このダイアログボックスで機器の名前などの情報と，SNMP に関する情報を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
種別		追加する機器の種別を選択します。ドロップダウンリストで，次の中から選択してください。 • ブレードサーバ部 • ストレージ部 • ネットワーク部 • サーバ • ファイバチャネルスイッチ • ロードバランシングサーバ • 無停電電源装置 • 周辺機器
モデル		追加する機器のモデルを任意で選択します。モデルのドロップダウンリストが活性となっている場合，モデルを選択できます。選択したモデルによって選択できるサイズが異なる場合があります。なお，種別でブレードサーバ部を選択している場合は，自動的にモデルが選択されるため，任意に選択することはできません。
拡張モジュール		スイッチモジュールを設定します。 種別がブレードサーバ部でモデルが BS2000 の場合は，［拡張モジュール］から拡張モジュールを選択して，拡張モジュールに対して SNMP 管理ができます。 拡張モジュールの選択は任意です。
名前		追加する機器の名前を設定します。半角で 255 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。 同一種別内で同じ名前は入力しないでください。入力できる文字種に制限はありません。 種別で，ブレードサーバ部またはサーバを選択した場合，［ホスト管理］ウィンドウに表示されているシャーシ ID またはホストがドロップダウンリストで表示されるので，その一覧から選択してください。
サイズ		追加する機器のサイズを U 単位で設定します。選択した種別とモデルによって，選択できるなサイズがドロップダウンリストで表示されるので，その一覧から選択してください。一度登録した機器のサイズは変更できません。
説明		追加する機器の説明を任意で設定します。半角で 255 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
SNMP 管理	—	追加する機器で，SNMP 管理をする場合，このチェックボックスを ON にします。
	IP アドレス	追加する機器の IP アドレスを設定します。 複数の IP アドレスを持っていて，それぞれの IP アドレスから別々の SNMP Trap を送信する機器では入力した IP アドレスからの SNMP Trap だけ受信できます。

項目		内容
コミュニティ		追加する機器のコミュニティを設定します。デフォルトは「public」です。ドロップダウンリストには，今まで登録した機器で入力されたコミュニティが表示されるので，その中から選択するか，または入力します。入力する場合は，半角で 63 文字まで入力できます。
SNMP Trap	－	追加する機器に SNMP Trap を設定する場合，SNMP Trap の情報を設定します。 SNMP Trap は，追加する機器の種別がブレードサーバ部またはサーバ以外の場合に設定できます。
	Trap 一覧	設定されている SNMP Trap が一覧で表示されます。
	ファイルから追加	MIB ファイルを読み込んで SNMP Trap を追加する場合，このボタンクリックして，該当する MIB ファイルを選択します。
	追加	SNMP Trap を一つ一つ設定する場合，このボタンをクリックします。［SNMP Trap の追加］ダイアログボックスが表示されます。［SNMP Trap の追加］ダイアログボックスについては，「1.15.6 ［SNMP Trap の追加］ダイアログボックス」を参照してください。
	すべて削除	SNMP Trap をすべて削除する場合，このボタンをクリックします。すべての SNMP Trap が［Trap 一覧］から削除されます。
	削除	SNMP Trap を削除する場合，削除する SNMP Trap を選択してこのボタンをクリックします。選択した SNMP Trap が［Trap 一覧］から削除されます。
SNMPv1	－	［Trap 一覧］で選択している SNMP Trap の SNMPv1 の情報が表示されます。
	エンタープライズ	SNMPv1 のエンタープライズの情報が表示されます。
	一般トラップ	SNMPv1 の一般トラップの情報が表示されます。
	固有トラップ番号	SNMPv1 の固有トラップ番号が表示されます。
SNMPv2c	－	［Trap 一覧］で選択している SNMP Trap の SNMPv2c の情報が表示されます。
	snmpTrapOID	SNMPv2c の snmpTrapOID が表示されます。
説明		［Trap 一覧］で選択している SNMP Trap の説明が表示されます。
通知 / 非通知	－	SNMP Trap をアラートとして通知するかどうかを設定します。
	通知	SNMP Trap をアラートとして通知する場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。
	非通知	SNMP Trap をアラートとして通知しない場合，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。

項目			内容
	アラート	―	SNMP Trap をアラートとして通知する場合，通知するアラートの内容を設定します。
		アラート ID	アラート ID を設定します。0x4080 ～ 0x4089 から選択します。デフォルトは「0x4080」です。
		発生部位	発生部位を設定します。次の中から選択してください。デフォルトは［筐体］です。 • 筐体 • 電源 • ファン • ネットワーク • ディスク •（今まで登録された発生部位） 入力する場合は，半角で 31 文字まで入力できます。
		アラートレベル	アラートレベルを設定します。次の中から選択してください。デフォルトは［インフォメーション］です。 • インフォメーション • 注意 • 警告 • 障害
		内容	アラート通知の内容を任意で設定します。半角で 255 文字まで入力できます。入力できる文字種に制限はありません。

（凡例）

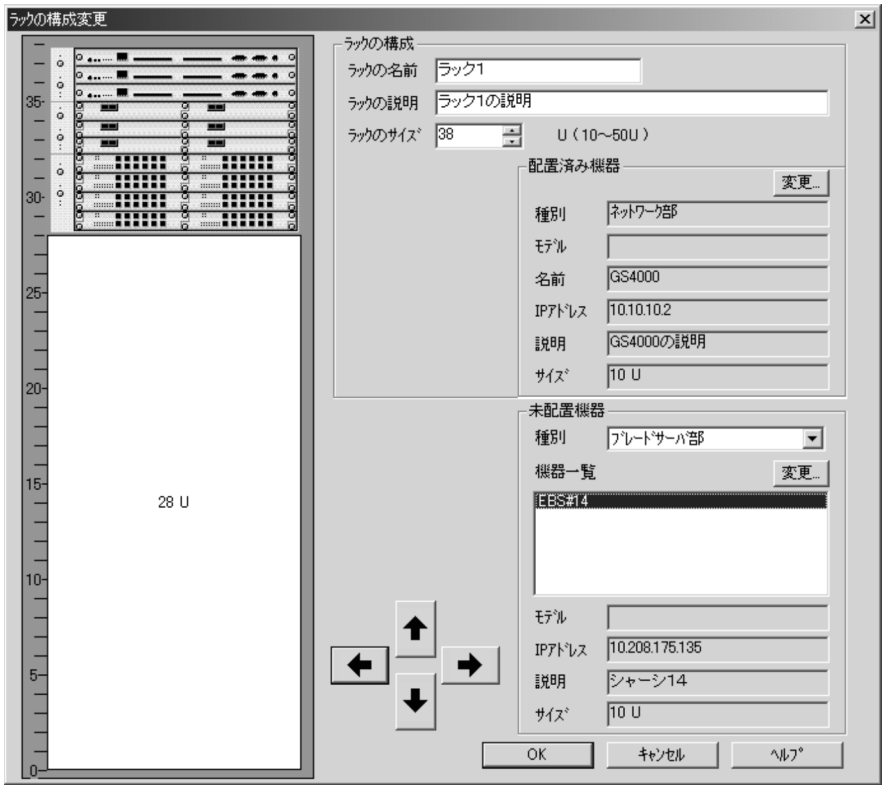
―：該当しません。

1.15.8 ［ラックの構成変更］ダイアログボックス

ラックの構成を変更します。

注意

このダイアログボックスでラックの構成を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
ラックの構成	―	変更するラックの構成を設定します。変更前の構成が表示されます。
	ラックの名前	ラックの名前を変更します。半角で 127 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。すでに登録されているラック名は入力しないでください。入力できる文字種に制限はありません。
	ラックの説明	ラックの説明を変更します。半角で 255 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。

項目		内容
	ラックのサイズ	ラックのサイズを U 単位で変更します。10 ～ 50 の範囲で設定します。 39 以上を指定した場合は画面にスクロールバーが表示されます。
配置済み機器	―	配置済み機器の情報が表示されます。
	変更	ラックに搭載した機器の情報を変更する場合，機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。［機器の変更］ダイアログボックスが表示されます。［機器の変更］ダイアログボックスについては，「1.15.5 ［機器の変更］ダイアログボックス」を参照してください。
	種別	機器のイメージを選択している場合に機器の種別が表示されます。
	モデル	機器のイメージを選択している場合に機器のモデルが表示されます。
	名前	機器のイメージを選択している場合に機器の名前が表示されます。
	IP アドレス	機器のイメージを選択している場合に機器の IP アドレスが表示されます。
	説明	機器のイメージを選択している場合に機器の説明が表示されます。
	サイズ	機器のイメージを選択している場合に機器のサイズが表示されます。
未配置機器	―	未配置機器の情報が表示されます。
	種別	ラックに追加する機器の種別を選択します。ドロップダウンリストで，次の中から選択してください。 • ブレードサーバ部 • ストレージ部 • ネットワーク部 • サーバ • ファイバチャネルスイッチ • ロードバランシングサーバ • 無停電電源装置 • 周辺機器
	機器一覧	未配置機器の一覧が昇順で表示されます。
	変更	ラックに搭載する機器の情報を変更する場合，機器一覧から変更する機器を選択してこのボタンをクリックします。［機器の変更］ダイアログボックスが表示されます。［機器の変更］ダイアログボックスについては，「1.15.5 ［機器の変更］ダイアログボックス」を参照してください。
	モデル	機器一覧で選択した機器のモデルが表示されます。
	IP アドレス	機器一覧で選択した機器の IP アドレスが表示されます。
	説明	機器一覧で選択した機器の説明が表示されます。
	サイズ	機器一覧で選択した機器のサイズが表示されます。
←		機器を画面左側のラック構成に追加する場合，機器一覧から追加する機器を選択してこのボタンをクリックします。機器のイメージがラックに表示されます。ラックには上から詰めて配置されます。 複数の機器を選択することもできます。複数選択した場合，選択された機器が上から順番に配置され，入る空きがなくなった時点で追加処理が中断されます。それ以降の機器が入る空きがある場合は，機器を選択し直してから追加してください。

項目	内容
↑	機器を上に移動する場合，移動する機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。イメージをクリックすると緑色の枠で囲まれます。 連続する機器（空きを挟んでもよい）も同時に移動できます。機器のイメージは 1 目盛りずつ移動します。移動先に機器がある場合は，その先に空きがあれば，その機器を飛び越えて移動します。
↓	機器を下に移動する場合，移動する機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。イメージをクリックすると緑色の枠で囲まれます。 連続する機器（空きを挟んでもよい）も同時に移動できます。機器のイメージは 1 目盛りずつ移動します。移動先に機器がある場合は，その先に空きがあれば，その機器を飛び越えて移動します。
→	配置した機器を未配置機器に移動する場合，移動する機器のイメージを選択してこのボタンをクリックします。選択した機器が［未配置機器一覧］に表示されます。イメージをクリックすると緑色の枠で囲まれます。

（凡例）

－：該当しません。

1.16 ［SMP 設定］ウィンドウ

［SMP 設定］ウィンドウは，SMP 構成管理機能を使用してパーティションを管理するウィンドウです。

注意

［SMP 設定］ウィンドウを表示させる場合は，BSM Plus を使用している必要があります。

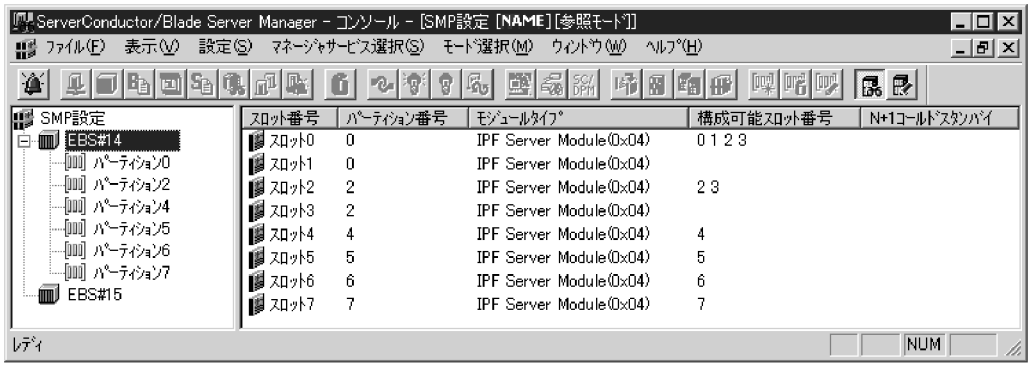
［SMP 設定］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［BSM Plus 管理］メニューから［SMP 設定］を選択する**

［SMP 設定］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-51 ［SMP 設定］ウィンドウ



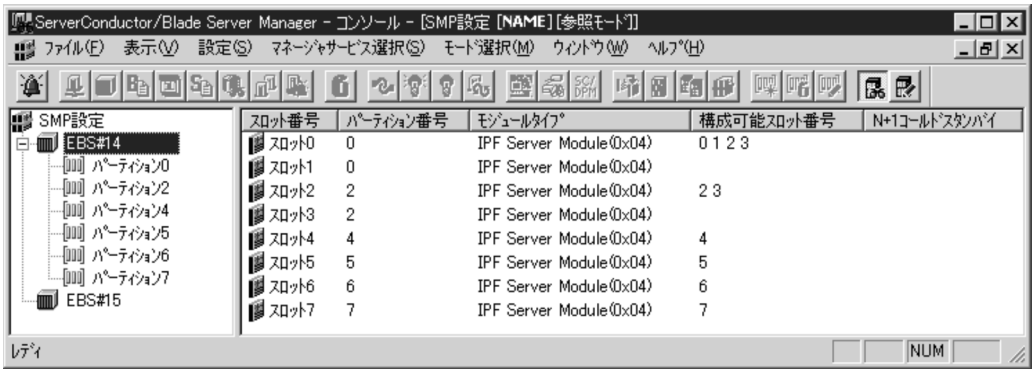
（左ペイン） （右ペイン）

［SMP 設定］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，SMP 設定をルートノードとして，シャーシノードのツリーが表示されます。シャーシノードの下位には，そのシャーシに属するパーティションが表示されます。

［SMP 設定］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したシャーシノードまたはパーティションについての情報が表示されます。それぞれを選択した場合に表示される［SMP 設定］ウィンドウを次に説明します。

1.16.1 ［SMP 設定］ウィンドウ（シャーシノード選択時）

図 1-52 ［SMP 設定］ウィンドウ（シャーシノード選択時）



左ペインのツリーでシャーシノードを選択すると，選択したシャーシノードの情報が右ペインに表示されます。

表 1-21 シャーシノード選択時の表示項目

表示項目	表示内容
スロット番号	スロット番号を示します。
パーティション番号	パーティション番号はプライマリモジュールのスロット番号と同じ番号です。
モジュールタイプ	サーバモジュールのタイプを示します。 BS1000，BS320 の場合 • Don't Care(0x00)：空きまたはサーバモジュール以外のモジュール • IPF Server Module(0x01 ～ 0x7F)：IPF プロセッサ，メモリをシステムに搭載するサーバモジュール • IA32 Server Module(0x80 ～ 0xFE)：IA32 プロセッサ，メモリをシステムに搭載するサーバモジュール • Unknown Device(0xFF)：サーバモジュールを認識できない BS2000 の場合 • Don't Care(0x00)：空きまたはサーバモジュール以外のモジュール • Xeon Server Blade(0x01 ～ 0x0F)：Xeon プロセッサ，メモリをシステムに搭載するサーバモジュール • Xeon-EX Server Blade(0x11 ～ 0x1F)：Xeon-EX プロセッサ，メモリをシステムに搭載するサーバモジュール • Unknown Device(0xFF)：サーバモジュールを認識できない
構成可能スロット番号	該当のスロットをプライマリモジュールとして選択したとき，パーティションを構成できるモジュールのスロット番号が表示されます。
N+1 コールドスタンバイ	N+1 コールドスタンバイの登録状態を示します。 • 登録：登録されている場合 • 空白：登録されていない場合

1.16.2 ［SMP 設定］ウィンドウ（パーティション選択時）

図 1-53 ［SMP 設定］ウィンドウ（パーティション選択時）



左ペインのツリーでパーティションを選択すると，選択したパーティションの情報が右ペインに表示されます。

表 1-22 パーティション選択時の表示項目

表示項目	表示内容
コンピュータ名	Agent ホストまたは VM ホストから取得したコンピュータ名です。ただし，Agent ホストと VM ホストが共存している場合は，Agent ホストから取得したコンピュータ名が表示されます。※このコンピュータ名は，［ホスト管理］ウィンドウに表示されるコンピュータ名と同じです。 Agent ホストまたは VM ホストを［ホスト管理］ウィンドウに登録していない場合は，「取得不可」が表示されます。
ホスト名	Agent ホストまたは VM ホストから取得したシステムのホスト名です。ただし，Agent ホストと VM ホストが共存している場合は，Agent ホストから取得したシステムのホスト名が表示されます。※このホスト名は，［ホスト管理］ウィンドウに表示されるホスト名と同じです。 Agent ホストまたは VM ホストを［ホスト管理］ウィンドウに登録していない場合は，「取得不可」が表示されます。
OS 名	Agent ホストまたは VM ホストから取得した OS 名です。ただし，Agent ホストと VM ホストが共存している場合は，Agent ホストから取得した OS 名が表示されます。※この OS 名は，［ホスト管理］ウィンドウに表示される OS 名と同じです。 Agent ホストまたは VM ホストを［ホスト管理］ウィンドウに登録していない場合は，「取得不可」が表示されます。
パーティション情報ステータス	パーティションおよびサーバモジュールの状態を示します。表示内容については，「表 1-23　パーティション情報ステータスの表示内容と対応する状態」を参照してください。
電源状態	SVP から取得できる電源状態を示します。 • Active(0x01)：電源 ON • Inactive(0x00)：電源 OFF

表示項目	表示内容
スロット X (X は数字)	SVP から取得できるパーティションに含まれるすべてのスロット番号と，サーバモジュールの種類です。 BS1000，BS320 の場合 • Don't Care(0x00)：空きまたはサーバモジュール以外のモジュール • IPF Server Module(0x01 ～ 0x7F)：IPF プロセッサ，およびメモリをシステムに搭載するサーバモジュール • IA32 Server Module(0x80 ～ 0xFE)：IA32 プロセッサ，およびメモリをシステムに搭載するサーバモジュール • Unknown Device(0xFF)：サーバモジュールを認識できない BS2000 の場合 • Don't Care(0x00)：空きまたはサーバモジュール以外のモジュール • Xeon Server Blade(0x01 ～ 0x0F)：Xeon プロセッサ，メモリをシステムに搭載するサーバモジュール • Xeon-EX Server Blade(0x11 ～ 0x1F)：Xeon-EX プロセッサ，メモリをシステムに搭載するサーバモジュール • Unknown Device(0xFF)：サーバモジュールを認識できない
プロセッサ名	SVP から取得できるプロセッサ名です。サーバモジュールの種類が Don't Care（空きまたは CPU モジュール以外）の場合は空白となります。
総メモリ容量	搭載されているメモリのうち，SVP から取得できるメモリの総量です。単位は Mbytes（メガバイト）です。
WAY 数	SVP から取得できる SMP 構成数です。搭載されている CPU の数が表示されます。

注※

Agent ホストと VM ホストの共存については，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の仮想化されたサーバの管理（仮想化プラットフォームの場合）の章を参照してください。

パーティション情報ステータスに表示される文字列と，対応する状態を次の表に示します。

表 1-23　パーティション情報ステータスの表示内容と対応する状態

表示文字列	パーティション状態	サーバモジュール状態
Data Invalidated & 電源投入抑止中 (0x02)	設定済み	次の状態のどれかを表します。 • パーティション構成しているスロットに空きスロットがある。 • サーバモジュールに障害が発生している。 • プライマリサーバモジュールにプロセッサが未搭載。 • IA32 サーバモジュールおよび IPF サーバモジュールが混在する。 • ボードレビジョンの異なるサーバモジュールが混在する。 • プロセッサステッピングの異なるサーバモジュールが混在する。 • プロセッサ周波数の異なるサーバモジュールが混在する。

表示文字列	パーティション状態	サーバモジュール状態
Configuration validate(0x03)	設定済み	正常であることを示します。 「Data Invalidated &電源投入抑止中 (0x02)」のサーバモジュール状態以外のときに表示されます。
Data Invalidated(0x01)	設定済み	次のどちらかを表します。 • Pre-configure で情報を設定していない，または情報を設定中である。 • Pre-configure で情報を取得していない，または情報を取得中である。

1.16.3 ［SMP 設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［SMP 設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
ファイル	閉じる	－	［SMP 設定］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	－	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	－	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	－	最新の情報に更新します。
設定	パーティション作成※		左ペインで選択したサーバシャーシ内にパーティションを新規に作成します。
	パーティション削除※		左ペインで選択したサーバシャーシ内で，スロットを選択して削除します。
	パーティション変更※		左ペインで選択したサーバシャーシ内で，プライマリのスロットを選択してパーティション構成を変更します。
マネージャサービス選択	（マネージャサービス名）	－	［SMP 設定］ウィンドウを表示します。選択したマネージャサービスで管理されている情報が表示されます。
モード選択	参照モード		情報を参照するだけのモードで表示します。
	更新モード		情報の設定や変更ができるモードで表示します。
ウィンドウ	重ねて表示	－	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	－	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	－	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	－	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。

メニュー	メニューコマンド	ボタン	機能
	バージョン情報	―	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

（凡例）

―：該当するボタンはありません。

注※

更新モードで実行してください。

1.17 ［通知アラート］ウィンドウ

［通知アラート］ウィンドウは，管理対象のホストやサーバシャーシからの通知アラートを表示するウィンドウです。

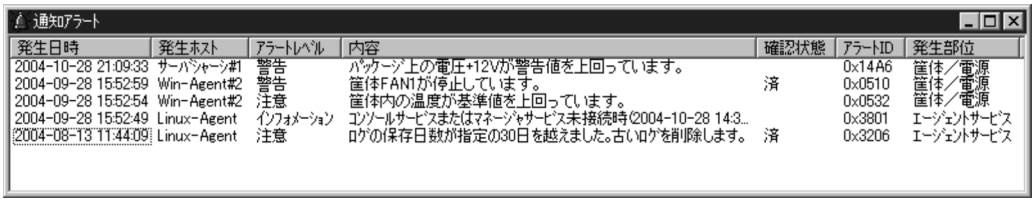
［通知アラート］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスまたはローカルコンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［アラート管理］メニューから［通知アラート表示］を選択する**

［通知アラート］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-54 ［通知アラート］ウィンドウ



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
発生日時	アラートが発生した日時が表示されます。
発生ホスト	アラートが発生したホストのホスト名が表示されます。
アラートレベル※1	発生したアラートのレベルが表示されます。
内容※2	アラートの内容が表示されます。
確認状態※3	アラートについて調査や確認をしたかどうかが表示されます。
アラート ID	アラート ID が表示されます。
発生部位	アラートが発生した部位（エージェントなど）が表示されます。

注※1

syslog のレベルと JP1/ServerConductor のアラートレベルの対応は次のとおりです。

・Linux の場合

syslog レベル	JP1/ServerConductor のアラートレベル
LOG_INFO	インフォメーション
LOG_WARNING	注意
LOG_CRIT	警告，障害

・HP-UX の場合

syslog レベル	JP1/ServerConductor のアラートレベル
LOG_INFO	インフォメーション
LOG_WARNING	注意
LOG_ERR	警告
LOG_CRIT	障害

また，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系メッセージ」に記載されていないアラートが通知された場合，アラートレベルが取得不可と表示されます。

注※ 2

通知アラートの内容に (SEL=XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX) と表示されることがあります（「SEL=」以降の表示は，ご使用のファームウェアによって異なります)。これは，アラートに対応する SEL の情報がないことを示しています。

また，通知できるアラートメッセージの長さは 255 バイトです。アラートメッセージが 256 バイト以上の場合，メッセージの先頭部分が「...」に置き換わって通知されます。

注※ 3

確認するアラートを選択して［確認］メニューの［確認］を選択した場合に確認状態が「済」になります。

1.17.1 ［通知アラート］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［通知アラート］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	読み込み	保存されているファイルからアラートを読み込みます。
	保存	表示されているアラートを保存します。
	CSV 形式ファイル出力	表示されているアラートを CSV 形式のファイルに出力します。
	印刷	表示されているアラートを印刷します。
	閉じる	［通知アラート］ウィンドウを閉じます。
確認	確認	確認するアラートを選択して確認状態を「済」にします。
	全確認	すべてのアラートの確認状態を「済」にします。
	消去	選択したアラートを消去します。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。

メニュー	メニューコマンド	機能
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.18 ［マネージャアラートログ］ウィンドウ

［マネージャアラートログ］ウィンドウは，管理サーバで発生したすべてのアラートのログ（マネージャアラートログ）を表示するウィンドウです。

［マネージャアラートログ］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［表示］メニューから［サービス構成表示］を選択する**
   ［ホスト管理］ウィンドウがサービス構成別の表示になります。
2. **［ホスト管理］ウィンドウの左ペインで，アラートログを表示するマネージャサービスを選択する**
3. **［ホスト管理］ウィンドウの［アラート管理］メニューから［マネージャアラートログ］を選択する**

［マネージャアラートログ］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-55 **［マネージャアラートログ］ウィンドウ**



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
発生日時	アラートが発生した日時が表示されます。
発生ホスト	［ホスト管理］ウィンドウで選択したマネージャサービス名が表示されます。
アラートレベル	発生したアラートのレベルが表示されます。
内容	アラートの内容が表示されます。
アラート ID	アラート ID が表示されます。
発生部位	「マネージャサービス」が表示されます。

1.18.1 ［マネージャアラートログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［マネージャアラートログ］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	CSV 形式ファイル出力	表示されているマネージャアラートログを CSV 形式のファイルに出力します。
	印刷	表示されているマネージャアラートログを印刷します。
	閉じる	［マネージャアラートログ］ウィンドウを閉じます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.19 ［HVM 構成管理］ウィンドウ

［HVM 構成管理］ウィンドウは，HVM 構成管理機能を使用して HVM および LPAR を管理するウィンドウです。

［HVM 構成管理］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［HVM 管理］メニューから［HVM 構成管理］を選択する**

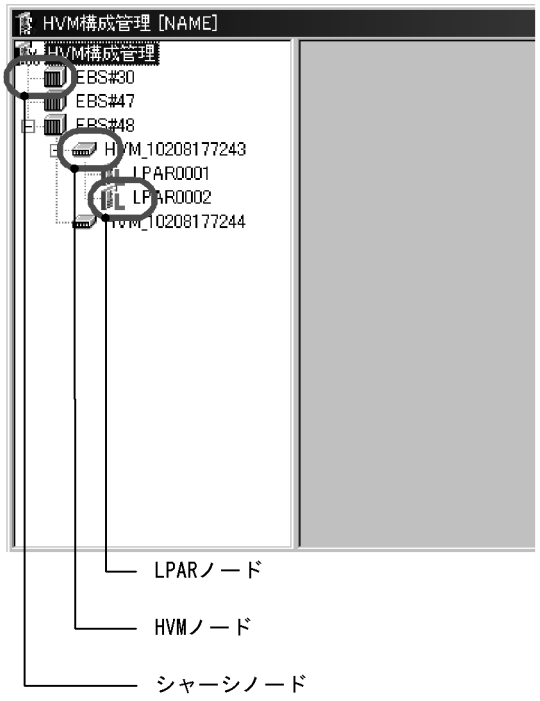
［HVM 構成管理］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-56 ［HVM 構成管理］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［HVM 構成管理］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，［HVM 構成管理］をルートノードとして，シャーシノードが表示されます。シャーシノードの下位にはそのシャーシに属する HVM ノードが，HVM ノードの下位にはその HVM が管理している LPAR ノードが，それぞれ表示されます。



表示項目	表示内容
シャーシノード	［ホスト管理］ウィンドウに登録されているサーバシャーシのうち，BS1000 または BS2000 のサーバシャーシが表示されます。
HVM ノード	［ホスト管理］ウィンドウに登録されている HVM のうち，パーティションの OS 種類が HVM のものが表示されます。
LPAR ノード	HVM に作成済みの LPAR が表示されます。

［HVM 構成管理］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したノードの情報が表示されます。表示される項目は，左ペインで選択したノードの種類によって異なります。ノード別の表示項目について，次に説明します。

1.19.1 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目

(1) シャーシノード選択時の表示項目

［HVM 構成管理］ウィンドウの左ペインでシャーシノードを選択すると，そのサーバシャーシ上で稼働する HVM の情報およびサーバシャーシの情報が右ペインに表示されます。

シャーシノードを選択しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-57 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（シャーシノード選択時）

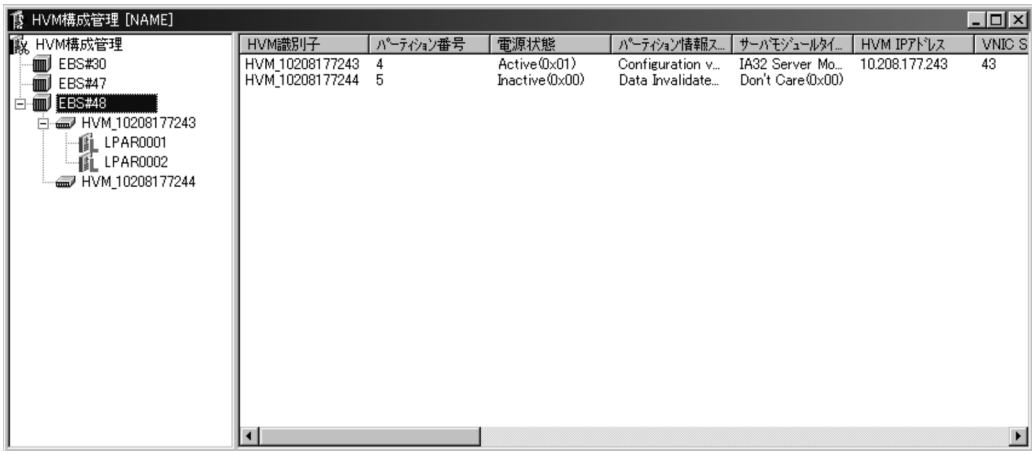


表 1-24 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（シャーシノード選択時）

表示項目	表示内容
HVM 識別子※ 1	HVM を識別する ID が表示されます。
パーティション番号※ 1	パーティション番号が表示されます。
電源状態※ 1	パーティションの電源状態が表示されます。 • Inactive(0x00)：電源 OFF 状態 • Active(0x01)：電源 ON 状態 • 取得不可 (0xXX)：電源状態不明（XX は 00，01 のどちらでもない値を示す）
パーティション情報ステータス※ 1	パーティションの状態が表示されます。 • Unknown Status(0x00)：不明な状態 • Data Invalidated(0x01)：無効な状態 • Data Invalidated & 電源投入抑止中 (0x02)：無効 + 電源投入抑止状態 • Configuration validate(0x03)：有効な状態 • 取得不可 (0xXX)：パーティション状態不明（XX は 00 ～ 03 のどれでもない値を示す）

表示項目	表示内容
サーバモジュールタイプ※1	パーティションのプライマリスロットに挿入されているサーバモジュールのモジュールタイプが表示されます。 BS1000，BS320 の場合 • Don't Care(0x00)：サーバモジュール未挿入 • IPF Server Module(0xXX)：IPF サーバモジュール（XX は 01 ～ 7F のどれかの値を示す） • IA32 Server Module(0xXX)：IA32 サーバモジュール（XX は 80 ～ FE のどれかの値を示す） • Unknown Device(0xFF)：不明 BS2000 の場合 • Don't Care(0x00)：サーバモジュール未挿入 • Xeon Server Blade(0xXX)：Xeon サーバモジュール（XX は 01 ～ 0F のどれかの値を示す） • Xeon-EX Server Blade(0xXX)：Xeon-EX サーバモジュール（XX は 11 ～ 1F のどれかの値を示す） • Unknown Device(0xFF)：不明
HVM IP アドレス※2	HVM の IP アドレスが表示されます。
VNIC System Number※2	仮想 NIC システム番号が表示されます。
Pre-State Auto Activation※2	HVM システムをシャットダウンしないで HVM を再起動した場合，LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させるかどうかの設定が表示されます。 • 有効：LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させる • 無効：LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させない
HVM Auto Shutdown※2	すべての LPAR が Deactivate 状態になったときに HVM システムを自動でシャットダウンするかどうかが表示されます。 • 有効：HVM を自動でシャットダウンする • 無効：HVM を自動でシャットダウンしない
Processors※2	正常に稼働している物理プロセッサの総数とサーバモジュールに搭載されている全物理プロセッサの総数が，「n(m)」の形式で表示されます。n と m の意味は次のとおりです。 • n：正常に稼働している物理プロセッサの総数 • m：サーバモジュールに搭載されている物理プロセッサの総数
User Memory (Mbytes)※2	LPAR に割り当てられるメモリの総量が表示されます。LPAR に割り当てられるメモリの総量は，サーバモジュールに搭載されているメモリ容量から HVM が使用するメモリ容量を引いた値となります。
Management Path※2	HVM 管理パスに使用する NIC の PCI デバイス番号が表示されます。 • Default：プライマリオンボード GbE を管理パスに使用している • PCI デバイス番号：PCI デバイス番号で指定された NIC を管理パスに使用している
Connect※2	Management Path の接続状態が表示されます。 • Unknown：接続状態が不明または初期状態である • Success：接続状態である • Fail：接続に失敗している

表示項目	表示内容
Alert Language※2	HVM のアラートメッセージの言語設定が表示されます。 • English：英語 • Japanese：日本語 • Unknown：不明
BSM1 IP アドレス※2	HVM を管理する BSM1 の IP アドレスが表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM1 IP Address」の設定値が表示されます。
BSM1 アラートポート番号※2	BSM1 との通信に使うポート番号が表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM1 Alert Port」の設定値が表示されます。
BSM2 IP アドレス※2	HVM を管理する BSM2 の IP アドレスが表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM2 IP Address」の設定値が表示されます。
BSM2 アラートポート番号※2	BSM2 との通信に使うポート番号が表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM2 Alert Port」の設定値が表示されます。
BSM3 IP アドレス※2	HVM を管理する BSM3 の IP アドレスが表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM3 IP Address」の設定値が表示されます。
BSM3 アラートポート番号※2	BSM3 との通信に使うポート番号が表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM3 Alert Port」の設定値が表示されます。
BSM4 IP アドレス※2	HVM を管理する BSM4 の IP アドレスが表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM4 IP Address」の設定値が表示されます。
BSM4 アラートポート番号※2	BSM4 との通信に使うポート番号が表示されます。HVM スクリーンの System Configuration メニューに表示される「BSM4 Alert Port」の設定値が表示されます。

注※1

通信エラーの場合は空白が表示されます。

注※2

HVM が管理コンソールから一度も接続されていない場合，または HVM のファームウェアが古い場合は空白が表示されます。

（2）HVM ノード選択時の表示項目

［HVM 構成管理］ウィンドウの左ペインで HVM ノードを選択すると，その HVM が管理している LPAR の情報が右ペインに表示されます。

HVM ノード選択時に表示する項目は，次の 5 種類から選択できます。HVM ノードを選択した場合，デフォルトでは LPAR 構成情報が表示されます。

- LPAR 構成情報

- Processor 情報
- PCI Device 情報
- FC 情報
- 仮想 NIC 情報（VNIC 情報）

(a) LPAR 構成情報

LPAR 構成情報を表示するには，［HVM 構成管理］ウィンドウの［表示］メニューから［LPAR 構成情報表示］を選択します。

LPAR 構成情報を表示しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-58 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：LPAR 構成情報）

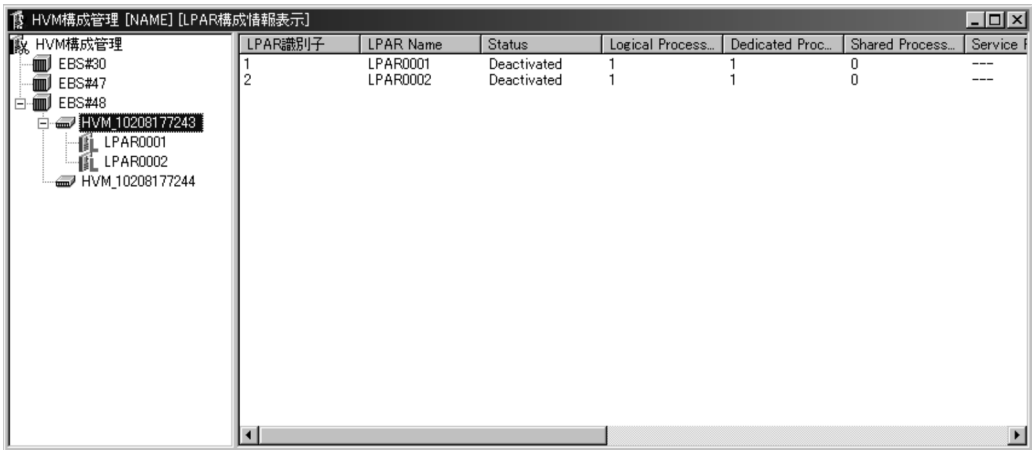


表 1-25 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：LPAR 構成情報）

表示項目	表示内容
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
Logical Processors	LPAR に割り当てられた論理プロセッサの数が表示されます。
Dedicated Processors	LPAR に割り当てられた占有プロセッサの数が表示されます。
Shared Processors	LPAR に割り当てられた共有プロセッサの数が表示されます。
Service Ratio	LPAR 間の共有プロセッサの使用時間配分が表示されます。占有プロセッサの場合，「---」が表示されます。

表示項目	表示内容
Memory(Mbytes)	LPAR に割り当てられたメモリ容量がメガバイト単位で表示されます。
VNIC	LPAR に割り当てられた仮想 NIC の数が表示されます。
Idle Detection	論理プロセッサの Idle 状態を検出する機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Auto Activation Order	HVM 起動時の LPAR の自動起動順序が 1 ～ 99 で表示されます。 Auto Activation Order が設定されていない場合,「無効」が表示されます。
Auto Clear	論理 SEL の自動クリア機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Processor Capping	プロセッサキャッピング機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Pre-Boot F/W	LPAR でブートされるファームウェアが表示されます。 • Reserved：予約 • BIOS：BIOS • 64UEFI：64UEFI • 86UEFI：86UEFI • Unsupported：未サポート • Unknown：不明

(b) Processor 情報

Processor 情報を表示するには,［HVM 構成管理］ウィンドウの［表示］メニューから［Processor 情報表示］を選択します。

Processor 情報を表示しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-59 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：Processor 情報）

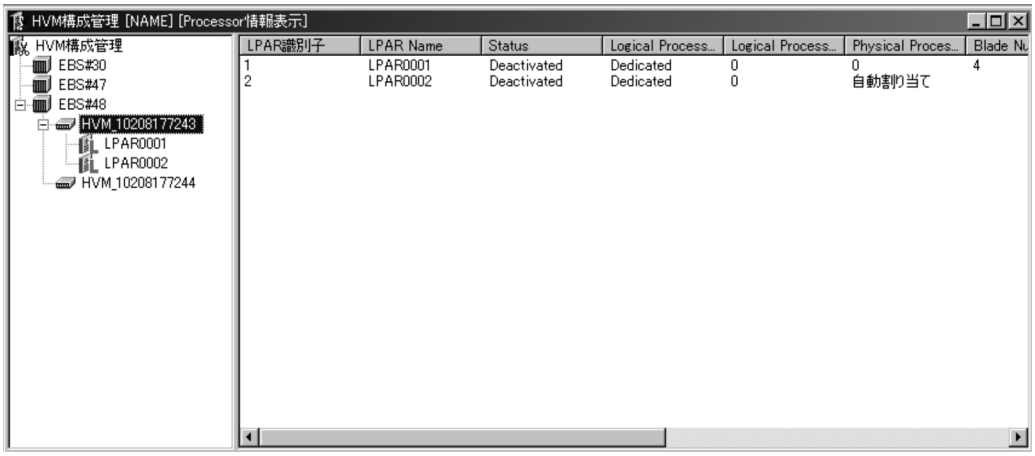


表 1-26 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：Processor 情報）

表示項目	表示内容
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
Logical Processor Scheduling Mode	論理プロセッサに割り当てられたスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード
Logical Processor Number	論理プロセッサ番号が表示されます。
Physical Processor Number	物理プロセッサ番号が表示されます。自動割り当てされる場合「自動割り当て」が表示されます。
Blade Number ※	物理プロセッサが搭載されているサーバモジュール番号が表示されます。
Die Number ※	サーバモジュール内のダイ番号が表示されます。
Core Number ※	ダイ内のコア番号が表示されます。
Thread Number ※	スレッド番号が表示されます。

表示項目	表示内容
Physical Processor Status ※	物理プロセッサのステータスが表示されます。 • RUN：物理プロセッサが正常に稼働している • FAIL：物理プロセッサは回復できない障害のため使用できない状態である • ERROR：物理プロセッサはタイムアウト障害のため使用できない状態である • Undefined：未定義 • Unknown：不明
Physical Processor Scheduling Mode ※	物理プロセッサに割り当てられたスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Undefined：未定義 • Unknown：不明

注※

［Physical Processor Number］が「自動割り当て」の場合は，空白が表示されます。

(c) PCI Device 情報

PCI Device 情報を表示するには，［HVM 構成管理］ウィンドウの［表示］メニューから［PCI Device 情報表示］を選択します。

PCI Device 情報を表示しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-60 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：PCI Device 情報）

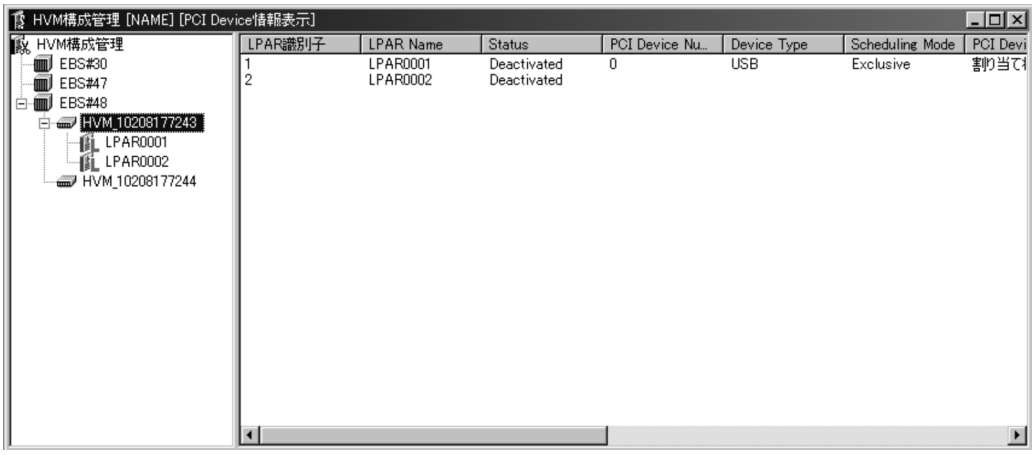


表 1-27 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：PCI Device 情報）

表示項目	表示内容
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
PCI Device Number ※	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。
Device Type ※	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
Scheduling Mode ※	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
PCI Device Assignment ※	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：割り当てられていない状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
Vendor ※	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
Device Name ※	PCI デバイス名が表示されます。
Bus Number ※	PCI バス番号が表示されます。
Device Number ※	PCI デバイス番号が表示されます。
Function Number ※	PCI ファンクション番号が表示されます。

表示項目	表示内容
Slot Number ※	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
Shared NIC Number ※	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。

注※

LPAR が表示できる PCI デバイスが存在しない場合は，空白が表示されます。

(d) FC 情報

FC 情報を表示するには，［HVM 構成管理］ウィンドウの［表示］メニューから［FC 情報表示］を選択します。

FC 情報を表示しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-61 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：FC 情報）

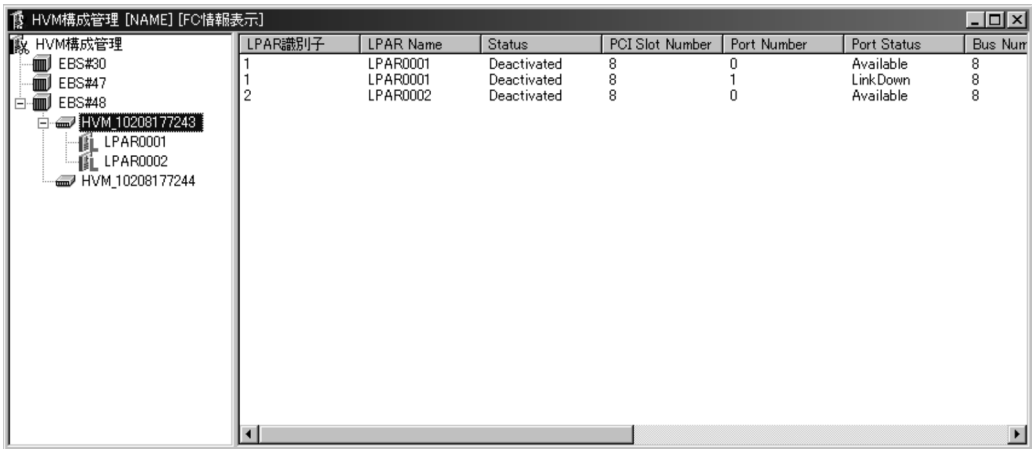


表 1-28 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：FC 情報）

表示項目	表示内容
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。

表示項目	表示内容
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
PCI Slot Number ※	PCI スロット番号が表示されます。
Port Number ※	ポート番号が表示されます。
Port Status ※	ポートの状態が表示されます。 • Available：正常に使用できる状態 • LinkDown：ケーブルが接続されていないため使用できない状態 • ConfigCheck：構成上の問題のため使用できない状態 • ErrorCheck：回復できない障害のため使用できない状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
Bus Number ※	PCI バス番号が表示されます。
Device Number ※	PCI デバイス番号が表示されます。
Function Number ※	PCI ファンクション番号が表示されます。
Scheduling Mode ※	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
vfcWWNID ※	割り当て FC が共有モードの場合，設定されている vfcWWN-ID が表示されます。
WWPN ※	FC の WWPN が表示されます。
WWNN ※	FC の WWNN が表示されます。

注※

LPAR に割り当てられた FC が存在しない場合は，空白が表示されます。

(e) 仮想 NIC 情報

仮想 NIC 情報を表示するには，［HVM 構成管理］ウィンドウの［表示］メニューから［VNIC 情報表示］を選択します。

仮想 NIC 情報を表示しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-62 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（HVM ノード選択時：仮想 NIC 情報）

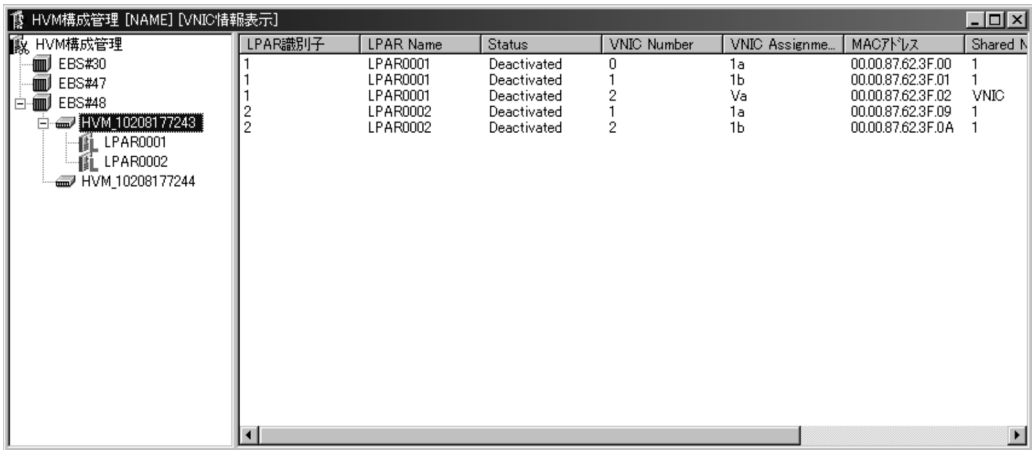


表 1-29 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（HVM ノード選択時：仮想 NIC 情報）

表示項目	表示内容
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
VNIC Number ※	仮想 NIC 番号が表示されます。
VNIC Assignment ※	各 LPAR に対する仮想 NIC の割り当て状態がネットワークセグメントの識別子で表示されます。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント 数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。 a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント
MAC アドレス※	各 LPAR の仮想 NIC の MAC アドレスが表示されます。
Shared NIC Number ※	共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が 1 ～ 6 の数値で表示されます。 LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメントの場合，「VNIC」が表示されます。
Tag ※	仮想 NIC の VLAN モードが表示されます。 • Tagged：Tagged ポートに定義されている • Untagged：Untagged ポートに定義されている • Undefined：未定義 • Unknown：不明

表示項目	表示内容
VLAN ID ※	LPAR に割り当てられている VLAN の ID が 1 ～ 4094 の数値で表示されます。複数定義がある場合，コンマで区切って表示されます。すべての VLAN が割り当てられている場合，「ALL」が表示されます。

注※

LPAR に割り当てられた仮想 NIC が存在しない場合は，空白が表示されます。

（3）LPAR ノード選択時の表示項目

［HVM 構成管理］ウィンドウの左ペインで LPAR ノードを選択すると，その LPAR の情報が右ペインに表示されます。

LPAR ノードを選択しているときの［HVM 構成管理］ウィンドウおよび右ペインの表示項目を次に示します。

図 1-63 ［HVM 構成管理］ウィンドウ（LPAR ノード選択時）

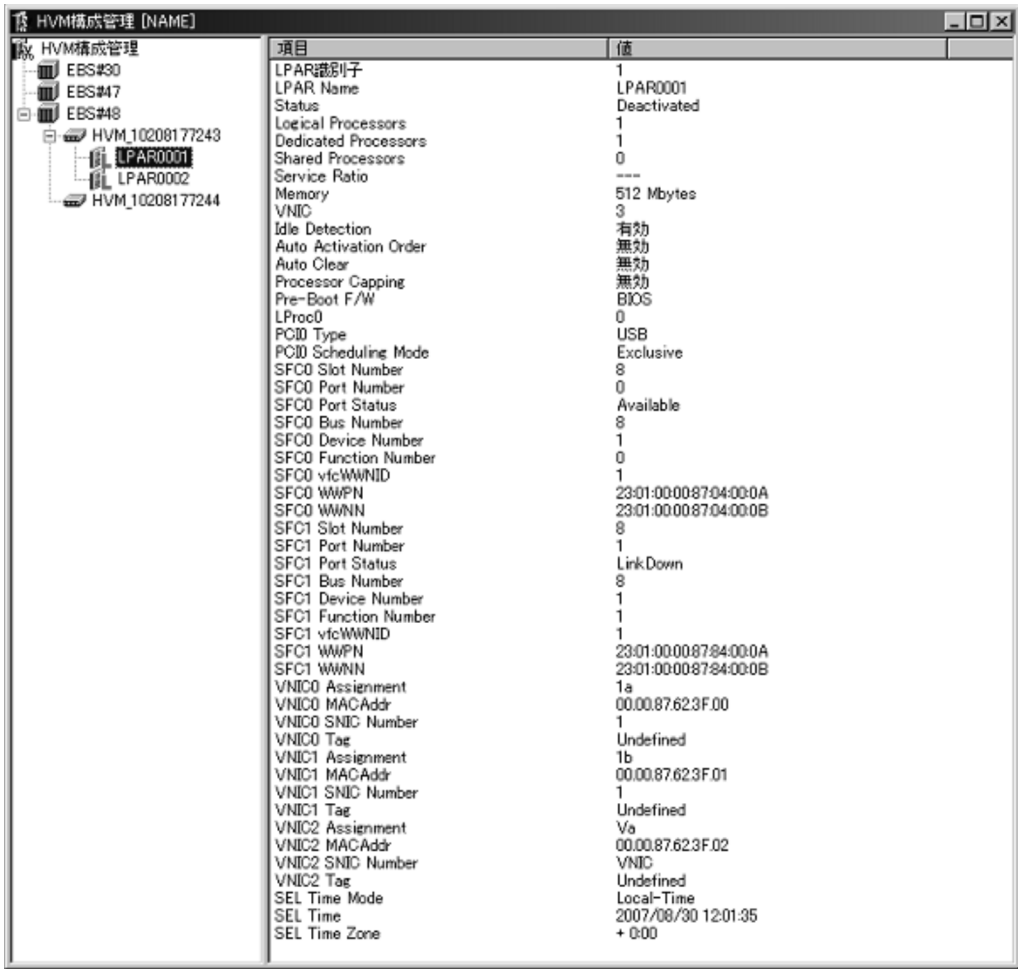


表 1-30 ［HVM 構成管理］ウィンドウの表示項目（LPAR ノード選択時）

表示項目	表示内容
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
Logical Processors	LPAR に割り当てられた論理プロセッサの数が表示されます。
Dedicated Processors	LPAR に割り当てられた占有プロセッサの数が表示されます。
Shared Processors	LPAR に割り当てられた共有プロセッサの数が表示されます。

表示項目	表示内容
Service Ratio	LPAR 間の共有プロセッサの使用時間配分が表示されます。占有プロセッサの場合,「---」が表示されます。
Memory	LPAR に割り当てられたメモリ容量がメガバイト単位で表示されます。
VNIC	LPAR に割り当てられた仮想 NIC の数が表示されます。
Idle Detection	論理プロセッサの Idle 状態を検出する機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Auto Activation Order	HVM 起動時の LPAR の自動起動順序が 1 ～ 99 で表示されます。 Auto Activation Order が設定されていない場合,「無効」が表示されます。
Auto Clear	論理 SEL の自動クリア機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Processor Capping	プロセッサキャッピング機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Pre-Boot F/W	LPAR でブートされるファームウェアが表示されます。 • Reserved：予約 • BIOS：BIOS • 64UEFI：64UEFI • 86UEFI：86UEFI • Unsupported：未サポート • Unknown：不明
LProc# ※ (# は Logical Processor 番号)	占有論理プロセッサに割り当てられた物理プロセッサ番号が表示されます。複数の場合はコンマで区切って表示されます。
PCI# Type ※ (# は PCI デバイス番号)	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
PCI# Scheduling Mode ※ (# は PCI デバイス番号)	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
SFC# Slot Number ※ (# は共有 FC 番号)	共有 FC が実装されている PCI スロット番号が表示されます。

表示項目	表示内容
SFC# Port Number ※ (# は共有 FC 番号)	ポート番号が表示されます。
SFC# Port Status ※ (# は共有 FC 番号)	ポートの状態が表示されます。 • Available：正常に使用できる状態 • LinkDown：ケーブルが接続されていないため使用できない状態 • ConfigCheck：構成上の問題のため使用できない状態 • ErrorCheck：回復できない障害のため使用できない状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
SFC# Bus Number ※ (# は共有 FC 番号)	PCI バス番号が表示されます。
SFC# Device Number ※ (# は共有 FC 番号)	PCI デバイス番号が表示されます。
SFC# Function Number ※ (# は共有 FC 番号)	PCI ファンクション番号が表示されます。
SFC# vfcWWNID ※ (# は共有 FC 番号)	割り当て FC が共有モードの場合，設定されている vfcWWN-ID が表示されます。
SFC# WWPN ※ (# は共有 FC 番号)	共用 FC に割り当てられた WWPN が表示されます。
SFC# WWNN ※ (# は共有 FC 番号)	共用 FC に割り当てられた WWNN が表示されます。
DFC# Slot Number ※ (# は占有 FC 番号)	占有 FC が実装されている PCI スロット番号が表示されます。
DFC# Port Number ※ (# は占有 FC 番号)	ポート番号が表示されます。
DFC# WWPN ※ (# は占有 FC 番号)	占有 FC に割り当てられた仮想 WWPN が表示されます。
DFC# WWNN ※ (# は占有 FC 番号)	占有 FC に割り当てられた仮想 WWNN が表示されます。
VNIC# Assignment ※ (# は仮想 NIC 番号)	各 LPAR に対する仮想 NIC の割り当て状態がネットワークセグメントの識別子で表示されます。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント 数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。 a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント
VNIC# MACAddr ※ (# は仮想 NIC 番号)	仮想 NIC の MAC アドレスが表示されます。
VNIC# SNIC Number ※ (# は仮想 NIC 番号)	共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が 1 ～ 6 の数値で表示されます。 LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメントの場合，「VNIC」が表示されます。

表示項目	表示内容
VNIC# Tag ※ （# は仮想 NIC 番号）	仮想 NIC の VLAN モードが表示されます。 • Tagged：Tagged ポートに定義されている • Untagged：Untagged ポートに定義されている • Undefined：未定義 • Unknown：不明
VNIC# VLANID ※ （# は仮想 NIC 番号）	LPAR に割り当てられている VLAN の ID が 1 ～ 4094 の数値で表示されます。複数定義がある場合，コンマで区切って表示されます。すべての VLAN が割り当てられている場合，「ALL」が表示されます。
SEL Time Mode	論理 SEL の時刻モードが表示されます。 • GMT：GMT モード • Local-Time：ローカルタイムモード
SEL Time	論理 SEL の時刻が YYYY/MM/DD hh:mm:ss の形式で表示されます。
SEL Time Zone	論理 SEL のタイムゾーンが GMT との時差（-12:00 ～ +12:00）で表示されます。時差がない場合は，+ 0:00 と表示されます。

注※

該当する設定が存在しない場合は表示されません。

1.19.2 ［HVM 構成管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［HVM 構成管理］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	閉じる	［HVM 構成管理］ウィンドウを閉じます。
表示	LPAR 構成情報表示	［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。LPAR 構成情報が表示されます。
	Processor 情報表示	［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。Processor 情報が表示されます。
	PCI Device 情報表示	［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。PCI Device 情報が表示されます。
	FC 情報表示	［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。FC 情報が表示されます。
	VNIC 情報表示	［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。VNIC 情報が表示されます。
	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。

メニュー	メニューコマンド	機能
設定	HVM 設定	［HVM 設定］ダイアログボックスを表示します。HVM を設定できます。
	PCI Device Scheduling Mode 設定	［PCI Device Scheduling Mode 設定］ダイアログボックスを表示します。PCI デバイスに対して，LPAR に占有で割り当てるか共有で割り当てるかを設定できます。
	クローニング	［クローニング］ダイアログボックスを表示します。クローニングを使用して HVM の設定および LPAR を作成できます。
	HVM 構成のバックアップ・リストア	［HVM 構成のバックアップ・リストア］ダイアログボックスを表示します。HVM 構成情報をバックアップまたはリストアできます。
	LPAR 作成	［LPAR 作成ウィザード］ダイアログボックスを表示します。LPAR を作成できます。
	LPAR 削除	LPAR を削除します。
	LPAR 構成変更	［LPAR 構成変更］ダイアログボックスを表示します。LPAR 構成を変更できます。
	HVM に設定保存	HVM の設定を保存します。
	USB 割り当て設定	［USB 割り当て設定］ダイアログボックスを表示します。作成した LPAR と USB を対応づけられます。
	LPAR の Activate	LPAR を Activate します。
	LPAR の Deactivate	LPAR を Deactivate します。
マネージャサービス選択	（マネージャサービス名）	［HVM 構成管理］ウィンドウを表示します。選択したマネージャサービスで管理されている情報が表示されます。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.19.3 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移

［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-64 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移（表示メニュー）

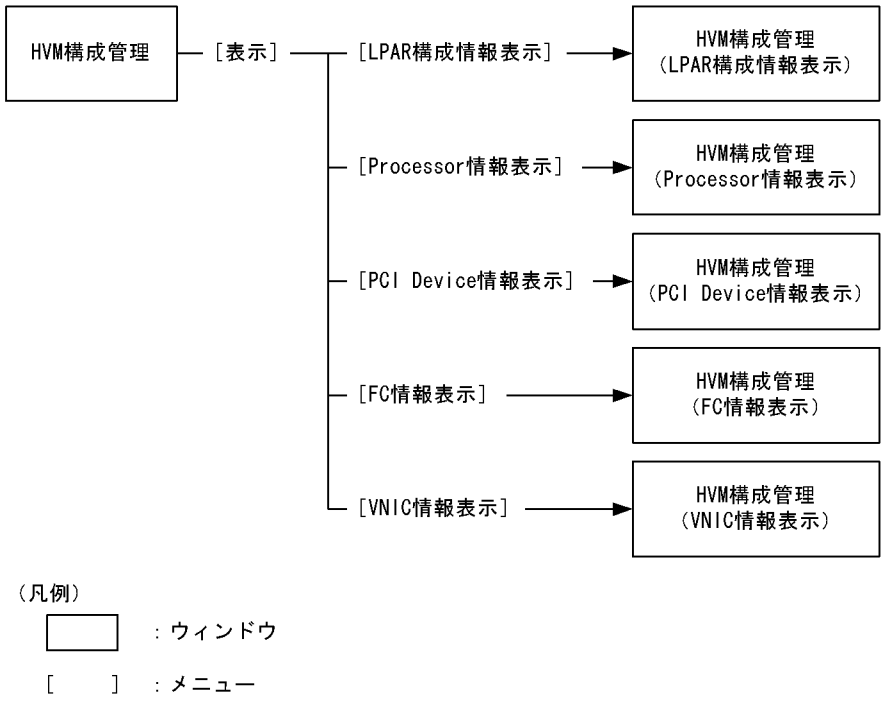
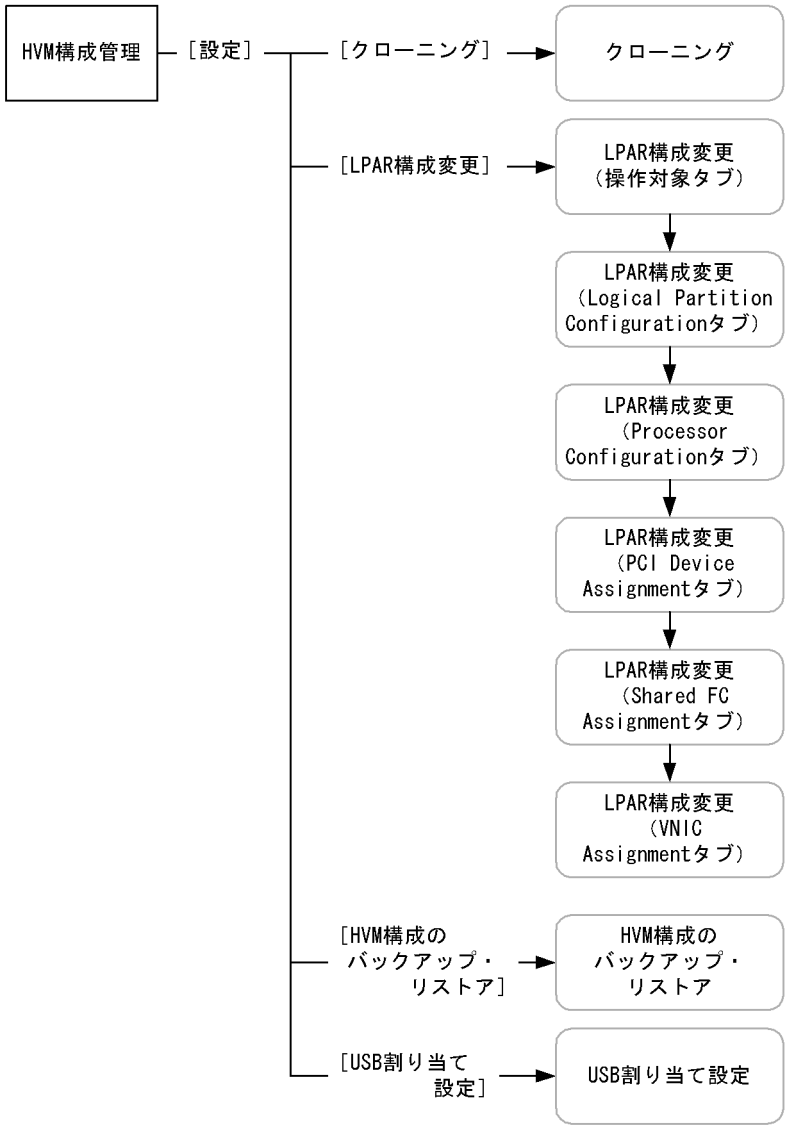


図 1-65 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 1）



図 1-66 ［HVM 構成管理］ウィンドウの遷移（設定メニュー）（その 2）

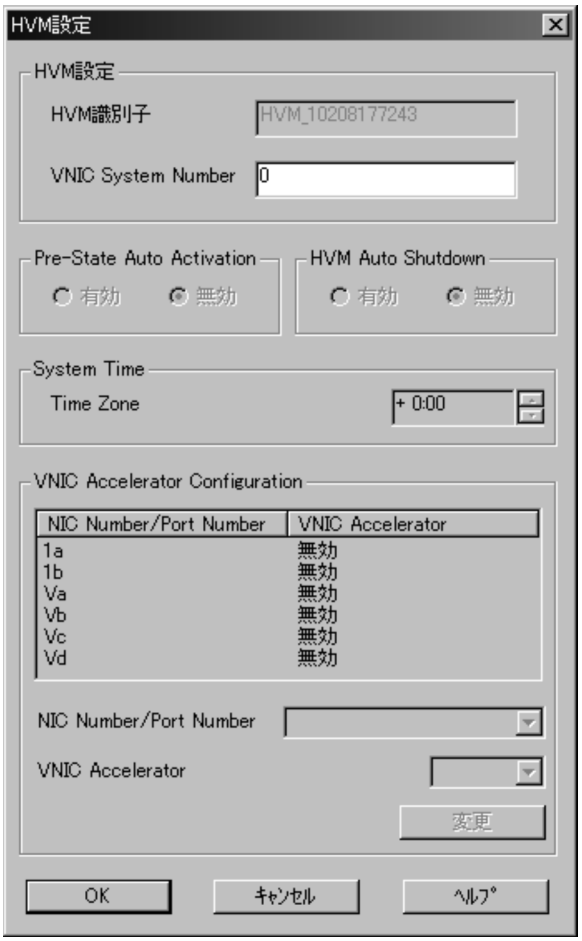


1.19.4 ［HVM 設定］ダイアログボックス

HVM を設定します。

注意

このダイアログボックスで HVM を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
HVM 設定	－	HVM を設定します。 初回設定時は，［VNIC System Number］だけ入力できます。

項目		内容
	HVM 識別子 ※1※2	HVM 識別子を 1 ～ 16 バイトの半角文字列で設定します。指定できる文字は次のとおりです。 英数字，~，@，#，$，%，^，-（ハイフン），+，=，_（アンダースコア），.（ピリオド），[，] デフォルトは「HVM0001」または「HVM_nnnnnnnnnnnn（nnnnnnnnnnnn：HVM IP アドレスの 10 進表記）」です。デフォルトの HVM 識別子がどちらになるかは，ハードウェアの仕様に依存します。 HVM 識別子は重複しないように指定してください。複数の HVM に対して同じ HVM 識別子が指定された場合，BSM で管理できなくなります。特に「HVM0001」をそのまま使用した場合，HVM 識別子が重複するおそれが高いため，デフォルトから変更することをお勧めします。
	VNIC System Number ※2※3	仮想 NIC システム番号を 1 ～ 128 の整数で指定します。 デフォルトは 0 です。 複数の HVM を使用する場合，HVM ごとに異なる値を設定してください。詳細については，マニュアル「BladeSymphony ユーザーズガイド」を参照してください。
Pre-State Auto Activation		Pre-State Auto Activation の設定をします。有効にする場合，［有効］ラジオボタンを ON にします。無効にする場合，［無効］ラジオボタンを ON にします。 デフォルトは，［HVM 構成管理］ウィンドウで選択した HVM ノードの Pre-State Auto Activation の値が表示されます。HVM 初回起動時は［無効］ラジオボタンが選択されています。
HVM Auto Shutdown		HVM Auto Shutdown の設定をします。有効にする場合，［有効］ラジオボタンを ON にします。無効にする場合，［無効］ラジオボタンを ON にします。 デフォルトは，［HVM 構成管理］ウィンドウで選択した HVM ノードの HVM Auto Shutdown の値が表示されます。HVM 初回起動時は［無効］ラジオボタンが選択されています。
System Time Zone	Time Zone	HVM のタイムゾーンを GMT との時差で設定します。日本国内で使用する場合，+ 9:00 を指定します。 デフォルトは，［HVM 構成管理］ウィンドウで選択した HVM ノードの Time Zone の値が表示されます。
VNIC Accelerator Configuration	NIC Number/ Port Number ※4	［VNIC Accelerator］の設定を変更する仮想 NIC ネットワークセグメントの共有 NIC 番号とポート番号（A 系または B 系）を選択します。 • 1a ～ 6b：共有モードの物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント
	VNIC Accelerator ※4	［NIC Number/Port Number］で指定したネットワークセグメントについて，DMA エンジンを使用できるようにするかどうかの設定をします。使用できるようにする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。使用できないようにする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。

項目		内容
	NIC Number/ Port Number	仮想 NIC ネットワークセグメントの共有 NIC 番号とポート番号（A 系または B 系）が表示されます。 • 1a ～ 6b：共有モードの物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント
	VNIC Accelerator	DMA エンジンが使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
	変更	［VNIC Accelerator Configuration］の設定を変更した場合はこのボタンをクリックします。［VNIC Accelerator Configuration］の表示内容が，設定した内容に変更されます。

（凡例）

－：該当しません。

注

［HVM 設定］ダイアログボックスで設定内容を変更したあとは，必ず［HVM に設定保存］の操作をしてください。［HVM に設定保存］の操作をしないで，パーティションの電源を OFF にすると，［HVM 設定］ダイアログボックスで設定した内容は無効になります。

注※ 1

N+1 グループに登録されている HVM の HVM 識別子を変更すると，すでに登録されている変更前の HVM が削除できなくなります。N+1 グループに含まれている HVM の HVM 識別子を変更する場合は，いったん N+1 グループから削除したあと変更してください。

注※ 2

［HVM 識別子］または［VNIC System Number］のどちらか一つでも変更した場合，［HVM 設定］ダイアログボックスで［OK］ボタンをクリックして HVM への情報更新要求が成功すると，HVM が再起動されるため，数分間 HVM との通信ができなくなります。

注※ 3

仮想 NIC システム番号は，HVM の初回設定時，またはクローニング後の初期値変更時だけ，設定することをお勧めします。

注※ 4

この項目は，［VNIC Accelerator Configuration］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

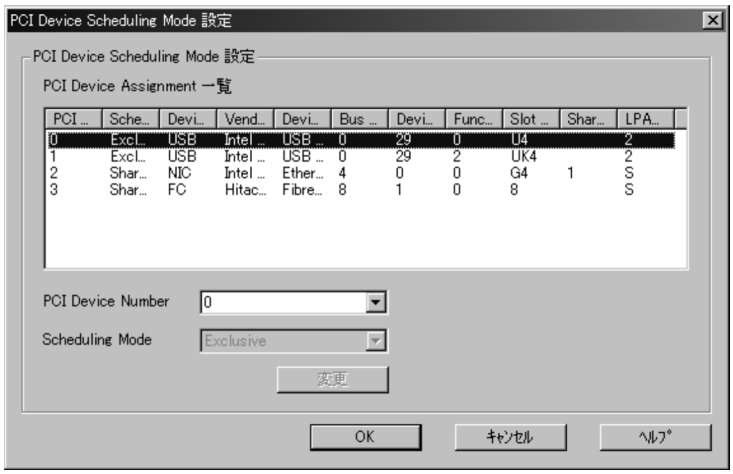
対象の HVM が VNIC Accelerator に対応していない場合，空白が表示されて設定変更ができません。また，対応する物理 NIC が存在しない場合，1a ～ 6b のネットワークセグメントは表示されません。

1.19.5 ［PCI Device Scheduling Mode 設定］ダイアログボックス

PCI デバイスに対して，LPAR に占有で割り当てるか共有で割り当てるかを設定します。

注意

- このダイアログボックスで PCI デバイスの占有／共有の設定をする場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI デバイスの内容が表示されます。
	PCI Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明

項目		内容
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。
	LPAR 識別子	PCI デバイスが割り当てられている LPAR の LPAR 識別子が表示されます。 • 数値：PCI デバイスが，占有または排他共有で 1 個の LPAR に割り当てられている場合の LPAR 識別子 • M：PCI デバイスが占有または排他共有で複数の LPAR に割り当てられている • S：PCI デバイスが共有モードに設定されている
PCI Device Number ※		PCI デバイススケジューリングモードを変更する PCI デバイス番号を選択します。［PCI Device Assignment 一覧］に情報が表示されている場合，デフォルトは 0 です。
Scheduling Mode ※		［PCI Device Number］で指定した PCI デバイスについて，スケジューリングモードの設定をします。占有にする場合，ドロップダウンリストから［Dedicated］を選択します。共有にする場合，ドロップダウンリストから［Shared］を選択します。 情報取得時の Scheduling Mode が［Dedicated］または［Shared］のデバイスだけ，［Dedicated］または［Shared］へ変更できます。
変更		［Scheduling Mode］で指定したスケジューリングモードに変更する場合，このボタンをクリックします。［PCI Device Assignment 一覧］の内容が変更されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※

この項目は，［PCI Device Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

注意

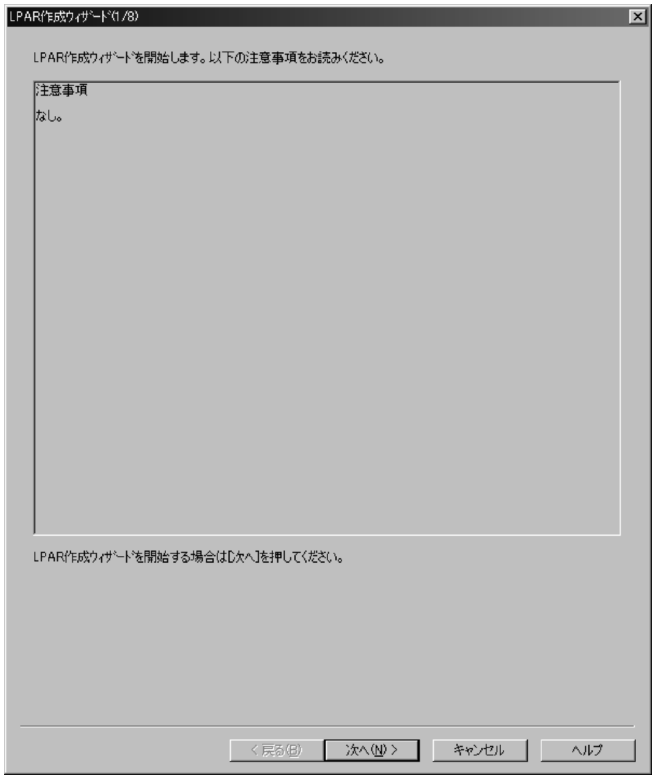
- ［PCI Device Scheduling Mode 設定］ダイアログボックスで設定内容を変更したあとは，必ず［HVM に設定保存］の操作をしてください。［HVM に設定保存］の操作をしないで，パーティションの電源を OFF にすると，［PCI Device Scheduling Mode 設定］ダイアログボックスで設定した内容は無効になります。
- ［PCI Device Scheduling Mode 設定］ダイアログボックスの設定内容を変更した場合，［OK］ボタンをクリックして HVM への情報更新要求が成功すると，HVM が再起動されるため，数分間 HVM との通信ができなくなります。

1.19.6 ［LPAR 作成ウィザード］（開始画面）

LPAR を作成します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR の作成をする場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



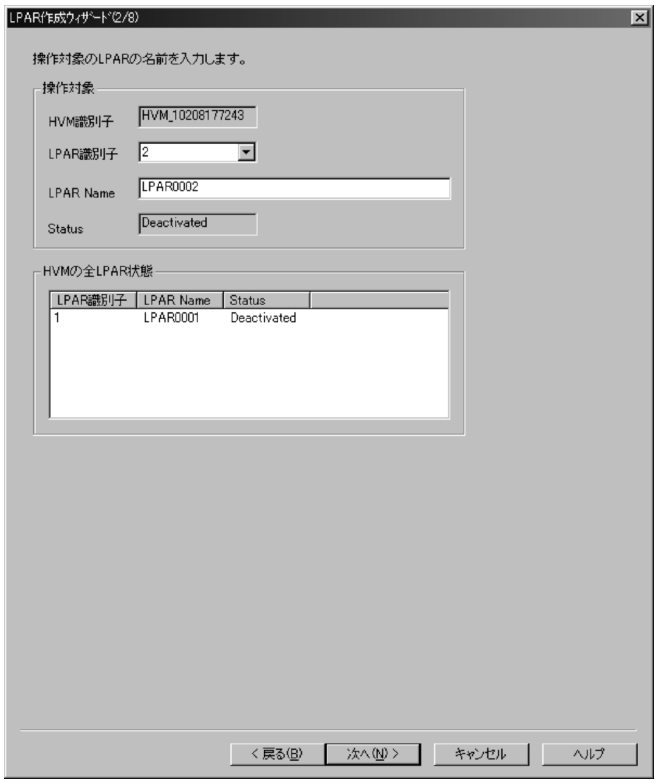
［次へ］ボタンをクリックして，各項目を設定します。

1.19.7 ［LPAR 作成ウィザード］（操作対象画面）

作成する LPAR の LPAR 識別子および LPAR 名を設定します。

注意

このダイアログボックスで LPAR 識別子および LPAR 名を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
操作対象	－	作成する LPAR の LPAR 識別子および LPAR 名を設定します。 ［HVM の全 LPAR 状態］の内容を確認して，LPAR 識別子および LPAR 名が重複しないようにしてください。
	HVM 識別子	操作対象の HVM 識別子が表示されます。
	LPAR 識別子	作成する LPAR の LPAR 識別子を選択します。デフォルトでは，選択した HVM 上で未作成状態の LPAR の LPAR 識別子の中で最小の値が表示されます。

項目		内容
	LPAR Name	LPAR 名を設定します。先頭が a ～ z または A ～ Z で始まる 1 ～ 31 バイトの半角文字列で設定します。指定できる文字は次のとおりです。0 ～ 9，a ～ z，A ～ Z，-，_
	Status	「Deactivated」が表示されます。
HVM の全 LPAR 状態	－	HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
	Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明

（凡例）

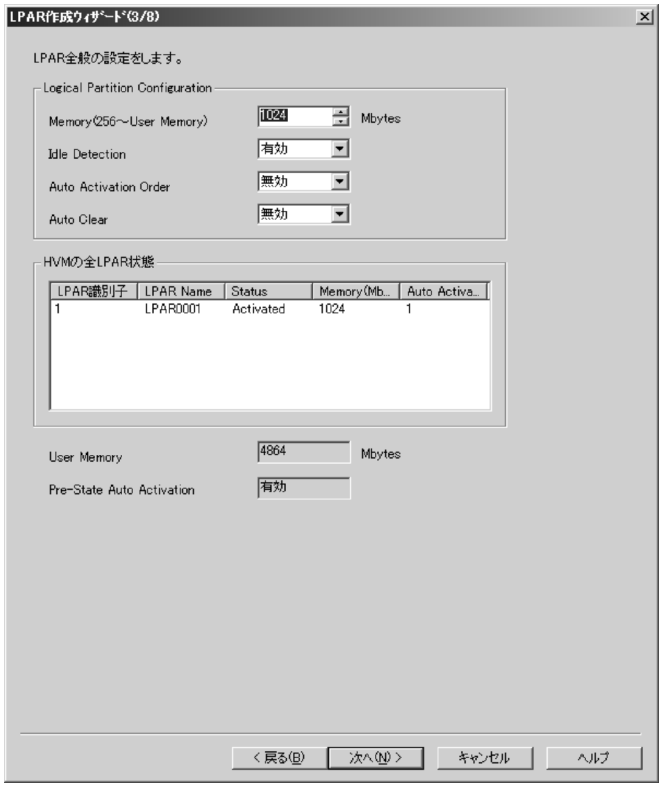
－：該当しません。

1.19.8 ［LPAR 作成ウィザード］（Logical Partition Configuration 画面）

LPAR の動作環境を設定します。

注意

このダイアログボックスで LPAR の動作環境を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
Logical Partition Configuration	—	Logical Partition Configuration の情報を設定します。
	Memory	作成する LPAR に割り当てるメモリの量（メガバイト単位）を 256 の倍数で設定します。256 ～［User Memory］に表示されているメモリ量の範囲で設定します。デフォルトは 1,024 メガバイトです。

項目		内容
	Idle Detection	論理プロセッサのアイドル検出機能の設定をします。アイドル検出機能を有効にする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。無効にする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。デフォルトは［有効］です。
	Auto Activation Order	HVM 起動時，LPAR を自動的に Activate するかどうかを設定します。LPAR を自動的に Activate する場合，ドロップダウンリストから Activate する順番を選択します。LPAR を自動的に Activate しない場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。デフォルトは［無効］です。
	Auto Clear	LPAR の論理 SEL を自動的にクリアするかどうかを設定します。論理 SEL を自動的にクリアする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。無効にする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。デフォルトは［無効］です。
HVM の全 LPAR 状態	－	HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
	Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
	Memory	LPAR に割り当てられているメモリの量（メガバイト単位）が表示されます。
	Auto Activation Order	Auto Activation Order の設定が表示されます。 • 1 ～ 99：LPAR が自動的に Activate される順番 • 無効：LPAR は自動的に Activate されない
User Memory		LPAR に割り当てられるメモリの総量がメガバイト単位で表示されます。LPAR に割り当てられるメモリの総量は，サーバモジュールに搭載されているメモリ容量から HVM が使用するメモリ容量を引いた値となります。
Pre-State Auto Activation		HVM システムをシャットダウンしないで HVM を再起動した場合，LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させるかどうかの設定が表示されます。

（凡例）

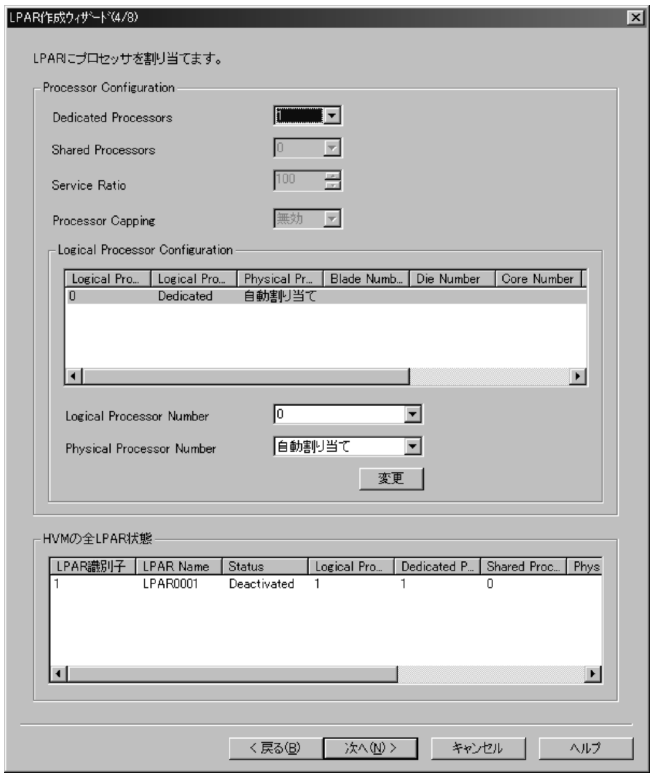
－：該当しません。

1.19.9 ［LPAR 作成ウィザード］（Processor Configuration 画面）

LPAR に対する論理プロセッサの割り当てを設定します。

注意

このダイアログボックスで LPAR に対する論理プロセッサの割り当てを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
Processor Configuration	—	Processor Configuration の情報を設定します。
	Dedicated Processors ※1	作成する LPAR に割り当てる占有モードの論理プロセッサの数を整数で指定します。デフォルトは 1 です。 ［Shared Processors］の指定が 0 の場合だけ設定できます。

項目			内容
	Shared Processors ※1		作成する LPAR に割り当てる共有モードの論理プロセッサの数を整数で指定します。デフォルトは 0 です。 ［Dedicated Processors］の指定が 0 の場合だけ設定できます。
	Service Ratio		LPAR に割り当てる論理プロセッサが共有モードの場合，LPAR が物理プロセッサを使用する時間の相対的な配分を 1 ～ 999 の整数で指定します。デフォルトは 100 です。 ［Shared Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	Processor Capping		LPAR に割り当てる論理プロセッサが共有モードの場合，プロセッサキャッピング機能を使用するかどうかを選択します。有効にする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。無効にする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。デフォルトは［無効］です。 ［Shared Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	Logical Processor Configuration	－	Logical Partition Configuration の情報が表示されます。
		Logical Processor Number	論理プロセッサ番号が表示されます。 論理プロセッサの個数は，［Dedicated Processors］または［Shared Processors］で指定した数になります。
		Logical Processor Scheduling Mode	論理プロセッサに割り当てられたスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード
		Physical Processor Number	論理プロセッサに割り当てられている物理プロセッサの番号が表示されます。自動的に割り当てることを設定している場合，「自動割り当て」と表示されます。
		Blade Number ※2	物理プロセッサが搭載されているサーバモジュール番号が表示されます。
		Die Number ※2	サーバモジュール内のダイ番号が表示されます。
		Core Number ※2	ダイ内のコア番号が表示されます。
		Thread Number ※2	スレッド番号が表示されます。

項目			内容
		Physical Processor Status ※2	物理プロセッサのステータスが表示されます。 • RUN：物理プロセッサが正常に稼働している • FAIL：物理プロセッサは回復できない障害のため使用できない状態である • ERROR：物理プロセッサはタイムアウト障害のため使用できない状態である • Undefined：未定義 • Unknown：不明
		Physical Processor Scheduling Mode ※2	物理プロセッサに割り当てられたスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Logical Processor Number ※3		LPAR に割り当てる論理プロセッサが占有モードの場合，割り当てる論理プロセッサの番号を選択します。［Logical Processor Configuration］に情報が表示されている場合，デフォルトは 0 です。［Dedicated Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	Physical Processor Number ※3		LPAR に割り当てる論理プロセッサが占有モードの場合，［Logical Processor Number］で指定した論理プロセッサに割り当てる物理プロセッサの番号を選択します。 自動割り当てをする場合は［自動割り当て］を選択します。デフォルトは［自動割り当て］です。［Dedicated Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	変更		［Logical Processor Number］または［Physical Processor Number］を変更した場合，このボタンをクリックします。［Logical Processor Configuration］の内容が変更されます。
HVM の全 LPAR 状態	－		HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子		LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name		LPAR 名が表示されます。
	Status		LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
	Logical Processors		LPAR に割り当てられた論理プロセッサの数が表示されます。
	Dedicated Processors		LPAR に割り当てられた占有プロセッサの数が表示されます。

項目		内容
	Shared Processors	LPAR に割り当てられた共有プロセッサの数が表示されます。
	Physical Processor Number n （n は Physical Processor の数）	LPAR に対する物理プロセッサの割り当て状態が表示されます。この項目は物理プロセッサの数だけ表示されます。 • 割り当て状態：物理プロセッサが割り当てられている • 空白：物理プロセッサが割り当てられていない

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

この項目を変更すると，［Logical Processor Configuration］の内容が初期化されます。

注※ 2

［Physical Processor Number］が「自動割り当て」の場合，空白が表示されます。

注※ 3

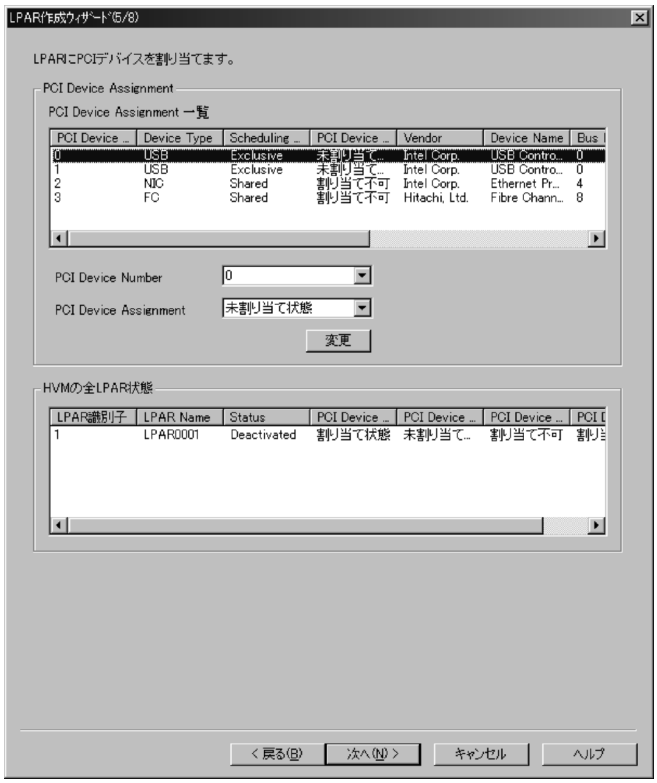
この項目は，［Logical Processor Configuration］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

1.19.10 ［LPAR 作成ウィザード］（PCI Device Assignment 画面）

LPAR に対する PCI デバイスの割り当てを設定します。

注意

このダイアログボックスで LPAR に対する PCI デバイスの割り当てを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI Device Assignment の情報が一覧で表示されます。
	PCI Device Number	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。

項目		内容
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	PCI Device Assignment	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。
PCI Device Number ※		作成する LPAR に割り当てる PCI デバイスの番号を指定します。［PCI Device Assignment 一覧］に情報が表示されている場合，デフォルトは 0 です。

項目		内容
PCI Device Assignment ※		作成する LPAR に対する PCI デバイスの割り当て状態を選択します。PCI デバイスを LPAR に割り当てる場合，ドロップダウンリストから［割り当て状態］を選択します。PCI デバイスを LPAR に割り当てない場合，ドロップダウンリストから［未割り当て状態］を選択します。デフォルトは［PCI Device Number］で選択されている PCI Device Assignment の［PCI Device Assignment］の値です。 情報取得時の設定内容が［割り当て状態］または［未割り当て状態］の場合に設定を変更できます。
変更		［PCI Device Number］および［PCI Device Assignment］を指定して，このボタンをクリックします。［PCI Device Assignment 一覧］の内容が変更されます。
HVM の全 LPAR 状態	－	HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
	Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
	PCI Device Number n（n は PCI Device の数）	LPAR に対する PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。この項目は PCI デバイスの数だけ表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明

（凡例）

－：該当しません。

注※

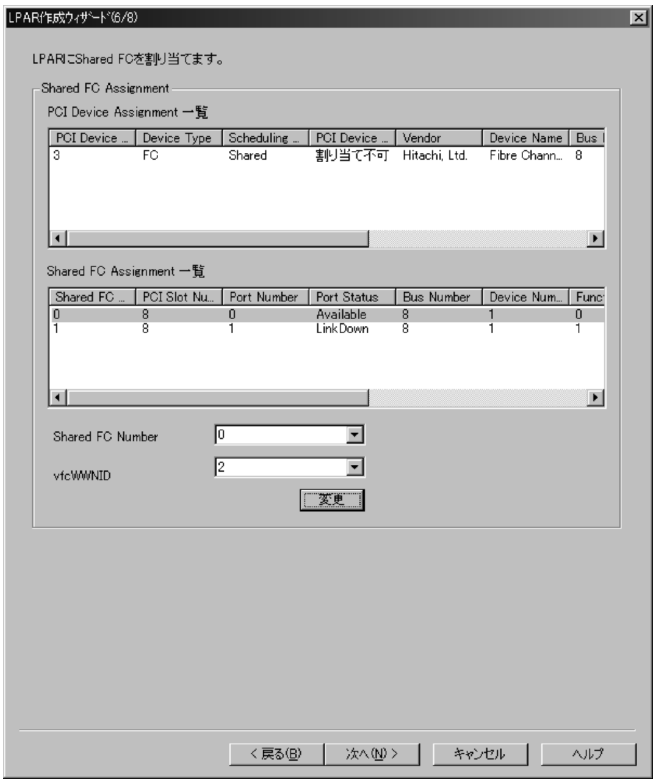
この項目は，［PCI Device Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

1.19.11 ［LPAR 作成ウィザード］（Shared FC Assignment 画面）

LPAR に対する共有 FC の割り当てを設定します。

注意

このダイアログボックスで LPAR に対する共有 FC の割り当てを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI Device Assignment の情報が一覧で表示されます。
	PCI Device Number	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	PCI Device Assignment	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。

項目		内容
Shared FC Assignment 一覧	—	Shared FC Assignment の情報が一覧で表示されます。
	Shared FC Number	HVM から識別するために各 FC に付けられた番号が表示されます。
	PCI Slot Number	PCI スロット番号が表示されます。
	Port Number	ポート番号が表示されます。
	Port Status	ポートの状態が表示されます。 • Available：正常で使用できる状態 • LinkDown：ケーブルが接続されていないため使用できない状態 • ConfigCheck：構成上の問題で使用できない状態 • ErrorCheck：回復できない障害状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Shared：共有モード
	vfcWWNID	設定されている vfcWWN-ID が表示されます。 • 数値：割り当てられた vfcWWN-ID • 未割り当て状態：vfcWWN-ID を割り当てていない状態
	WWPN	FC の WWPN が表示されます。
	WWNN	FC の WWNN が表示されます。
Shared FC Number ※		作成する LPAR に割り当てる共有 FC の番号を選択します。［Shared FC Assignment 一覧］に情報が表示されている場合，デフォルトは 0 です。
vfcWWNID ※		［Shared FC Number］で選択した共有 FC に割り当てる vfcWWN-ID を選択します。共有 FC を割り当てない場合は［未割り当て状態］を選択します。デフォルトは［Shared FC Number］で選択されている Shared FC Assignment の［vfcWWNID］の値です。
変更		［Shared FC Number］および［vfcWWNID］を指定して，このボタンをクリックします。［Shared FC Assignment 一覧］の内容が変更されます。

（凡例）

—：該当しません。

注※

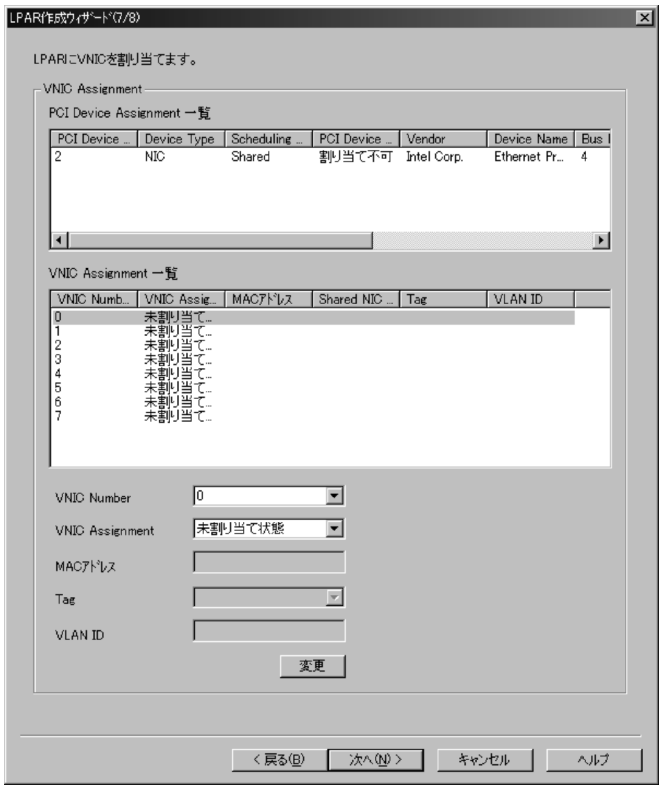
この項目は，［Shared FC Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

1.19.12 ［LPAR 作成ウィザード］（VNIC Assignment 画面）

LPAR に対する仮想 NIC の割り当てを設定します。

注意

このダイアログボックスで LPAR に対する仮想 NIC の割り当てを設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI Device Assignment の情報が一覧で表示されます。
	PCI Device Number	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。

項目		内容
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	PCI Device Assignment	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。
VNIC Assignment 一覧	—	VNIC Assignment の情報が一覧で表示されます。
	VNIC Number	仮想 NIC 番号が表示されます。

項目		内容
	VNIC Assignment	各 LPAR に対する仮想 NIC の割り当て状態がネットワークセグメントの識別子で表示されます。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント • 未割り当て状態：仮想 NIC が割り当てられていない
	MAC アドレス※1	LPAR の MAC アドレスが表示されます。指定した MAC アドレスまたは［Default］が表示されます。
	Shared NIC Number※1	共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が 1 ～ 6 の数値で表示されます。 LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメントの場合， 「VNIC」が表示されます。
	Tag※1	仮想 NIC の VLAN モードが表示されます。 • Tagged：Tagged ポートに定義されている • Untagged：Untagged ポートに定義されている • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	VLAN ID※1	LPAR に割り当てられている VLAN の ID が 1 ～ 4094 の数値で表示されます。複数定義がある場合，コンマで区切って表示されます。 すべての VLAN が割り当てられている場合，「ALL」が表示されます。 VLAN が割り当てられていない場合，空白が表示されます。
VNIC Number※2		LPAR への仮想 NIC の割り当てを変更する仮想 NIC の番号を選択します。デフォルトは 0 です。
VNIC Assignment※2		［VNIC Number］で選択した仮想 NIC に対する割り当て状態をネットワークセグメントの識別子で選択します。デフォルトは［未割り当て状態］です。同一 LPAR に対して同じネットワークセグメントは一つだけ割り当てできます。 HVM の仕様によって，同一の物理 NIC のネットワークセグメントをすべて割り当てる必要がある場合があります。詳細については，マニュアル「BladeSymphony ユーザーズガイド」を参照してください。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント • 未割り当て状態：仮想 NIC が割り当てられていない この項目の設定を変更すると，［MAC アドレス］，［Tag］，［VLAN ID］の設定が初期化されます。未割り当て状態の場合，［MAC アドレス］～［VLAN ID］は設定できません。

項目	内容
MAC アドレス※2※3	仮想 NIC の MAC アドレスを指定します。xx.xx.xx.xx.xx.xx の形式で指定します。MAC アドレスは「00.00.00.00.00.00」～「FF.FF.FF.FF.FF.FF」の範囲で指定します。また，自動的に割り当てられる MAC アドレスを使用する場合は，「Default」と指定します。 HVM の仕様によって，自動的に割り当てられる MAC アドレスの範囲内の値は設定できない場合があります。詳細については，マニュアル「BladeSymphony ユーザーズガイド」を参照してください。
Tag※2	仮想 NIC の VLAN モードを選択します。この項目の設定を変更すると，［VLAN ID］の設定が初期化されます。 • Tagged：仮想 NIC の VLAN モードが Tagged の場合 • Untagged：仮想 NIC の VLAN モードが Untagged の場合 • Undefined：仮想 NIC の VLAN モードが未定義の場合 Undefined に設定する場合，VLAN ID は設定できなくなります。
VLAN ID※2	［Tag］が「Tagged」または「Untagged」の場合，仮想 NIC に割り当てる VLAN の VLAN ID を指定します。1 ～ 4094 の整数で指定します。 ［Tag］が「Tagged」の場合，複数の VLAN ID を半角のコンマで区切って指定できます。また，「ALL」と指定して，すべての VLAN ID を指定することもできます。「ALL」は半角大文字で指定してください。 ［Tag］が「Untagged」の場合，VLAN ID は 1 個だけ指定できます。
変更	［VNIC Number］，［VNIC Assignment］，［MAC アドレス］，［Tag］および［VLAN ID］を指定して，このボタンをクリックします。［VNIC Assignment 一覧］の内容が変更されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

［VNIC Assignment］が「未割り当て状態」の場合は空白が表示されます。

注※ 2

この項目は，［VNIC Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

注※ 3

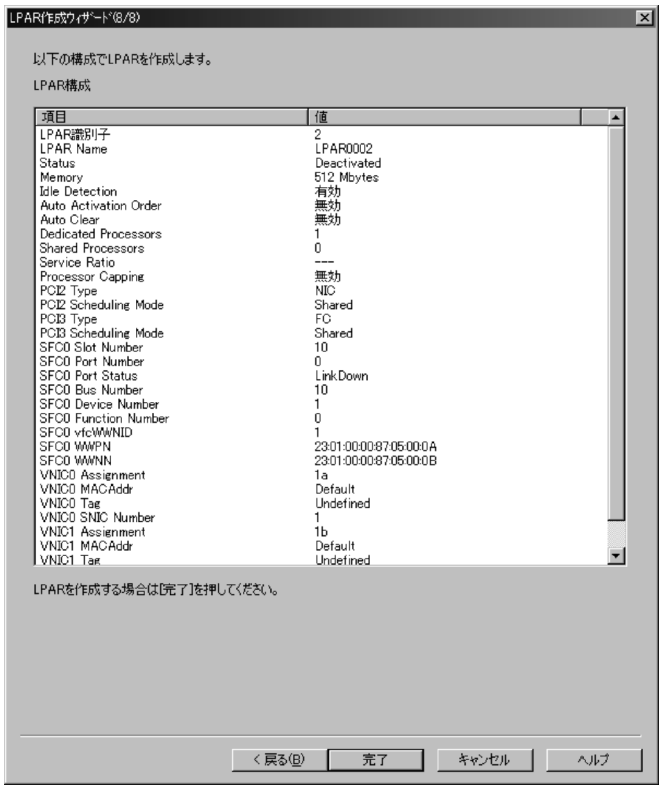
MAC アドレスに「Default」以外を指定した場合，［HVM 設定］ダイアログボックスで仮想 NIC システム番号を変更しても，仮想 NIC の MAC アドレスは自動的に変更されません。そのため，仮想 NIC の MAC アドレスには「Default」を指定し，その後も変更しないことをお勧めします。

1.19.13 ［LPAR 作成ウィザード］（最終確認画面）

設定した LPAR の内容を確認します。

注意

このダイアログボックスで設定した LPAR の内容を確認する場合は，アドミニストレータでログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

表示項目	意味
LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
Status	LPAR の状態が表示されます。 • Deactivated：電源 OFF 状態
Memory	LPAR に割り当てられたメモリ容量がメガバイト単位で表示されます。

表示項目	意味
Idle Detection	論理プロセッサの Idle 状態を検出する機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Auto Activation Order	HVM 起動時の LPAR の自動起動順序が 1 ～ 99 で表示されます。Auto Activation Order が設定されていない場合,「無効」が表示されます。
Auto Clear	論理 SEL の自動クリア機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
Dedicated Processors	LPAR に割り当てられた占有プロセッサの数が表示されます。
Shared Processors	LPAR に割り当てられた共有プロセッサの数が表示されます。
Service Ratio	LPAR 間の共有プロセッサの使用時間配分が表示されます。占有プロセッサの場合,「---」が表示されます。
Processor Capping	プロセッサキャッピング機能を使用できるかどうかが表示されます。 • 有効：使用できる • 無効：使用できない
LProc# ※ (# は Logical Processor 番号)	占有論理プロセッサに割り当てられた物理プロセッサ番号が表示されます。複数の場合はコンマで区切って表示されます。
PCI# Type ※ (# は PCI デバイス番号)	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
PCI# Scheduling Mode ※ (# は PCI デバイス番号)	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
SFC# Slot Number ※ (# は共有 FC 番号)	共有 FC が実装されている PCI スロット番号が表示されます。
SFC# Port Number ※ (# は共有 FC 番号)	ポート番号が表示されます。
SFC# Port Status ※ (# は共有 FC 番号)	ポートの状態が表示されます。 • Available：正常に使用できる状態 • LinkDown：ケーブルが接続されていないため使用できない状態 • ConfigCheck：構成上の問題のため使用できない状態 • ErrorCheck：回復できない障害のため使用できない状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明

表示項目	意味
SFC# Bus Number ※ （# は共有 FC 番号）	PCI バス番号が表示されます。
SFC# Device Number ※ （# は共有 FC 番号）	PCI デバイス番号が表示されます。
SFC# Function Number ※ （# は共有 FC 番号）	PCI ファンクション番号が表示されます。
SFC# vfcWWNID ※ （# は共有 FC 番号）	割り当て FC が共有モードの場合，設定されている vfcWWN-ID が表示されます。
SFC# WWPN ※ （# は共有 FC 番号）	共用 FC に割り当てられた WWPN が表示されます。
SFC# WWNN ※ （# は共有 FC 番号）	共用 FC に割り当てられた WWNN が表示されます。
VNIC# Assignment ※ （# は仮想 NIC 番号）	各 LPAR に対する仮想 NIC の割り当て状態がネットワークセグメントの識別子で表示されます。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント 数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント
VNIC# MACAddr ※ （# は仮想 NIC 番号）	仮想 NIC の MAC アドレスが表示されます。
VNIC# Tag ※ （# は仮想 NIC 番号）	仮想 NIC の VLAN モードが表示されます。 • Tagged：Tagged ポートに定義されている • Untagged：Untagged ポートに定義されている • Undefined：未定義 • Unknown：不明
VNIC# VLANID ※ （# は仮想 NIC 番号）	VLAN のタグモードが Tagged または Untagged の場合，LPAR に割り当てられている VLAN の ID が 1 ～ 4094 の数値で表示されます。複数定義がある場合，コンマで区切って表示されます。 すべての VLAN が割り当てられている場合，「ALL」が表示されます。
VNIC# SNIC Number ※ （# は仮想 NIC 番号）	共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が 1 ～ 6 の数値で表示されます。 LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメントの場合，「VNIC」が表示されます。

注※

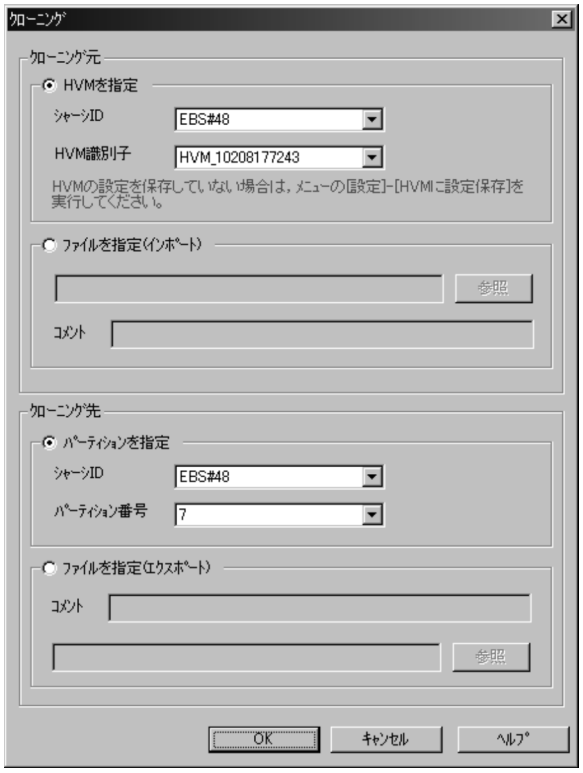
該当する設定が存在しない場合は表示されません。

1.19.14 ［クローニング］ダイアログボックス

クローニングを使用して HVM の設定および LPAR を作成します。

注意

- このダイアログボックスでクローニングを使用して HVM を設定，および LPAR を作成する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- クローニングをする前に，クローニング元の HVM の保存，およびクローニング先の物理パーティションの電源を OFF にしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目			内容
クローニング元	－		クローニング元の情報を設定します。
	HVM を指定	－	クローニング元の HVM を直接指定する場合，またはクローニング元の設定をエクスポートする場合は，このラジオボタンを ON にします。

項目			内容
		シャーシ ID	［HVM 構成管理］ウィンドウに表示されたシャーシ ID が表示されます。 ［HVM を指定］ラジオボタンを ON にした場合に，クローニング元の HVM が動作しているサーバシャーシのシャーシ ID を選択します。
		HVM 識別子	［シャーシ ID］で選択したシャーシに存在する HVM のうち，クローニング対象の条件に一致する HVM の HVM 識別子が表示されます。 ［HVM を指定］ラジオボタンを ON にした場合に，クローニング元の HVM の HVM 識別子を選択します。
	ファイルを指定（インポート）	―	エクスポートしたファイルをクローニング先にインポートする場合は，このラジオボタンを ON にします。
		参照	エクスポートしたファイルをクローニング先にインポートする場合は，このボタンをクリックして，インポートするファイル名を指定します。インポートしたファイルを作成した時に入力したコメントが，［コメント］に表示されます。
		コメント	［参照］ボタンをクリックしてインポートするファイル名を指定した場合は，インポートしたファイルを作成した時に入力したコメントが，［コメント］に表示されます。
クローニング先	―		クローニング先の情報を設定します。
	パーティションを指定	―	クローニングを使用して HVM を設定，および LPAR を作成する場合は，このラジオボタンを ON にします。
		シャーシ ID	［HVM 構成管理］ウィンドウに表示されたシャーシ ID が表示されます。 クローニング先の HVM を動作させるサーバシャーシのシャーシ ID を選択します。
		パーティション番号	［シャーシ ID］で選択したシャーシに存在するパーティションのうち，クローニング対象の条件に一致し，電源 OFF であるパーティションのパーティション番号が表示されます。クローニング元の HVM を直接指定する場合に，クローニング先の HVM を動作させるパーティション番号を選択します。
	ファイルを指定（エクスポート）	―	クローニング元の設定をエクスポートする場合は，このラジオボタンを ON にします。
		コメント	クローニング元の設定をエクスポートする場合は，エクスポートするファイルに対するコメントを任意で入力します。半角で 60 文字まで入力できます。
		参照	クローニング元の設定をエクスポートする場合は，このボタンをクリックして，エクスポート先のフォルダ名およびファイル名を指定します。設定ファイルは拡張子 .clhvm のファイルに保存されます。

（凡例）

―：該当しません。

1.19.15 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［操作対象］タブ）

LPAR 構成の LPAR 名を変更します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR 構成を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
操作対象	―	変更対象となる LPAR の LPAR 識別子および LPAR 名を設定します。 ［HVM の全 LPAR 状態］の内容を確認して，LPAR 識別子および LPAR 名が重複しないようにしてください。
	HVM 識別子	操作対象の HVM 識別子が表示されます。

項目		内容
	LPAR 識別子	変更する LPAR の LPAR 識別子を選択します。
	LPAR Name	LPAR 名を設定します。先頭が a ～ z または A ～ Z で始まる，1 ～ 31 バイトの半角文字列で設定します。指定できる文字は次のとおりです。 0 ～ 9，a ～ z，A ～ Z，-，_
	Status	「Deactivated」が表示されます。
HVM の全 LPAR 状態	－	HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
	Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明

（凡例）

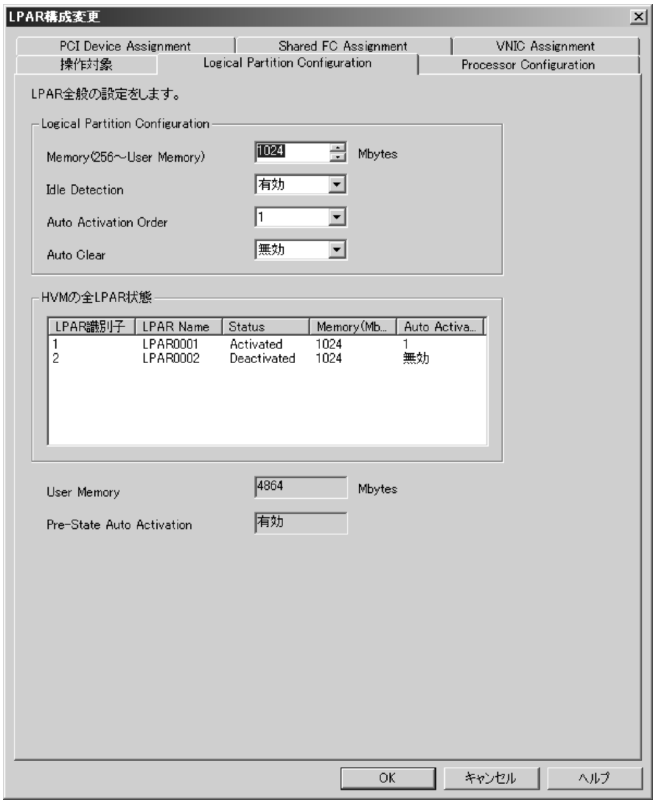
－：該当しません。

1.19.16 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［Logical Partition Configuration］タブ）

LPAR 構成の動作環境を変更します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR 構成を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
Logical Partition Configuration	—	Logical Partition Configuration の情報を設定します。
	Memory	設定を変更する LPAR に割り当てるメモリの量（メガバイト単位）を 256 の倍数で指定します。256 ～［User Memory］に表示されているメモリ量の範囲で設定します。

項目		内容
	Idle Detection	論理プロセッサのアイドル検出機能の設定をします。アイドル検出機能を有効にする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。無効にする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。
	Auto Activation Order	HVM 起動時，LPAR を自動的に Activate するかどうかを設定します。LPAR を自動的に Activate する場合，ドロップダウンリストから Activate する順番を選択します。LPAR を自動的に Activate しない場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。
	Auto Clear	LPAR の論理 SEL を自動的にクリアするかどうかを設定します。論理 SEL を自動的にクリアする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。無効にする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。
HVM の全 LPAR 状態	－	HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
	Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
	Memory	LPAR に割り当てられているメモリの量（メガバイト単位）が表示されます。
	Auto Activation Order	Auto Activation Order の設定が表示されます。 • 1 ～ 99：LPAR が自動的に Activate される順番 • 無効：LPAR は自動的に Activate されない
User Memory		LPAR に割り当てられるメモリの総量が表示されます。LPAR に割り当てられるメモリの総量は，サーバモジュールに搭載されているメモリ容量から HVM が使用するメモリ容量を引いた値となります。
Pre-State Auto Activation		HVM システムをシャットダウンしないで HVM を再起動した場合，LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させるかどうかの設定が表示されます。

（凡例）

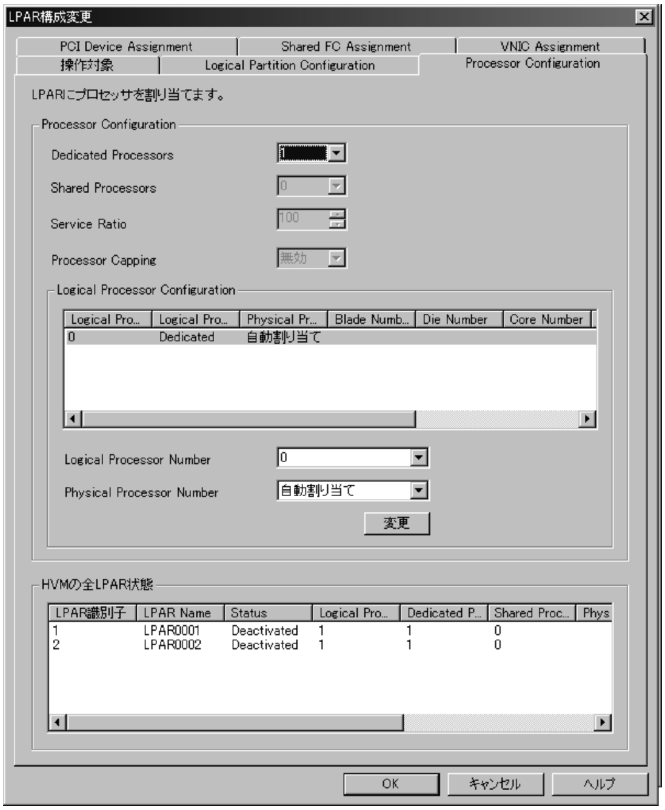
－：該当しません。

1.19.17 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（［Processor Configuration］タブ）

LPAR 構成の LPAR に対する論理プロセッサの割り当てを変更します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR 構成を変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
Processor Configuration	—	Processor Configuration の情報を変更します。
	Dedicated Processors ※1	LPAR に割り当てる占有モードの論理プロセッサの数を整数で指定します。 ［Shared Processors］の指定が 0 の場合だけ設定できます。

項目			内容
	Shared Processors ※1		LPAR に割り当てる共有モードの論理プロセッサの数を整数で指定します。 ［Dedicated Processors］の指定が 0 の場合だけ設定できます。
	Service Ratio		LPAR に割り当てる論理プロセッサが共有モードの場合，LPAR が物理プロセッサを使用する時間の相対的な配分を 1 ～ 999 の整数で指定します。 ［Shared Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	Processor Capping		LPAR に割り当てる論理プロセッサが共有モードの場合，プロセッサキャッピング機能を使用するかどうかを選択します。有効にする場合，ドロップダウンリストから［有効］を選択します。無効にする場合，ドロップダウンリストから［無効］を選択します。 ［Shared Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	Logical Processor Configuration	―	Logical Partition Configuration の情報が表示されます。
		Logical Processor Number	論理プロセッサ番号が表示されます。 論理プロセッサの個数は，［Dedicated Processors］または［Shared Processors］で指定した数になります。
		Logical Processor Scheduling Mode	論理プロセッサに割り当てられたスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード
		Physical Processor Number	論理プロセッサに割り当てられている物理プロセッサの番号が表示されます。自動的に割り当てることを設定している場合，「自動割り当て」と表示されます。
		Blade Number ※2	物理プロセッサが搭載されているサーバモジュール番号が表示されます。
		Die Number ※2	サーバモジュール内のダイ番号が表示されます。
		Core Number ※2	ダイ内のコア番号が表示されます。
		Thread Number ※2	スレッド番号が表示されます。

項目			内容
		Physical Processor Status ※2	物理プロセッサのステータスが表示されます。 • RUN：物理プロセッサが正常に稼働している • FAIL：物理プロセッサは回復できない障害のため使用できない状態である • ERROR：物理プロセッサはタイムアウト障害のため使用できない状態である • Undefined：未定義 • Unknown：不明
		Physical Processor Scheduling Mode ※2	物理プロセッサに割り当てられたスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Logical Processor Number ※2		LPAR に割り当てる論理プロセッサが占有モードの場合，割り当てる論理プロセッサの番号を選択します。 ［Dedicated Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	Physical Processor Number ※2		LPAR に割り当てる論理プロセッサが占有モードの場合，［Logical Processor Number］で指定した論理プロセッサに割り当てる物理プロセッサの番号を選択します。 自動割り当てをする場合は［自動割り当て］を選択します。 ［Dedicated Processors］の指定が 0 以外の場合だけ設定できます。
	変更		［Logical Processor Number］または［Physical Processor Number］を変更した場合，このボタンをクリックします。［Logical Processor Configuration］の内容が変更されます。
HVM の全 LPAR 状態	－		HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子		LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name		LPAR 名が表示されます。
	Status		LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
	Logical Processors		LPAR に割り当てられた論理プロセッサの数が表示されます。
	Dedicated Processors		LPAR に割り当てられた占有プロセッサの数が表示されます。

項目		内容
	Shared Processors	LPAR に割り当てられた共有プロセッサの数が表示されます。
	Physical Processor Number n （n は Physical Processor の数）	LPAR に対する物理プロセッサの割り当て状態が表示されます。この項目は物理プロセッサの数だけ表示されます。 • 割り当て状態：物理プロセッサが割り当てられている • 空白：物理プロセッサが割り当てられていない

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

この項目を変更すると，［Logical Processor Configuration］の内容が初期化されます。

注※ 2

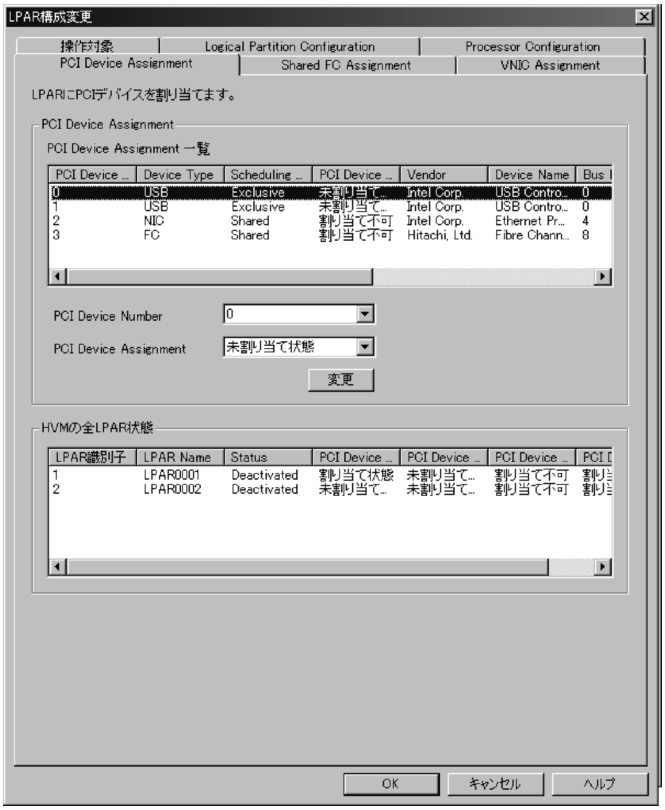
この項目は，［Logical Processor Configuration］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

1.19.18 [LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[PCI Device Assignment] タブ）

LPAR 構成の LPAR に対する PCI デバイスの割り当てを変更します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR 構成の LPAR に対する PCI デバイスの割り当てを変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI Device Assignment の情報が一覧で表示されます。
	PCI Device Number	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。

項目		内容
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	PCI Device Assignment	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。
PCI Device Number ※		設定を変更する LPAR に割り当てる PCI デバイスの番号を指定します。

項目		内容
PCI Device Assignment ※		設定を変更する LPAR に対する PCI デバイスの割り当て状態を選択します。PCI デバイスを LPAR に割り当てる場合，ドロップダウンリストから［割り当て状態］を選択します。PCI デバイスを LPAR に割り当てない場合，ドロップダウンリストから［未割り当て状態］を選択します。 情報取得時の設定内容が［割り当て状態］または［未割り当て状態］の場合に設定を変更できます。
変更		［PCI Device Number］および［PCI Device Assignment］を指定して，このボタンをクリックします。［PCI Device Assignment 一覧］の内容が変更されます。
HVM の全 LPAR 状態	－	HVM のすべての LPAR 状態についての情報が表示されます。
	LPAR 識別子	LPAR を識別する ID が表示されます。
	LPAR Name	LPAR 名が表示されます。
	Status	LPAR の状態が表示されます。 • Activated：電源 ON 状態 • Deactivated：電源 OFF 状態 • Failure：回復できない障害のため使用できない状態 • Unknown：不明
	PCI Device Number n（n は PCI Device の数）	LPAR に対する PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。この項目は PCI デバイスの数だけ表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明

（凡例）

－：該当しません。

注※

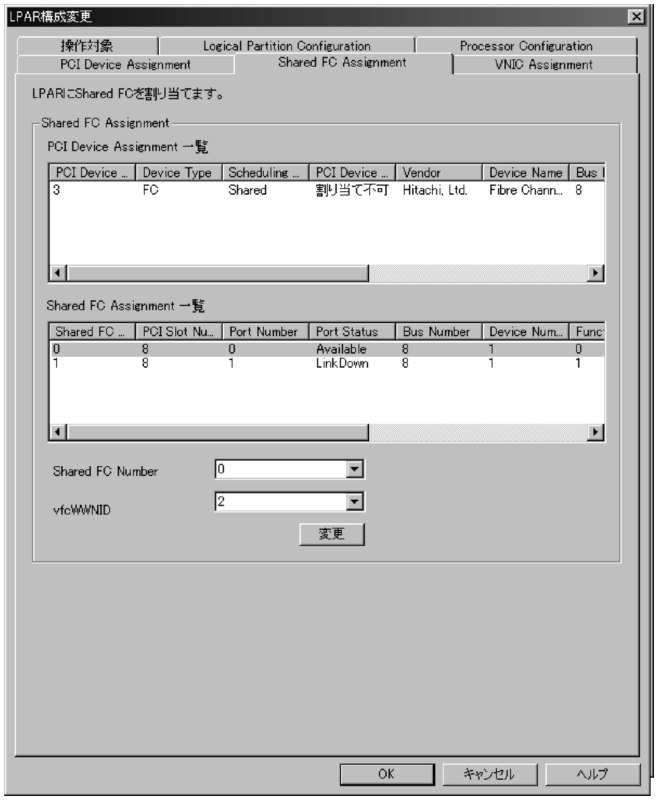
この項目は，［PCI Device Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

1.19.19 ［LPAR 構成変更］ダイアログボックス（[Shared FC Assignment］タブ）

LPAR 構成の LPAR に対する共有 FC の割り当てを変更します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR 構成の LPAR に対する共有 FC の割り当てを変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI Device Assignment の情報が一覧で表示されます。
	PCI Device Number	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。

項目		内容
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	PCI Device Assignment	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。
Shared FC Assignment 一覧	－	Shared FC Assignment の情報が一覧で表示されます。
	Shared FC Number	HVM から識別するために各 FC に付けられた番号が表示されます。
	PCI Slot Number	PCI スロット番号が表示されます。
	Port Number	ポート番号が表示されます。

項目		内容
	Port Status	ポートの状態が表示されます。 • Available：正常で使用できる状態 • LinkDown：ケーブルが接続されていないため使用できない状態 • ConfigCheck：構成上の問題で使用できない状態 • ErrorCheck：回復できない障害状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Shared：共有モード
	vfcWWNID	設定されている vfcWWN-ID が表示されます。 • 数値：割り当てられた vfcWWN-ID • 未割り当て状態：vfcWWN-ID を割り当てていない状態
	WWPN	FC の WWPN が表示されます。
	WWNN	FC の WWNN が表示されます。
Shared FC Number ※		設定を変更する LPAR に割り当てる共有 FC の番号を選択します。
vfcWWNID ※		［Shared FC Number］で選択した共有 FC に割り当てる vfcWWN-ID を選択します。共有 FC を割り当てない場合は［未割り当て状態］を選択します。
変更		［Shared FC Number］および［vfcWWNID］を指定して，このボタンをクリックします。［Shared FC Assignment 一覧］の内容が変更されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※

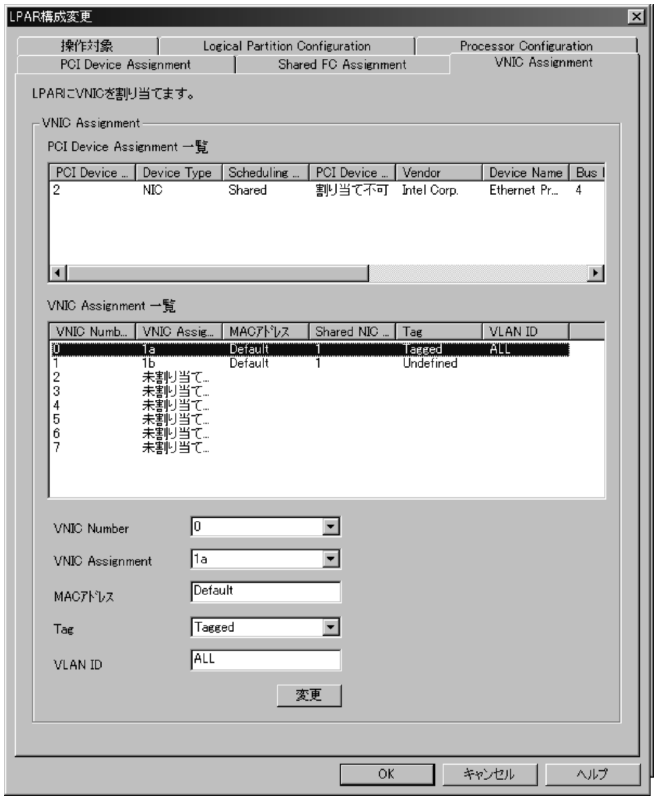
この項目は，［Shared FC Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

1.19.20 [LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[VNIC Assignment] タブ）

LPAR 構成の LPAR に対する仮想 NIC の割り当てを変更します。

注意

- このダイアログボックスで LPAR 構成の LPAR に対する仮想 NIC の割り当てを変更する場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから変更してください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
PCI Device Assignment 一覧	—	PCI Device Assignment の情報が一覧で表示されます。
	PCI Device Number	HVM から識別するために各 PCI デバイスに付けられた番号が表示されます。

項目		内容
	Device Type	PCI デバイスの種別が表示されます。 • Reserved：予約 • NIC：Network Interface Card • SCSI：SCSI Controller • FC：Fibre Channel • USB：USB Controller • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Scheduling Mode	PCI デバイスのスケジューリングモードが表示されます。 • Dedicated：占有モード • Shared：共有モード • Exclusive：排他共有機能 USB • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	PCI Device Assignment	各 LPAR に割り当てられた PCI デバイスの割り当て状態が表示されます。 • 割り当て状態：割り当て（未使用）状態 • 使用可能状態：割り当て（使用中）状態 • 割り当て不可：割り当てできない状態 • 未割り当て状態：未割り当て状態 • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	Vendor	PCI デバイスのベンダ名が表示されます。
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。
	Bus Number	PCI バス番号が表示されます。
	Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。
	Function Number	PCI ファンクション番号が表示されます。
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • G0 ～ G7：Gigabit Ether の場合（数字はサーバモジュール番号） • U0 ～ U7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ UK7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号） • Exy：拡張カードの場合（x：物理パーティション番号　y：拡張カードスロット番号） • 数値：PCI スロット番号
	Shared NIC Number	PCI デバイスが共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が表示されます。
VNIC Assignment 一覧	－	VNIC Assignment の情報が一覧で表示されます。
	VNIC Number	仮想 NIC 番号が表示されます。

項目		内容
	VNIC Assignment	各 LPAR に対する仮想 NIC の割り当て状態がネットワークセグメントの識別子で表示されます。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント • 未割り当て状態：仮想 NIC が割り当てられていない
	MAC アドレス※1	LPAR の MAC アドレスが表示されます。指定した MAC アドレスまたは［Default］が表示されます。
	Shared NIC Number※1	共有 NIC の場合，共有 NIC 番号が 1 ～ 6 の数値で表示されます。LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメントの場合，「VNIC」が表示されます。
	Tag※1	仮想 NIC の VLAN モードが表示されます。 • Tagged：Tagged ポートに定義されている • Untagged：Untagged ポートに定義されている • Undefined：未定義 • Unknown：不明
	VLAN ID※1	LPAR に割り当てられている VLAN の ID が 1 ～ 4094 の数値で表示されます。複数定義がある場合，コンマで区切って表示されます。 すべての VLAN が割り当てられている場合，「ALL」が表示されます。 VLAN が割り当てられていない場合，空白が表示されます。
VNIC Number※1		LPAR への仮想 NIC の割り当てを変更する仮想 NIC の番号を選択します。
VNIC Assignment※1		［VNIC Number］で選択した仮想 NIC に対する割り当て状態をネットワークセグメントの識別子で選択します。同一 LPAR に対して同じネットワークセグメントは一つだけ割り当てできます。 HVM の仕様によって，同一の物理 NIC のネットワークセグメントをすべて割り当てる必要がある場合があります。詳細については，マニュアル「BladeSymphony ユーザーズガイド」を参照してください。 • 1a ～ 6b：物理 NIC に関連づけられたネットワークセグメント数値部分は物理 NIC に割り当てられた共有 NIC 番号を示します。a または b は物理デバイスが A 系か B 系かを示します。 • Va ～ Vd：LPAR 間でだけ通信できるネットワークセグメント • 未割り当て状態：仮想 NIC が割り当てられていない この項目の設定を変更すると，［MAC アドレス］，［Tag］，［VLAN ID］の設定が初期化されます。未割り当て状態の場合，［MAC アドレス］～［VLAN ID］は設定できません。

項目	内容
MAC アドレス※1※2	仮想 NIC の MAC アドレスを指定します。xx.xx.xx.xx.xx.xx の形式で指定します。MAC アドレスは「00.00.00.00.00.00」～「FF.FF.FF.FF.FF.FF」の範囲で指定します。また，デフォルトの MAC アドレスを使用する場合は，「Default」と指定します。 HVM の仕様によって，自動的に割り当てられる MAC アドレスの範囲内の値は設定できない場合があります。詳細については，マニュアル「BladeSymphony ユーザーズガイド」を参照してください。
Tag※1	仮想 NIC の VLAN モードを選択します。この項目の設定を変更すると，［VLAN ID］の設定が初期化されます。 • Tagged：仮想 NIC の VLAN モードが Tagged の場合 • Untagged：仮想 NIC の VLAN モードが Untagged の場合 • Undefined：仮想 NIC の VLAN モードが未定義の場合 Undefined に設定する場合，VLAN ID は設定できなくなります。
VLAN ID※1	［Tag］が「Tagged」または「Untagged」の場合，仮想 NIC に割り当てる VLAN の VLAN ID を指定します。1 ～ 4094 の整数で指定します。 ［Tag］が「Tagged」の場合，複数の VLAN ID を半角のコンマで区切って指定できます。また，「ALL」と指定して，すべての VLAN ID を指定することもできます。「ALL」は半角大文字で指定してください。 ［Tag］が「Untagged」の場合，VLAN ID は 1 個だけ指定できます。
変更	［VNIC Number］，［VNIC Assignment］，［MAC アドレス］，［Tag］および［VLAN ID］を指定して，このボタンをクリックします。［VNIC Assignment 一覧］の内容が変更されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

この項目は，［VNIC Assignment 一覧］に表示されている項目を選択して設定することもできます。

注※ 2

MAC アドレスに「Default」以外を指定した場合，［HVM 設定］ダイアログボックスで仮想 NIC システム番号を変更しても，仮想 NIC の MAC アドレスは自動的に変更されません。そのため，仮想 NIC の MAC アドレスには「Default」を指定し，その後も変更しないことをお勧めします。

1.19.21 ［HVM 構成のバックアップ・リストア］ダイアログボックス

HVM 構成情報をファイルにバックアップします。また，バックアップしたファイルから HVM 構成情報をリストアします。

注意

- このダイアログボックスで HVM 構成のバックアップ・リストアをする場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM 構成情報をファイルにバックアップをする場合は，バックアップ元の HVM の設定を保存しておいてください。
- バックアップしたファイルから HVM 構成情報をリストアする場合は，リストア先のパーティションの電源を OFF にする，およびリストア先のハードウェア環境をバックアップ実行した時のハードウェア環境と同じにしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
バックアップ	―	HVM 構成情報をファイルにバックアップする場合は，このラジオボタンを ON にします。

項目			内容
	バックアップ対象の HVM 構成	―	バックアップ対象の HVM 構成を設定します。
		シャーシ ID	バックアップ対象の HVM が稼働しているサーバシャーシのシャーシ ID を選択します。 ［シャーシ ID］には［HVM 構成管理］ウィンドウに表示されたシャーシ ID が表示されます。選択したシャーシに存在する HVM のうち，次の条件に一致する HVM の HVM 識別子が表示されます。 • パーティションの OS モードが HVM に設定されている • サーバモジュールに HVM FW が割り当てられている • サーバモジュールが挿入されている • パーティションの状態が Configuration validate である
		HVM 識別子	バックアップ対象の HVM 識別子を選択します。
	コメント		バックアップファイルに対するコメントを任意で入力します。半角 60 文字まで入力できます。
	バックアップファイルの保存先		バックアップファイルの保存先を指定します。 バックアップファイルは拡張子 .bkhvm のファイルに保存されます。
	参照		バックアップファイルの保存先を指定する場合は，このボタンをクリックして，保存先のフォルダ名およびファイル名を指定します。
リストア	―		バックアップしたファイルから HVM 構成情報をリストアする場合は，このラジオボタンを ON にします。
	バックアップファイルの読み込み先		リストアするバックアップファイルの読み込み先を指定します。［参照ボタン］をクリックして読み込み先を指定します。
	参照		リストアするバックアップファイルの読み込み先を指定する場合は，このボタンをクリックします。読み込み先のフォルダ名およびファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。
	ファイル情報	―	［参照］ボタンをクリックして読み込み先のファイルを指定すると，バックアップファイルに記録されている HVM の構成情報が［ファイル情報］に表示されます。表示内容を次に示します。
		シャーシ ID	バックアップ対象の HVM が稼働していたサーバシャーシのシャーシ ID が表示されます。
		HVM 識別子	バックアップ対象の HVM 識別子が表示されます。
		HVM IP	バックアップ対象の HVM の IP アドレスが表示されます。
		パーティション番号	バックアップ対象の HVM が稼働していたパーティション番号が表示されます。

項目			内容
		サーバモジュールタイプ	バックアップ対象の HVM が稼働していたサーバモジュールのタイプが表示されます。 BS1000，BS320 の場合 • IPF Server Module：IPF モジュール • IA32 Server Module：IA32 モジュール BS2000 の場合 • Xeon Server Blade：Xeon サーバモジュール • Xeon-EX Server Blade：Xeon-EX サーバモジュール
		バックアップ日時	バックアップファイルを作成した日時が，[YYYY-MM-DD hh:mm:ss] の形式で表示されます。
		コメント	バックアップファイル作成時に入力したコメントが表示されます。

（凡例）

ー：該当しません。

1.19.22 ［USB 割り当て設定］ダイアログボックス

作成した LPAR と USB を対応づけます。また，対応づけの変更をします。LPAR と USB との対応づけとは，USB コントローラを LPAR に対して attach または detach することを示します。

注意

- このダイアログボックスで作成した LPAR と USB を対応づける場合は，アドミニストレータでログインしてください。
- HVM の電源状態が Active であることを確認してから設定してください。
- attach を実行する場合は，あらかじめ LPAR を Activate 状態にしておいてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
USB 接続一覧	－	USB デバイスの接続状態の一覧が表示されます。
	PCI Device Number	PCI デバイス番号が表示されます。

項目		内容
	Slot Number	スロット番号が表示されます。 • U0 ～ 7：USB の場合（数字はサーバモジュール番号） • UK0 ～ 7：KVM の場合（数字はサーバモジュール番号）
	Device Name	PCI デバイス名が表示されます。 • USB：USB Controller
	LPAR 識別子	PCI デバイスが attach 状態の LPAR の LPAR 識別子が表示されます。attach 状態の LPAR がない場合,「－」が表示されます。
接続先変更	－	LPAR を対応づける場合，または対応づけを変更する場合に，USB を対応づける LPAR 識別子を設定します。
	接続先解除	すでに USB に対して LPAR が対応づけられている場合，このラジオボタンを ON にして，接続先を解除します。
	接続先 LPAR 識別子	USB を対応づける LPAR 識別子のラジオボタンを ON にします。選択状態の USB デバイスが割り当て状態である LPAR に対応したラジオボタンだけ選択できます。

（凡例）

－：該当しません。

1.20 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウ

［一括設定 - スケジュール］ウィンドウは，グループ内のサーバに対して，電源制御スケジュールを一括で設定するウィンドウです。

注意

このウィンドウで電源制御スケジュールを一括で設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。参照だけをする場合は，サブアドミニストレータでログインしてください。

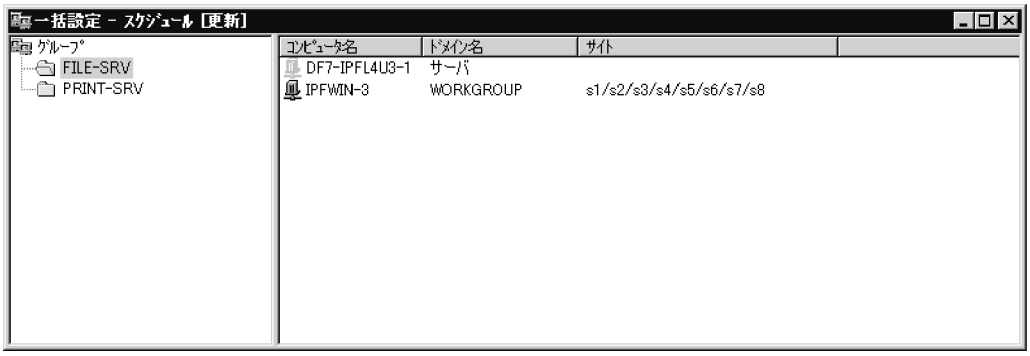
［一括設定 - スケジュール］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［グループ］メニューから［一括設定］を選択し，［スケジュール］を選択する**

［一括設定 - スケジュール］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-67 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウ



（左ペイン） （右ペイン）

［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，グループツリーが表示されます。［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したグループ情報が表示されます。表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
グループ	グループが表示されます。
コンピュータ名	OS で設定したコンピュータ名が表示されます。Linux サーバおよび HP-UX サーバの場合，ホスト名が表示されます。
ドメイン名	ドメイン名が表示されます。
サイト	サイト情報が表示されます。

1.20.1 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウのメニューコマンド一覧

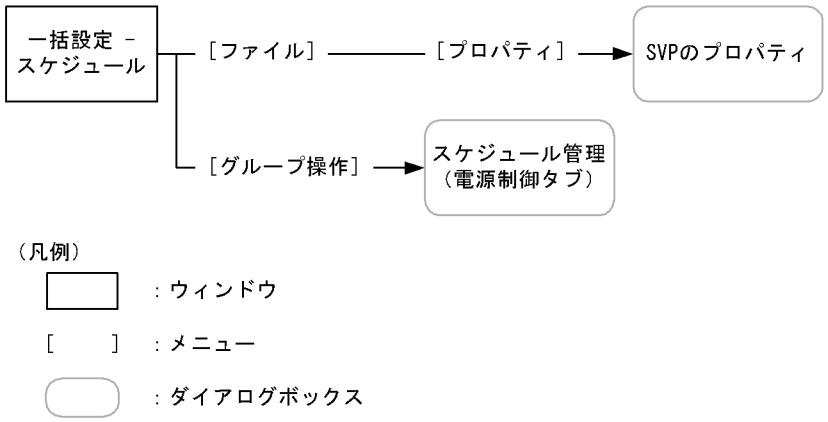
［一括設定 - スケジュール］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	保存	グルーピング情報を保存します。
	プロパティ	［SVP のプロパティ］ダイアログボックスを表示します。グループに設定したスケジュールを確認できます。
	閉じる	［一括設定 - スケジュール］ウィンドウを閉じます。
編集	新規グループ作成	グループツリーに新しいグループを作成します。
	切り取り	選択したグループを切り取ります。
	コピー	選択したグループをコピーします。
	貼り付け	切り取り，またはコピーしたグループを貼り付けます。
	グループから削除	選択したホストをグループから削除します。
	プロパティのコピー	選択したグループの電源制御スケジュールの設定内容をコピーします。
	プロパティの適用	コピーした電源制御スケジュールの設定内容をほかのグループにコピーします。
	名前の変更	グループの名前を変更します。
グループ操作	スケジュール	［スケジュール管理］ダイアログボックス（［電源制御］タブ）を表示します。選択したグループの電源スケジュールを設定できます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.20.2 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの遷移

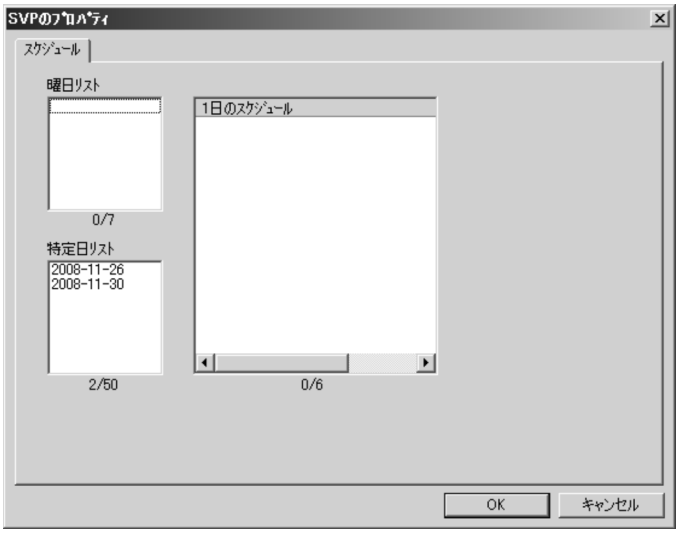
［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-68 ［一括設定 - スケジュール］ウィンドウの遷移



1.20.3 ［SVP のプロパティ］ダイアログボックス

グループに設定したスケジュールを確認します。



表示項目を次の表に示します。

表示項目	設定内容
曜日リスト	グループに設定したスケジュールの曜日のリストが表示されます。 また，リストボックスの下に，設定されている曜日スケジュールの数が表示されます。
特定日リスト	グループに設定したスケジュールの特定日のリストが表示されます。 また，リストボックスの下に，設定されている特定日スケジュールの数が表示されます。
1 日のスケジュール	グループに設定したスケジュールの 1 日のスケジュールのリストが表示されます。 また，リストボックスの下に，設定されている 1 日のスケジュールの数が表示されます。

1.20.4 ［スケジュール管理］ダイアログボックス（［電源制御］タブ）

［スケジュール管理］ダイアログボックス（［電源制御］タブ）については，「1.3.10 ［スケジュール管理］ダイアログボックス（［電源制御］タブ）」を参照してください。

1.21 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウ

［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウは，グループ内のサーバに対して，エージェントサービスの設定項目を一括で設定するウィンドウです。

注意

このウィンドウでエージェントサービスを一括で設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。参照だけをする場合は，サブアドミニストレータでログインしてください。

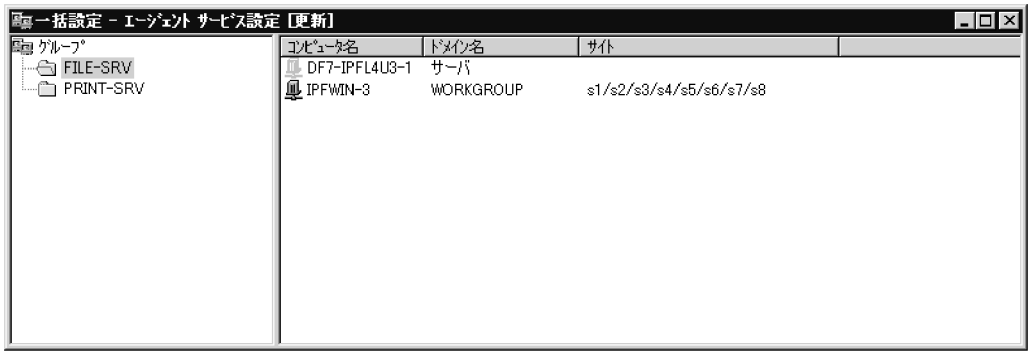
［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［グループ］メニューから［一括設定］を選択し，［エージェントサービス設定］を選択する**

［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-69 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，グループツリーが表示されます。［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したグループ情報が表示されます。表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
グループ	グループが表示されます。
コンピュータ名	OS で設定したコンピュータ名が表示されます。Linux サーバおよび HP-UX サーバの場合，ホスト名が表示されます。
ドメイン名	ドメイン名が表示されます。

表示項目	表示内容
サイト	サイト情報が表示されます。

1.21.1 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	保存	グルーピング情報を保存します。
	プロパティ	エージェントサービス設定の各タブのダイアログボックスを表示します。エージェントサービスの情報を参照できます※。
	閉じる	［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウを閉じます。
編集	新規グループ作成	グループツリーに新しいグループを作成します。
	切り取り	選択したグループを切り取ります。
	コピー	選択したグループをコピーします。
	貼り付け	切り取り，またはコピーしたグループを貼り付けます。
	グループから削除	選択したホストをグループから削除します。
	プロパティのコピー	選択したグループのエージェントサービスの設定内容をコピーします。
	プロパティの適用	コピーしたエージェントサービスの設定内容をほかのグループにコピーします。
	名前の変更	グループの名前を変更します。
グループ操作	エージェント設定	エージェントサービス設定の各タブのダイアログボックスを表示します。エージェントサービスの情報を設定できます。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

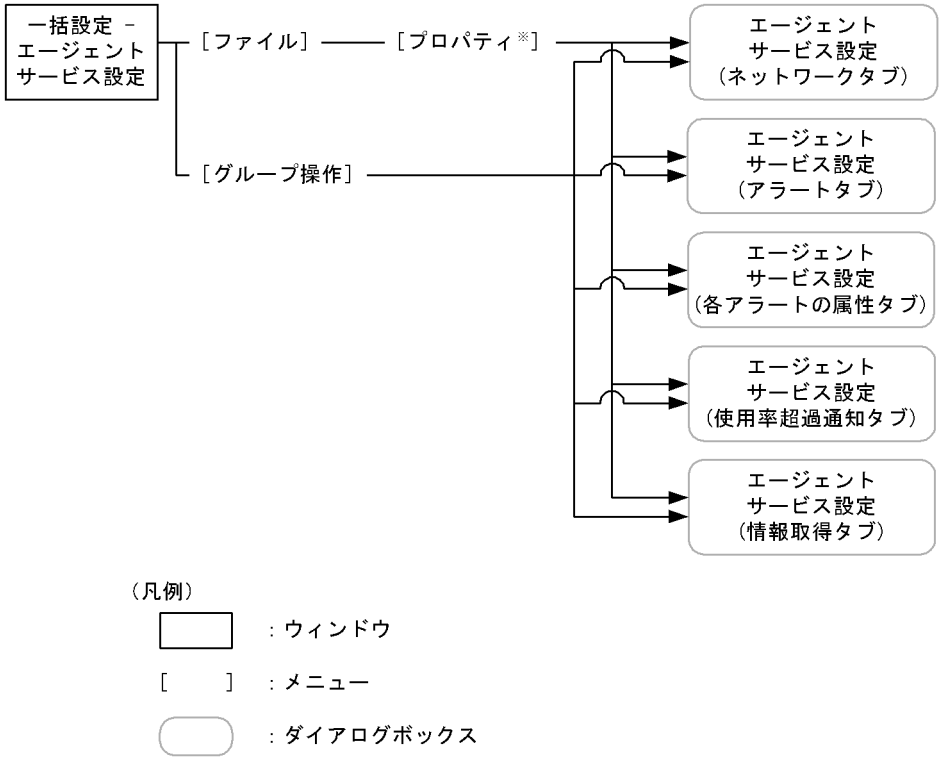
注※

各タブのダイアログボックスでは，参照だけできます。設定はできません。

1.21.2 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの遷移

［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-70 ［一括設定 - エージェントサービス設定］ウィンドウの遷移



注※
［プロパティ］から表示した各タブのダイアログボックスでは，参照だけできます。設定はできません。

1.21.3 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ）

［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ）については，「1.3.29 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［ネットワーク］タブ）」を参照してください。

1.21.4 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ）

［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ）については，

「1.3.30 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［アラート］タブ）」を参照してください。

1.21.5 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［各アラートの属性］タブ）

［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［各アラートの属性］タブ）については,「1.3.31 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［各アラートの属性］タブ）」を参照してください。

1.21.6 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［使用率超過通知］タブ）

［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［使用率超過通知］タブ）については,「1.3.32 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［使用率超過通知］タブ）」を参照してください。

1.21.7 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ）

［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ）については,「1.3.33 ［エージェントサービス設定］ダイアログボックス（［情報取得］タブ）」を参照してください。

1.22 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウ

［一括操作 - 電源制御］ウィンドウは，グループ内のホストおよびサーバシャーシに対して，電源 ON・OFF などを一括で操作するウィンドウです。

注意

このウィンドウで電源 ON・OFF などを一括で操作する場合は，アドミニストレータでログインしてください。参照だけをする場合は，サブアドミニストレータでログインしてください。

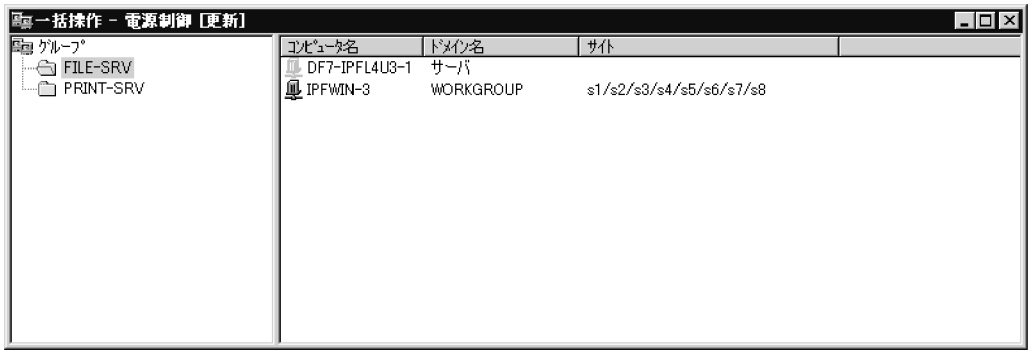
［一括操作 - 電源制御］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［グループ］メニューから［一括操作］を選択し，［電源制御］を選択する**

［一括操作 - 電源制御］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-71 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［一括操作 - 電源制御］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，グループツリーが表示されます。［一括操作 - 電源制御］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したグループ情報が表示されます。表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
グループ	グループが表示されます。
コンピュータ名	OS で設定したコンピュータ名が表示されます。Linux サーバおよび HP-UX サーバの場合，ホスト名が表示されます。
ドメイン名	ドメイン名が表示されます。
サイト	サイト情報が表示されます。

1.22.1 ［一括操作 - 電源制御］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［一括操作 - 電源制御］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	保存	グルーピング情報を保存します。
	閉じる	［一括操作 - 電源制御］ウィンドウを閉じます。
編集	新規グループ作成	グループツリーに新しいグループを作成します。
	切り取り	選択したグループを切り取ります。
	コピー	選択したグループをコピーします。
	貼り付け	切り取り，またはコピーしたグループを貼り付けます。
	グループから削除	選択したホストをグループから削除します。
	名前の変更	グループの名前を変更します。
グループ操作	電源 ON※	グループ内のサーバの電源を ON にします。
	電源 OFF	グループ内のサーバの電源を OFF にします。
	強制電源 OFF	グループ内のサーバの電源を強制的に OFF にします。
	リブート	グループ内のサーバをリブートします。
	シャットダウン	グループ内のサーバをシャットダウンします。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

注※

電源 ON 機能を備えた LAN アダプタを搭載した Windows サーバまたは Linux サーバの場合，［電源 ON］ができます。

1.23 ［ユーザ定義］ウィンドウ

［ユーザ定義］ウィンドウは，ユーザ定義情報を設定するウィンドウです。

注意

このウィンドウでユーザ定義情報を設定する場合は，アドミニストレータでログインしてください。参照だけをする場合は，サブアドミニストレータでログインしてください。

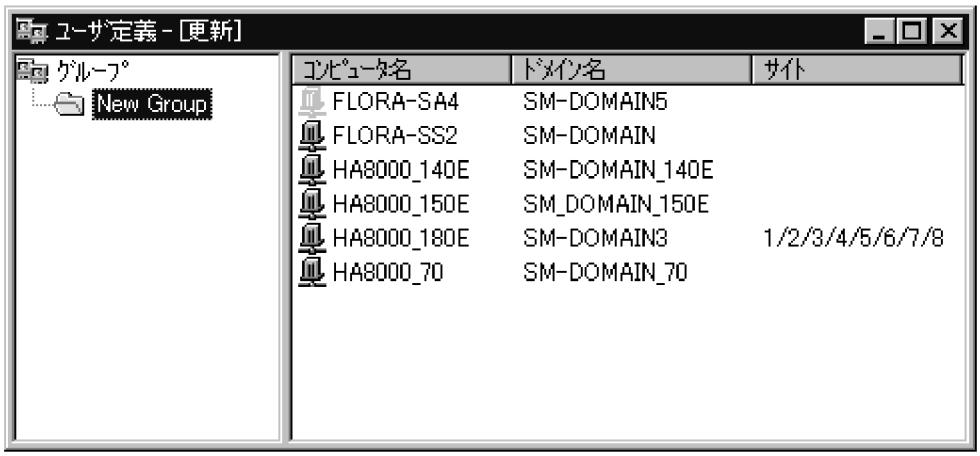
［ユーザ定義］ウィンドウを表示する手順を次に示します。

操作手順

1. **コンソールサービスを起動し，［ホスト管理］ウィンドウの［グループ］メニューから［ユーザ定義］を選択する**

［ユーザ定義］ウィンドウを次の図に示します。

図 1-72 ［ユーザ定義］ウィンドウ



（左ペイン）　　（右ペイン）

［ユーザ定義］ウィンドウの左側（左ペインと呼ぶ）には，グループツリーが表示されます。［ユーザ定義］ウィンドウの右側（右ペインと呼ぶ）には，左ペインで選択したグループ情報が表示されます。表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
グループ	グループが表示されます。
コンピュータ名	ホストのコンピュータ名が表示されます。
ドメイン名	ホストのドメイン名が表示されます。
サイト	ホストのサイト情報が表示されます。

1.23.1 ［ユーザ定義］ウィンドウのメニューコマンド一覧

［ユーザ定義］ウィンドウのメニューコマンド一覧を次の表に示します。

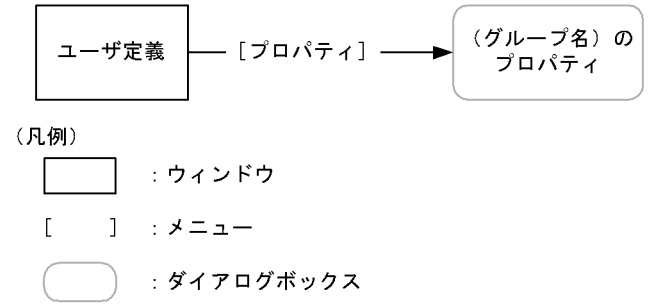
メニュー	メニューコマンド	機能
ファイル	保存	グルーピング情報を保存します。
	プロパティ	［(グループ名) のプロパティ］ダイアログボックスを表示します。選択したグループのホスト検索条件が表示されます。
	閉じる	［ユーザ定義］ウィンドウを閉じます。
ホスト管理	インベントリ	非活性となるため選択できません。
	BIOS ポストログ	非活性となるため選択できません。
	スケジュール	非活性となるため選択できません。
	SVP ログ	非活性となるため選択できません。
	MIF 情報	非活性となるため選択できません。
	クラスタ管理	非活性となるため選択できません。
	アラートログ	非活性となるため選択できません。
	図面表示	非活性となるため選択できません。
ホスト操作	接続	非活性となるため選択できません。
	電源 ON	非活性となるため選択できません。
	電源 OFF	非活性となるため選択できません。
	強制電源 OFF	非活性となるため選択できません。
	リブート	非活性となるため選択できません。
	シャットダウン	非活性となるため選択できません。
設定	エージェントサービス設定	非活性となるため選択できません。
編集	新規グループ作成	選択したグループツリーに新しいグループを作成します。
	切り取り	選択したグループを切り取ります。
	コピー	選択したグループをコピーします。
	貼り付け	切り取り，またはコピーしたグループを貼り付けます。
	グループから削除	選択したホストをグループから削除します。
	名前の変更	グループの名前を変更します。
グループ操作	スケジュール	非活性となるため選択できません。
	エージェントサービス設定	非活性となるため選択できません。
	インベントリ CSV 出力	非活性となるため選択できません。
	電源 ON	非活性となるため選択できません。

メニュー	メニューコマンド	機能
	電源 OFF	非活性となるため選択できません。
	強制電源 OFF	非活性となるため選択できません。
	リブート	非活性となるため選択できません。
表示	ツールバー	ツールバーを表示または非表示にします。
	ステータスバー	ステータスバーを表示または非表示にします。
	最新の情報に更新	最新の情報に更新します。
ウィンドウ	重ねて表示	表示されている複数のウィンドウを重ねて表示します。
	並べて表示	表示されている複数のウィンドウを並べて表示します。
	アイコンの整列	アイコンを整列させて表示します。
ヘルプ	トピックの検索	JP1/ServerConductor のヘルプを表示します。
	バージョン情報	JP1/ServerConductor のバージョン情報を表示します。

1.23.2 ［ユーザ定義］ウィンドウの遷移

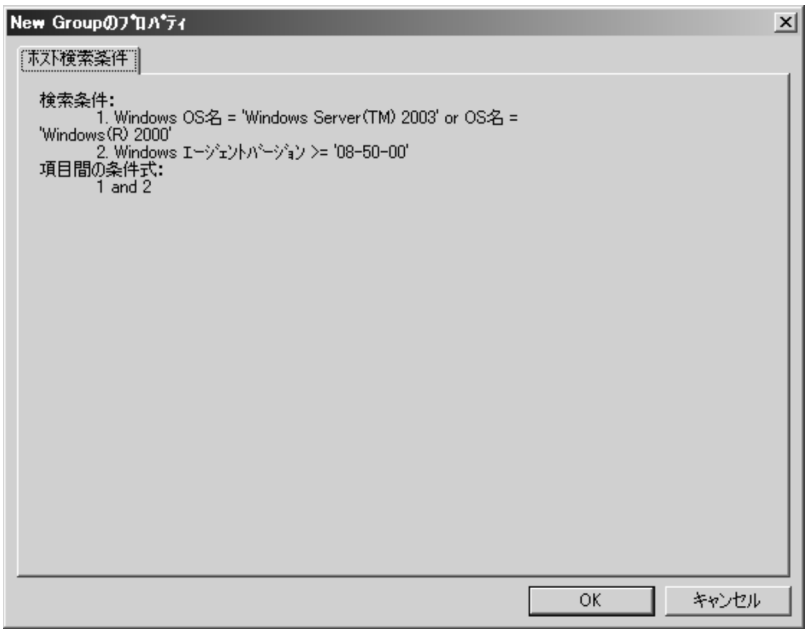
［ユーザ定義］ウィンドウの遷移を次の図に示します。

図 1-73 ［ユーザ定義］ウィンドウの遷移



1.23.3 ［(グループ名) のプロパティ］ダイアログボックス

グループの検索条件を参照します。



表示項目を次の表に示します。

表示項目	表示内容
検索条件	検索条件が表示されます。検索条件については，「1.3.13(1)　検索条件」を参照してください。
項目間の条件式	複数の検索条件がある場合，項目間の条件式が表示されます。

1.24 ［環境設定ユティリティ］画面

［環境設定ユティリティ］画面は，Windows 上で稼働する JP1/ServerConductor の各サービスの環境を設定または変更する画面です。

［環境設定ユティリティ］画面を表示する手順を次に示します。

操作手順

BSM **のコンソールサービスの場合**

1. Windows **にアドミニストレータ権限でログインする**
2. **［スタート］メニューから［プログラム］－［**ServerConductor**］－［**Blade Server Manager**］－［環境設定ユティリティ］を選択する**

Server Manager **のコンソールサービスの場合**

1. Windows **にアドミニストレータ権限でログインする**
2. **［スタート］メニューから［プログラム］－［**ServerConductor**］－［**Server Manager**］－［環境設定ユティリティ］を選択する**

［環境設定ユティリティ］画面を次の図に示します。

図 1-74 **［環境設定ユティリティ］画面**



表示されるタブは，インストールされているサービスによって異なります。

1.24.1 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移

［環境設定ユティリティ］画面の遷移を次の図に示します。

図 1-75 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［コンソールサービス］タブ）

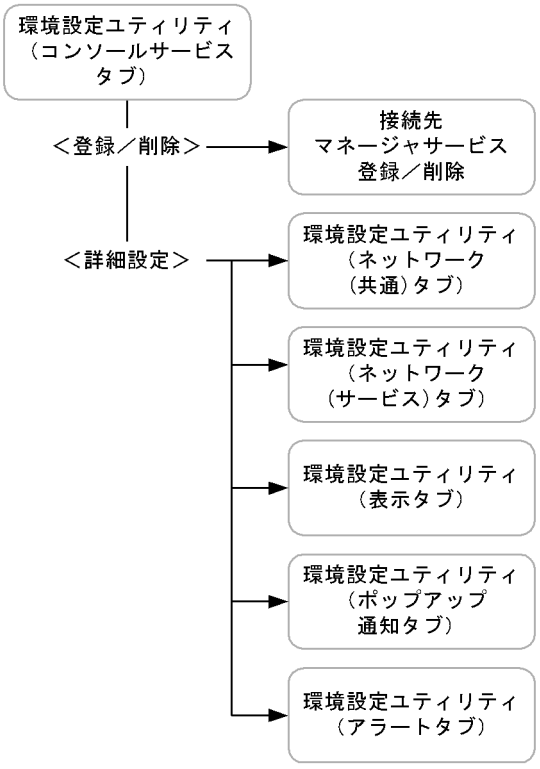


図 1-76 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［マネージャサービス］タブ）

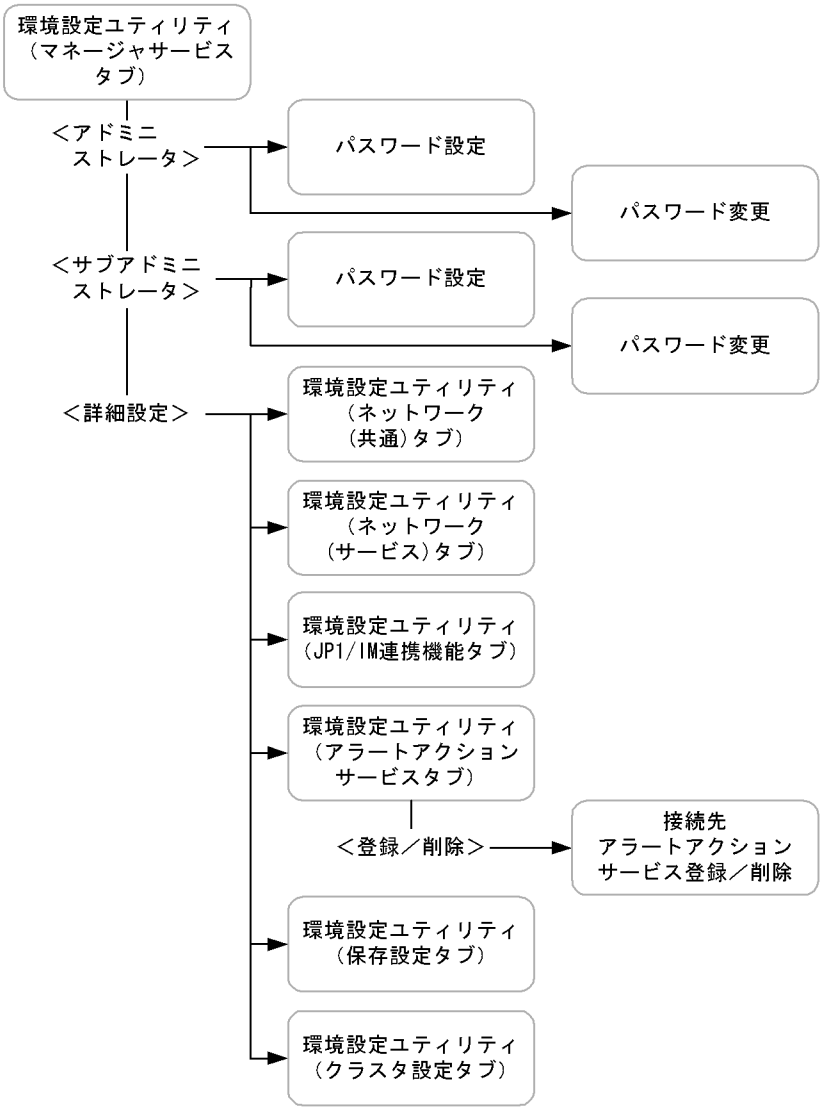
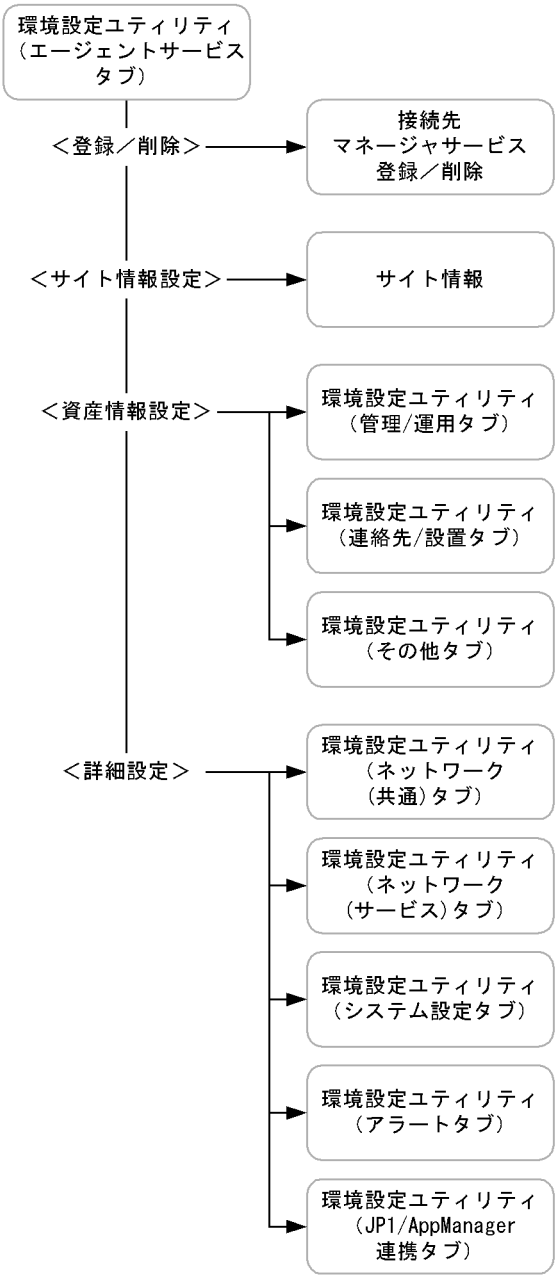


図 1-77 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（[エージェントサービス］タブ）



（凡例）

：ダイアログボックス

＜　＞　：ボタン

図 1-78 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［ローカルコンソール］タブ）

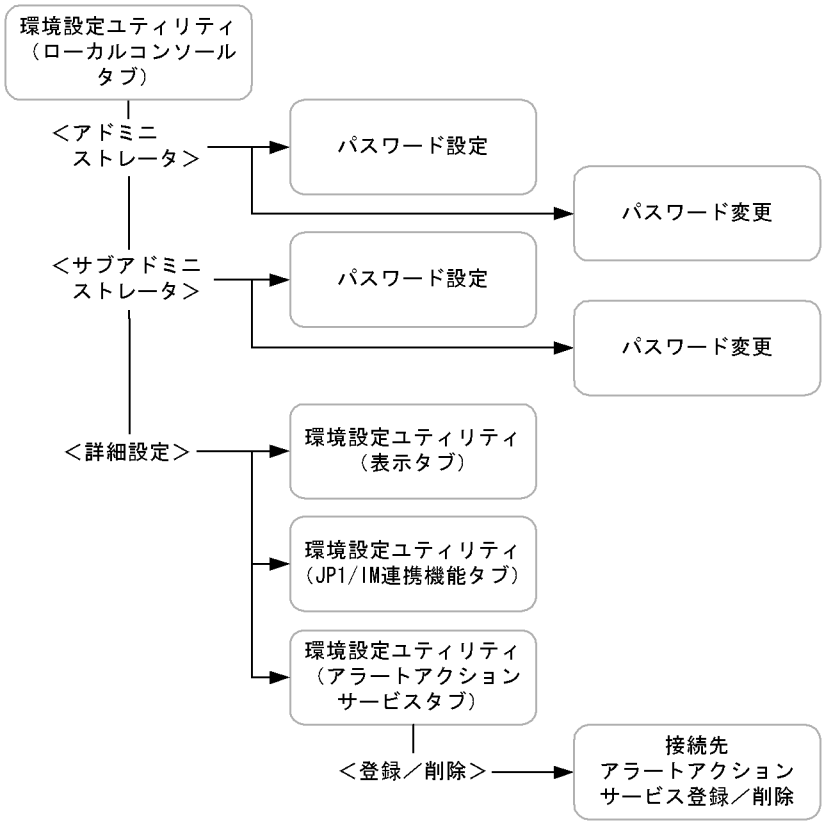
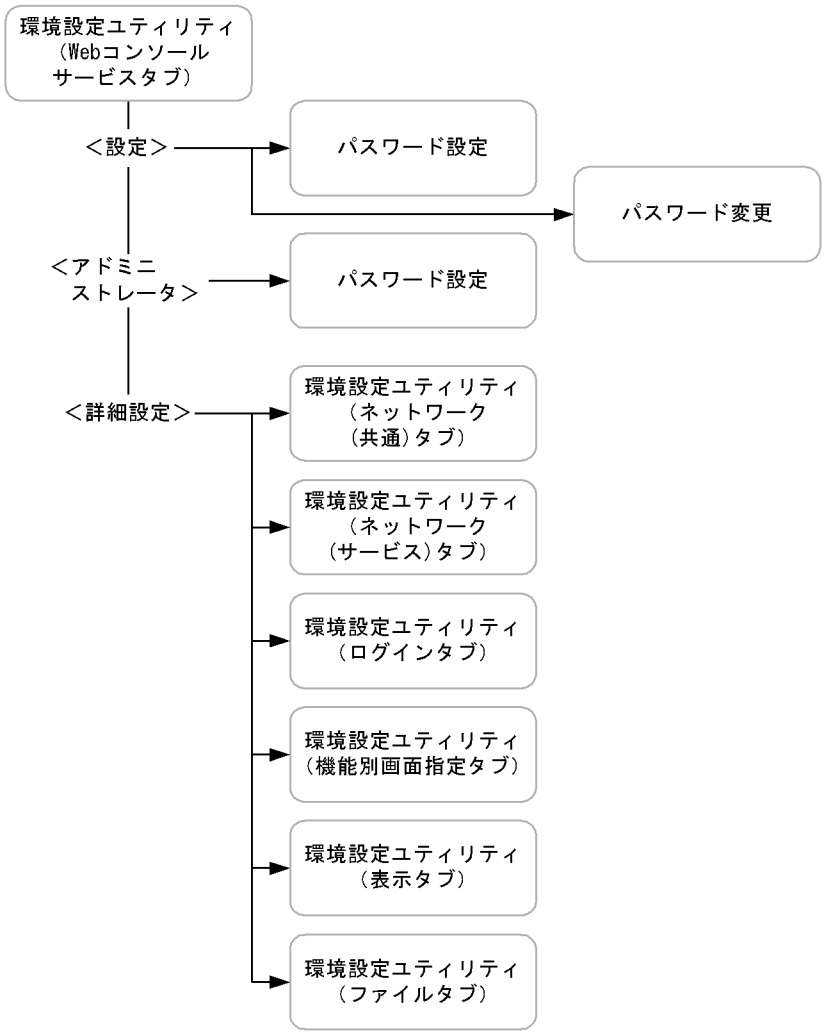


図 1-79 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（［Web コンソールサービス］タブ）

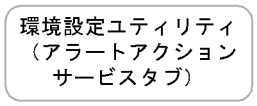


（凡例）

：ダイアログボックス

＜　＞　：ボタン

図 1-80 ［環境設定ユティリティ］画面の遷移（アラートアクションサービス）



（凡例）

：ダイアログボックス

1.24.2 ［環境設定ユティリティ］（[コンソールサービス］タブ）

コンソールサービスの情報を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目			内容
接続先マネージャサービスの指定	－		すでに登録されている接続先マネージャサービスが表示されます。
	IP アドレス／ホスト名	－	接続先マネージャサービスの情報が表示されます。
		接続先マネージャ	接続先マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
		コメント	接続先マネージャサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
	登録／削除		接続先マネージャサービスを登録または削除する場合，このボタンをクリックします。［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックスが表示されます。［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックスについては，「1.24.3 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス」を参照してください。

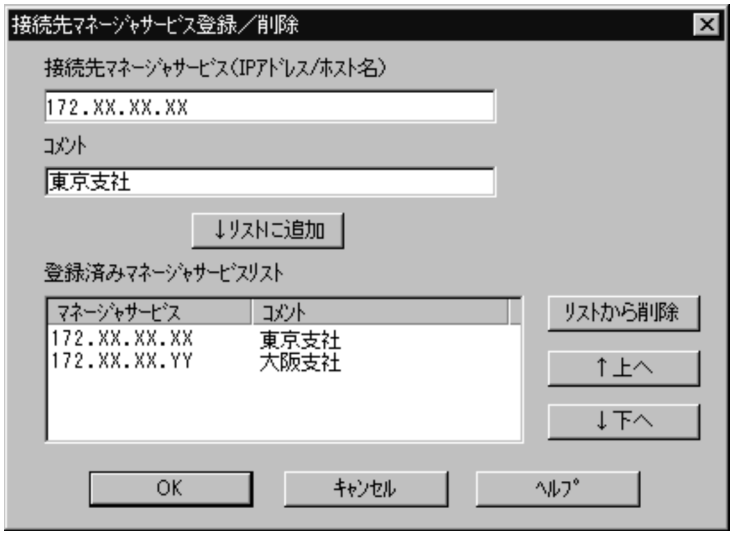
項目	内容
詳細設定	コンソールサービスの詳細情報の設定をする場合，このボタンをクリックします。環境設定ユティリティのコンソールサービスの詳細を設定する各タブが表示されます。環境設定ユティリティのコンソールサービスの詳細を設定する各タブについては，1.24.4 ～ 1.24.8 を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.3 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス

コンソールサービスから接続する接続先マネージャサービスを登録または削除します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
接続先マネージャサービス（IP アドレス / ホスト名）		接続先マネージャサービスを登録する場合，IP アドレスまたはホスト名を指定します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
コメント		接続先マネージャサービスが区別できるようにコメントを任意で入力します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
↓リストに追加		接続先マネージャサービスを登録する場合，マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名とコメントを指定して，このボタンをクリックします。設定した接続先マネージャサービスが［登録済みマネージャサービスリスト］に追加されます。 接続先マネージャサービスは 128 個まで登録できます。
登録済みマネージャサービスリスト	―	すでに登録されている接続先マネージャサービスが表示されます。
	マネージャサービス	マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	接続先マネージャサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
リストから削除		不要な接続先マネージャサービスを削除する場合は，削除するマネージャサービスを選択してこのボタンをクリックします。［登録済みマネージャサービスリスト］から削除されます。

項目	内容
↑上へ	複数のマネージャサービスに接続するときの優先順位（接続順位）を変更します。 変更するマネージャサービスを指定して，このボタンをクリックすると，優先順位が高くなります。
↓下へ	複数のマネージャサービスに接続するときの優先順位（接続順位）を変更します。 変更する接続先マネージャサービスを指定して，このボタンをクリックすると，優先順位が低くなります。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.4 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ネットワーク（共通）］タブ））

ネットワークの共通情報について設定します。ネットワークの共通情報は，ほかのサービス（コンソールサービス，マネージャサービス，エージェントサービスまたは Web コンソールサービス）と共通の設定のため，最後に設定した値が有効になります。

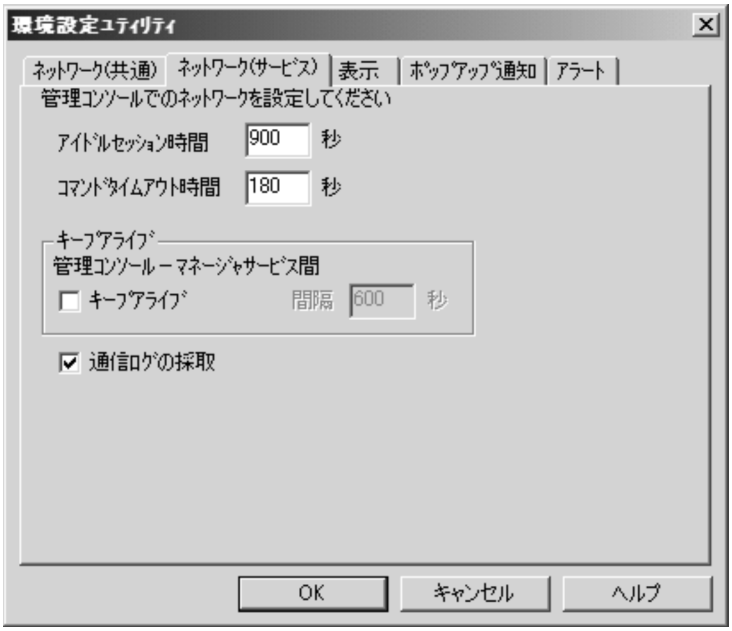


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
送信タイムアウト時間	次のサービス間で送信エラーが発生した場合，送信をリトライする時間を秒単位で設定します。 • マネージャサービスとエージェントサービスとの間 • マネージャサービスとコンソールサービスとの間 1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 30 秒です。
複数 IP アドレス構成時には使用する IP アドレスを指定してください	複数の LAN ボードを搭載している場合，このチェックボックスを ON にして，使用する IP アドレスを設定します。デフォルトは OFF です。

1.24.5 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ））

コンソールサービスのネットワークのサービスについて設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アイドルセッション時間		コンソールサービスとマネージャサービス間の無通信状態を監視し，セッションを切断するまでの時間を秒単位で設定します。0 ～ 7,200 の範囲で設定します。デフォルトは 900 秒です。 マネージャサービスとの通信回線に LAN などを使っていて，課金がない場合は，0 を設定してください。0 を設定するとセッションを切断しません。
コマンドタイムアウト時間		コンソールサービスからマネージャサービスへの送信に対する返信までの待ち時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 180 秒です。
キープアライブ※	―	マネージャサービスとの送受信時のキープアライブを使用するかどうかを設定します。 キープアライブとは，各サービス間で回線が保持されているかどうかを定期的にチェックする機能です。
	キープアライブ	キープアライブを使用する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	間隔	［キープアライブ］チェックボックスを ON にした場合，キープアライブ間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。デフォルトは 600 秒です。

項目	内容
通信ログの採取	通信ログを採取する場合，このチェックボックスを ON にします。 デフォルトは ON です。

（凡例）

－：該当しません。

注※

キープアライブの設定をする場合，次の点に注意してください。

- キープアライブを設定するとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，［キープアライブ］チェックボックスは OFF に設定してください。
- ［キープアライブ］チェックボックスを ON にすると，マネージャサービスが停止するなど，コンソールサービスとマネージャサービスとの間の回線が切断した場合，管理コンソールに次のようなポップアップダイアログが表示されます。
「ホスト名（マネージャサービス名）への接続が切断されました」
このメッセージが表示された場合は，管理コンソールからマネージャサービスに再ログインしてください。
- キープアライブ間隔を設定する場合，必ず［コマンドタイムアウト時間］の設定値よりも大きい値を設定してください。

1.24.6 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［表示］タブ））

コンソールサービスに，グリニッジ標準時（GMT）と地域の標準時との時差を表示するかどうかを設定します。

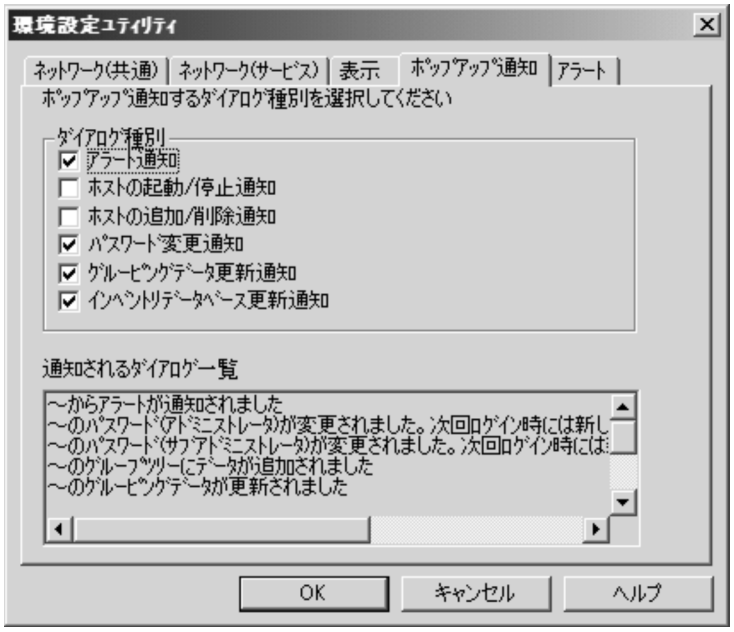


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
時差を表示する	グリニッジ標準時（GMT）と地域の標準時との時差を次のウィンドウに表示する場合，このチェックボックスを ON にします。 • ［通知アラート］ウィンドウ • ［サーバアラートログ］ウィンドウ • ［SVP ログ］ウィンドウ • ［マネージャアラートログ］ウィンドウ デフォルトは OFF です。

1.24.7 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［ポップアップ通知］タブ））

ホストからコンソールサービスに送られるアラート通知またはデータ更新通知の表示について設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
ダイアログ種別	―	ポップアップ通知するダイアログ種別を選択します。通知する場合は，通知するダイアログ種別のチェックボックスを ON にします。
	アラート通知	アラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	ホストの起動／停止通知※1	ホストの起動または停止を通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	ホストの追加／削除通知※2	ホストの追加または削除を通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	パスワード変更通知	パスワード変更を通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	グルーピングデータ更新通知	グルーピングデータ更新を通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	インベントリデータベース更新通知	インベントリデータベース更新を通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

項目	内容
通知されるダイアログ一覧	通知されるダイアログの一覧が表示されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

「ホストの起動 / 停止通知」のチェックボックスを ON にしている場合に，VM ホストおよび VM ゲストの管理対象サーバが電源 OFF または電源 ON になったとき，VM ホストおよび VM ゲストのポップアップ通知は実施されません。

注※ 2

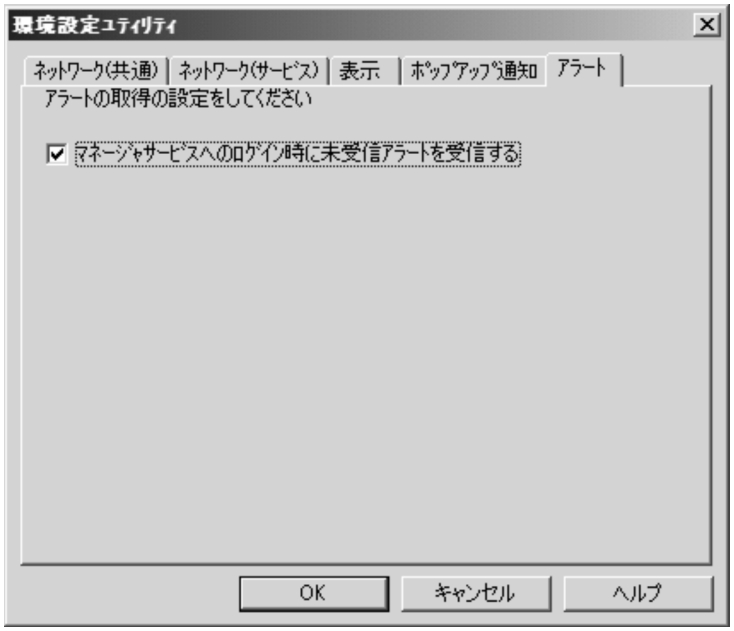
「ホストの追加 / 削除通知」のチェックボックスを ON にしている場合に，VM ホストが登録または削除されたとき，VM ホストのポップアップ通知が実施されます。ただし，VM ゲストのポップアップ通知は実施されません。

1.24.8 ［環境設定ユティリティ］（コンソールサービス（［アラート］タブ））

コンソールサービスからマネージャサービスへのログイン時に未受信アラートを受信するかどうかを設定します。

注意

マネージャサービスへのログイン時に未受信アラートを受信できるのは，BSM を使用している場合だけです。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
マネージャサービスへのログイン時に未受信アラートを受信する	マネージャサービスへのログイン時に，未受信のアラートを自動的に取得する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

1.24.9 ［環境設定ユティリティ］（［マネージャサービス］タブ）

マネージャサービスの情報を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
認証設定	―	マネージャサービスの認証を設定する場合，設定するユーザ種別をアドミニストレータまたはサブアドミニストレータから選択します。
	アドミニストレータ	アドミニストレータのパスワードを設定する場合，このボタンをクリックします。［パスワード設定］ダイアログボックスまたは［パスワード変更］ダイアログボックスが表示されます。［パスワード設定］ダイアログボックスについては，「1.24.10 ［パスワード設定］ダイアログボックス」を，［パスワード変更］ダイアログボックスについては，「1.24.11 ［パスワード変更］ダイアログボックス」を参照してください。
	サブアドミニストレータ	サブアドミニストレータのパスワードを設定する場合，このボタンをクリックします。［パスワード設定］ダイアログボックスまたは［パスワード変更］ダイアログボックスが表示されます。［パスワード設定］ダイアログボックスについては，「1.24.10 ［パスワード設定］ダイアログボックス」を，［パスワード変更］ダイアログボックスについては，「1.24.11 ［パスワード変更］ダイアログボックス」を参照してください。

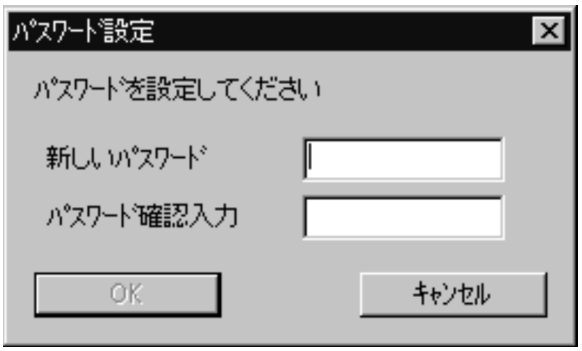
項目	内容
詳細設定	マネージャサービスの詳細情報を設定する場合，このボタンをクリックします。環境設定ユティリティのマネージャサービスの詳細を設定する各タブが表示されます。環境設定ユティリティのマネージャサービスの詳細を設定する各タブについては，1.24.12 〜 1.24.18 を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.10 ［パスワード設定］ダイアログボックス

アドミニストレータまたはサブアドミニストレータのパスワードを設定します。

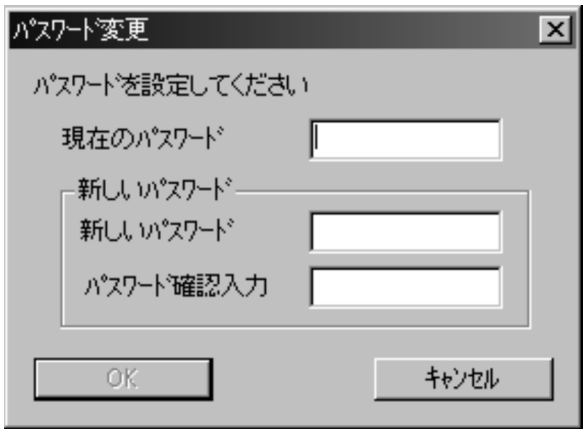


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
パスワード確認入力	確認のために新しいパスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.11 ［パスワード変更］ダイアログボックス

アドミニストレータまたはサブアドミニストレータのパスワードを変更します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
現在のパスワード		選択したユーザ種別の現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
	パスワード確認入力	確認のために新しいパスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.12 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［ネットワーク（共通）］タブ））

ネットワークの共通情報について設定します。ネットワークの共通情報は，ほかのサービスと共通の設定のため，最後に設定した値が有効になります。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
送信タイムアウト時間	次のサービス間で送信エラーが発生した場合，送信をリトライする時間を秒単位で設定します。 • マネージャサービスとエージェントサービスとの間 • マネージャサービスとコンソールサービスとの間 1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 30 秒です。
複数 IP アドレス構成時には使用する IP アドレスを指定してください	複数の LAN ボードを搭載している場合，このチェックボックスを ON にして，使用する IP アドレスを設定します。デフォルトは OFF です。

1.24.13 [環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[ネットワーク（サービス)] タブ))

マネージャサービスのネットワークのサービスについて設定します。

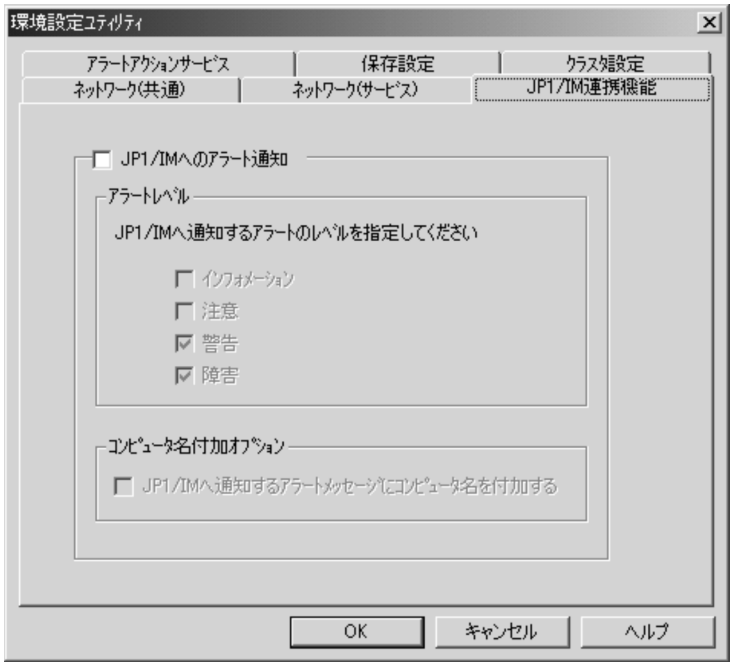


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
コマンドタイムアウト時間	マネージャサービスからエージェントサービスへの送信に対する返信が来るまでの待ち時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 90 秒です。
通信ログの採取	通信ログを採取する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

1.24.14 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［JP1/IM 連携機能］タブ））

マネージャサービスでの JP1/IM 連携機能を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
JP1/IM へのアラート通知		JP1/IM へアラートを通知するかどうかを設定します。通知する場合は，［JP1/IM へのアラート通知］チェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
アラートレベル	―	JP1/IM へ通知するアラートのレベルを設定します。通知するアラートレベルのチェックボックスを ON にしてください。
	インフォメーション	サーバの状態変化を知らせるアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	注意	エラーが発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	警告	障害が発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	障害	すぐに対処が必要なレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

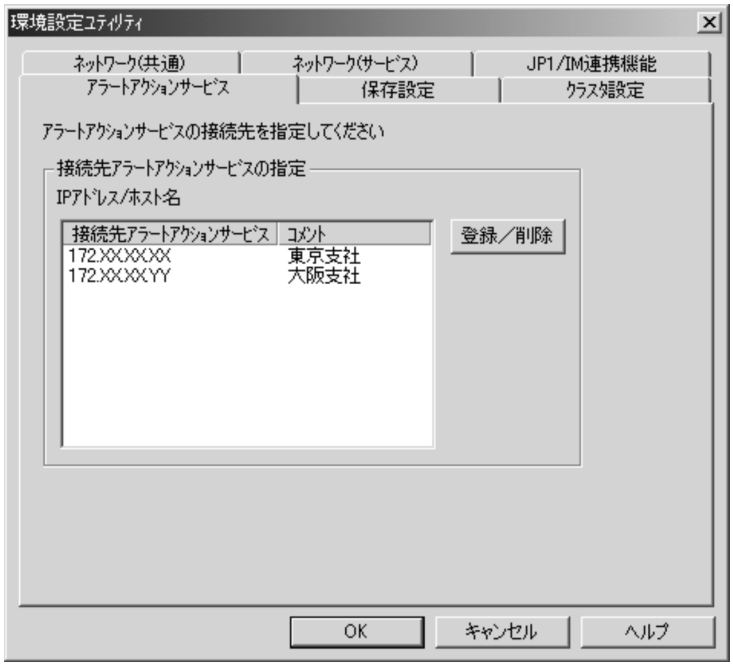
項目		内容
コンピュータ名付加オプション	－	JP1/IM に通知するアラートのメッセージに，アラートが発生したサーバのコンピュータ名を付加するかどうかを設定します。
	JP1/IM へ通知するアラートメッセージにコンピュータ名を付加する	メッセージにコンピュータ名を付加する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.15 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［アラートアクションサービス］タブ））

マネージャサービスでの接続先アラートアクションサービスを設定します。



項目の内容を次の表に示します。

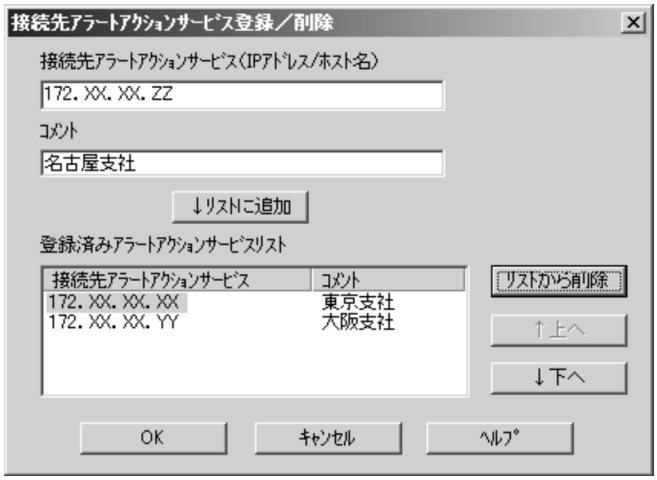
項目		内容
接続先アラートアクションサービスの指定	―	すでに登録されているアラートアクションサービスが表示されます。
	接続先アラートアクションサービス	アラートアクションサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	アラートアクションサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
登録／削除		アラートアクションサービスを新規に登録または削除する場合は，このボタンをクリックします。［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックスが表示されます。［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックスについては，「1.24.16 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス」を参照してください。

（凡例）

―：該当しません。

1.24.16 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス

マネージャサービスまたはローカルコンソールで接続する接続先アラートアクションサービスを登録または削除します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
接続先アラートアクションサービス（IP アドレス / ホスト名）		接続先アラートアクションサービスを登録する場合，IP アドレスまたはホスト名を設定します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
コメント		接続先アラートアクションサービスが区別できるようにコメントを任意で入力します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
↓リストに追加		接続先アラートアクションサービスを登録する場合，アラートアクションサービスの IP アドレスまたはホスト名とコメントを指定して，このボタンをクリックします。設定した接続先アラートアクションサービスが［登録済みアラートアクションサービスリスト］に追加されます。 接続先アラートアクションサービスは 4 個まで登録できます。
登録済みアラートアクションサービスリスト	—	すでに登録されている接続先アラートアクションサービスが表示されます。
	接続先アラートアクションサービス	アラートアクションサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	アラートアクションサービス登録時に入力したコメントが表示されます。

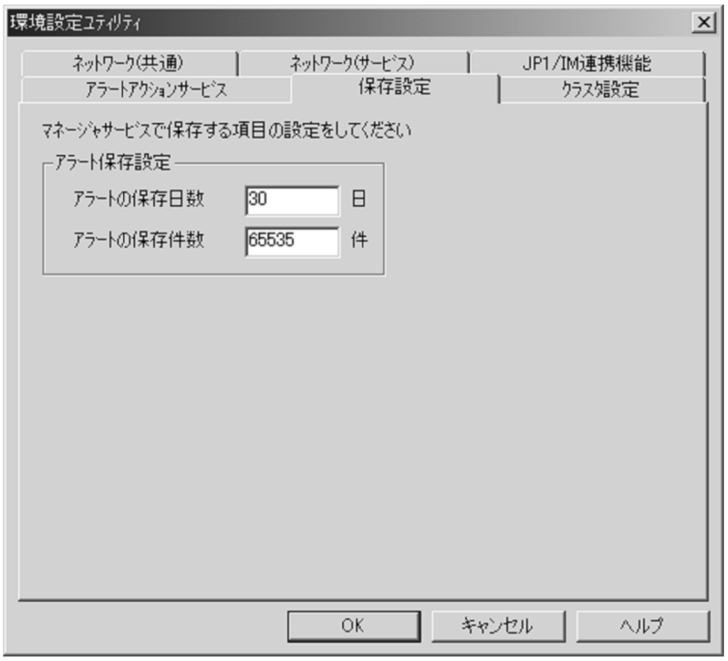
項目	内容
リストから削除	不要な接続先アラートアクションサービスを削除する場合は，削除するアラートアクションサービスを選択してこのボタンをクリックします。［登録済みアラートアクションサービスリスト］から削除されます。
↑上へ	複数のアラートアクションサービスに接続するときの優先順位（接続順位）を変更します。 変更するアラートアクションサービスを指定して，このボタンをクリックすると，優先順位が高くなります。
↓下へ	複数のアラートアクションサービスに接続するときの優先順位（接続順位）を変更します。 変更する接続先アラートアクションサービスを指定して，このボタンをクリックすると，優先順位が低くなります。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.17 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［保存設定］タブ））

マネージャサービスが保存するアラートの制限値を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アラート保存設定	－	アラートの保存日数および保存件数を設定します。
	アラートの保存日数	マネージャサービスがアラートを保存する期間を日単位で設定します。1 ～ 1,000 の範囲で設定します。デフォルトは 30 日です。
	アラートの保存件数	マネージャサービスがアラートを保存する件数を設定します。1,000 ～ 65,535 の範囲で設定します。デフォルトは 65,535 件です。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.18 ［環境設定ユティリティ］（マネージャサービス（［クラスタ設定］タブ））

クラスタ構成での共有フォルダと論理 IP アドレスを設定します。

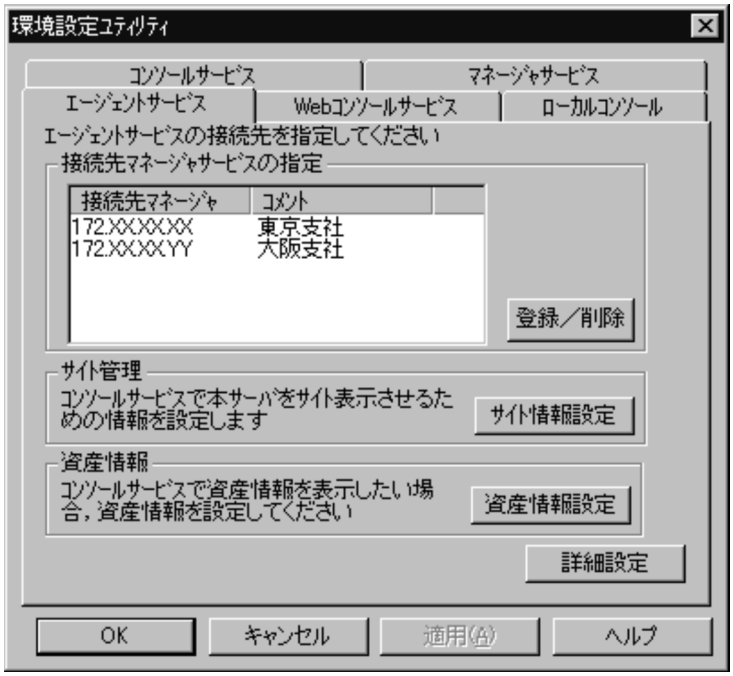


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
現在の共有フォルダパス	現在設定されている共有フォルダのパスが表示されます。
フォルダパスを下記に変更する	クラスタ構成での共有フォルダを変更する場合，このチェックボックスを ON にして，変更後の共用フォルダを 90 文字以内で設定します。全角文字も半角文字も 1 文字として認識されます。デフォルトは OFF です。
現在の論理 IP アドレス	現在設定されている現在の論理 IP アドレスが表示されます。
下記論理 IP アドレスを使用する	クラスタ構成での論理 IP アドレスを指定する場合，このチェックボックスを ON にして，論理 IP アドレスを設定します。デフォルトは OFF です。

1.24.19 ［環境設定ユティリティ］（［エージェントサービス］タブ）

エージェントサービスの情報を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
接続先マネージャサービスの指定	－	すでに登録されている接続先マネージャサービスが表示されます。
	接続先マネージャ	接続先マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	接続先マネージャサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
	登録／削除	接続先マネージャサービスを登録または削除する場合，このボタンをクリックします。［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックスが表示されます。［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックスについては，「1.24.20 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス」を参照してください。
サイト管理	サイト情報設定	サーバをサイト単位で管理するときのサイト情報を設定する場合，このボタンをクリックします。［サイト情報］ダイアログボックスが表示されます。［サイト情報］ダイアログボックスについては，「1.24.21 ［サイト情報］ダイアログボックス」を参照してください。

項目		内容
資産情報	資産情報設定	管理対象サーバの設置場所や運用管理者など，ハードウェアに関する資産情報を設定する場合，このボタンをクリックします。管理対象サーバの設置場所や運用管理者など，ハードウェアに関する資産情報を設定する各タブが表示されます。管理対象サーバの設置場所や運用管理者など，ハードウェアに関する資産情報を設定する各タブについては，1.24.22 ～ 1.24.24 を参照してください。
詳細設定		エージェントサービスの詳細情報を設定する場合，このボタンをクリックします。環境設定ユティリティのエージェントサービスの詳細を設定する各タブが表示されます。環境設定ユティリティのエージェントサービスの詳細を設定する各タブについては，1.24.25 ～ 1.24.29 を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.20 ［接続先マネージャサービス登録／削除］ダイアログボックス

エージェントサービスで接続する接続先マネージャサービスを登録または削除します。



項目の内容を次の表に示します。

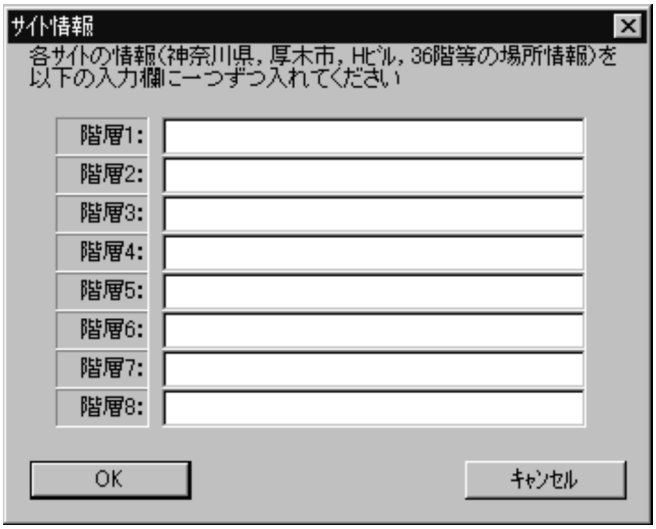
項目		内容
接続先マネージャサービス（IP アドレス / ホスト名）		接続先マネージャサービスを登録する場合，IP アドレスまたはホスト名を設定します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
コメント		接続先マネージャサービスが区別できるようにコメントを任意で入力します。半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。
↓リストに追加		接続先マネージャサービスを登録する場合，マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名とコメントを指定して，このボタンをクリックします。設定した接続先マネージャサービスが［登録済みマネージャサービスリスト］に追加されます。 接続先マネージャサービスは 4 個まで登録できます。
登録済みマネージャサービスリスト	－	すでに登録されている接続先マネージャサービスが表示されます。
	接続先マネージャ	マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	接続先マネージャサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
リストから削除		不要な接続先マネージャサービスを削除する場合は，削除するマネージャサービスを選択してこのボタンをクリックします。［登録済みマネージャサービスリスト］から削除されます。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.21 ［サイト情報］ダイアログボックス

サーバをサイト単位で管理するときのサイト情報を設定します。この情報は，コンソールサービスでサイトごとに管理するときに必要な情報です。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
階層 1 ～ 8	各管理対象サーバのサイト情報を設定します。' / ' は使用できません。 各階層の文字数の合計が 256 文字以内で設定します※。

注※

256 文字以内に設定しても「各階層の合計を 256 文字以内にしてください」というメッセージが表示される場合があります。これは，各階層間に区切り文字「/」を挿入して管理しているためです。必ず次の計算式に合うように設定してください。

- ［各階層の合計文字数］+（［階層数］-1）≦ 256

なお，英数字やかたかなは，半角または全角のどちらで入力するかを統一しておいてください。半角の「3F」と全角の「３ Ｆ」では異なるサイトとして分類されてしまいます。また，サイト情報を設定する場合，誤字や脱字がないように注意してください。サイト名を間違えると，管理コンソールで表示するときに異なるサイトとして分類されてしまいます。

1.24.22 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［管理 / 運用］タブ））

サーバの資産名称や管理情報など，システムの運用や管理に関する情報を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
資産名称		社内または組織内でサーバを管理するために付けている名称や，サーバの製品名を設定します。
資産番号		資産名称に対する番号を設定します。
管理情報	－	管理情報について設定します。
	部署名	サーバを設置している部署名を設定します。
	部署番号	部署のコード番号などがある場合に設定します。
	管理者名	サーバを管理しているシステム管理者の名前を設定します。
	管理者番号	社員番号など，システム管理者がわかる番号を設定します。
	管理者詳細情報	システム管理者の所属など，詳細な情報や設定項目にない情報を設定します。
運用情報	－	運用情報について設定します。
	運用管理者名	サーバを運用している部署のシステム管理者名を入力します。
	運用管理者番号	社員番号など，運用しているシステム管理者がわかる番号を設定します。
	運用管理者詳細情報	運用しているシステム管理者の所属など，詳細な情報や設定項目にない情報を設定します。

（凡例）
　　－：該当しません。

すべての項目で，半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。

1.24.23 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［連絡先 / 設置］タブ））

システム管理者の連絡先やシステムの設置場所について設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
連絡先	－	管理者の連絡先について設定します。
	電話番号	管理者の電話番号を設定します。
	メールアドレス	管理者のメールアドレスを設定します。
設置場所詳細情報		サーバの設置場所や詳細な情報を設定します。
機器構成		サーバの CPU やメモリなどの機器の構成に関する情報を設定します。

（凡例）

－：該当しません。

すべての項目で，半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。

1.24.24 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［その他］タブ））

システムの購入日や備考などを設定します。



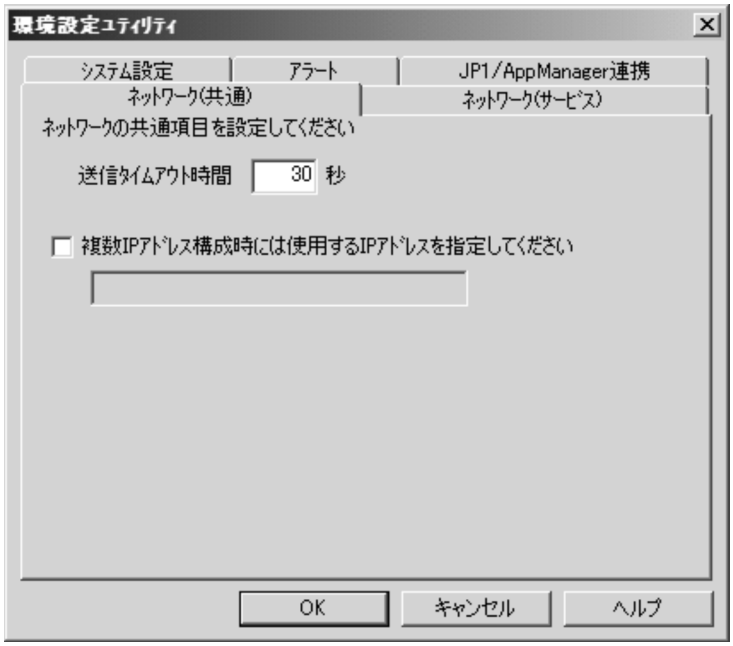
項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
購入年月日	サーバを購入した日付を設定します。
減価償却期間	サーバの減価償却期間を入力します。
備考	必要に応じてそのほかの資産情報を入力します。

すべての項目で，半角で 256 文字まで入力できます。全角文字は半角 2 文字分とします。入力できる文字種に制限はありません。

1.24.25 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［ネットワーク（共通）］タブ））

ネットワークの共通情報について設定します。ネットワークの共通情報は，ほかのサービスと共通の設定のため，最後に設定した値が有効になります。

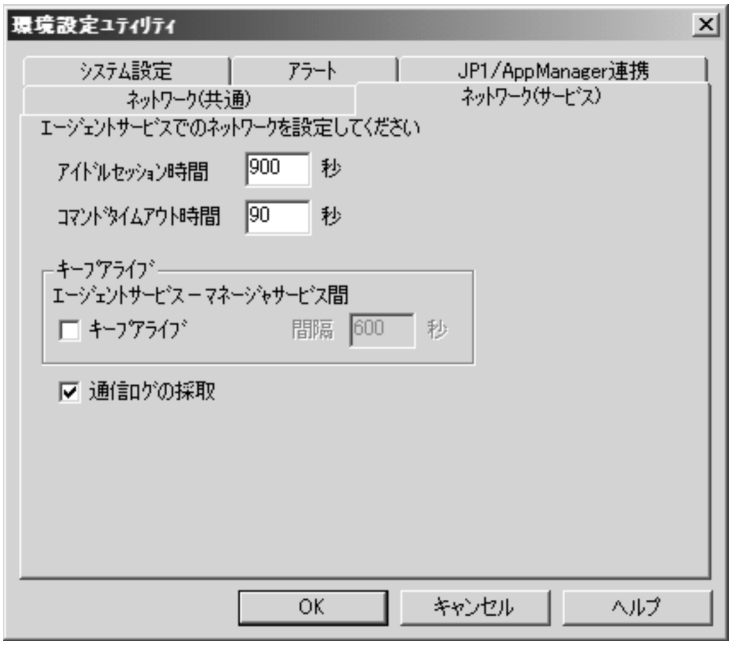


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
送信タイムアウト時間	次のサービス間で送信エラーが発生した場合，送信をリトライする時間を秒単位で設定します。 • マネージャサービスとエージェントサービスとの間 • マネージャサービスとコンソールサービスとの間 1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 30 秒です。
複数 IP アドレス構成時には使用する IP アドレスを指定してください	複数の LAN ボードを搭載している場合，このチェックボックスを ON にして，使用する IP アドレスを設定します。デフォルトは OFF です。

1.24.26 ［環境設定ユティリティ］（エージェントサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ））

エージェントサービスのネットワークのサービス情報について設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アイドルセッション時間		エージェントサービスとマネージャサービス間の無通信状態を監視し，セッションを切断するまでの時間を秒単位で設定します。0 ～ 7,200 の範囲で設定します。デフォルトは 900 秒です。 マネージャサービスとの通信回線に LAN などを使っていて，課金がない場合は，0 を設定してください。0 を設定するとセッションを切断しません。
コマンドタイムアウト時間		エージェントサービスからマネージャサービスへの送信に対する返信が来るまでの待ち時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 90 秒です。
キープアライブ※	―	マネージャサービスとの送受信時のキープアライブを使用するかどうかを設定します。 キープアライブとは，各サービス間で回線が保持されているかどうかを定期的にチェックする機能です。
	キープアライブ	キープアライブを使用する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	間隔	［キープアライブ］チェックボックスを ON にした場合，キープアライブの間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。デフォルトは 600 秒です。

項目	内容
通信ログの採取	通信ログを採取する場合，このチェックボックスを ON にします。 デフォルトは ON です。

（凡例）

－：該当しません。

注※

キープアライブの設定をする場合，次の点に注意してください。

- キープアライブを設定するとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，［キープアライブ］チェックボックスは OFF に設定してください。
- ［キープアライブ］チェックボックスを ON にすると，マネージャサービスが停止するなど，コンソールサービスとマネージャサービスとの間の回線が切断した場合，管理コンソールに次のようなポップアップダイアログが表示されます。
「ホスト名（マネージャサービス名）への接続が切断されました」
このメッセージが表示された場合は，管理コンソールからマネージャサービスに再ログインしてください。
- キープアライブ間隔を設定する場合，必ず［コマンドタイムアウト時間］の設定値よりも大きい値を設定してください。

1.24.27 [環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[システム設定]タブ））

管理コンソールからの電源シャットダウン，およびリブート要求を受けるかどうかを設定します。



項目の内容を次の表に示します。

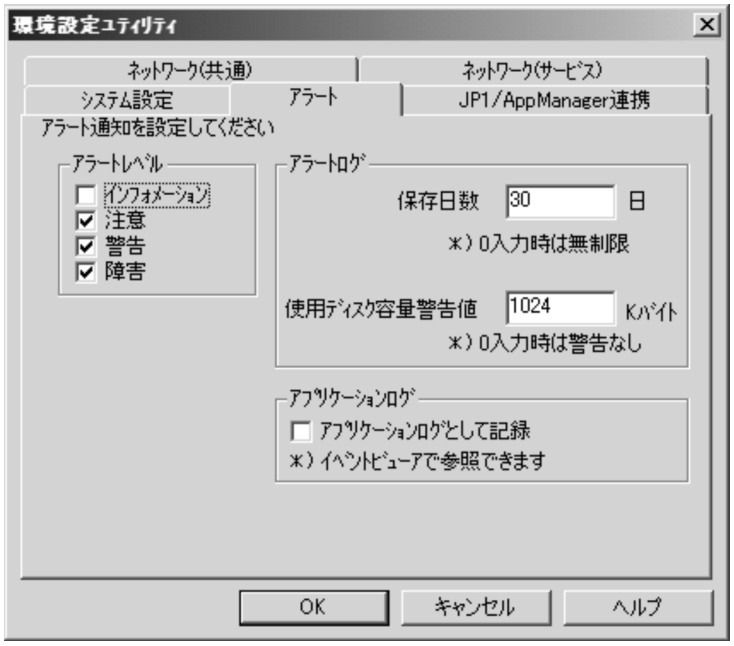
項目		内容
コンソールサービスからのシャットダウン/リブート命令の許可	―	管理コンソールからの電源シャットダウン，リブートを許可するかどうかを設定します。 なお，SVP エージェントサービスを利用して強制電源 OFF を実施する場合，この設定は無効になります。
	許可する	管理コンソールからの電源シャットダウン，リブートを許可する場合はこのラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。
	許可しない	管理コンソールからの電源シャットダウン，リブートを許可しない場合はこのラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

―：該当しません。

1.24.28 [環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[アラート]タブ））

エージェントサービスが通知するアラート情報について設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
アラートレベル	―	エージェントサービスが通知するアラートのレベルを設定します。通知するアラートレベルのチェックボックスを ON にします。通知するアラートレベルは複数設定できます。
	インフォメーション	サーバの状態変化を知らせるアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	注意	エラーが発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	警告	障害が発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	障害	すぐに対処が必要なレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

項目		内容
アラートログ	－	アラートログの保存情報について設定します。
	保存日数	アラートログのファイルを保存する期間を日単位で設定します。0 ～ 90 の範囲で設定します。デフォルトは 30 日です。0 を設定すると，ユーザが削除しないかぎり，保存しておきます。
	使用ディスク容量警告値	アラートログの警告値をキロバイト単位で設定します。0 ～ 1,048,576 の範囲で設定します。デフォルトは 1,024 キロバイトです。 0 を設定すると警告を通知しません。
アプリケーションログ	－	アプリケーションログ情報について設定します。
	アプリケーションログとして記録	エージェントサービスが通知するアラートをアプリケーションログとして記録するかどうかを設定します。なお，アプリケーションログとして記録した場合，イベントビューアで参照できます。デフォルトは OFF です。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.29 [環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[JP1/AppManager 連携]タブ））

JP1/AppManager から JP1/ServerConductor の管理対象サーバを管理する場合の設定をします。

注意

JP1/AppManager から JP1/ServerConductor の管理対象サーバを管理する機能は，HA8000 Windows サーバでだけ使用できます。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
JP1/AppManager 連携機能を有効にする	JP1/AppManager の管理コンソールから JP1/ServerConductor の管理対象サーバを管理する場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

1.24.30 ［環境設定ユティリティ］（［ローカルコンソール］タブ）

ローカルコンソールの情報を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
認証設定	―	ローカルコンソールの認証を設定する場合，設定するユーザ種別をアドミニストレータまたはサブアドミニストレータから選択します。
	アドミニストレータ	アドミニストレータのパスワードを設定する場合，このボタンをクリックします。［パスワード設定］ダイアログボックスまたは［パスワード変更］ダイアログボックスが表示されます。［パスワード設定］ダイアログボックスについては，「1.24.31 ［パスワード設定］ダイアログボックス」を，［パスワード変更］ダイアログボックスについては，「1.24.32 ［パスワード変更］ダイアログボックス」を参照してください。
	サブアドミニストレータ	サブアドミニストレータのパスワードを設定する場合，このボタンをクリックします。［パスワード設定］ダイアログボックスまたは［パスワード変更］ダイアログボックスが表示されます。［パスワード設定］ダイアログボックスについては，「1.24.31 ［パスワード設定］ダイアログボックス」を，［パスワード変更］ダイアログボックスについては，「1.24.32 ［パスワード変更］ダイアログボックス」を参照してください。

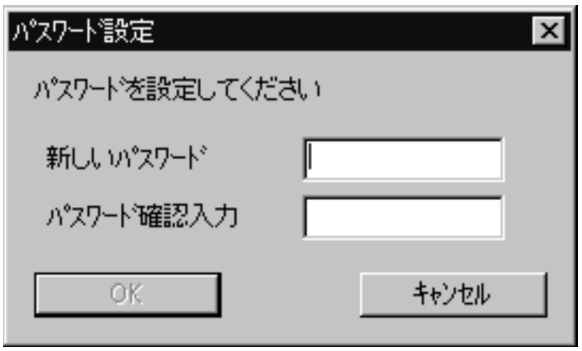
項目	内容
詳細設定	ローカルコンソールの詳細情報を設定する場合，このボタンをクリックします。環境設定ユティリティのローカルコンソールの詳細を設定する各タブが表示されます。環境設定ユティリティのローカルコンソールの詳細を設定する各タブについては，1.24.33 ～ 1.24.35 を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.31 ［パスワード設定］ダイアログボックス

アドミニストレータまたはサブアドミニストレータのパスワードを設定します。

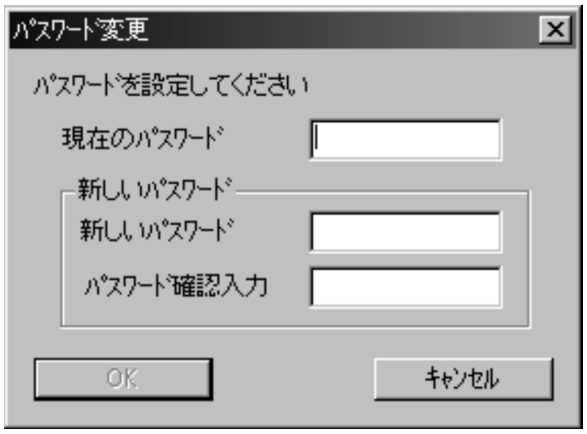


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
パスワード確認入力	確認のために新しいパスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.32 ［パスワード変更］ダイアログボックス

アドミニストレータまたはサブアドミニストレータのパスワードを変更します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
現在のパスワード		選択したユーザ種別の現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
	パスワード確認入力	確認のために新しいパスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.33 ［環境設定ユティリティ］（ローカルコンソール（［表示］タブ））

ローカルコンソールサービスに，グリニッジ標準時（GMT）と地域の標準時との時差を表示するかどうかを設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
時差を表示する	グリニッジ標準時（GMT）と地域の標準時との時差を次のウィンドウに表示する場合，このチェックボックスを ON にします。 • ［通知アラート］ウィンドウ • ［サーバアラートログ］ウィンドウ • ［SVP ログ］ウィンドウ デフォルトは OFF です。

1.24.34 ［環境設定ユティリティ］（ローカルコンソール（［JP1/IM 連携機能］タブ））

ローカルコンソールでの JP1/IM 連携機能を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
JP1/IM へのアラート通知		JP1/IM へアラートを通知するかどうかを設定します。通知する場合は，［JP1/IM へのアラート通知］チェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
アラートレベル	―	JP1/IM へ通知するアラートのレベルを設定します。通知するアラートレベルのチェックボックスを ON にしてください。
	インフォメーション	サーバの状態変化を知らせるアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	注意	エラーが発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	警告	障害が発生するおそれのあるレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	障害	すぐに対処が必要なレベルのアラートを通知する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

項目		内容
コンピュータ名付加オプション	－	JP1/IM に通知するアラートのメッセージに，アラートが発生したサーバのコンピュータ名を付加するかどうかを設定します。
	JP1/IM へ通知するアラートメッセージにコンピュータ名を付加する	メッセージにコンピュータ名を付加する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.35 ［環境設定ユティリティ］（ローカルコンソール（［アラートアクションサービス］タブ））

ローカルコンソールでの接続先アラートアクションサービスを設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
接続先アラートアクションサービスの指定	－	すでに登録されているアラートアクションサービスが表示されます。
	接続先アラートアクションサービス	アラートアクションサービスの IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	コメント	アラートアクションサービス登録時に入力したコメントが表示されます。
登録／削除		アラートアクションサービスを新規に登録または削除する場合は，このボタンをクリックします。［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックスが表示されます。［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックスについては，「1.24.16 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス」を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.36 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス

［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックスについては，「1.24.16 ［接続先アラートアクションサービス登録／削除］ダイアログボックス」を参照してください。

1.24.37 ［環境設定ユティリティ］（[Web コンソールサービス］タブ）

Web コンソールサービスの情報を設定します。

Web ゲートウェイサービスがマネージャサービスにログインするためのパスワードを設定する場合は，アドミニストレータでマネージャサービスにログインしてください。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
認証設定	－	Web 管理コンソールから Web コンソールサービスにログインするためのパスワードを設定します。
	設定	Web 管理コンソールから Web コンソールサービスにログインするためのパスワードを設定する場合，このボタンをクリックします。［パスワード設定］ダイアログボックスまたは［パスワード変更］ダイアログボックスが表示されます。［パスワード設定］ダイアログボックスについては，「1.24.38 ［パスワード設定］ダイアログボックス」を，［パスワード変更］ダイアログボックスについては，「1.24.39 ［パスワード変更］ダイアログボックス」を参照してください。
接続先マネージャサービスの指定	－	Web コンソールサービスがログインするマネージャサービスについて設定します。
	IP アドレス / ホスト名	Web コンソールサービスがログインするマネージャサービスを設定する場合，マネージャサービスの IP アドレスまたはホスト名を設定します。1 ～ 256 バイトの範囲で設定します。

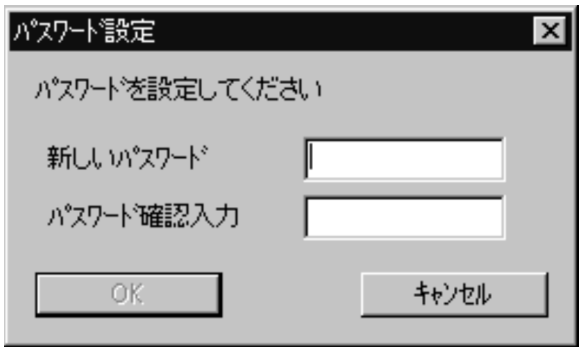
項目		内容
	アドミニストレータ	Web ゲートウェイサービスがマネージャサービスにログインするためのパスワードを設定する場合，このボタンをクリックします。［パスワード設定］ダイアログボックスが表示されます。［パスワード設定］ダイアログボックスについては「1.24.40 ［パスワード設定］ダイアログボックス」を参照してください。
詳細設定		Web コンソールサービスの詳細情報を設定する場合，このボタンをクリックします。環境設定ユティリティの Web コンソールサービスの詳細を設定する各タブが表示されます。環境設定ユティリティの Web コンソールサービスの詳細を設定する各タブについては，1.24.41 ～ 1.24.46 を参照してください。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.38 ［パスワード設定］ダイアログボックス

アドミニストレータまたはサブアドミニストレータのパスワードを設定します。

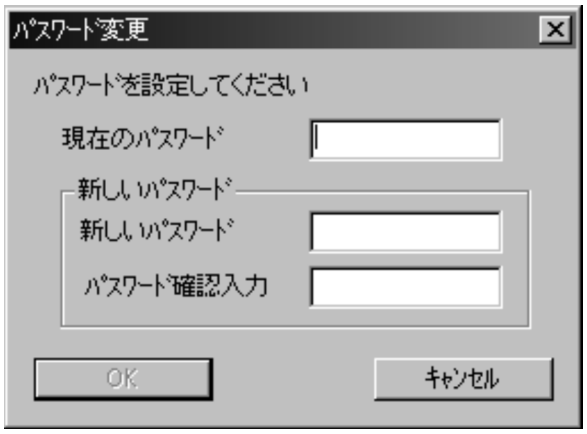


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
パスワード確認入力	確認のために新しいパスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.39 ［パスワード変更］ダイアログボックス

アドミニストレータまたはサブアドミニストレータのパスワードを変更します。

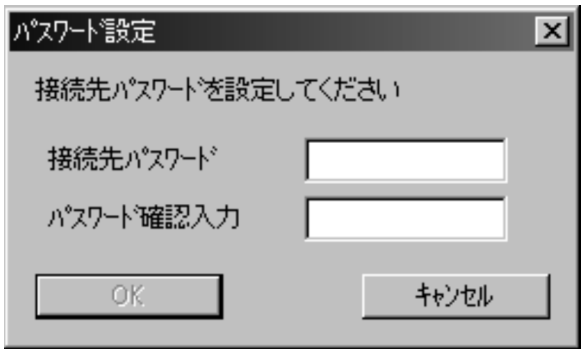


項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
現在のパスワード		選択したユーザ種別の現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。パスワードは，16 文字までの半角英数字，半角スペース，および半角記号で設定します。
	パスワード確認入力	確認のために新しいパスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.40 ［パスワード設定］ダイアログボックス

Web ゲートウェイサービスがマネージャサービスにログインするためのパスワードを設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
接続先パスワード	「1.24.10 ［パスワード設定］ダイアログボックス」で設定したマネージャサービスのアドミニストレータのパスワードを入力します。
パスワード確認入力	確認のために接続先パスワードに入力した内容をもう一度入力します。

1.24.41 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ネットワーク（共通）］タブ））

ネットワークの共通情報について設定します。ネットワークの共通情報は，ほかのサービスと共通の設定のため，最後に設定した値が有効になります。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
送信タイムアウト時間	Web コンソールサービスとマネージャサービス間で送信エラーが発生した場合，送信をリトライする時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 30 秒です。
複数 IP アドレス構成時には使用する IP アドレスを指定してください	複数の LAN ボードを搭載している場合，このチェックボックスを ON にして，使用する IP アドレスを設定します。デフォルトは OFF です。

1.24.42 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ネットワーク（サービス）］タブ））

Web コンソールサービスのネットワークのサービスについて設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
コマンド実行待ち時間		異なる Web 管理コンソールから同一ホストに同一コマンドを要求した場合，Web コンソールサービスでコマンド実行待ちをする時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 120 秒です。
コマンドタイムアウト時間		Web 管理コンソールからマネージャサービスにコマンドを送信して，応答が返ってくるまで待っている時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。デフォルトは 120 秒です。
アプレットからのポーリング	－	コンソールアプレットが Web ゲートウェイサービスにホストの状態変更やアラートの通知が届いていないかを確認（ポーリング）するかどうかを設定します。
	ポーリングを行う	ポーリングする場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。 ポーリングを設定するとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，ポーリングは OFF に設定してください。

項目		内容
	間隔	ポーリングする場合，ポーリング間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。デフォルトは 600 秒です。
通信ログの採取		通信ログを採取する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

（凡例）

－：該当しません。

1.24.43 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ログイン］タブ））

Web サーバの起動直後や，マネージャサービスとの通信エラーで再接続する場合，マネージャサービスへログインするリトライ情報を設定します。

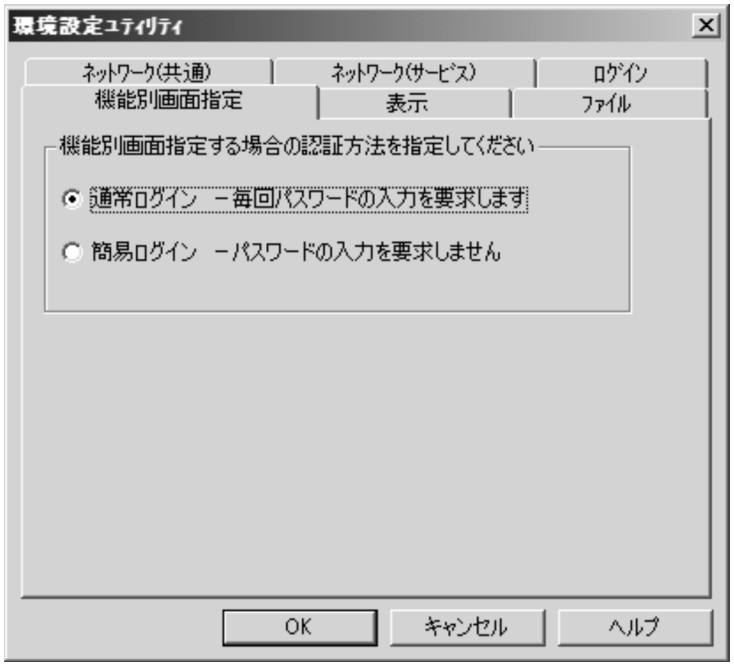


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
ログインリトライ回数	Web コンソールサービスがマネージャサービスにログインするときのログインのリトライ回数を設定します。0 ～ 30 の範囲で設定します。デフォルトは 0 回です。
ログインリトライ間隔	Web コンソールサービスがマネージャサービスにログインするときのログインのリトライ間隔を秒単位で設定します。1 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 10 秒です。

1.24.44 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［機能別画面指定］タブ））

提供している各機能（インベントリ表示，アラートログ表示など）を機能単位でほかのWeb アプリケーションから実行する機能（機能別画面指定機能）のログイン方法を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
機能別画面指定する場合の認証方法を指定してください	－	機能別画面指定機能でログインする方法を［通常ログイン］または［簡易ログイン］から選択します。
	通常ログイン	毎回ログイン認証する場合は，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは ON です。
	簡易ログイン	毎回ログイン認証をしない場合は，このラジオボタンを ON にします。デフォルトは OFF です。

（凡例）

－：該当しません。

注意

Web コンソールサービスとほかのアプリケーションとの連携をしない場合，この設定はデフォルト（通常ログイン）のままにしておいてください。Web コンソールサービスとほかのアプリケーションとの連携機能については，コンソールサービス

またはローカルコンソールサービスのインストール先にある Readme ファイルを参照してください。

1.24.45 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［表示］タブ））

ローカルコンソールサービスに，グリニッジ標準時（GMT）と地域の標準時との時差を表示するかどうかを設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
時差を表示する	グリニッジ標準時（GMT）と地域の標準時との時差を次のウィンドウに表示する場合，このチェックボックスを ON にします。 • ［通知アラート］ウィンドウ • ［サーバアラートログ］ウィンドウ • ［SVP ログ］ウィンドウ デフォルトは OFF です。

1.24.46 ［環境設定ユティリティ］（Web コンソールサービス（［ファイル］タブ））

通知アラートや情報取得で取得したログファイルや，ユーザが作成した CSV ファイルなどを Web サーバ上に保存する期間を設定します。

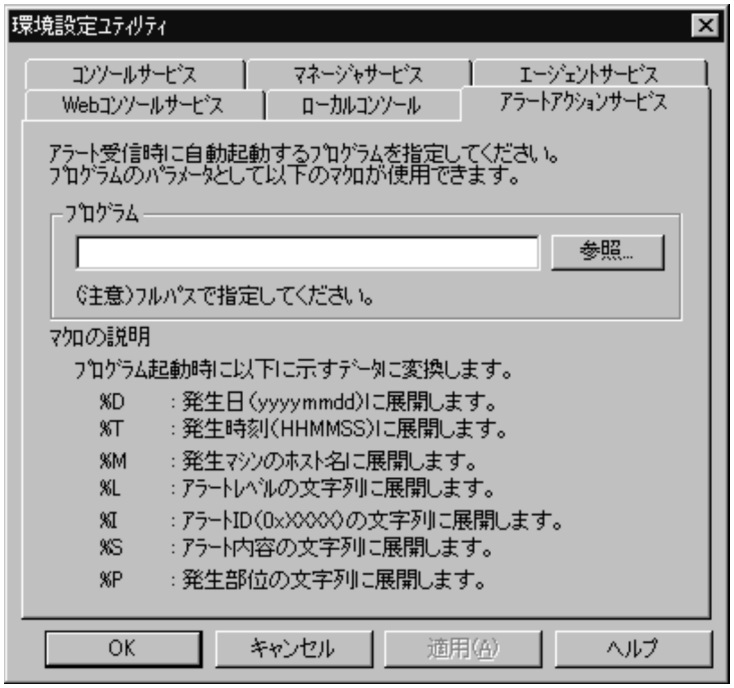


項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
出力ファイル保存日数	出力ファイルの保存期間を日単位で設定します。1 ～ 30 の範囲で設定します。デフォルトは 3 日です。 ここで指定した保存日数を超えた場合，ファイルは削除されます。

1.24.47 ［環境設定ユティリティ］（［アラートアクションサービス］タブ）

アラート発生時のプログラムの起動を設定します。



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
プログラム	―	アラートが通知されたときに起動させるプログラムを指定します。プログラム名は絶対パスで指定してください。なお，指定できるプログラムは一つだけです。複数のプログラムを起動させたい場合は，バッチプログラムを作成し，そのプログラムを指定してください。1～256バイトの範囲で指定します。
	参照	プログラムを指定する場合は，このボタンをクリックして指定するプログラムを選択します。選択したプログラムがテキストボックスに表示されます。

項目	内容
マクロの説明	プログラム起動時に，プログラムで使用するデータを指定します。マクロには次の種類があります。各マクロを指定するとアラートに関する情報が展開され，プログラムで利用できます。 • %D アラートの発生日に展開されます。形式は yyyymmdd です。 • %T アラートの発生時刻に展開されます。形式は HHMMSS です。 • %M アラートが発生したホストのホスト名，サーバシャーシ ID，または HVM 識別子に展開されます。 • %L 発生したアラートのアラートレベルの文字列に展開されます。 • %I 発生したアラートのアラート ID に展開されます。形式は，0Xxxxx です。 • %S 発生したアラートの内容の文字列に展開されます。※ • %P 発生したアラートの発生部位の文字列に展開されます。

（凡例）

－：該当しません。

注※

通知できるアラートメッセージの長さは 255 バイトです。アラートメッセージが 256 バイト以上の場合，メッセージの先頭部分が「...」に置き換わって通知されます。

1.25 ［BMC 環境設定ユティリティ］画面

［BMC 環境設定ユティリティ］画面は，管理対象が BladeSymphony の場合の BMC 機能を設定または変更する画面です。

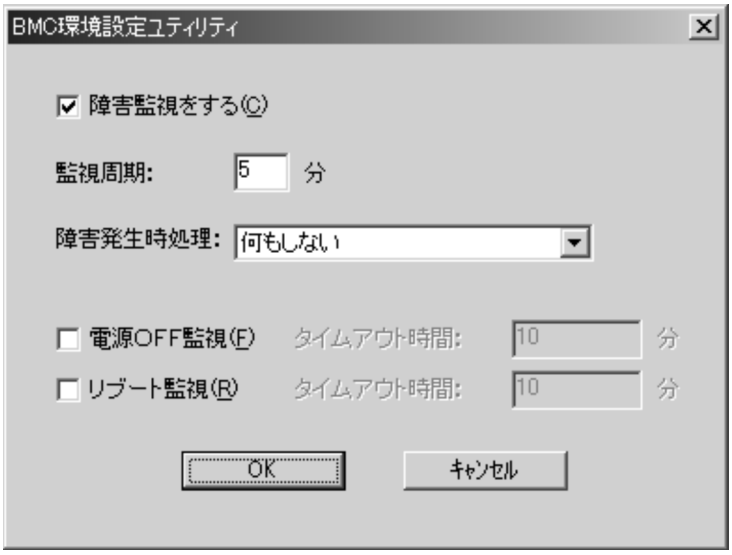
［BMC 環境設定ユティリティ］画面を表示する手順を次に示します。

操作手順

1. Windows **にアドミニストレータ権限でログインする**
2. **［スタート］メニューから［プログラム］－［**ServerConductor**］－［**Server Manager**］－［**BMC **環境設定ユティリティ］を選択する**

［BMC 環境設定ユティリティ］画面を次の図に示します。

図 1-81 **［**BMC **環境設定ユティリティ］画面**



項目の内容を次の表に示します。

項目	内容
障害監視をする※1	ウォッチドッグタイマを設定します。ウォッチドッグタイマを設定する場合，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。

項目		内容
監視周期		ウォッチドッグタイマの監視間隔を分単位で設定します。3～60の範囲で設定します。デフォルトは5分です。ウォッチドッグタイマの監視は，ここで設定した監視周期の1/3の間隔で実行されます。 サーバハングアップなどが発生すると設定時間経過後に障害が検出され，マネージャサービスにアラートID 0x1470が通知されます。
障害発生時処理		サーバハングアップまたはOSダウンによって，ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生した場合，自動的にどのように処理するかを設定します。 ここでは，次のどれかを設定します。 • 何もしない ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生しても，何も処理しません。 • リセット サーバのRESETボタンを押したときと同じ処理をするときに設定します。なお，障害の状態によっては，正常にリセットできない場合があります。 • 電源OFF ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源をOFFにします。 • 電源OFF→電源ON※1 ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源をOFFにして，すぐONにします。 • NMI発行※2 ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときにNMIを発生させます。この設定をする場合の注意事項については，「NMIを発生させる場合の注意事項」を参照してください。 なお，NMI受信後のサーバ（OS）の動作は，OSの設定に従います。ただし，N+1コールドスタンバイ機能を使用し，自動切り替えの自動中止の設定をしていない場合は，再起動されないように設定してください。自動切り替え中止の設定については，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager系 システム管理者ガイド」のN+1コールドスタンバイの章を参照してください。 デフォルトは［何もしない］です。
電源OFF監視	－	次のどれかの処理の電源OFFに失敗したときに，電源OFFの処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからの電源OFF • 電源制御スケジュール • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作 （マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） リトライする場合は，このチェックボックスをONにします。 デフォルトはOFFです。

項目		内容
	タイムアウト時間	リトライする場合，タイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 10 分です。
リブート監視	－	次のどちらかの処理のリブートに失敗したときに，リブートの処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからのリブート • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作 （マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） リトライする場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	タイムアウト時間	リトライする場合，タイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 10 分です。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

N+1 コールドスタンバイ機能を使用し，現用系ホストでエージェントサービス起動による自動切り替えの中止を適用していない場合，BMC 環境設定ユティリティで［障害監視をする］チェックボックスを ON にしたときは，［障害発生時処理］で［電源 OFF →電源 ON］を選択しないでください。

アラート 0x1470 での自動切り替えが適用されている場合，切り替え実行後に，障害が発生した現用系サーバモジュールで電源 ON が発生するため，現用系サーバモジュールと予備系サーバモジュールの両方で電源 ON が実行されてしまいます。

注※ 2

［障害発生時処理］で［NMI 発行］を選択する場合は，あらかじめメモリダンプを取得するように設定してください。設定方法については，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」のセットアップの章を参照してください。

注意事項

NMI を発生させる場合の注意事項
NMI 発生機能は，通常の運用ケースでは使用しないでください。
NMI 発生機能は，OS の不具合などで OS がハングアップした場合にダンプを出力させることを目的としています。この機能とは別に，OS には，メモリアクセス違反などの要因で発生したカーネルパニックまたは STOP エラーを解析するために，自らメモリダンプを出力する仕組みが備わっています。NMI 発生機能を有効にした場合，OS によって自動的にダンプが出力されている最中に NMI が発生すると，ダンプ出力が中断されてしまうことがあります。その結果，OS でメモリアクセス違反などの要因で発生したカーネルパニックまたは STOP エラーによって処理が続行できなくなった場合の原因の究明が困難になることがあります。
OS のハングアップが頻繁に発生しており，NMI 発生によるダンプから OS のハングアップの原因を調査したい場合だけ設定してください。
また，アラート ID 0x1470 を N+1 コールドスタンバイの自動切り替え対象アラートとして設定している場合，自動切り替え待ち時間にはダンプを採取するのに十分な時間を設定してください。N+1 コールドスタンバイの自動切り替え対象アラートについては，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の N+1 コールドスタンバイの章を参照してください。
なお，IA32 サーバモジュールで NMI が発生した場合，アラート ID 0x1413 が通知されます。

1.26 ［SVP セットアップ］画面

［SVP セットアップ］画面は，管理対象が HA8000 シリーズの場合の SVP を設定する画面です。

［SVP セットアップ］画面を表示する手順を次に示します。

操作手順

1. Windows **にアドミニストレータ権限でログインする**
2. **［スタート］メニューから［プログラム］－［ServerConductor］－［Server Manager］－［SVP PCI 設定ユティリティ］を選択する**

［SVP セットアップ］画面を次の図に示します。

図 1-82 ［SVP **セットアップ］画面**



項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
SVP マイクロバージョン		SVP マイクロプログラムのバージョンが表示されます。
障害監視	－	ウォッチドッグタイマを監視するかどうかを設定します。

項目		内容
	障害監視をする	ウォッチドッグタイマを監視する場合，このチェックボックスを ON にします。
	詳細設定	ウォッチドッグタイマによる障害監視の詳細情報を設定する場合，このボタンをクリックします。［障害監視 詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。［障害監視 詳細設定］ダイアログボックスについては，「1.26.2 ［障害監視 詳細設定］ダイアログボックス」を参照してください。
SVP アドレス※	－	SVP ボードに搭載した LAN ボードについて設定します。
	IP アドレス	SVP ボードに設定する IP アドレスを設定します。 SVP ボード専用の IP アドレスを設定してください。SVP ボードを搭載しているサーバの LAN ボードの IP アドレスと同じアドレスは設定しないでください。
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
通報先	－	障害が発生したときに通知を送るマネージャサービスについて設定します。通報先は 4 台まで設定できます。
	名称	マネージャサービスのホスト名などを設定します。
	IP アドレス	マネージャサービスの IP アドレスを設定します。
	ポート	マネージャサービスと通信するときのポート番号を設定します。デフォルトは 20079 です。
サーバー情報	－	サーバに関する情報を設定します。この情報はコンソールサービスから参照できます。
	管理者名	サーバを管理しているシステム管理者名を設定します。
	設置場所	サーバを設置している場所を設定します。
SVP マイクロ	－	SVP マイクロプログラムをバージョンアップする場合に，詳細を設定します。
	SVP マイクロをロードする	SVP マイクロプログラムをバージョンアップする場合は，このチェックボックスを ON にします。
	SVP マイクロのロード元	SVP マイクロプログラムをバージョンアップする場合のロード元を指定します。
	参照	SVP マイクロプログラムをバージョンアップする際のロード元を指定する場合，このボタンをクリックします，ロード元を選択するダイアログボックスが表示されます。
設定		SVP PCI ボードについて設定したら，内容を確認して，このボタンをクリックします。設定が反映されます。
終了		SVP セットアップを閉じる場合，このボタンをクリックします。

（凡例）

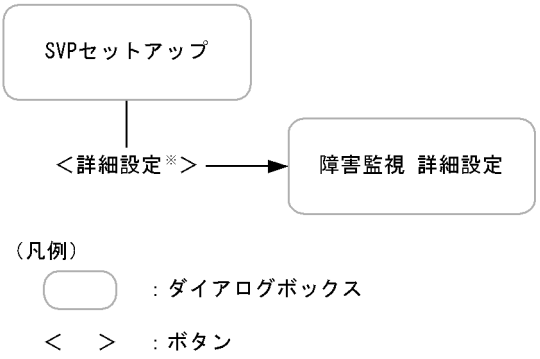
－：該当しません。

注※
SVP アドレスは必ず設定してください。

1.26.1 ［SVP セットアップ］画面の遷移

［SVP セットアップ］画面の遷移を次の図に示します。

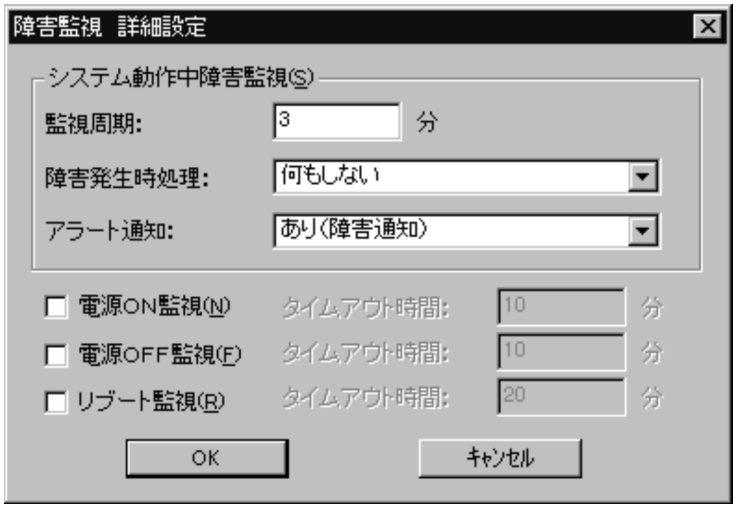
図 1-83 ［SVP セットアップ］画面の遷移



注※
［障害監視をする］チェックボックスがONのときに有効です

1.26.2 ［障害監視 詳細設定］ダイアログボックス

管理対象が HA8000 シリーズの場合に SVP PCI ボードの設定で，ウォッチドッグタイマを監視するかどうかについて設定します。



［障害監視 詳細設定］ダイアログボックスでは，SVP マイクロプログラムのバージョンによって設定できる項目が異なります。

（1）SVP マイクロプログラム 03-00-00 以降のバージョンを利用する場合

項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
システム動作中障害監視	－	ウォッチドッグタイマの監視について設定します。
	監視周期	ウォッチドッグタイマの監視間隔を分単位で設定します。3 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 3 分です。 ウォッチドッグタイマの監視は，ここで設定した監視周期で実行されます。
	障害発生時処理※1	サーバハングアップ，OS ダウンによって，ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生した場合，自動的にどのように処理するかを設定します。障害発生時処理の設定とアラート通知の設定は共に有効です。 ここでは，次のどれかを設定します。 • 何もしない ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生しても，何も処理しません。 • リセット サーバの RESET ボタンを押したときと同じ処理をするときに設定します。なお，障害の状態によっては，正常にリセットできない場合があります。 • 電源 OFF ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源を OFF にします。 • 電源 OFF →電源 ON ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源を OFF にして，すぐ ON にします。 • NMI 発行 ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに NMI を発生させます。 障害発生時処理で「リセット」または「電源 OFF →電源 ON」を指定した場合，リセットまたは電源 ON 処理が失敗したときに一定時間（タイムアウト時間）内でリトライします。 これらのタイムアウト時間は次の値を使用します。 • リセット リブート監視のタイムアウト値 • 電源 OFF →電源 ON 電源 ON 監視のタイムアウト値（電源 ON の場合だけ監視） デフォルトは［何もしない］です。 なお，リブート監視または電源 ON 監視が設定されていない場合はリトライしません。

項目		内容
	アラート通知	サーバで障害などのイベントが発生したときに，マネージャサービスにアラートとして通知するかどうかについて次のどれかを設定します。 • なし アラートの通知をしません。 • あり（障害通知） 注意，警告，障害のイベントをアラートとして通知します。 • あり（情報通知） 情報のイベントだけをアラートとして通知します。 • あり（全通知） すべてのイベントをアラートとして通知します。 デフォルトは［あり（障害通知）］です。
電源 ON 監視※2※3	－	電源 ON に失敗したときに，電源 ON の処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 リトライする場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは ON です。
	タイムアウト時間	リトライする場合，タイムアウト時間はを分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 10 分です。
電源 OFF 監視※4	－	次のどれかの処理の電源 OFF に失敗したときに，電源 OFF の処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからの電源 OFF • 電源制御スケジュール • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作 （マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） リトライする場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	タイムアウト時間	リトライする場合，タイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 10 分です。
リブート監視	－	次のどちらかの処理のリブートに失敗したときに，リブートの処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからのリブート • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作 （マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） リトライする場合は，このチェックボックスを ON にします。デフォルトは OFF です。
	タイムアウト時間	リトライする場合，タイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 20 分です。

（凡例）

－：該当しません。

注※ 1

障害発生時処理でリセットを設定する場合，Windows が自動的に再起動しないように，Windows のコントロールパネルのシステムアイコンで［起動 / シャットダウン］ボタンをク

リック後，［自動的に再起動する］チェックボックスを OFF にしてください。

注※ 2

電源 ON 監視を ON に設定している場合，BIOS 起動中に BIOS 設定などをすると，設定したタイムアウト時間でリトライ（電源 OFF →電源 ON）します。電源 ON 監視を OFF に設定してから BIOS 設定などをしてください。

注※ 3

電源 ON 監視を ON に設定して JP1/ServerConductor をアンインストールすると，電源 ON 監視処理がアンインストール後も動作してしまいます。アンインストールするときは，電源 ON 監視，電源 OFF 監視，またはリブート監視を OFF に設定してからアンインストールしてください。

注※ 4

電源 ON 監視，電源 OFF 監視，およびリブート監視のタイマ設定については各サーバによって起動時間やシャットダウン時間が異なります。事前に十分検証した上で設定してください。

（2）SVP マイクロプログラム 03-00-00 より前のバージョンを利用する場合

項目の内容を次の表に示します。

項目		内容
システム動作中障害監視	－	システム動作中の障害監視について設定します。
	監視周期	ウォッチドッグタイマの監視間隔を分単位で設定します。3 ～ 60 の範囲で設定します。デフォルトは 3 分です。 設定した時間からさらに 6 分間 OS から応答がない場合，障害を検出します。
	障害発生時処理※	サーバハングアップ，OS ダウンによって，ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生した場合，次のような要因でマネージャサービスに通知できないとき，自動的にどのように処理するか設定します。 • アラート通知で「なし」を設定している • すべての通報先マネージャサービスに対するアラート通知が失敗した ここでは，次のどれかを設定します。 • 何もしない ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生しても，何も処理しません。 • リセット サーバについている RESET ボタンを押したときと同じ処理をするときに設定します。なお，障害の状態によっては，正常にリセットできない場合があります。 • 電源 OFF ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源を OFF にします。 • 電源 OFF →電源 ON ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源を OFF にして，すぐ ON にします。 デフォルトは［何もしない］です。
	アラート通知	サーバで障害などのイベントが発生したときに，マネージャサービスにアラートとして通知するかどうかについて次のどれかを設定します。 • なし アラートの通知をしません。 • あり（障害通知） 注意，警告，障害のイベントをアラートとして通知します。 • あり（情報通知） 情報のイベントだけをアラートとして通知します。 • あり（全通知） すべてのイベントをアラートとして通知します。 デフォルトは，［あり（障害通知）］です。
電源 ON 監視		本機能は無効です。
電源 OFF 監視		本機能は無効です。
リブート監視		本機能は無効です。

（凡例）

－：該当しません。

注※

障害発生時処理でリセットを設定する場合，Windows が自動的に再起動しないように，Windows のコントロールパネルのシステムアイコンで［起動 / シャットダウン］ボタンをクリック後，［自動的に再起動する］チェックボックスを OFF にしてください。

2 コマンド

この章では，コマンドを使って JP1/ServerConductor を運用する方法について説明します。

コマンドの記述形式

コマンド一覧

環境設定メニュー入力時の注意事項

hsysmgr - **エージェントサービスの起動／停止（**Linux **サーバ）**

smhaaedit - Advanced Agent **環境設定コマンド（**Linux **サーバ）**

smhaaedit - Advanced Agent **環境設定コマンド（**HP-UX **サーバ）**

smhautoboot - **エージェントサービスの起動／停止（**HP-UX **サーバ）**

smhedit - **エージェントサービス環境設定コマンド（**Linux **サーバ）**

smhedit - **エージェントサービス環境設定コマンド（**HP-UX **サーバ）**

コマンドの記述形式

コマンドの書式

コマンドの書式で使用する記号を次のように定義します。

表 2-1 コマンドの書式で使用する記号

記号	意味
英文で記述された部分	キーワードとして，そのまま記述することを示します。 （例）smhaaedit
日本語で記述された部分	該当する要素を指定することを示します。 （例）-s 段数
| ストローク	複数の項目に対し，項目間の区切りを示し，「または」の意味を示します。 （例）-adagent|-load|-svp|-snmp -adagent，-load，-svp，または -snmp のうちのどれかを選択することを示します。
[ ] 角括弧	この記号で囲まれている項目は省略できることを示します。複数の項目が記述されている場合には，すべてを省略するか，どれか一つを選択します。 （例）[-bmc] 「何も選択しない」か，「-bmc を選択する」ことを示します。

コマンド一覧

JP1/ServerConductor で使用できるコマンドの一覧を次の表に示します。

表 2-2 JP1/ServerConductor で使用できるコマンドの一覧

コマンド名	説明
hsysmgr	エージェントサービスの起動／停止（Linux サーバ）
smhaaedit	Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ）
smhaaedit	Advanced Agent 環境設定コマンド（HP-UX サーバ）
smhautoboot	エージェントサービスの起動／停止（HP-UX サーバ）
smhedit	エージェントサービス環境設定コマンド（Linux サーバ）
smhedit	エージェントサービス環境設定コマンド（HP-UX サーバ）

環境設定メニュー入力時の注意事項

JP1/ServerConductor では，コマンドを使用して環境を設定できます。次のコマンドを入力すると，環境設定メニューが表示されます。

smhaaedit
　Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ）

smhaaedit
　Advanced Agent 環境設定コマンド（HP-UX サーバ）

smhedit
　エージェントサービス環境設定コマンド（Linux サーバ）

smhedit
　エージェントサービス環境設定コマンド（HP-UX サーバ）

環境設定メニューで環境を設定する場合の注意事項を次に示します。

- メニューの選択項目には，数値（1 ～ n）と文字列があります。メニューのプロンプトに，選択できる数値の範囲と文字列の種類が表示されます。文字列の選択肢は，英字の大文字または小文字で選択できます。また，表示されている文字列のうち，大文字で表示されている部分だけを入力して選択することもできます。例えば，
  `Quit`
  という選択肢は，QUIT，quit，Q，または q のどれでも選択できます。
- コマンドから環境設定メニューを起動した場合，設定項目として入力できる値には規則があります。環境設定メニューの入力規則を次に示します。

表 2-3　環境設定メニューの入力規則

記号	意味
整数	10 進数のほか，8 進数および 16 進数で設定できます。8 進数の場合は先頭に 0 を，16 進数の場合は先頭に 0x を入力してください。改行だけを入力した場合は設定を変更しません。
論理値	エージェントサービス環境設定の場合は，True または False のどちらかを入力します。 Advanced Agent 環境設定の場合は，Enabled または Disabled のどちらかを入力します。 省略はできません。また，英字の大文字と小文字を区別しません。改行だけを入力した場合は設定を変更しません。
IP アドレス	xxx.yyy.zzz.aaa の形式で，10 進数で入力します。改行だけを入力した場合は設定を変更しません。
文字列	文字列には，" を使用できません。改行だけを入力した場合は設定を変更しません。［Ctrl］＋［D］キーだけを入力した場合は空文字列が設定されます。

記号	意味
サイト情報 資産情報	" および / は使用できません。サイト情報は 8 階層まで定義でき，1 階層ずつ設定値を入力します。途中の階層で入力を終了し，以降の階層の設定を解除する場合は［Ctrl］＋［D］キーだけを入力します。また，改行だけを入力した場合は元の設定値をそのまま使用します。元の設定値がない場合に改行だけを入力した場合は入力を終了します。
ターゲットマシン情報	管理対象サーバが Linux の場合 ターゲットマシン情報には，選択できるターゲットマシンの一覧，現在選択されているターゲットマシンとプロンプトが表示されます。ターゲットマシンの一覧は，1 画面 20 機種に分割して表示されます。 プロンプトの選択項目では，数値（1 ～ n）または文字列を入力します。文字列の選択肢は，Previous，Next，Quit があります。ターゲットマシンを選択する場合は，一覧の中から該当する機種の数値を選択します。一覧の前画面を表示する場合は Previous を，次画面を表示する場合は Next を選択します。ただし，一覧の先頭が表示されている場合は，Previous を選択できません。同様に，一覧の終端が表示されている場合は，Next を選択できません。Quit を選択すると，設定を変更しないで設定メニューに戻ります。 管理対象サーバが HP-UX の場合 ターゲットマシン情報には，選択できるターゲットマシンの一覧，現在選択されているターゲットマシンとプロンプトが表示されます。一覧の中から該当する機種の数値を選択します。改行だけを入力した場合は設定を変更しません。

- 設定値には，半角かたかなおよびコントロールコードを含めないでください。
- 環境設定メニューでは複数の値を設定できる設定項目があります。複数の値を設定できる設定項目を選択した場合，設定済みの値の一覧とプロンプトが表示されます。設定済みの値を変更する場合には，表示されている一覧から数値を選択します。設定されている値を削除する場合には，表示されている一覧から数値を選択したあと，[Ctrl] + [D] キーだけを入力します。値を追加する場合には，New を選択します。ただし，設定済みの値の数が上限に達している場合には New は選択できません。Quit を選択すると，設定メニューに戻ります。

hsysmgr - エージェントサービスの起動／停止（Linux サーバ）

形式

```
/etc/rc.d/init.d/hsysmgr [start|stop|status|restart]
/etc/rc.d/init.d/hsysmgr -h
```

機能

エージェントサービスを起動または停止します。

Agent をインストールした直後は，Linux サーバのエージェントサービスが自動的に起動されないため，環境設定コマンドによる環境設定をしたあとにこのコマンドを使用してエージェントサービスを起動します。このコマンドを使用して起動したあとは，Linux サーバを run level 3 以上ですると，hsysmgr コマンドが自動的に実行されるため，エージェントサービスは自動起動されます。

実行権限

スーパーユーザ（root）

引数

start

エージェントサービスを起動します。

stop

エージェントサービスを停止します。

status

エージェントサービスの起動状態を表示します。

restart

エージェントサービスを再起動します。

-h（または指定なし）

コマンドの使用方法を表示します。

使用例 1

エージェントサービスを起動します。

```
/etc/rc.d/init.d/hsysmgr start
```

使用例 2

エージェントサービスを停止します。

```
/etc/rc.d/init.d/hsysmgr stop
```

smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ）

形式

BladeSymphony の場合

```
/usr/sbin/smhaaedit [-s段数] [-g[幅][x高さ]] [-adagent|-bmc|-snmp]
/usr/sbin/smhaaedit -h
```

HA8000 の場合

```
/usr/sbin/smhaaedit [-s段数] [-g[幅][x高さ]]
[-adagent|-load|-svp|-snmp]
/usr/sbin/smhaaedit -h
```

機能

管理対象が Linux サーバの場合の Advanced Agent 環境設定のメニューを表示します。表示されるメニューは，指定するオプションによって異なります。表示されるメニューについては，「Advanced Agent 環境設定メニュー（Linux サーバ）」を参照してください。

実行権限

スーパーユーザ（root）

引数

-s 段数

段組表示されるメニューの段数を指定します。オプションを省略した場合は，画面のサイズに応じて段数が決まります。指定できる段数は 1 または 2 です。

-g[幅][x 高さ]

画面サイズを文字数単位で指定します。幅は 10 ～ 160，高さは 10 ～ 72 の範囲で指定します。デフォルトは -g80x24 です。

-adagent|-bmc|-snmp または -adagent|-load|-svp|-snmp

Advanced Agent 環境設定のメニューを指定します。

-adagent

Advanced Agent 設定メニューを表示します。Advanced Agent 設定ファイルを編集する場合に指定します。Advanced Agent 設定メニューについては，「Advanced Agent 設定メニュー」を参照してください。

-bmc

障害監視設定メニューを表示します。障害監視設定メニューについては,「障害監視設定メニュー」を参照してください。
このオプションは管理対象サーバが BladeSymphony の場合に指定できます。

-load

SVP マイクロプログラム設定メニューを表示します。設定する SVP マイクロプログラムのパスを指定する場合に指定します。
SVP PCI ボードを搭載している Linux サーバで指定できます。
SVP PCI ボードを搭載していない Linux サーバの場合は，-load を指定できません。
SVP マイクロプログラム設定メニューについては,「SVP マイクロプログラム設定メニュー」を参照してください。
このオプションは管理対象サーバが HA8000 の場合に指定できます。

-svp

SVP 設定メニューを表示します。SVP 設定ファイルを編集する場合に指定します。
SVP 設定メニューについては,「SVP 設定メニュー」を参照してください。
このオプションは管理対象サーバが HA8000 の場合に指定できます。

-snmp

SNMP 設定メニューを表示します。SNMP 設定ファイルを編集する場合に指定します。SNMP 設定メニューについては,「SNMP 設定メニュー」を参照してください。

-h

コマンドの使用方法を表示します。

指定なし

Advanced Agent 環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x24 で表示します。メインメニューについては,「メインメニュー」を参照してください。

使用例

管理対象が Linux サーバの場合，Advanced Agent 環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x60 で表示します。

```
/usr/sbin/smhaaedit -g80x60
```

Advanced Agent 環境設定メニュー（Linux サーバ）

メインメニュー

smhaaedit コマンドで，オプションを指定しないで起動した場合，メインメニューが表示されます。
表示されるメニューは，管理対象の機種によって異なります。
メインメニューの表示例を次に示します。

BladeSymphony の場合

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####      Configuration Main Menu       ####
  1. Advanced Agent Configuration File
  2. BMC Configuration File
  3. SNMP Configuration File
Command (1-3/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については,「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

メインメニューの選択項目を次に示します。

表 2-4　Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：メインメニューの選択項目（BladeSymphony の場合）

選択項目	設定項目	説明
1	Advanced Agent Configuration File	Advanced Agent 設定ファイルを編集する Advanced Agent 設定メニューが表示されます。Advanced Agent 設定メニューについては,「Advanced Agent 設定メニュー」を参照してください。
2	BMC Configuration File	障害監視設定メニューが表示されます。障害監視設定メニューについては,「障害監視設定メニュー」を参照してください。
3	SNMP Configuration File	SNMP 設定ファイルを編集する SNMP 設定メニューが表示されます。SNMP 設定メニューについては,「SNMP 設定メニュー」を参照してください。
Quit	－	smhaaedit コマンドを終了します。

（凡例）
　－：該当しません。

HA8000 の場合

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####      Configuration Main Menu       ####
  1.Advanced Agent Configuration File
  2.Load SVPmicro Program
  3.SVP Setup
  4.SNMP Configuration File

 Command(1-4/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については,「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

メインメニューの選択項目を次に示します。

表 2-5 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：メインメニューの選択項目（HA8000 の場合）

選択項目	設定項目	説明
1	Advanced Agent Configuration File	Advanced Agent 設定ファイルを編集する Advanced Agent 設定メニューが表示されます。Advanced Agent 設定メニューについては，「Advanced Agent 設定メニュー」を参照してください。
2	Load SVPmicro Program	設定する SVP マイクロプログラムのパスを指定する SVP マイクロプログラム設定メニューが表示されます。SVP マイクロプログラム設定メニューについては，「SVP マイクロプログラム設定メニュー」を参照してください。
3	SVP Setup	SVP 設定メニューが表示されます。SVP 設定メニューについては，「SVP 設定メニュー」を参照してください。
4	SNMP Configuration File	SNMP 設定ファイルを編集する SNMP 設定メニューが表示されます。SNMP 設定メニューについては，「SNMP 設定メニュー」を参照してください。
Quit	―	smhaaedit コマンドを終了します。

（凡例）

―：該当しません。

Advanced Agent 設定メニュー

smhaaedit コマンドで，-adagent オプションを指定して起動した場合や，メインメニューで 1 を選択した場合，Advanced Agent 設定メニューが表示されます。

Advanced Agent 設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
#### Advanced Agent Configuration File  ####
 1.SVPAgentService                [Disabled]
 2.SNMPTranslatorAgentService     [Disabled]
Command (1-2/Menu/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

Advanced Agent 設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-6 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：Advanced Agent 設定メニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
1	SVPAgentService	論理値	Disabled	SVP 機能の有効 / 無効を設定します。 • Enabled：有効 • Disabled：無効 電源制御や障害監視を行う場合，Enabled を設定します。
2	SNMPTranslatorAgentService	論理値	Disabled	SNMP 機能の有効 / 無効を設定します。 • Enabled：有効 • Disabled：無効
Menu	－	－	－	Advanced Agent 設定メニューを表示します。
Quit	－	－	－	メインメニューに戻ります。

（凡例）

－：該当しません。

障害監視設定メニュー

管理対象サーバが BladeSymphony の場合，smhaaedit コマンドで，-bmc オプションを指定して起動したときや，メインメニューで 2 を選択したとき，障害監視設定メニューが表示されます。

障害監視設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####       BMC Configuration File       ####
 1.ErrorWatching            [Enabled]
 2.ErrorWatchingInterval    [5]
 3.ProcessAtError           [0]
 4.PowerOffWatching         [Disabled]
 5.PowerOffWatchingTimeout  [10]
 6.RebootWatching           [Disabled]
 7.RebootWatchingTimeout    [10]

Command (1-7/Menu/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

障害監視設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-7 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：障害監視設定メニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
1	ErrorWatching ※1	論理値	Enabled	ウォッチドッグタイマを設定します。 • Enabled：する • Disabled：しない

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
2	ErrorWatchingInterval	整数	5	ウォッチドッグタイマの監視間隔を分単位で設定します。3 ～ 60 の範囲で設定します。 サーバハングアップなどが発生すると，ここで設定した時間＋ 5 分が経過したあとに，障害が検出され，マネージャサービスにアラート ID 0x1470 が通知されます。
3	ProcessAtError	整数	0	サーバハングアップまたは OS ダウンによって，ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生した場合，自動的にどのように処理するかを設定します。 ここでは，次のどれかを設定します。 • 0： ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生しても，何も処理しません。 • 1： サーバの RESET ボタンを押したときと同じ処理をします。なお，障害の状態によっては，正常にリセットできない場合があります。 • 2： ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源を OFF にします。 • 3：※ 1 ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに電源を OFF にして，すぐ ON にします。 • 4：※ 2 ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに NMI を発生させます。この設定をする場合の注意事項については，「NMI を発生させる場合の注意事項」を参照してください。 なお，NMI 受信後のサーバ（OS）の動作は，OS の設定に従います。ただし，N+1 コールドスタンバイ機能を使用し，自動切り替えの自動中止の設定をしていない場合は，再起動されないように設定してください。自動切り替え中止の設定については，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の N+1 コールドスタンバイの章を参照してください。

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
4	PowerOffWatching	論理値	Disabled	次のどれかの処理の電源 OFF に失敗したときに，電源 OFF の処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからの電源 OFF • 電源制御スケジュール • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作 （マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） • Enabled：リトライする • Disabled：リトライしない
5	PowerOffWatchingTimeout	整数	10	電源 OFF のリトライタイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。 PowerOffWatching が Enabled の場合だけ有効です。
6	RebootWatching	論理値	Disabled	次のどちらかの処理のリブートに失敗したときに，リブートの処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからのリブート • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作 （マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） • Enabled：リトライする • Disabled：リトライしない
7	RebootWatchingTimeout	整数	10	リブートのリトライタイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。 RebootWatching が Enabled の場合だけ有効です。
Menu	—	—	—	障害監視設定メニューを表示します。
Quit	—	—	—	メインメニューに戻ります。

（凡例）

—：該当しません。

注※ 1

N+1 コールドスタンバイ機能を使用し，現用系ホストでエージェントサービス起動による自動切り替えの中止を適用していない場合，障害監視設定メニューで ErrorWatching を Enabled に

したときは，ProcessAtError で 3 を選択しないでください。
アラート 0x1470 での自動切り替えが適用されている場合，切り替え実行後に，障害が発生した現用系サーバモジュールで電源 ON が発生するため，現用系サーバモジュールと予備系サーバモジュールの両方で電源 ON が実行されてしまいます。

注※ 2
ProcessAtError で 4 を選択する場合は，あらかじめメモリダンプを取得するように設定してください。設定方法については，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」のセットアップの章を参照してください。

注意事項

NMI を発生させる場合の注意事項
NMI 発生機能は，通常の運用ケースでは使用しないでください。
NMI 発生機能は，OS の不具合などで OS がハングアップした場合にダンプを出力させることを目的としています。この機能とは別に，OS には，メモリアクセス違反などの要因で発生したカーネルパニックまたは STOP エラーを解析するために，自らメモリダンプを出力する仕組みが備わっています。NMI 発生機能を有効にした場合，OS によって自動的にダンプが出力されている最中に NMI が発生すると，ダンプ出力が中断されてしまうことがあります。その結果，OS でメモリアクセス違反などの要因で発生したカーネルパニックまたは STOP エラーによって処理が続行できなくなった場合の原因の究明が困難になることがあります。
OS のハングアップが頻繁に発生しており，NMI 発生によるダンプから OS のハングアップの原因を調査したい場合だけ設定してください。
また，アラート ID 0x1470 を N+1 コールドスタンバイの自動切り替え対象アラートとして設定している場合，自動切り替え待ち時間にはダンプを採取するのに十分な時間を設定してください。N+1 コールドスタンバイの自動切り替え対象アラートについては，マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の N+1 コールドスタンバイの章を参照してください。
なお，IA32 サーバモジュールで NMI が発生した場合，アラート ID 0x1413 が通知されます。

SVP マイクロプログラム設定メニュー

管理対象サーバが HA8000 の場合，smhaaedit コマンドで，-load オプションを指定して起動したときや，メインメニューで 2 を選択したとき，SVP マイクロプログラム設定メニューが表示されます。
SVP マイクロプログラム設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####       Load SVPmicro Program        ####
 # SVPmicroProgramVersion [04-00-xx]
 1.SVPmicroProgramLocation[/mnt/floppy/SVPEO/…]

Command(1/Menu/Quit)>
```

SVP マイクロプログラム設定メニューでは，設定する SVP マイクロプログラムのパ

スを設定します。SVP PCI ボードを搭載している Linux サーバで設定できます。
メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
SVP マイクロプログラム設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-8　Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：SVP マイクロプログラム設定メニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
1	SVPmicroProgramLocation	文字列	"/mnt/floppy/SVPEO/SVPEO.EXE"	設定する SVP マイクロプログラムのパスを半角の英数字で，255 文字以内で設定します。
Menu	－	－	－	SVP マイクロプログラム設定メニューを表示します。
Quit	－	－	－	メインメニューに戻ります。

（凡例）
－：該当しません。

SVP 設定メニュー

管理対象サーバが HA8000 の場合，smhaaedit コマンドで，-svp オプションを指定して起動したときや，メインメニューで 3 を選択したとき，SVP 設定メニューが表示されます。
管理対象サーバが BladeSymphony の場合，SVP 設定メニューは表示されません。
障害監視の設定については，障害監視設定メニューを参照してください。
SVP 設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####              SVP Setup              ####
   # SVPmicroProgramVersion     [04-00-xx]
   1.ErrorWatching              [Enabled] 11.Destination2-Port [20079]
   2.ErrorWatchingDetailSetting ->        12.Destination3-Name [Mr.C   ]
.............以下省略.............

Command(1-19/Menu/Quit)>
```

SVP 設定メニューでは，障害発生時の通知に関する設定，電源制御に関する設定，Advanced Agent の通信に関する情報などについて設定します。
SVP 設定メニューでは，［SVPAddress-IPAddress］と［SVPAddress-SubnetMask］は必ず設定してください。
メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
SVP 設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-9　Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：SVP 設定メニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
1	ErrorWatching	論理値	Enabled	ウォッチドッグタイマを設定します。 • Enabled：監視をする • Disabled：監視をしない
2	ErrorWatchingDetailSetting	（サブメニューが表示される項目であり，値は設定しません。）	（サブメニューが表示される項目であり，値は設定しません。）	ウォッチドッグタイマによる障害監視の詳細情報を設定する場合に選択します。 この項目を選択すると，Error Watching Detail Setting サブメニューが表示されます。 Error Watching Detail Setting サブメニューについては，「Error Watching Detail Setting サブメニュー」を参照してください。
3	SVPAddress-IPAddress	IP アドレス	なし	HA8000 シリーズサーバでは，LAN ボードに設定する IP アドレス（SVP 用）を設定します。
4	SVPAddress-SubnetMask	IP アドレス	なし （設定必須）	HA8000 シリーズサーバでは，接続した LAN で使用されているサブネットマスクの IP アドレスを設定します。
5	SVPAddress-DefaultGateway	IP アドレス	なし （設定必須）	HA8000 シリーズサーバでは，接続した LAN のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
6	Destination1-Name	文字列	なし	マネージャのホスト名などを半角の英数字で 16 文字以内（終了コードを含む）で設定します。
7	Destination1-IPAddress	IP アドレス	なし	マネージャの IP アドレスを設定します。
8	Destination1-Port	整数	20079	マネージャと通信するときのポート番号を設定します。
9	Destination2-Name	文字列	なし	マネージャのホスト名などを半角の英数字で 16 文字以内（終了コードを含む）で設定します。
10	Destination2-IPAddress	IP アドレス	なし	マネージャの IP アドレスを設定します。
11	Destination2-Port	整数	20079	マネージャと通信するときのポート番号を設定します。
12	Destination3-Name	文字列	なし	マネージャのホスト名などを半角の英数字で 16 文字以内（終了コードを含む）で設定します。
13	Destination3-IPAddress	IP アドレス	なし	マネージャの IP アドレスを設定します。
14	Destination3-Port	整数	20079	マネージャと通信するときのポート番号を設定します。

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
15	Destination4-Name	文字列	なし	マネージャのホスト名などを半角の英数字で 16 文字以内（終了コードを含む）で設定します。
16	Destination4-IPAddress	IP アドレス	なし	マネージャの IP アドレスを設定します。
17	Destination4-Port	整数	20079	マネージャと通信するときのポート番号を設定します。
18	AdministratorName	文字列	なし	サーバを管理しているシステム管理者名を設定します。 半角の英数字で 128 文字以内，日本語で入力する場合 64 文字以内で設定します。
19	InstallationLocation	文字列	なし	サーバを設置している場所を設定します。 半角の英数字で 256 文字以内，日本語で入力する場合 128 文字以内で設定します。
Menu	－	－	－	SVP 設定メニューを表示します。
Quit	－	－	－	メインメニューに戻ります。

（凡例）

－：該当しません。

Error Watching Detail Setting サブメニュー

管理対象サーバが HA8000 の場合，SVP 設定メニューで 2 を選択したとき，Error Watching Detail Setting サブメニューが表示されます。

Error Watching Detail Setting サブメニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####    Error Watching Detail Setting   ####
#. SVPmicroProgramVersion       [04-00-xx]
  1. ErrorWatchingInterval      [3]
  2. ProcessAtError             [0]
  3. AlertNotification          [1]
.............以下省略.............

Command(1-9/Menu/Quit)>
```

Error Watching Detail Setting サブメニューでは，障害監視の詳細情報を設定します。

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

Error Watching Detail Setting サブメニューの選択項目を次に示します。

表 2-10 Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：Error Watching Detail Setting サブメニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
1	ErrorWatchingInterval	整数	3	ウォッチドッグタイマの監視間隔を分単位で設定します。3 ～ 60 の範囲で設定します。
2	ProcessAtError	整数	0	サーバハングアップまたは OS ダウンによって，ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生した場合，どのように処理するかを設定します。次の五つの設定項目から数値で設定します。 • 0：何もしない • 1：リセット • 2：電源 OFF • 3：電源 OFF にしたあと電源 ON にする • 4：ウォッチドッグタイマのタイムアウトが発生したときに NMI を発行する
3	AlertNotification	整数	1	サーバに障害などが発生した場合，マネージャサービスにアラートとして通知するかどうかを設定します。次の四つの設定項目から数値で設定します。 • 0：なし • 1：あり（障害通知） • 2：あり（情報通知） • 3：あり（すべて通知）
4	PowerOnWatching	論理値	Disabled	電源 ON に失敗したときに，一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • Enabled：リトライする • Disabled：リトライしない
5	PowerOnWatchingTimeout	整数	10	電源 ON のリトライタイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。 PowerOnWatching が Enabled の場合だけ有効です。

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
6	PowerOffWatching	論理値	Disabled	次のどれかの処理の電源 OFF に失敗したときに，電源 OFF の処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからの電源 OFF • 電源制御スケジュール • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作（マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） • Enabled：リトライする • Disabled：リトライしない
7	PowerOffWatchingTimeout	整数	10	電源 OFF のリトライタイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。 PowerOffWatching が Enabled の場合だけ有効です。
8	RebootWatching	論理値	Disabled	次のどちらかの処理のリブートに失敗したときに，リブートの処理を一定時間（タイムアウト時間）内でリトライするかどうかを設定します。 • コンソールからのリブート • エージェントサービスが実行するアラート発生時のサーバ動作（マニュアル「JP1 Version 8 JP1/ServerConductor/Blade Server Manager 系 システム管理者ガイド」の障害管理の章を参照） • Enabled：リトライする • Disabled：リトライしない
9	RebootWatchingTimeout	整数	20	リブートのリトライタイムアウト時間を分単位で設定します。10 ～ 60 の範囲で設定します。 RebootWatching が Enabled の場合だけ有効です。
Menu	—	—	—	Error Watching Detail Setting サブメニューを表示します。
Quit	—	—	—	SVP 設定メニューに戻ります。

（凡例）

—：該当しません。

SNMP 設定メニュー

smhaaedit コマンドで，-snmp オプションを指定して起動した場合や，メインメ

ニューで 4 を選択した場合，SNMP 設定メニューが表示されます。SNMP 設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####      SNMP Configuration File       ####
 1.Community1          [public]
 2.SNMPManagerAddress1 ->
.............以下省略.............

Command(1-8/Menu/Quit)>
```

SNMP 設定メニューでは，トラップ通知に使用するコミュニティ名と，トラップ通知先の SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。
メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
SNMP 設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-11　Advanced Agent 環境設定（Linux サーバ）：SNMP 設定メニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
1	Community1	文字列	public ※	トラップ通知に使用するコミュニティ名を半角の英数字で設定します。1 ～ 127 文字以内で設定してください。 ただし，次の文字は使用しないでください。 " # & ' ( ) ¥ | ; * < > `
2	SNMPManagerAddress1	IP アドレス	なし	トラップ通知先の SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。各コミュニティに対して設定します。
3	Community2	文字列	""	トラップ通知に使用するコミュニティ名を半角の英数字で設定します。1 ～ 127 文字以内で設定してください。 ただし，次の文字は使用しないでください。 " # & ' ( ) ¥ | ; * < > `
4	SNMPManagerAddress2	IP アドレス	なし	トラップ通知先の SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。各コミュニティに対して設定します。
5	Community3	文字列	""	トラップ通知に使用するコミュニティ名を半角の英数字で設定します。1 ～ 127 文字以内で設定してください。 ただし，次の文字は使用しないでください。 " # & ' ( ) ¥ | ; * < > `
6	SNMPManagerAddress3	IP アドレス	なし	トラップ通知先の SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。各コミュニティに対して設定します。

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
7	Community4	文字列	""	トラップ通知に使用するコミュニティ名を半角の英数字で設定します。1 ～ 127 文字以内で設定してください。 ただし，次の文字は使用しないでください。 " # & ' ( ) ¥ | ; * < > `
8	SNMPManagerAddress4	IP アドレス	なし	トラップ通知先の SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。各コミュニティに対して設定します。
Menu	Menu	―	―	SNMP 設定メニューを表示します。
Quit	Quit	―	―	メインメニューに戻ります。

（凡例）

―：該当しません。

注※

Community1 のコミュニティ名は，デフォルト値として public が設定されていますが，セキュリティ上の観点からデフォルト値を変更して使用することを推奨します。

smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（HP-UX サーバ）

形式

```
/usr/sbin/smhaaedit [-s段数] [-g[幅][x高さ]] [-adagent]
/usr/sbin/smhaaedit -h
```

機能

管理対象が HP-UX サーバの場合の Advanced Agent 環境設定のメニューを表示します。表示されるメニューは，指定するオプションによって異なります。表示されるメニューについては，「Advanced Agent 環境設定メニュー（HP-UX サーバ）」を参照してください。

管理対象が BladeSymphony（HP-UX サーバ）の場合に，Advanced Agent 用環境設定コマンドのメインメニューから SVP を設定します。

実行権限

スーパーユーザ（root）

引数

-s 段数

段組表示されるメニューの段数を指定します。オプションを省略した場合は，画面のサイズに応じて段数が決まります。指定できる段数は 1 または 2 です。

-g[幅][x 高さ]

画面サイズを文字数単位で指定します。幅は 10 ～ 160，高さは 10 ～ 72 の範囲で指定します。デフォルトは -g80x24 です。

-adagent

Advanced Agent 設定メニューを表示します。Advanced Agent 設定メニューについては，「Advanced Agent 設定メニュー」を参照してください。

-h

コマンドの使用方法を表示します。

指定なし

Advanced Agent 環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x24 で表示します。メインメニューについては，「メインメニュー」を参照してください。

使用例

管理対象が HP-UX サーバの場合，Advanced Agent 環境設定コマンドのメインメニューを画面サイズ 80x60 で表示します。

```
/usr/sbin/smhaaedit -g80x60
```

Advanced Agent 環境設定メニュー（HP-UX サーバ）

メインメニュー

smhaaedit コマンドで，-adagent のオプションを指定しないで起動した場合，メインメニューが表示されます。メインメニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
####      Configuration Main Menu       ####
  1. Advanced Agent Configuration File

Command (1/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

メインメニューの選択項目を次に示します。

表 2-12　Advanced Agent 環境設定（HP-UX サーバ）：メインメニューの選択項目

選択項目	設定項目	説明
1	Advanced Agent Configuration File	Advanced Agent 設定メニューが表示されます。 Advanced Agent 設定メニューについては，「Advanced Agent 設定メニュー」を参照してください。
Quit	－	smhaaedit コマンドを終了します。

（凡例）

－：該当しません。

Advanced Agent 設定メニュー

smhaaedit コマンドで，-adagent オプションを指定して起動した場合や，メインメニューで 1 を選択した場合，Advanced Agent 設定メニューが表示されます。

Advanced Agent 設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Advanced Agent ####
#### Advanced Agent Configuration File  ####
 1.BMCConfiguration     [Disabled]

Command(1/Menu/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

Advanced Agent 設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-13 Advanced Agent 環境設定（HP-UX サーバ）：Advanced Agent 設定メニューの選択項目

選択項目	設定項目	入力値	デフォルト	説明
1	BMCConfiguration	論理値	Disabled（無効）	BMC 機能の有効 / 無効を設定します。 • Enabled：有効 • Disabled：無効 電源制御を行う場合，Enabled を設定します。
Menu	―	―	―	Advanced Agent 設定メニューを表示します。
Quit	―	―	―	メインメニューに戻ります。

（凡例）

―：該当しません。

smhautoboot - エージェントサービスの起動／停止（HP-UX サーバ）

形式

```
/usr/sbin/smhautoboot [-on|-off|-start [-on]|-stop]
```

機能

エージェントサービスを起動または停止します。また，エージェントサービスの自動起動の設定を有効または無効にします。

実行権限

スーパーユーザ（root）

引数

-on

エージェントサービスの自動起動の設定を有効にします。

-off

エージェントサービスの自動起動の設定を無効にします。

-start

エージェントサービスを起動します。-on と同時に指定した場合は，エージェントサービスの自動起動の設定を有効にし，エージェントサービスを起動します。

-stop

エージェントサービスを停止します。

指定なし

エージェントサービスの自動起動の設定が有効か無効かを表示します。表示項目を次の表に示します。

表示項目	説明
AUTOBOOT：ON	エージェントサービスの自動起動の設定は有効です。
AUTOBOOT：OFF	エージェントサービスの自動起動の設定は無効です。

使用例 1

エージェントサービスを起動します。

```
/usr/sbin/smhautoboot -start
```

使用例 2

エージェントサービスの自動起動を無効にします。

```
/usr/sbin/smhautoboot -off
```

smhedit - エージェントサービス環境設定コマンド（Linux サーバ）

形式

```
/usr/sbin/smhedit [-s段数] [-g[幅][x高さ]] [-agent|-misc]
/usr/sbin/smhedit -h
```

機能

管理対象が Linux サーバの場合のエージェントサービス環境設定のメニューを表示します。表示されるメニューは，指定するオプションによって異なります。表示されるメニューについては，「エージェントサービス環境設定メニュー（Linux サーバ）」を参照してください。

実行権限

スーパーユーザ（root）

引数

-s 段数

段組表示されるメニューの段数を指定します。オプションを省略した場合は，画面のサイズに応じて段数が決まります。指定できる段数は 1 または 2 です。

-g[幅][x 高さ]

画面サイズを文字数単位指定します。幅は 10 ～ 160，高さは 10 ～ 72 の範囲で指定します。デフォルトは -g80x24 です。

-agent|-misc

エージェントサービス環境設定のメニューを指定します。

-agent
: エージェント設定メニューを表示します。エージェント設定ファイルを編集する場合に指定します。エージェント設定メニューについては，「エージェント設定メニュー」を参照してください。

-misc
: エージェント環境設定メニューを表示します。エージェント環境設定ファイルを編集する場合に指定します。エージェント環境設定メニューについては，「エージェント環境設定メニュー」を参照してください。

-h

コマンドの使用方法を表示します。

指定なし

エージェントサービス環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x24 で表示します。メインメニューについては，「メインメニュー」を参照してください。

使用例

管理対象が Linux サーバの場合，エージェントサービス環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x60 で表示します。

```
/usr/sbin/smhedit -g80x60
```

エージェントサービス環境設定メニュー（Linux サーバ）

メインメニュー

smhedit コマンドで，-agent および -misc のオプションを指定しないで起動した場合，メインメニューが表示されます。メインメニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Agent ####
####  Configuration Main Menu  ####
 1.Agent Configuration File
 2.Agent Environment Configuration File

Command(1-2/Quit)>
```

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
メインメニューの選択項目を次に示します。

表 2-14　エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：メインメニューの選択項目

選択項目	設定項目	説明
1	Agent Configuration File	エージェント設定ファイルを編集するエージェント設定メニューが表示されます。エージェント設定メニューについては，「エージェント設定メニュー」を参照してください。
2	Agent Environment Configuration File	エージェント環境設定ファイルを編集するエージェント環境設定メニューが表示されます。エージェント環境設定メニューについては，「エージェント環境設定メニュー」を参照してください。
Quit	－	smhedit コマンドを終了します。

（凡例）
－：該当しません。

エージェント設定メニュー

smhedit コマンドで，-agent オプションを指定して起動した場合や，メインメニューで 1 を選択した場合，エージェント設定メニューが表示されます。エージェ

ント設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Agent ####
#### Agent Configuration File ####
 1.CommandTimeout     [90]
 2.Keepalive    [False]
.............以下省略.............

Command(1-11/Menu/Quit)>
```

表示される設定項目の数は，エージェントサービスや OS のバージョンによって異なります。
メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
エージェント設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-15　エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント設定メニューの選択項目

選択項目	説明
各設定項目の番号	該当する設定項目の変更を開始します。設定項目の詳細については，「表 2-16 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント設定メニューの設定項目」を参照してください。
Menu	エージェント設定メニュー表示します。
Quit	メインメニューに戻ります。

エージェント設定メニューの設定項目を次に示します。なお，エージェント設定メニューの設定項目として入力できる値には入力規則があります。入力規則については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

表 2-16　エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント設定メニューの設定項目

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
CommandTimeout	整数	90	エージェントサービスからマネージャサービスへの送信に対する返信が来るまでの待ち時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。
Keepalive ※	論理値	False	エージェントサービスとマネージャサービス間でキープアライブするかどうかを設定します。 • True：キープアライブする • False：キープアライブしない
KeepaliveInterval	整数	600	キープアライブするときのキープアライブ間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。 キープアライブ間隔を設定する場合，必ずコマンドタイムアウト値（設定項目名：CommandTimeout）よりも大きな値を設定してください。

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
ShutdownDemand	論理値	True	コンソールサービスからのシャットダウンを許可するかどうかを設定します。 • True：許可する • False：許可しない
InformationAlert	論理値	False	インフォメーションアラート（サーバの状態変化を知らせるアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True，False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
CautionAlert	論理値	True	注意アラート（エラーが発生するおそれのあるレベルのアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True，False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
WarningAlert	論理値	True	警告アラート（障害が発生するおそれのあるレベルのアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True，False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
ObstacleAlert	論理値	True	障害アラート（すぐに対処が必要なレベルのアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True，False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
AlertKeepDays	整数	30	アラートログのファイルを保存しておく日数を設定します。0 ～ 90 の範囲で設定します。 0 を設定すると，ユーザが削除しないかぎり，保存しておきます。
AlertCapacity	整数	1,024	アラートログの警告値をキロバイト単位で設定します。0 ～ 1,048,576 の範囲で設定します。 0 を設定すると警告を通知しません。 アラートログは，一日ごとに一つのファイルとして保存されます。アラートログファイルは，/var/opt/hitachi/system_manager/log ディレクトリに日付のファイル名（拡張子 log）で保存されています（2008 年 2 月 25 日のログファイルの場合は「20080225.log」という名称で保存されています）。

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
SyslogOutput	論理値	False	コンソールサービスに通知するアラートを syslog に出力するかどうかを設定します。 • True：出力する • False：出力しない 出力されるアラートは，コンソールサービスに通知されるアラートだけです。

注※

Keepalive を True にするとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，Keepalive は False にしてください。
なお，Keepalive を True にすると，エージェントサービスが停止するなど，エージェントサービスとマネージャサービスとの間の回線が切断した場合，管理コンソールに次のようなポップアップダイアログが表示されます。
「ホスト名（マネージャサービス名）への接続が切断されました」

エージェント環境設定メニュー

smhedit コマンドで，-misc オプションを指定して起動した場合や，メインメニューで 2 を選択した場合に，エージェント環境設定メニューが表示されます。
エージェント環境設定メニューの表示例を次に示します。

```
####      JP1/ServerConductor/Agent       ####
#### Agent Environment Configuration File ####
 1.ManagerAddress ->      18.AdministratorID    [KANRI-ID]
 2.SendTimeout    [80]    19. AdministratorInfo [KANRISH...]
.............以下省略.............

Command(1-23/Menu/Quit)>
```

表示される設定項目の数は，エージェントサービスや OS のバージョンによって異なります。
メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
エージェント環境設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-17　エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント環境設定メニューの選択項目

選択項目	説明
各設定項目の番号	該当する設定項目の変更を開始します。設定項目の詳細については，「表 2-18 エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント環境設定メニューの設定項目」を参照してください。
Menu	エージェント環境設定メニューを表示します。
Quit	メインメニューに戻ります。

エージェント環境設定メニューでは，［Target Machine］は必ず設定してください。
エージェント環境設定メニューの設定項目を次に示します。なお，エージェント環境設定メニューの設定項目として入力できる値には入力規則があります。入力規則については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

表 2-18　エージェントサービス環境設定（Linux サーバ）：エージェント環境設定メニューの設定項目

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
Target Machine	ターゲットマシン情報	なし (設定必須※1)	Agent をインストールしたサーバの機種を設定します。表示される項目の中から選択できます。
ManagerAddress	IP アドレス	なし	接続先のマネージャサービスの IP アドレスを設定します。 接続先のマネージャサービスは，四つまで登録できます。
SendTimeout	整数	80	送信タイムアウト時間を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。
SessionTimeout	整数	900	エージェントサービスとマネージャサービス間の無通信状態を監視し，セッションを切断するまでの時間を秒単位で設定します。0 ～ 7,200 の範囲で設定します。 マネージャサービスとの通信回線に LAN などを使っていて，課金がない場合は，0 を設定してください。0 を設定するとセッションを切断しません。
SITE	サイト情報	なし	サイトの階層を 8 階層まで設定できます。設定した順で階層 1，階層 2... と定義されます。 各階層の文字数の合計は，区切り文字 "/" を含めて 256 文字以内で次の計算式に合うように設定してください。 ［各階層の合計文字数］+（[階層数］-1）≦ 256 • 設定するときは，階層 1 に都道府県名，階層 2 に市町村名，以降，拠点名，フロアの階数や部署などのように，1 段階ずつ設定することをお勧めします。 • 英数字やかたかなは，半角または全角のどちらで入力するかを統一しておいてください。半角の「3F」と全角の「３ Ｆ」では異なるサイトとして分類されてしまいます。また，サイト情報を設定する場合，誤字や脱字がないように注意してください。サイト名を間違えると，管理コンソールで表示するときに異なるサイトとして分類されてしまいます。
PropertyName	資産情報	なし	社内または組織内でサーバを管理するために付けている名称や，サーバの製品名を設定します。
PropertyID	資産情報	なし	資産名称に対する番号を設定します。
PostName	資産情報	なし	サーバを設置している部署名を設定します。

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
PostID	資産情報	なし	部署のコード番号などがある場合に設定します。
AdministratorName	資産情報	なし	サーバを管理しているシステム管理者の名前を設定します。
AdministratorID	資産情報	なし	社員番号など，システム管理者がわかる番号を設定します。
AdministratorInfo	資産情報	なし	システム管理者の所属など，詳細な情報や設定項目にない情報を設定します。
OperatorName	資産情報	なし	サーバを運用している部署のシステム管理者名を入力します。
OperatorID	資産情報	なし	社員番号など，運用しているシステム管理者がわかる番号を設定します。
OperatorInfo	資産情報	なし	運用しているシステム管理者の所属など，詳細な情報や設定項目にない情報を設定します。
TelephoneNumber	資産情報	なし	管理者の電話番号を設定します。
MailAddress	資産情報	なし	管理者のメールアドレスを設定します。
LocationInfo	資産情報	なし	サーバの設置場所や詳細な情報を設定します。
Structure	資産情報	なし	サーバの CPU やメモリなどの機器の構成に関する情報を設定します。
PurchaseDate	資産情報	なし	サーバを購入した日付を設定します。
DescriptionDate	資産情報	なし	サーバの減価償却期間を入力します。
Note	資産情報	なし	備考を入力します。
CompressCommand	文字列	なし	圧縮コマンドを起動するコマンドライン文字列を設定します※2。

注※ 1

BladeSymphony および HA8000/x9 モデル以降の装置の場合，インストール時に自動設定されます。

注※ 2

コマンドライン文字列にはマクロを使用することができ，コマンド実行時に展開されて実行されます。コマンドライン文字列に使用できるマクロを次の表に示します。

表 2-19　コマンドライン文字列に使用できるマクロ

マクロ	意味
%archive%	出力アーカイブファイル名に置き換わります（拡張子は含まれません）。
%directory%	情報取得用一時ディレクトリ（/var/opt/hitachi/system_manager/collect/ コンソールごとのディレクトリ）に置き換わります。
%file%	メニューの実行によって得られた個々のファイル名（フルパス）に置き換わります。このマクロが指定されていて，かつ得られたファイルが複数個ある場合は，その個数分だけコマンドが繰り返し実行されます。

圧縮ツールに LHA を使用する場合の例

```
lha m %archive%.lzh %directory%
```

または,

```
lha a %archive%.lzh %file% ; rm -f %file% ; rm -f %archive%.bak
```

と設定すると，取得したファイルをすべて LHA で圧縮し，元のファイルを削除します。一時ディレクトリにファイルが残ると，残ったファイルも転送されるため，圧縮コマンドを実行する場合には，上記の例のように一時ディレクトリにファイルが残らないようにコマンドを指定してください。

smhedit - エージェントサービス環境設定コマンド（HP-UX サーバ）

形式

```
/usr/sbin/smhedit [-s段数] [-g[幅][x高さ]] [-agent|-misc]
/usr/sbin/smhedit -h
```

機能

管理対象が HP-UX サーバの場合のエージェントサービス環境設定のメニューを表示します。表示されるメニューは，指定するオプションによって異なります。表示されるメニューについては，「エージェントサービス環境設定メニュー（HP-UX サーバ）」を参照してください。

実行権限

スーパーユーザ（root）

引数

-s 段数

段組表示されるメニューの段数を指定します。オプションを省略した場合は，画面のサイズに応じて段数が決まります。指定できる段数は 1 または 2 です。

-g[幅][x 高さ]

画面サイズを文字数単位で指定します。幅は 10 ～ 160，高さは 10 ～ 72 の範囲で指定します。デフォルトは -g80x24 です。

-agent|-misc

エージェントサービス環境設定のメニューを指定します。

-agent
: エージェント設定メニューを表示します。エージェント設定ファイルを編集する場合に指定します。エージェント設定メニューについては，「エージェント設定メニュー」を参照してください。

-misc
: エージェント環境設定メニューを表示します。エージェント環境設定ファイルを編集する場合に指定します。エージェント環境設定メニューについては，「エージェント環境設定メニュー」を参照してください。

-h

コマンドの使用方法を表示します。

指定なし

エージェントサービス環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x24 で表示します。メインメニューについては,「メインメニュー」を参照してください。

注意事項

エージェントサービス動作中に環境設定コマンドで環境設定を実施すると，設定した内容を反映するために，エージェントサービスが自動的に一時停止され，反映後，自動的に再起動します。この自動的に停止していた時間は，syslog のエージェントサービスの停止メッセージまたは起動メッセージで確認できます。また，エージェントサービス停止中は，HP-UX EMS イベントのアラート通知，アラートログの記録，スケジュール設定された電源制御は実行されません。

使用例 1

管理対象が HP-UX サーバの場合，エージェントサービス用環境設定のメインメニューを画面サイズ 80x60 で表示します。

```
/usr/sbin/smhedit -g80x60
```

エージェントサービス環境設定メニュー（HP-UX サーバ）

メインメニュー

smhedit コマンドで，-agent および -misc のオプションを指定しないで起動した場合，メインメニューが表示されます。メインメニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Agent ####
####  Configuration Main Menu  ####
 1.Agent Configuration File
 2.Agent Environment Configuration File

Command(1-2/Quit)>
```

表示される設定項目は，管理対象によって異なります。
メニュー選択時の注意事項については,「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
メインメニューの選択項目を次に示します。

表 2-20　エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：メインメニューの選択項目

選択項目	設定項目	説明
1	Agent Configuration File	エージェント設定ファイルを編集するエージェント設定メニューが表示されます。エージェント設定メニューについては,「エージェント設定メニュー」を参照してください。

選択項目	設定項目	説明
2	Agent Environment Configuration File	エージェント環境設定ファイルを編集するエージェント環境設定メニューが表示されます。エージェント環境設定メニューについては，「エージェント環境設定メニュー」を参照してください。
Quit	―	smhedit コマンドを終了します。

エージェント設定メニュー

smhedit コマンドで，-agent オプションを指定して起動した場合や，メインメニューで 1 を選択した場合に，エージェント設定メニューが表示されます。エージェント設定メニューの表示例を次に示します。

```
#### JP1/ServerConductor/Agent ####
#### Agent Configuration File  ####
 1.CommandTimeout     [90]
 2.Keepalive    [False]
.............以下省略.............

Command(1-14/Menu/Quit)>
```

表示される設定項目の数は，エージェントサービスや OS のバージョンによって異なります。

メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

エージェント設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-21　エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント設定メニューの選択項目

選択項目	説明
各設定項目の番号	該当する設定項目の変更を開始します。設定項目の詳細については，「表 2-22 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント設定メニューの設定項目」を参照してください。
Menu	エージェント設定メニュー表示します。
Quit	メインメニューに戻ります。

エージェント設定メニューの設定項目を次に示します。なお，エージェント設定メニューの設定項目として入力できる値には入力規則があります。入力規則については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

表 2-22 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント設定メニューの設定項目

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
CommandTimeout	整数	90	エージェントサービスからマネージャサービスへの送信に対する返信が来るまでの待ち時間を秒単位で設定します。1 ～ 600 の範囲で設定します。
Keepalive ※	論理値	False	エージェントサービスとマネージャサービス間でキープアライブするかどうかを設定します。 • True：キープアライブする • False：キープアライブしない
KeepaliveInterval	整数	600	キープアライブするときのキープアライブ間隔を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。 キープアライブ間隔を設定する場合，必ずコマンドタイムアウト値（設定項目名：CommandTimeout）よりも大きな値を設定してください。
ShutdownDemand	論理値	True	コンソールサービスからのシャットダウンを許可するかどうかを設定します。 • True：許可する • False：許可しない
InformationAlert	論理値	False	インフォメーションアラート（サーバの状態変化を知らせるアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True/False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
CautionAlert	論理値	True	注意アラート（エラーが発生するおそれのあるレベルのアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True/False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
WarningAlert	論理値	True	警告アラート（障害が発生するおそれのあるレベルのアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True/False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。
ObstacleAlert	論理値	True	障害アラート（すぐに対処が必要なレベルのアラート）をコンソールサービスに通知するかどうかを設定します。 • True：通知する • False：通知しない なお，True/False のどちらの設定でも，サーバアラートログには発生したアラートの情報が記録されます。

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
AlertKeepDays	整数	30	サーバアラートログのファイルを保存しておく日数を設定します。0 ～ 90 の範囲で設定します。 0 を設定すると，ユーザが削除しないかぎり，保存しておきます。
AlertCapacity	整数	1,024	アラートログの警告値をキロバイト単位で設定します。0 ～ 1,048,576 の範囲で設定します。 0 を設定すると警告を通知しません。 サーバアラートログは，一日ごとに一つのファイルとして保存されます。サーバアラートログファイルは，/var/opt/htcsma ディレクトリに日付のファイル名（拡張子 log）で保存されています（2008 年 2 月 25 日のログファイルの場合は「20080225.log」という名称で保存されています）。
SyslogOutput	論理値	False	コンソールサービスに通知するアラートを syslog に出力するかどうかを設定します。 • True：出力する • False：出力しない 出力されるアラートは，コンソールサービスに通知されるアラートだけです。
ContMediaOut	論理値	False	情報取得機能で取得した情報を媒体（テープ）に出力するかどうかを設定します。 • True：出力する • False：出力しない
ContMediaDev	文字列	なし	情報取得機能で取得した情報を出力する媒体（テープ）のデバイスファイルの絶対パス名を半角英数字で 256 文字以内で設定します。
ContComment	文字列	なし	情報取得機能のメンテナンス情報ファイルに格納される文字列を 256 文字以内で設定します。

注※

Keepalive を True にするとコネクションが切断されないため，ダイヤルアップ回線など，接続時間に応じて課金される回線を使用している場合は，Keepalive は False にしてください。
なお，Keepalive を True にすると，エージェントサービスが停止するなど，エージェントサービスとマネージャサービスとの間の回線が切断した場合，管理コンソールに次のようなポップアップダイアログが表示されます。
「ホスト名（マネージャサービス名）への接続が切断されました」

エージェント環境設定メニュー

smhedit コマンドで，-misc オプションを指定して起動した場合や，メインメニューで 2 を選択した場合に，エージェント環境設定メニューが表示されます。
エージェント環境設定メニューの表示例を次に示します。

```
####      JP1/ServerConductor/Agent       ####
#### Agent Environment Configuration File ####
 1.ManagerAddress ->      15. OperatorInfo      []
 2.SendTimeout    [80]    16. TelephoneNumber   []
.............以下省略.............

Command(1-27/Menu/Quit)>
```

表示される設定項目の数は，エージェントサービスや OS のバージョンによって異なります。
メニュー選択時の注意事項については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。
エージェント環境設定メニューの選択項目を次に示します。

表 2-23　エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント環境設定メニューの選択項目

選択項目	説明
各設定項目の番号	該当する設定項目の変更を開始します。設定項目の詳細については，「表 2-24 エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント環境設定メニューの設定項目」を参照してください。
Menu	エージェント環境設定メニューを表示します。
Quit	メインメニューに戻ります。

エージェント環境設定メニューでは，［Target Machine］は必ず設定してください。
エージェント環境設定メニューの設定項目を次に示します。なお，エージェント環境設定メニューの設定項目として入力できる値には入力規則があります。入力規則については，「2. コマンド　環境設定メニュー入力時の注意事項」を参照してください。

表 2-24　エージェントサービス環境設定（HP-UX サーバ）：エージェント環境設定メニューの設定項目

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
TargetMachine	ターゲットマシン情報	なし （設定必須）	Agent をインストールしたサーバの機種を設定します。表示される項目の中から選択できます。
ManagerAddress	IP アドレス	なし	接続先のマネージャサービスの IP アドレスを設定します。 接続先のマネージャサービスは，四つまで登録できます。
SendTimeout	整数	80	送信タイムアウト時間を秒単位で設定します。1 ～ 3,600 の範囲で設定します。

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
SessionTimeout	整数	900	エージェントサービスとマネージャサービス間の無通信状態を監視し，セッションを切断するまでの時間を秒単位で設定します。0 ～ 7,200 の範囲で設定します。 マネージャサービスとの通信回線に LAN などを使っていて，課金がない場合は，0 を設定してください。0 を設定するとセッションを切断しません。
SITE	サイト情報	なし	サイトの階層を 8 階層まで設定できます。設定した順で階層 1，階層 2... と定義されます。各階層を 1 行ずつ設定するか，または SITE= に続けて各階層を / で区切って設定します。 各階層の合計は，区切り文字 "/" を含めて 256 文字以内で次の計算式に合うように設定してください。 ［各階層の合計文字数］＋（［階層数］-1）≦ 256 • 設定するときは，階層 1 に都道府県名，階層 2 に市町村名，以降，拠点名，フロアの階数や部署などのように，1 段階ずつ設定することをお勧めします。 • 英数字やかたかなは，半角または全角のどちらで入力するかを統一しておいてください。半角の「3F」と全角の「３ Ｆ」では異なるサイトとして分類されてしまいます。また，サイト情報を設定する場合，誤字や脱字がないように注意してください。サイト名を間違えると，管理コンソールで表示するときに異なるサイトとして分類されてしまいます。
PropertyName	資産情報	なし	社内または組織内でサーバを管理するために付けている名称や，サーバの製品名を設定します。
PropertyID	資産情報	なし	資産名称に対する番号を設定します。
PostName	資産情報	なし	サーバを設置している部署名を設定します。
PostID	資産情報	なし	部署のコード番号などがある場合に設定します。
AdministratorName	資産情報	なし	サーバを管理しているシステム管理者の名前を設定します。
AdministratorID	資産情報	なし	社員番号など，システム管理者がわかる番号を設定します。
AdministratorInfo	資産情報	なし	システム管理者の所属など，詳細な情報や設定項目にない情報を設定します。
OperatorName	資産情報	なし	サーバを運用している部署のシステム管理者名を入力します。
OperatorID	資産情報	なし	社員番号など，運用しているシステム管理者がわかる番号を設定します。
OperatorInfo	資産情報	なし	運用しているシステム管理者の所属など，詳細な情報や設定項目にない情報を設定します。

設定項目	入力値	デフォルト	設定内容
TelephoneNumber	資産情報	なし	管理者の電話番号を設定します。
MailAddress	資産情報	なし	管理者のメールアドレスを設定します。
LocationInfo	資産情報	なし	サーバの設置場所や詳細な情報を設定します。
Structure	資産情報	なし	サーバの CPU やメモリなどの機器の構成に関する情報を設定します。
PurchaseDate	資産情報	なし	サーバを購入した日付を設定します。
DescriptionDate	資産情報	なし	サーバの減価償却期間を入力します。
Note	資産情報	なし	備考を入力します。
AgtEmsFunc	論理値	True	HP-UX EMS と連携するかどうかを設定します。 • True：連携する • False：連携しない エージェントサービスはサーバの障害情報を HP-UX EMS と連携して検出するため，True のままで使用してください。
AgtEmsLogging	論理値	False	HP-UX EMS と連携したときに HP-UX EMS の詳細情報をログファイルに記録するかどうかを設定します。 • True：記録する • False：記録しない
AgtEmsLogName	文字列	"/var/opt/htcsma/agt_ems.log"	HP-UX EMS の詳細情報を記録するログファイル名を設定します。半角の英数字で，495 文字以内で設定します。
AgtEmsLogSize	整数	10,240	HP-UX EMS の詳細情報を記録するログファイルの最大サイズをキロバイト単位で設定します。32 ～ 1,048,576 の範囲で設定します。
AgtUsockName	文字列	"/var/opt/htcsma/agtusock"	HP-UX EMS からの障害情報を受信するための UNIX ドメインソケットに対するファイル名を設定します。半角の英数字で，91 文字以内で設定します。

索引

A

Advanced Agent 環境設定メニュー（HP-UX サーバ）488
Advanced Agent 環境設定メニュー（Linux サーバ）473

B

[BIOS ポストログ] ウィンドウ 176
[BMC 環境設定ユティリティ] 画面 451

H

[HVM 構成管理] ウィンドウ 293
[HVM 構成管理] ウィンドウの遷移 312
[HVM 構成のバックアップ・リストア] ダイアログボックス 363
[HVM 設定] ダイアログボックス 315

J

[JP1/SC/DPM エクスポート情報変更] ダイアログボックス 35
[JP1/SC/DPM コンピュータ情報エクスポート] ダイアログボックス 33

L

[LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[Logical Partition Configuration] タブ）347
[LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[PCI Device Assignment] タブ）353
[LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[Processor Configuration] タブ）349
[LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[Shared FC Assignment] タブ）356
[LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[VNIC Assignment] タブ）359
[LPAR 構成変更] ダイアログボックス（[操作対象] タブ）345
[LPAR 作成ウィザード]（Logical Partition Configuration 画面）324
[LPAR 作成ウィザード]（PCI Device Assignment 画面）330
[LPAR 作成ウィザード]（Processor Configuration 画面）326
[LPAR 作成ウィザード]（Shared FC Assignment 画面）333
[LPAR 作成ウィザード]（VNIC Assignment 画面）336
[LPAR 作成ウィザード]（開始画面）321
[LPAR 作成ウィザード]（最終確認画面）340
[LPAR 作成ウィザード]（操作対象画面）322

M

[MIF 情報] ウィンドウ 180
[MIF 情報] ウィンドウの遷移 188

N

[N+1 コールドスタンバイ詳細設定] ウィンドウ 216
[N+1 コールドスタンバイ詳細設定] ウィンドウ（N+1 グループノード選択時）219
[N+1 コールドスタンバイ詳細設定] ウィンドウ（[N+1 コールドスタンバイ] ノード選択時）218
[N+1 コールドスタンバイ詳細設定] ウィンドウの遷移 231
[N+1 コールドスタンバイ詳細設定] ウィンドウ（ホストノード選択時）223
[N+1 コールドスタンバイ詳細設定] ウィンドウ（[予備プール] ノード選択時）226

P

[PCI Device Scheduling Mode 設定] ダイアログボックス 318

S

smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（HP-UX サーバ） 487
smhaaedit - Advanced Agent 環境設定コマンド（Linux サーバ） 472
smhautoboot - エージェントサービスの起動 / 停止（HP-UX サーバ） 490
smhedit - エージェントサービス環境設定コマンド（HP-UX サーバ） 500
smhedit - エージェントサービス環境設定コマンド（Linux サーバ） 492
[SMP 設定] ウィンドウ 282
[SMP 設定] ウィンドウ（シャーシノード選択時） 283
[SMP 設定] ウィンドウ（パーティション選択時） 284
[SNMP Trap の追加] ダイアログボックス 273
[SVP セットアップ] 画面 455
[SVP セットアップ] 画面の遷移 457
[SVP のプロパティ] ダイアログボックス 371
[SVP ボードの IP アドレス変更] ダイアログボックス 130
[SVP ログ] ウィンドウ 178

U

[USB 割り当て設定] ダイアログボックス 366

あ

[アトリビュートプロパティ] ダイアログボックス（[Description] タブ） 196
[アトリビュートプロパティ] ダイアログボックス（[Enum] タブ） 197
[アトリビュートプロパティ] ダイアログボックス（[一般] タブ） 195
[アラート設定] ダイアログボックス 100
[アラート通知] ダイアログボックス 127

い

[一括設定 - エージェントサービス設定] ウィンドウ 372
[一括設定 - エージェントサービス設定] ウィンドウの遷移 374
[一括設定 - スケジュール] ウィンドウ 368
[一括設定 - スケジュール] ウィンドウの遷移 370
[一括操作 - 電源制御] ウィンドウ 376
[インベントリ CSV ファイル出力オプション] ダイアログボックス 32
[インベントリ CSV ファイル出力] ダイアログボックス 31
[インベントリ] ウィンドウ 131

え

エージェントサービス環境設定メニュー（HP-UX サーバ） 501
エージェントサービス環境設定メニュー（Linux サーバ） 493
[エージェントサービス設定] ダイアログボックス（[アラート] タブ） 84
[エージェントサービス設定] ダイアログボックス（[各アラートの属性] タブ） 86
[エージェントサービス設定] ダイアログボックス（[情報取得] タブ） 91
[エージェントサービス設定] ダイアログボックス（[使用率超過通知] タブ） 89
[エージェントサービス設定] ダイアログボックス（[ネットワーク] タブ） 82

か

[外部プログラム起動] ダイアログボックス 125
[環境設定ユティリティ]（Web コンソールサービス（[機能別画面指定] タブ）） 445
[環境設定ユティリティ]（[Web コンソールサービス] タブ） 436
[環境設定ユティリティ]（Web コンソールサービス（[ネットワーク（共通）] タブ）） 441

[環境設定ユティリティ]（Web コンソールサービス（[ネットワーク（サービス）] タブ））442
[環境設定ユティリティ]（Web コンソールサービス（[表示] タブ））447
[環境設定ユティリティ]（Web コンソールサービス（[ファイル] タブ））448
[環境設定ユティリティ]（Web コンソールサービス（[ログイン] タブ））444
[環境設定ユティリティ]（[アラートアクションサービス] タブ）449
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[JP1/AppManager 連携] タブ））426
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[アラート] タブ））424
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[管理 / 運用] タブ））416
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[システム設定] タブ））423
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[その他] タブ））419
[環境設定ユティリティ]（[エージェントサービス] タブ）412
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[ネットワーク（共通）] タブ））420
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[ネットワーク（サービス）] タブ））421
[環境設定ユティリティ]（エージェントサービス（[連絡先 / 設置] タブ））418
[環境設定ユティリティ] 画面 382
[環境設定ユティリティ] 画面の遷移 383
[環境設定ユティリティ]（コンソールサービス（[アラート] タブ））398
[環境設定ユティリティ]（[コンソールサービス] タブ）388
[環境設定ユティリティ]（コンソールサービス（[ネットワーク（共通）] タブ））392
[環境設定ユティリティ]（コンソールサービス（[ネットワーク（サービス）] タブ））393
[環境設定ユティリティ]（コンソールサービス（[表示] タブ））395
[環境設定ユティリティ]（コンソールサービス（[ポップアップ通知] タブ））396
[環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[JP1/IM 連携機能] タブ））405
[環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[アラートアクションサービス] タブ））407
[環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[クラスタ設定] タブ））411
[環境設定ユティリティ]（[マネージャサービス] タブ）399
[環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[ネットワーク（共通）] タブ））403
[環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[ネットワーク（サービス）] タブ））404
[環境設定ユティリティ]（マネージャサービス（[保存設定] タブ））410
[環境設定ユティリティ]（ローカルコンソール（[JP1/IM 連携機能] タブ））432
[環境設定ユティリティ]（ローカルコンソール（[アラートアクションサービス] タブ））434
[環境設定ユティリティ]（[ローカルコンソール] タブ）427
[環境設定ユティリティ]（ローカルコンソール（[表示] タブ））431
[監視設定] ダイアログボックス 124

き

[機器の追加] ダイアログボックス 275
[機器の変更] ダイアログボックス 269

く

[クラスタ管理] ウィンドウ 198
[グループ作成] ダイアログボックス 232
[グループプロパティ] ダイアログボックス（[Description] タブ）192
[グループプロパティ] ダイアログボックス（[Key] タブ）193
[グループプロパティ] ダイアログボックス（[一般] タブ）191

[（グループ名）のプロパティ] ダイアログボックス 381
[クローニング] ダイアログボックス 343

こ

[コンソールサービス設定] ダイアログボックス（[アラート] タブ） 81
[コンソールサービス設定] ダイアログボックス（[起動 URL 設定] タブ） 80
[コンソールサービス設定] ダイアログボックス（[情報取得] タブ） 79
[コンソールサービス設定] ダイアログボックス（[ネットワーク] タブ） 75
[コンポーネントプロパティ] ダイアログボックス（[Description] タブ） 190
[コンポーネントプロパティ] ダイアログボックス（[一般] タブ） 189

さ

[サーバアラートログ] ウィンドウ 205
[サーバアラートログ] ウィンドウの遷移 207
[サーバアラートログ削除] ダイアログボックス 208
[サーバアラートログ] ダイアログボックス 41
[サーバシャーシインベントリ] ウィンドウ 158
[サイト情報] ダイアログボックス 415

し

[手動切り替え実行] ダイアログボックス 239
[障害監視 詳細設定] ダイアログボックス 458
[情報取得 - 完了通知] ダイアログボックス 69
[情報取得] ダイアログボックス 64

す

[スイッチ情報登録] ダイアログボックス 117
[スケジュール管理] ダイアログボックス（[クラスタ制御] タブ） 38
[スケジュール管理] ダイアログボックス（[電源制御] タブ） 36
[図面表示] ウィンドウ 209

せ

[接続先アラートアクションサービス登録 / 削除] ダイアログボックス 408
[接続先マネージャサービス登録 / 削除] ダイアログボックス 77,390,414
[接続先マネージャサービスの確認] ダイアログボックス 73

そ

[外付スイッチ名称登録] ダイアログボックス 116

つ

[通知アラート] ウィンドウ 288

て

[ディスク割当てリポジトリ] ウィンドウ 245
[データベース更新スケジュール設定] ダイアログボックス 106
[データベースの選択] ダイアログボックス 105
[テーブル列プロパティ] ダイアログボックス（[一般] タブ） 194

は

[パスワード設定] ダイアログボックス 401,429,438,440
[パスワード変更] ダイアログボックス 74,402,430,439

ふ

[復帰・解除実行] ダイアログボックス 241

ほ

[ホスト管理] ウィンドウ 11
[ホスト管理] ウィンドウの遷移 22
[ホスト検索結果] ウィンドウ 211
[ホスト検索結果] ウィンドウの遷移 214
[ホスト検索] ダイアログボックス 42
[ホスト登録・変更] ダイアログボックス 233
[ホスト登録] ダイアログボックス 70

ま

[マネージャアラートログ] ウィンドウ 291
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[e-mail 設定] タブ） 95
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[JP1/IM 連携機能] タブ） 101
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[N+1 設定] タブ） 109
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[サーバ起動監視] タブ） 122
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[ストレージ設定] タブ） 111
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[ネットワークスイッチ連携機能] タブ） 114
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[ネットワーク] タブ） 93
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[保存設定] タブ） 121
[マネージャサービス設定] ダイアログボックス（[レポート機能] タブ） 103

ゆ

[ユーザ定義] ウィンドウ 378
[ユーザ定義] ウィンドウの遷移 380

よ

[予備系の診断 - スケジュール設定] ダイアログボックス 243
[予備登録・変更] ダイアログボックス 235

ら

[ラックの構成変更] ダイアログボックス 279
[ラックの追加] ダイアログボックス 266
[ラックマネージャ] ウィンドウ 248
[ラックマネージャ] ウィンドウの遷移 265
[ランプ制御] ダイアログボックス 60

り

[リモートコンソール] ダイアログボックス 58

れ

[レポート時間設定] ダイアログボックス 53
[レポート条件設定] ダイアログボックス 56
[レポートスケジュール設定] ダイアログボックス 51

ろ

[ログイン情報の変更] ダイアログボックス 128

ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内

１．マニュアル情報ホームページ

ソフトウェアマニュアルの情報をインターネットで公開しています。

URL　http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/

ホームページのメニューは次のとおりです。

■マニュアル一覧	日立コンピュータ製品マニュアルを製品カテゴリ，マニュアル名称，資料番号のいずれかから検索できます。
■CD-ROMマニュアル	日立ソフトウェアマニュアルと製品群別CD-ROMマニュアルの仕様について記載しています。
■マニュアルのご購入	マニュアルご購入時のお申し込み方法を記載しています。
■オンラインマニュアル	一部製品のマニュアルをインターネットで公開しています。
■サポートサービス	ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開サービスを記載しています。
■ご意見・お問い合わせ	マニュアルに関するご意見，ご要望をお寄せください。

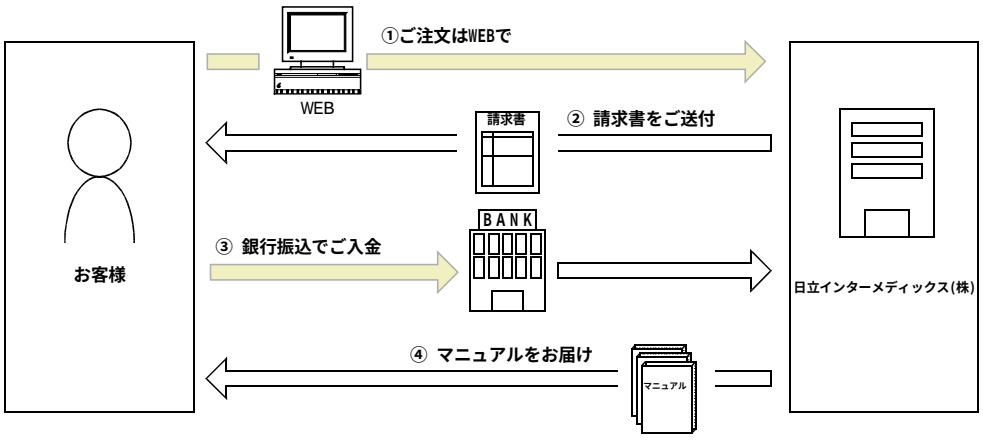
２．インターネットでのマニュアル公開

2 種類のマニュアル公開サービスを実施しています。

(1) マニュアル情報ホームページ「オンラインマニュアル」での公開
　製品をよりご理解いただくためのご参考として，一部製品のマニュアルを公開しています。

(2) ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開
　ソフトウェアサポートサービスご契約のお客様向けにマニュアルを公開しています。公開しているマニュアルの一覧，本サービスの対象となる契約の種別などはマニュアル情報ホームページの「サポートサービス」をご参照ください。

３．マニュアルのご注文



① マニュアル情報ホームページの「マニュアルのご購入」にアクセスし，お申し込み方法をご確認のうえ WEB からご注文ください。ご注文先は日立インターメディックス(株)となります。

② ご注文いただいたマニュアルについて請求書をお送りします。

③ 請求書の金額を指定銀行へ振り込んでください。

④ 入金確認後 7 日以内にお届けします。在庫切れの場合は，納期を別途ご案内いたします。